

鶴ヶ島市
子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年度

令和6年3月

鶴ヶ島市

目次

第1章 調査概要	3
1 調査目的.....	3
2 調査設計.....	3
3 実施内容.....	3
4 回収状況.....	4
5 調査結果の表示方法.....	4
第2章 調査結果の概要	7
1 就学前児童の保護者調査.....	7
(1) 子育て家庭の状況.....	7
(2) 保護者の就労状況.....	7
(3) 教育・保育事業の利用状況.....	8
(4) 地域の子育て支援事業の利用状況.....	9
(5) 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望.....	9
(6) 病児・病後児の利用状況.....	10
(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用の状況.....	11
(8) 放課後の過ごし方の状況.....	11
(9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の状況.....	12
(10) 子育てのための経済的な負担の状況.....	13
(11) 子育て全般.....	14
2 学童保育利用児童の保護者調査.....	15
(1) 平日の定期的な学童保育の利用状況.....	15
(2) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望.....	15
3 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査.....	17
(1) 保護者の就労状況.....	17
(2) 幼稚園の預かり保育の利用状況.....	17
(3) 他の保育事業の利用状況.....	18
(4) 今後の預かり保育の利用希望の状況.....	18
第3章 就学前児童の保護者調査	21
1 お住まいの地域について.....	21
(1) 居住地域.....	21
2 お子様とご家族のことについて.....	22
(1) 子どもの年齢.....	22
(2) 子どもの人数.....	22
(3) 調査票回答者.....	23
(4) 調査票回答者の配偶関係.....	23
(5) 主に子育てをしている人.....	23
3 子どもの育ちをめぐる環境について.....	24

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設.....	24
(2) 子育てに影響すると思われる環境.....	24
(3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無.....	25
(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況.....	26
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況.....	27
(6) 気軽に相談できる人・場所の有無.....	27
(7) 気軽に相談できる人・場所.....	28
4 保護者の就労状況について.....	29
(1) 母親の就労状況.....	29
(2) 就労している母親の就労日数・就労時間・家を出る時刻・帰宅時刻.....	30
(3) 父親の就労状況.....	31
(4) 就労している父親の就労日数・就労時間・家を出る時刻・帰宅時刻.....	32
(5) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望.....	33
(6) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望.....	34
(7) 就労していない母親の就労希望.....	35
(8) 就労していない父親の就労希望.....	37
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	38
(1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況.....	38
(2) 利用している平日の定期的な教育・保育の事業.....	38
(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望.....	39
(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所.....	41
(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由.....	41
(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由.....	42
(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業.....	43
(8) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所.....	43
(9) 幼稚園の強い利用希望.....	44
6 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	45
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況.....	45
(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望.....	46
(3) 各種事業の認知度.....	48
(4) 各種事業の利用状況.....	49
(5) 各種事業の利用意向.....	50
7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	51
(1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望.....	51
(2) 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望.....	52
(3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由.....	53
(4) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望.....	53
(5) 長期休暇期間中、たまに利用したい理由.....	54
8 お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方のみ】.....	55
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと.....	55
(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法.....	56

(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	58
(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態	59
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	59
(6) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか	60
(7) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみることが難しい理由	61
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	62
(1) 利用している不定期の教育・保育の事業	62
(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由	64
(3) 私用等の目的での事業の利用希望	65
(4) 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態	67
(5) 保護者の用事により短期入所生活援助事業の利用希望	67
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について【お子様が5歳以上である方】	70
(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方	70
(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方	73
(3) 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望	76
(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望	77
(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望	78
11 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について	79
(1) 母親の育児休業の取得状況	79
(2) 父親の育児休業の取得状況	81
(3) 育児休業給付、保険料免除についての認知度	83
(4) 育児休業取得後の状況	83
(5) 育児休業から職場に復帰したタイミング	84
(6) 育児休業から職場に復帰する時期	85
(7) 3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期	86
(8) 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由	87
(9) 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由	88
(10) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用	89
(11) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	90
(12) 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向	92
12 子どもを育てるための経済的な負担について	93
(1) 現在の経済状況（家計状況）について	93
(2) 公的支援の受給状況	93
(3) 子どもを育てていくための生活支援制度について	94
13 子育て支援施策全般について	95
(1) 発達の悩みについての相談	95
(2) かかりつけ医の有無	96
(3) かかりつけ医がない理由	96
(4) 子育ての環境や支援への満足度	97

第4章 学童保育利用児童の保護者調査	101
1 学童保育を利用しているお子さんご家族の状況について.....	101
(1) 居住地区・小学校名・学年・学童保育室名.....	101
(2) 調査票回答者.....	103
(3) 調査票回答者の配偶関係.....	104
(4) 保護者の就労状況.....	104
2 平日の定期的な学童保育の利用状況について.....	106
(1) 平日の学童保育の利用状況.....	106
(2) 平日に定期的に学童保育を利用している理由.....	107
(3) 学童保育の利用希望学年.....	107
3 土曜・休日や長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望について.....	108
(1) 土曜日の学童保育を利用しているか.....	108
(2) 土曜日の学童保育の利用状況・利用希望.....	108
(3) 日曜・祝日の学童保育の利用希望.....	110
(4) 日曜・祝日の学童保育をたまに利用したい理由.....	111
(5) 長期休暇中の学童保育を利用しているか.....	112
(6) 長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望.....	112
(7) 学童保育の利用における満足度.....	113
第5章 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査	117
(1) 通っている幼稚園の在籍クラス・居住地域.....	117
(2) 母親の就労状況.....	118
(3) 就労している母親の就労日数・就労時間.....	119
(4) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻.....	120
(5) 父親の就労状況.....	121
(6) 就労している父親の就労日数・就労時間.....	122
(7) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻.....	123
(8) 幼稚園の預かり保育の利用状況.....	124
(9) 預かり保育の利用日数・利用時間.....	124
(10) 保育事業の利用状況・利用日数・利用時間.....	125
(11) 今後の預かり保育の利用希望.....	126
第6章 自由記述	129
1 就学前児童の保護者調査 自由記述.....	129
2 学童保育利用児童の保護者調査 自由記述.....	148
資料編 調査票	163
1 就学前児童の保護者調査票.....	163
2 学童保育利用児童の保護者調査票.....	175
3 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査票.....	177

第1章 調査概要

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は子ども・子育て支援新制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を見直すにあたり、市民の子育てに関する現状等を把握し、子ども・子育て支援の実態や課題等を整理するための基礎資料とするために実施しました。

2 調査設計

- (1) 調査対象：①住民基本台帳から無作為抽出した就学前の児童のいる保護者
②学童保育利用児童のいる世帯の保護者
③私立幼稚園・認定こども園に通園している児童のいる世帯の保護者
- (2) 標本数：①1,000世帯、②700世帯、③700世帯
- (3) 抽出方法：①無作為抽出、②・③悉皆調査
- (4) 調査方法：①郵送による配布・回収（郵送法）
②・③各学童保育室及び各幼稚園・認定こども園を通じて配布・回収
- (5) 調査期間：①令和6年1月18日（木）～令和6年2月5日（月）
②・③令和6年1月26日（金）～令和6年2月5日（月）

3 実施内容

■就学前児童の保護者調査

- (1) お住まいの地域について
- (2) お子様とご家族の状況について
- (3) 子どもの育ちをめぐる環境について
- (4) 保護者の就労状況について
- (5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- (6) 地域の子育て支援事業の利用状況について
- (7) 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- (8) お子様の病気の際の対応について
- (9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- (10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について
- (11) 職場の両立支援制度について
- (12) 子育てのための経済的負担について
- (13) 子育て支援施策全般について

I 調査の概要

■学童保育利用児童の保護者調査

- (1) 学童保育を利用しているお子さんご家族の状況について
- (2) 平日の定期的な学童保育の利用状況について
- (3) 土曜・日曜・長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望について

■私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査

- (1) 通園中の幼稚園・在籍クラス・居住地域について
- (2) 就労状況について
- (3) 幼稚園の預かり保育の利用状況について
- (4) 他の保育事業の利用状況について
- (5) 今後の預かり保育利用希望について

4 回収状況

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	1,000 件	539 件	53.9%
学童保育利用児童の保護者	700 件	479 件	68.4%
私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者	700 件	431 件	61.6%

5 調査結果の表示方法

- (1) 調査結果の数値は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で表記しています。
ただし、年代別や経年変化などの母数が異なるものを比較する場合は、割合の差（ポイント）で表記しています。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（n）に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- (4) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

第2章 調査結果の概要

第2章 調査結果の概要

1 就学前児童の保護者調査

(1) 子育て家庭の状況

- 主に子育てをしている人では「父母ともに」の割合が57.9%で最も多くなっています。また、「主に母親」の割合が40.1%、「主に父親」の割合が0.6%となっています。
- 子どもをみてもらえる親族・友人では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が63.6%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が23.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が9.5%となっています。また、「いずれもない」の割合が15.0%あり、預かりサービス等の周知が必要です。
- 子育てについて気軽に相談できる人・場所では、「いる／ある」の割合が81.1%、「いない／ない」の割合が4.8%となっています。
- 相談相手・場所が「ある／いる」と回答した方の具体的な内容は「祖父母等の親族」の割合が84.0%で最も多く、次いで「友人や知人」の割合が67.0%となっており、上位にあげられた項目は身近な人となっています。

《子育て家庭の状況・課題》

- 家庭での子育て（教育を含む）を行っているのは、「父母ともに」（57.9%）が最も多く、前回調査時（46.3%）より11.6ポイント増加しています。今後もさらなる父親の子育てへの参加促進が重要です。
- 子どもをみてもらえる親族・友人がいない割合が15.0%あり、一時預かり保育等のサービスの周知が必要です。
- 子育てについて気軽に相談できる相手・場所がない割合が4.8%あり、電話相談、鶴ヶ島版ネウボウ等の周知及び利用促進が必要です。

(2) 保護者の就労状況

- 母親の就労状況について、「フルタイム（1週5日・1日8時間程度）で就労」の割合が38.8%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労」の割合が31.0%、合計した割合が69.8%となっています。
- 就労していない方は「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が28.2%、「これまで就労したことがない」の割合が1.3%となっています。
- パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が4.8%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない」の割合が26.3%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が52.1%、「パート・アルバイト等の就労を辞めて子育てや家事に専念したい」の割合が4.8%となっています。

○未就労の母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」の割合が43.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が26.4%となっています。また、就労したい一番下の子どもの年齢は「7歳以上になったところに就労したい」が最も多くなっています。

○父親の就労状況について、「フルタイム(1週5日・1日8時間程度)で就労」の割合が82.1%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労」の割合が0.7%、合計した割合が82.8%となっています。

《保護者の就労状況・課題》

- 保護者の就労状況は、母親が69.8%(前回調査時44.1%)、父親が82.8%(前回調査時89.9%)と、母親の就労している割合は前回調査時より25.7ポイント増加しています。
- パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、31.1%ありますが、実現できる見込みのある方は4.8%となっています。このようなフルタイムへの転換希望者に対する再就職情報、ファミリーサポート情報、保育所情報など関連情報のサポートが必要です。
- 未就労の母親の就労希望は、子どもが7歳以上になった頃が最も多く、認可保育所や幼稚園のニーズを的確に把握していくことが必要です。

(3) 教育・保育事業の利用状況

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

○幼稚園や認可保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況は「利用している」の割合が77.2%、「利用していない」の割合が21.9%となっています。

○現在利用している事業については、「認可保育所」の割合が37.7%、「幼稚園」の割合が37.0%、「幼稚園の預かり保育」の割合が14.9%、「認定こども園」の割合が12.5%となっています。

○平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が最も多く65.9%、「子どもの教育や発達のため」の割合が62.3%となっています。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業は、「幼稚園」の割合が51.9%、次いで「認可保育所」の割合が41.2%、「幼稚園の預かり保育」の割合が37.5%、「認定こども園」の割合が29.1%となっています。

《教育・保育事業の利用状況・課題》

■幼稚園や認可保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況は、「利用している」の割合が77.2%(前回調査時68.8%)、「利用していない」の割合が21.9%(前回調査時31.0%)と、利用している割合は前回調査時より8.4ポイント増加しています。

■平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由として「子育てをしている方が現在就労している」の割合が65.9%と、前回調査時(58.5%)より7.4ポイント増加しており、今後、保護者の就労状況や子育ての環境を考慮した上で、教育・保育ニーズの必要量の把握が必要です。

(4) 地域の子育て支援事業の利用状況

① 地域子育て支援事業の利用状況・認知度・利用状況・利用意向

- 地域の子育て支援事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」の割合が10.9%、「その他の鶴ヶ島市で実施している類似事業」の割合が15.0%となっています。
- 地域の子育て支援事業の利用希望は「利用していないが、今後利用したい」の割合が20.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が8.9%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が64.2%で高くなっています。
- 各種事業の認知度(知っているもの)について、「②保健センターの情報・相談事業」(77.6%)、「⑦市発行の子育てガイドブック」(74.2%)、「①母親(父親)学級、(ゆりかご教室)」(71.4%)となっています。
- 一方、「知らない」が多い順については、「③教育センターの教育相談」(53.8%)、「⑤市の家庭児童相談事業」(51.8%)、「⑥児童・家庭総合相談窓口(市のこども支援課)」(34.3%)となっています。
- 各種事業の利用状況(これまでに利用したことがあるもの)について、多い順に、「⑦市発行の子育てガイドブック」(42.1%)、「⑧市の子育て支援に関するホームページ」(41.9%)、「②保健センターの情報・相談事業」(36.0%)となっています。
- 一方、「利用したことがない」が多い順では、「⑤市の家庭児童相談事業」(80.5%)、「③教育センターの教育相談」(76.4%)、「④保育所等の園庭等の開放」(68.6%)となっています。
- 各種事業の利用意向(今後、利用したいと思うものを)について、多い順に、「⑧市の子育て支援に関するホームページ」(55.8%)、「⑦市発行の子育てガイドブック」(51.6%)、「②保健センターの情報・相談事業」(43.0%)となっています。
- 一方、「利用したいと思わない」が多い順では、「①母親(父親)学級、(ゆりかご教室)」(66.8%)、「⑤市の家庭児童相談事業」(59.0%)、「⑥児童・家庭総合相談窓口(市のこども支援課)」(46.0%)となっています。

≪地域子育て支援事業の利用状況・課題≫

- 「地域子育て支援拠点事業」の利用率は10.9%(前回調査時11.7%)、「その他の鶴ヶ島市で実施している類似事業」の利用率は15.0%(前回調査時13.3%)となっています。
- 市で行っている各種事業の認知度は、「保健センターの情報・相談事業」(77.6%)、「市発行の子育てガイドブック」(74.2%)、「母親(父親)学級、(ゆりかご教室)」(71.4%)の認知度が高くなっています。一方、「教育センターの教育相談」(53.8%)、「市の家庭児童相談事業」(51.8%)、「児童・家庭総合相談窓口(市のこども支援課)」(34.3%)は、認知度が低いことから各種事業の周知および利用促進を推進する必要があります。

(5) 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

- 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が62.3%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」が27.3%、「ほぼ毎週利用したい」が8.7%となっています。

- 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が76.4%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」が18.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%となっています。
- 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が62.8%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が41.3%、「リフレッシュのため」が40.1%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が2.9%となっています。
- 幼稚園を利用している方の定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が37.5%で最も多く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が30.0%、「利用する必要はない」が28.5%となっています。

《土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望・課題》

- 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が27.3%（前回調査時23.5%）、「ほぼ毎週利用したい」が8.7%（前回調査時9.7%）で合計36.0%（前回調査時33.2%）、日曜・祝日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が18.4%（前回調査時16.8%）、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%（前回調査時2.3%）で合計が21.2%（前回調査時19.1%）となっていることから、現状の利用状況や利用希望を踏まえ、対応を検討する必要があります。
- 土曜・日曜に教育・保育事業を利用したい理由は、「仕事のため」が62.8%、「平日に済ませられない用事のため」が41.3%となっています。「仕事」のように突発的に発生するケースでも利用がスムーズに行える体制が必要です。

（6）病児・病後児の利用状況

- お子さんがこの1年間に病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応をとる必要が「あった」割合が83.7%となっています。
- お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法では「母親が休んだ」が76.4%で最も多く、「父親が休んだ」は38.8%となっています。
- 「休んだ」と回答された方で、その際「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思ったかの割合は31.9%となっています。

《病児・病後児の利用状況・課題》

- 子どもが病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応をとる必要が「あった」割合が83.7%と前回調査時（71.7%）より12.0ポイント増加しています。対応として「母親が休んだ」割合が76.4%と前回調査時（71.8%）より4.6ポイント増加しています。なお、「父親が休んだ」割合（38.8%）も前回調査時（25.9%）より12.9ポイント増加しています。
- 母親のフルタイム、長時間のパートタイム就労が増えている現状からも、突発的な休みを取りやすい環境づくりや周囲の理解などを企業に求めていく必要があります。
- 子どもの病気やケガの対応で休んだ際に「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と31.9%（前回調査時34.1%）の方が回答していることから、病児・病後児保育等のサービスの周知が必要です。

（7）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用の状況

- 利用している不定期の教育・保育の事業は、「幼稚園の預かり保育」が12.8%、「一時預かり」が4.8%、「ファミリー・サポート・センター」が2.0%、「ベビーシッター」が0.4%となっています。
- 1年間の利用日数は、いずれも「1～5日」が最も多く、ベビーシッターは「6～10日」も多くなっています。
- 私用等の目的での事業の利用希望は、48.8%となっています。
- 保護者の用事による短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用したい」が16.0%となっています。

《不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用の状況・課題》

- 一時預かり等を実際に利用している割合に対し、利用意向は48.8%（前回調査時42.4%）と高くなっています。
- 保護者の用事により、泊りがけで家族以外に預けるケースとして、短期入所生活援助事業の利用希望は、16.0%となっています。
- 一時預かりの利用意向が高いことから、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリー・サポート・センター」、「ベビーシッター」などのサービスの周知をするとともに「トワイライトステイ」事業の検討も必要です。

（8）放課後の過ごし方の状況

① 小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方

- 希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が44.9%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が44.4%、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が35.4%、「放課後子ども教室」が15.7%、「児童館」が11.2%となっています。
- 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時」が53.2%で最も多くなっています。

② 小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方

- 希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が56.2%、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が47.8%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が31.5%、「児童館」が16.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が12.9%、「放課後子ども教室」が12.4%となっています。
- 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時」が46.4%で最も多くなっています。

《放課後の過ごし方の状況・課題》

- 放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向は、低学年が44.4%（前回調査時33.3%）、高学年は31.5%（前回調査時22.2%）で、高学年になると減少しています。
- 「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」の利用意向は、低学年が35.4%（前回調査時48.1%）、高学年は47.8%（前回調査時63.0%）で高学年になると伸びています。
- 「放課後児童クラブ（学童保育）」については、母親の就労希望が高く、今後、利用意向も伸びることが予想されることから、「放課後児童クラブ（学童保育）」の増設による施設定員の確保などの検討が必要です。

（9）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の状況

- 母親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中である）」が56.4%となっています。一方、父親は13.7%となっています。
- 母親が育児休業を取得していない理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」がともに25.7%、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がともに20.0%、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が14.3%となっています。父親は、「仕事が忙しかった」が48.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が43.5%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が38.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が38.7%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が22.2%となっています。
- 育児休業給付、保険料免除についての認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が56.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が21.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が18.9%となっています。
- 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用は、「利用した」が61.6%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が21.2%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が15.3%となっています。

《育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の状況・課題》

- 育児休業の取得は、母親が56.4%(前回調査時35.6%)、父親が13.7%(前回調査時3.5%)と、母親、父親ともに前回調査時より10ポイント以上増加しています。
- 育児休業を取得していない理由は、母親が「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」(25.7%)、父親が「仕事が忙しかった」(48.8%)が最も多くなっています。
- 育児休業給付、保険料免除の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が56.0%(前回調査時35.4%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が18.9%(前回調査時34.1%)と、認知度の向上がうかがえます。
- 育児休業取得、短時間勤務制度の導入、職場の両立支援制度(ワーク・ライフ・バランス)に向けた企業への働きかけや職場の環境づくりなど、関係機関等と連携した取組が必要です。

(10) 子育てのための経済的な負担の状況

- 現在の経済状況(家計状況)については、「ふつう(どちらともいえない)」が44.2%、『苦しい(「やや苦しい」が25.0%、「苦しい」が17.6%の合計)』が42.6%、『ゆとりがある(「ややゆとりがある」が7.1%、「ゆとりがある」が4.8%の合計)』が11.9%となっています。
- 公的資金の受給については、「保育料の免除(無料となっている)」が16.5%、「児童・生徒就学支援制度(学校の給食費の無料など)」が10.0%、「児童扶養手当(ひとり親家庭等のための手当)」が8.0%となっています。
- 安心して子どもを産み育てていくためにどのような生活支援制度があればよいかをたずねたところ、「高等教育(高校・大学等)にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」(81.4%)、「義務教育(小・中学校)にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」(77.6%)、「幼児教育・保育(幼稚園・保育所)にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」(73.5%)、「子どもを持つ親が働きやすい職場環境の改善」(67.0%)、「放課後の子どもたちの居場所の充実(学童保育など)」(62.3%)が上位にあげられています。

《子育てのための経済的な負担の状況・課題》

- 現在の経済状況(家計状況)については、「ふつう(どちらともいえない)」が44.2%(前回調査時47.0%)、『苦しい』が42.6%(前回調査時40.8%)、『ゆとりがある』が11.9%(前回調査時11.1%)となっています。
- 公的資金の受給は、延べ37.1%(前回調査時19.9%)になっています。
- 望まれる生活支援制度は、「高等教育(高校・大学等)にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」(81.4%)、「義務教育(小・中学校)にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」(77.6%)、「幼児教育・保育(幼稚園・保育所)にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」(73.5%)などが上位にあげられています。
- 安心して子どもを産み育てていくための経済的支援の拡充・充実の検討が必要です。

(11) 子育て全般

- お子さんに発達の悩みがあって悩んだとき、医療機関や公共機関に受診や相談をしたかについては、「受診や相談することができた」が 44.5%、「受診や相談することができなかった」が 4.1%となっています。
- 受診や相談をした人の相談先では、「保健センター」が 65.4%、「医療機関」が 47.1%、「子育てセンター」が 19.2%、「発育支援センター」が 13.3%となっています。
- お子さんにかかりつけ医がいるかでは、「いる」が 92.9%、「いない」が 5.9%となっています。
- かかりつけ医がいない理由は、「地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない」、「かかりつけ医の必要性を感じない」がともに 21.9%、「利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない」が 6.3%、「地域の医療サービスに不安がある」が 3.1%となっています。
- 地域における子育ての環境や支援への満足度は、「3（どちらともいえない）」が 39.9%、「4（満足度がやや高い）」が 23.4%、「2（満足度がやや低い）」が 21.3%、「1（満足度が低い）」が 6.7%、「5（満足度が高い）」が 5.9%となっています。

《子育て全般の状況・課題》

- 子どもの発達の悩みがあって悩んだとき、医療機関や公共機関に受診や相談をしたかについては、「受診や相談することができた」が 44.5%（前回調査時 46.6%）となっています。
- 受診や相談をした人の相談先では、「保健センター」が 65.4%、「医療機関」が 47.1%、「子育てセンター」が 19.2%、「発育支援センター」が 13.3%となっていることから、「保健センター」の対応が重要となっています。
- かかりつけ医がいない理由は、「かかりつけ医の必要性を感じない」が 21.9%となっていることから、気軽に何でも相談できるかかりつけ医がいれば、体調などに関して何でも相談できるので、必要なら医療面で早めの対策がとれ、専門家を的確に紹介できるなどのメリットを周知する必要があります。
- 地域における子育ての環境や支援への満足度では、高い（「4（満足度がやや高い）」が 23.4%と、「5（満足度が高い）」が 5.9%の合計）が 29.3%（前回調査時 27.4%）となっていることから、市民のニーズを把握した対応が必要です。

2 学童保育利用児童の保護者調査

(1) 平日の定期的な学童保育の利用状況

- 現在の平日の学童保育の利用日数は「5日」が73.1%、希望の利用日数でも「5日」が69.5%で最も多くなっています。
- 現在の利用時間（下校時から）は「18時」が52.0%、希望の利用時間でも「18時」が45.7%で最も多くなっています。
- 平日に定期的に学童保育を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が89.4%、「子どもの教育や発達のため」が5.4%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」が1.0%となっています。
- 学童保育を何年生まで利用させることを希望しているかでは、「小学6年生」が53.4%、「小学4年生」が15.9%、「小学5年生」が12.9%、「小学3年生」が8.1%となっています。

《平日の定期的な学童保育の利用状況・課題》

- 学童保育の利用は、現在の利用日数も希望の利用日数もともに「5日」が最も多くなっています。
- 利用時間（下校時から）は、現在の利用時間も希望の利用時間もともに「18時」となっています。
- 学童保育を何年生まで利用させることを希望しているかでは、「小学6年生」が53.4%（前回調査時66.2%）で最も多くなっています。学年ごとの利用状況を考慮した利用ニーズへの対応が必要です。

(2) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望

- 土曜日の学童保育の利用状況は、「利用していない」が79.1%、「利用している」が12.7%となっています。
- 土曜日の学童保育の利用状況は、「月に1～2回利用している」が68.9%、「ほぼ毎週利用している」が27.9%となっています。
- 1日あたりの利用時間は、現在は「8時間」が23.0%、希望も「8時間」が19.7%と最も多くなっています。
- 日曜・祝日の学童保育の利用希望は、「利用する必要はない」が76.2%、「月に1～2回は利用したい」が16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が0.4%となっています。
- 1日あたりの利用希望時間は、「8時間」、「10時間」がともに20.5%となっています。
- 長期休暇中の学童保育の利用状況は、「利用している」が90.6%、「利用していない」が4.0%となっています。
- 長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望は、1週あたりの利用日数では、現在は「5日」が70.7%、希望でも「5日」が69.6%で最も多くなっています。
- 現在の学童保育の利用における満足度は、「4（満足度がやや高い）」が37.6%で最も多く、次いで「3（どちらでもない）」が23.8%、「5（満足度が高い）」が22.8%、「2（満足度がやや低い）」が7.7%、「1（満足度が低い）」が0.8%となっています。

《土曜・休日や長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望・課題》

- 土曜日の学童保育の利用状況は、「利用している」が12.7%（前回調査時19.4%）となっています。
- 日曜・祝日の学童保育の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」が16.9%（前回調査時19.0%）、「ほぼ毎週利用したい」が0.4%（前回調査時2.8%）となっています。
- 長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望は、1週あたりの利用日数では、現在は「5日」が70.7%（前回調査時73.0%）、希望でも「5日」が69.6%（前回調査時65.9%）で最も多くなっているため、今後も利用ニーズを把握し、対応が必要です。

3 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査

(1) 保護者の就労状況

- 母親の就労状況は、「就労している」が52.7%、「就労していない」が45.2%となっています。就労している母親の就労形態は、「フルタイムで就労」の割合が29.1%、「パート・アルバイト等で就労」の割合が69.2%となっています。
- 就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が41.4%、「4日」が29.5%、「3日」が16.7%、「2日」が4.8%、「1日」が3.5%となっています。また、1日あたりの就労時間は、「5時間」「8時間」がともに19.8%、「6時間」が18.9%、「7時間」が15.4%、「4時間」が13.7%となっています。
- 父親の就労状況は、「就労している」が95.4%、「就労していない」が0.5%となっています。就労している父親の就労形態は、「フルタイムで就労」の割合が95.8%、「パート・アルバイト等で就労」の割合が0.5%となっています。
- 就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が71.8%、「6日」が21.9%、「7日」が1.9%、「3日」が1.7%、「4日」が1.0%となっています。また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が29.0%、「10時間」が23.4%、「12時間以上」が19.2%、「9時間」が17.5%、「11時間」が6.6%となっています。

《保護者の就労状況・課題》

- 母親は、52.7%（前回調査時 44.1%）が現在就労しており、父親は、95.4%（前回調査時 97.6%）が現在就労しています。
- 就労している日数は、母親、父親ともに「5日」がそれぞれ最も多くなっています。
- 就労している時間は、母親が「5時間」「8時間」、父親が「8時間」がそれぞれ最も多くなっています。
- 母親の就労時間と幼稚園の就園時間は関連があることから、保護者の利用ニーズを把握し、教育・保育サービス提供体制等の検討が必要と考えられます。

(2) 幼稚園の預かり保育の利用状況

- 現在の幼稚園における預かり保育の利用状況は、「現在、特に利用している保育事業等はない」が55.7%、「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」が34.0%、「現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」が2.8%となっています。
- 預かり保育を利用している人の1週あたりの利用日数は、「5日」が55.6%、「4日」が22.9%、「3日」が9.7%、「2日」が5.6%となっています。また、1日あたりの利用時間は、「4時間未満」が63.9%で最も多く、次いで「4時間」が18.8%、「5時間」が6.3%、「6時間」が3.5%となっています。

《幼稚園の預かり保育の利用状況・課題》

- 現在の幼稚園における預かり保育の利用状況は、「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」が34.0%（前回調査時21.1%）、「現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」が2.8%（前回調査時1.1%）となっています。
- 預かり保育を利用している人の1週あたりの利用日数は、「5日」が55.6%（前回調査時41.7%）で最も多く、1日あたりの利用時間は、「4時間未満」が63.9%（前回調査時49.2%）で最も多くなっています。引き続き、幼稚園の預かり保育についても、利用者のニーズを見極めつつ、安心して預けられる環境を整えていく必要があります。

(3) 他の保育事業の利用状況

- 他の保育事業を利用している人の保育事業の利用状況は、「認可外の保育施設」が16.7%、「保育所の一時預かり」が8.3%となっています。
- 1週あたりの利用日数は、「5日」が66.7%、「4日」が16.7%となっています。
- 1日あたりの利用時間は、「4時間未満」が33.3%、「8時間」が25.0%、「4時間」、「5時間」がともに16.7%となっています。

《他の保育事業の利用状況・課題》

- 他の保育事業の利用状況で、「ファミリー・サポート・センター事業」と「ベビーシッター」の利用がない理由としては、対象者が少ない結果と推測されますが、利用がない2つのサービスについてそれぞれの周知状況及び利用手続きに問題がないかなど利用者の増加に向けた検討が必要です。

(4) 今後の預かり保育の利用希望の状況

- 今後の預かり保育の利用希望は、「特に預かり保育や他の保育事業を利用したいとは思わない（必要がない）」が51.7%、「幼稚園の預かり保育を利用したい」が35.6%、「他の保育事業を利用したい」が1.3%となっています。
- 預かり保育を希望した人の1週あたりの希望日数は、「1日」、「3日」がともに26.2%で最も多くなっています。

《今後の預かり保育の利用希望の状況・課題》

- 今後の預かり保育の利用希望は、利用意向がない人が約半数となっていますが、「幼稚園の預かり保育を利用したい」が35.6%、「他の保育事業を利用したい」が1.3%と、一定の利用希望があることから、保護者の利用ニーズを把握し、的確な対応が必要です。
- 預かり保育を希望した人の1週あたりの希望日数は、「1日」、「3日」が26.2%で最も多くなっています。

第3章 就学前児童の保護者調査

第3章 就学前児童の保護者調査

1 お住まいの地域について

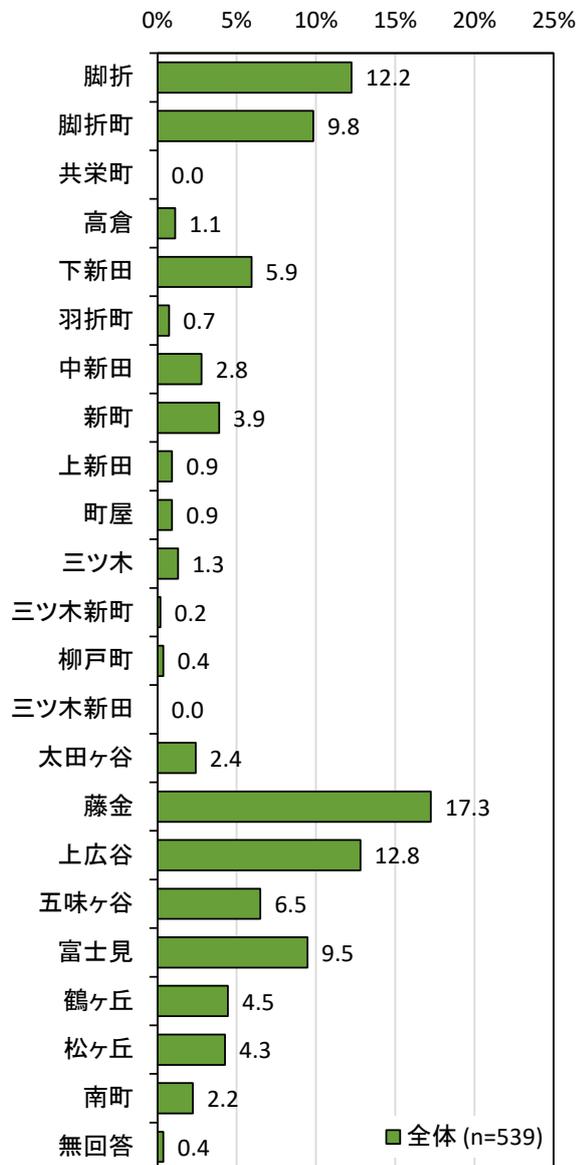
(1) 居住地域

問1 お住まいの地区及び小学校区についてお伺いします。

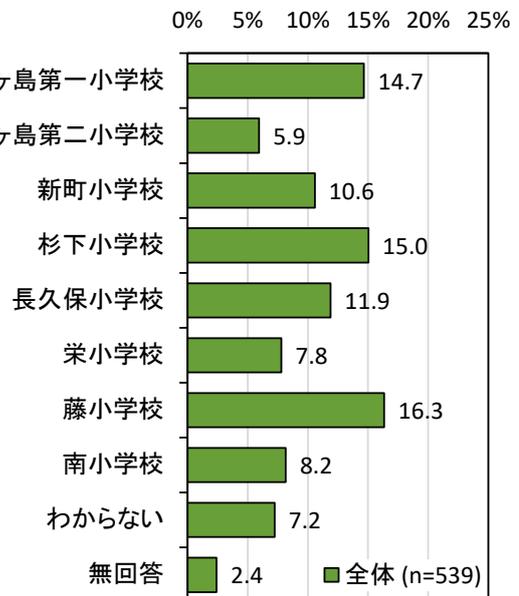
居住地区は、「藤金」が17.3%で最も多く、次いで「上広谷」が12.8%、「脚折」が12.2%、「脚折町」が9.8%、「富士見」が9.5%となっています。

小学校区は、「藤小学校」が16.3%で最も多く、次いで「杉下小学校」が15.0%、「鶴ヶ島第一小学校」が14.7%、「長久保小学校」が11.9%、「新町小学校」が10.6%となっています。

■お住まいの地区



■お住まいの地区の小学校区

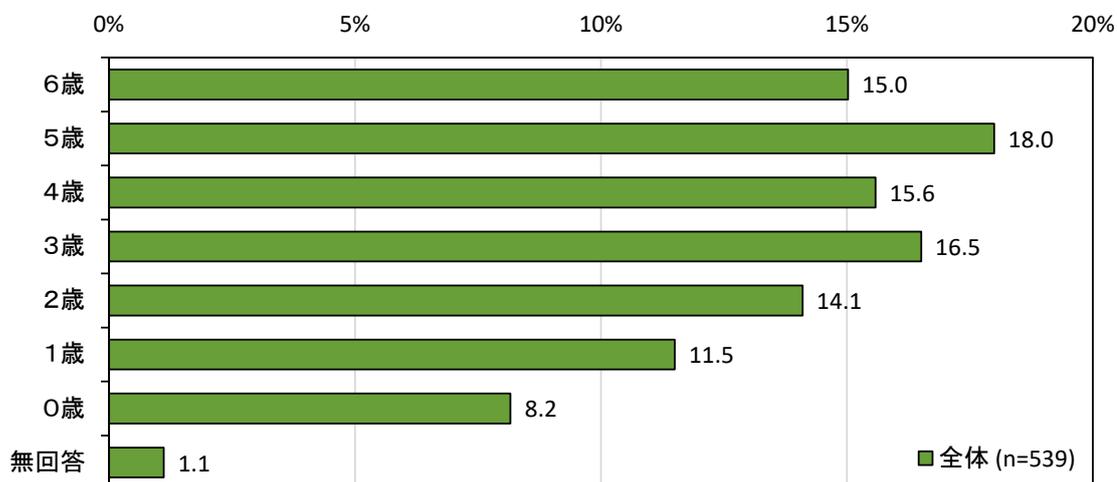


2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子様の生年月をご記入ください。

子どもの年齢は、「5歳」が18.0%で最も多く、次いで「3歳」が16.5%、「4歳」が15.6%、「6歳」が15.0%、「2歳」が14.1%、「1歳」が11.5%となっています。

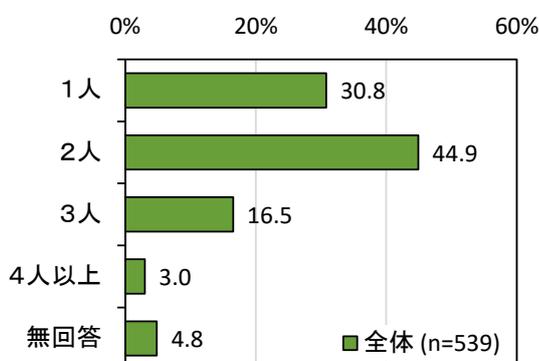


(2) 子どもの人数

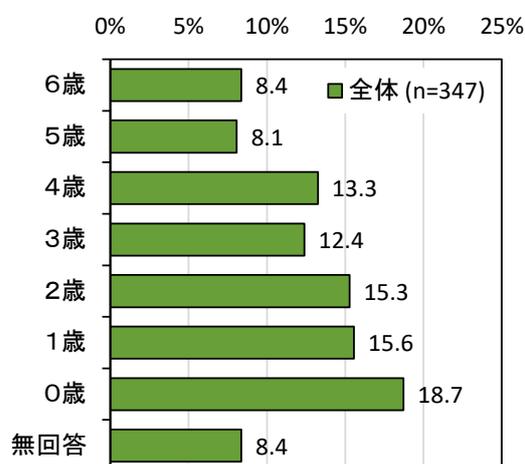
問3 宛名のお子様のきょうだいは(宛名のお子様を含め)何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子様がいいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの人数は、「2人」が44.9%で最も多く、次いで「1人」が30.8%、「3人」が16.5%、「4人以上」が3.0%となっています。また、末子の年齢は、「0歳」が18.7%で最も多く、次いで「1歳」が15.6%、「2歳」が15.3%、「4歳」が13.3%、「3歳」が12.4%となっています。

■きょうだいの数



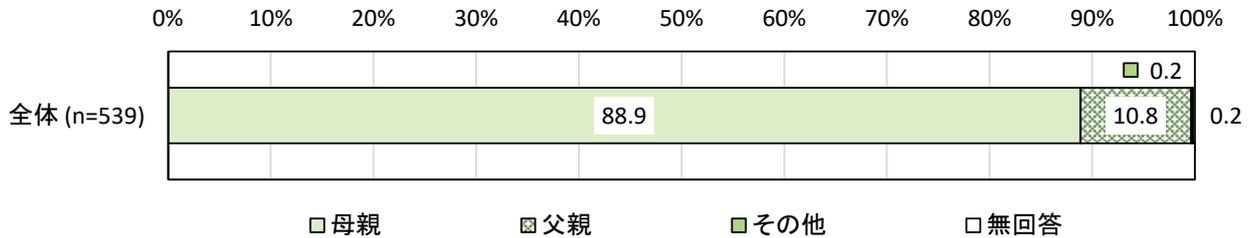
■末子の年齢



(3) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子様からみた関係でお答えください。(1つのみ)

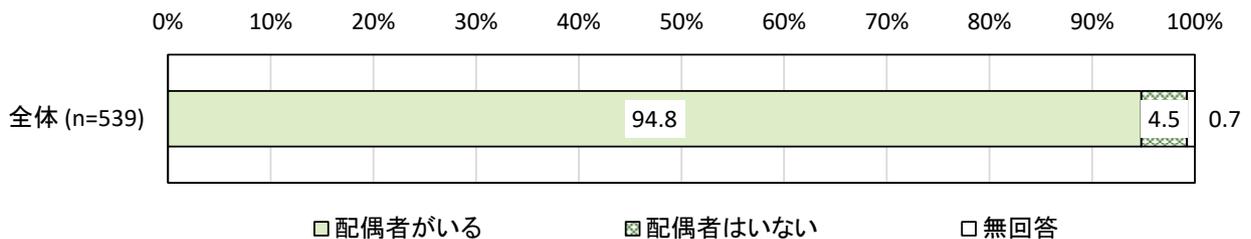
調査票回答者は、「母親」が88.9%、「父親」が10.8%となっています。



(4) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つのみ)

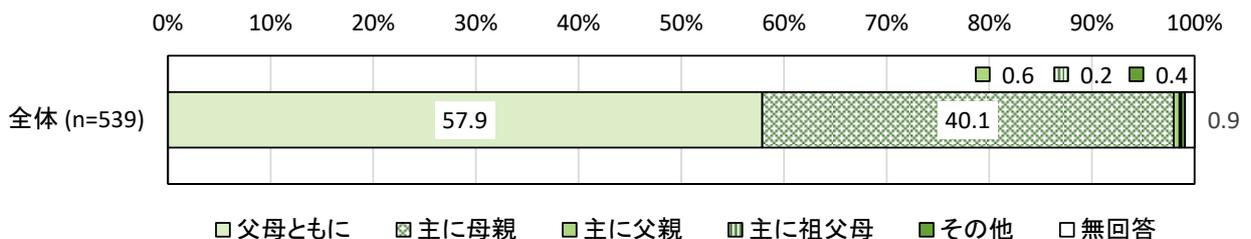
調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が94.8%、「配偶者はいない」が4.5%となっています。



(5) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子様の子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。(1つのみ)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が57.9%で最も多く、次いで「主に母親」が40.1%、「主に父親」が0.6%、「主に祖父母」が0.2%となっています。

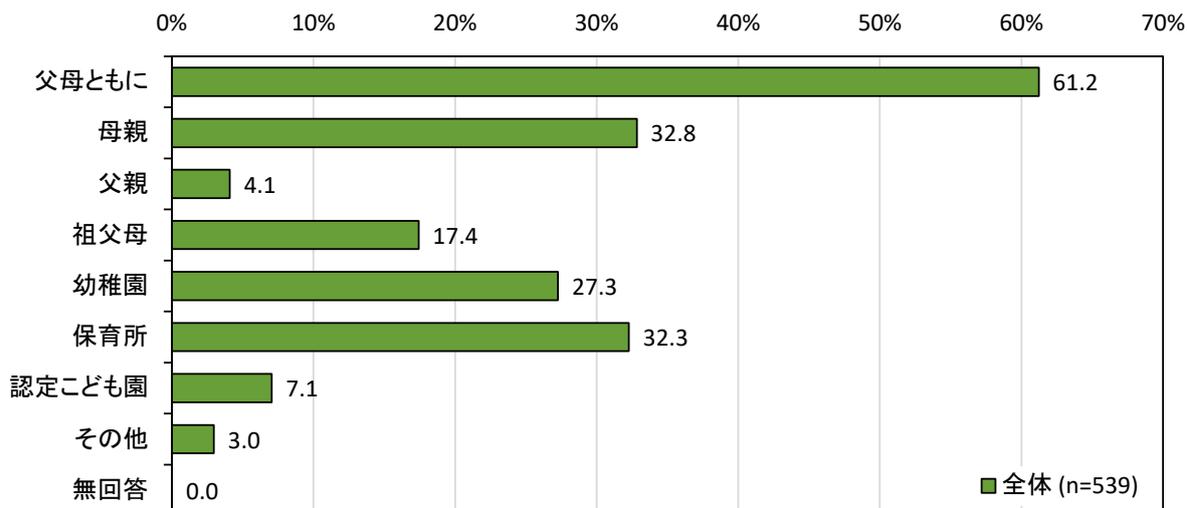


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子様の子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子様からみた関係でお答えください。（いくつでも）

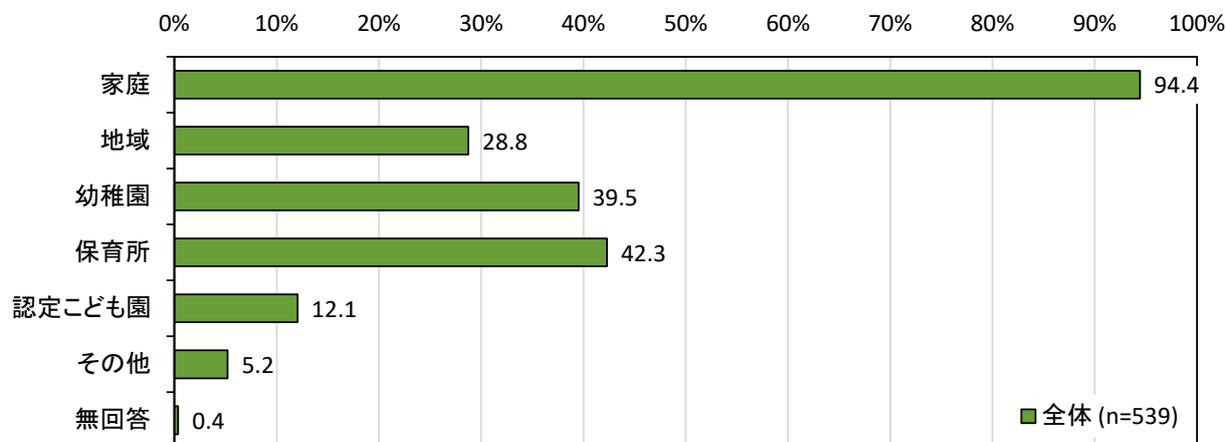
子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が61.2%で最も多く、次いで「母親」が32.8%、「保育所」が32.3%、「幼稚園」が27.3%、「祖父母」が17.4%となっています。



(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8 宛名のお子様の子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境をお答えください。（いくつでも）

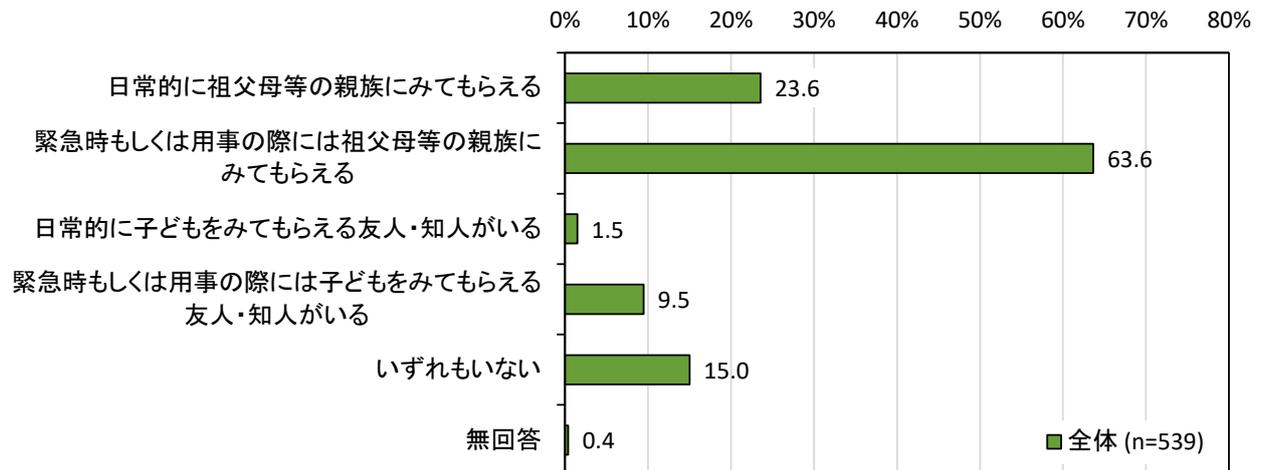
子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が94.4%で最も多く、次いで「保育所」が42.3%、「幼稚園」が39.5%、「地域」が28.8%、「認定こども園」が12.1%となっています。



(3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9 日頃、宛名のお子様をみてもらえる親族・知人はいますか。(いくつでも)

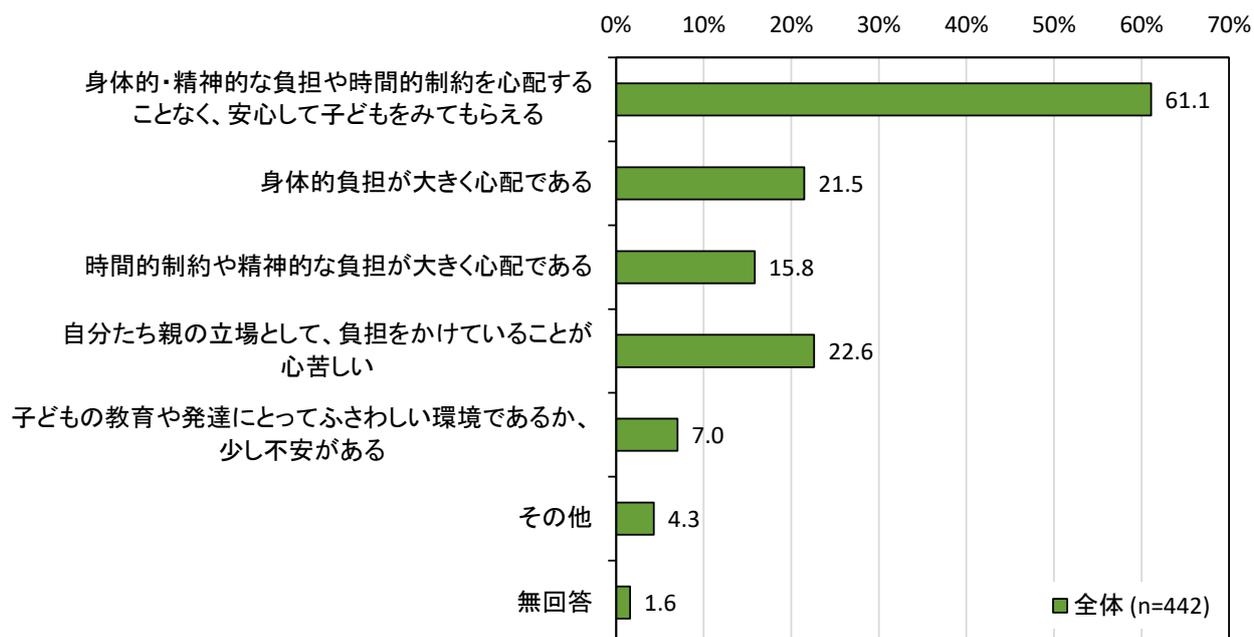
子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.6%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が23.6%、「いずれもない」が15.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が9.5%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.5%となっています。



(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方のみ
 祖父母等の親族にお子様をみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

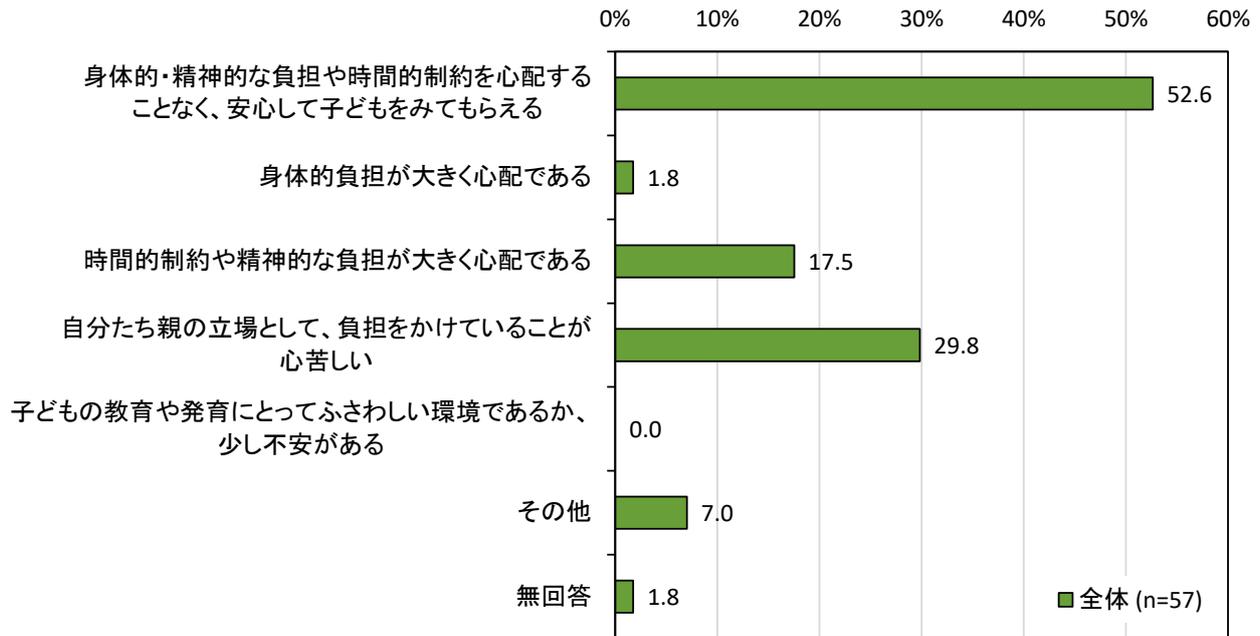
祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が61.1%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.6%、「身体的負担が大きく心配である」が21.5%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が15.8%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が7.0%となっています。



(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方のみ
友人・知人にお子様をみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

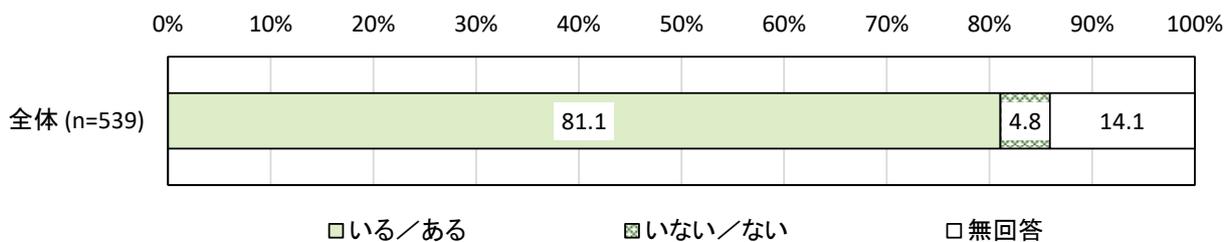
友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が52.6%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.8%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.5%、「身体的負担が大きく心配である」が1.8%、「身体的負担が大きく心配である」が1.8%となっています。



(6) 気軽に相談できる人・場所の有無

問10 宛名のお子様の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

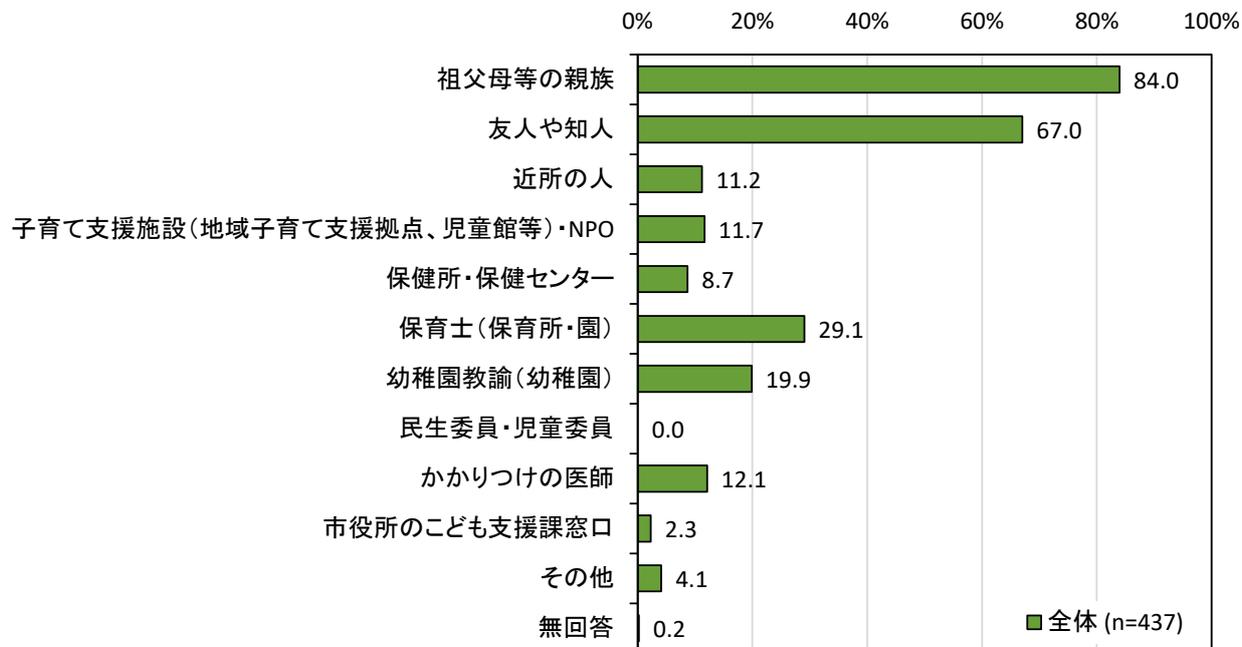
気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が81.1%、「いない／ない」が4.8%となっています。



(7) 気軽に相談できる人・場所

問10-1 問10で「いる／ある」と回答した方のみ
 お子様の子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（いくつでも）

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が 84.0%で最も多く、次いで「友人や知人」が67.0%、「保育士（保育所・園）」が29.1%、「幼稚園教諭（幼稚園）」が19.9%、「かかりつけの医師」が12.1%となっています。

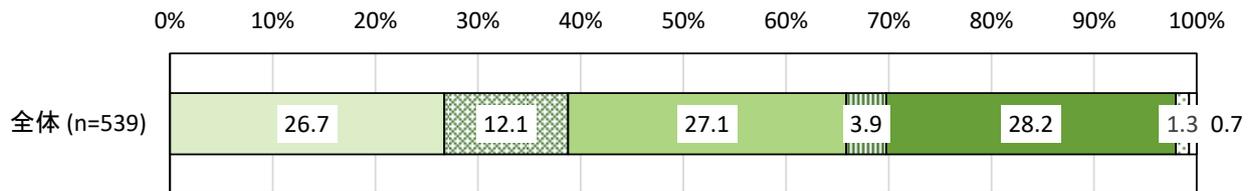


4 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

問12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。
 (1) 母親の状況について（1つのみ）【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が28.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.1%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.7%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が12.1%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が3.9%となっています。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

(2) 就労している母親の就労日数・就労時間・家を出る時刻・帰宅時刻

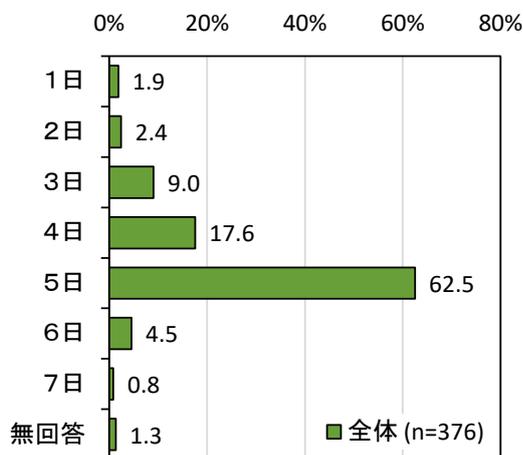
(1) 母親－①就労日数・就労時間、②家を出る時間・帰宅時間 問 12 (1) 母親の状況で“就労している”と回答した方のみ
 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 ※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

①就労日数・就労時間

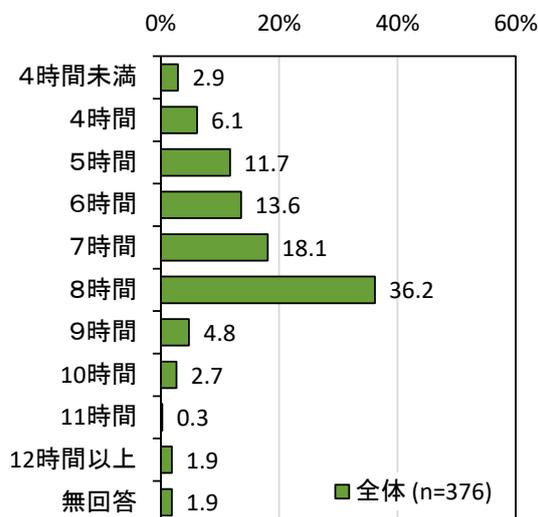
就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が62.5%で最も多く、次いで「4日」が17.6%、「3日」が9.0%、「6日」が4.5%、「2日」が2.4%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が36.2%で最も多く、次いで「7時間」が18.1%、「6時間」が13.6%、「5時間」が11.7%、「4時間」が6.1%となっています。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間

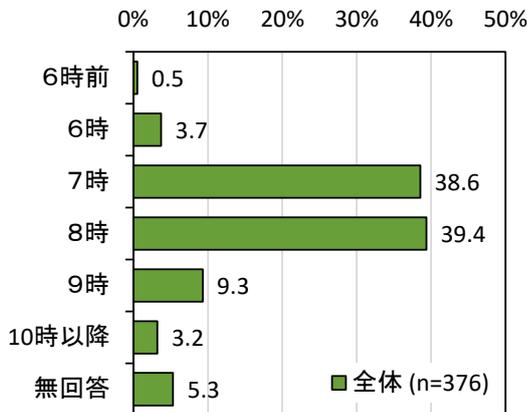


②家を出る時間・帰宅時間

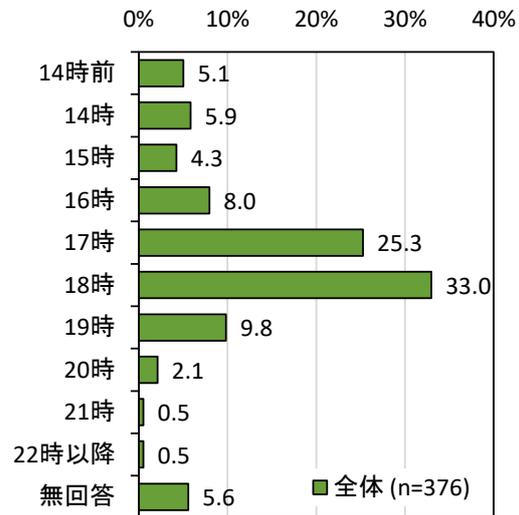
家を出る時刻は、「8時」が39.4%で最も多く、次いで「7時」が38.6%、「9時」が9.3%、「6時」が3.7%、「10時以降」が3.2%となっています。

また、帰宅時刻は、「18時」が33.0%で最も多く、次いで「17時」が25.3%、「19時」が9.8%、「16時」が8.0%、「14時」が5.9%となっています。

■家を出る時刻



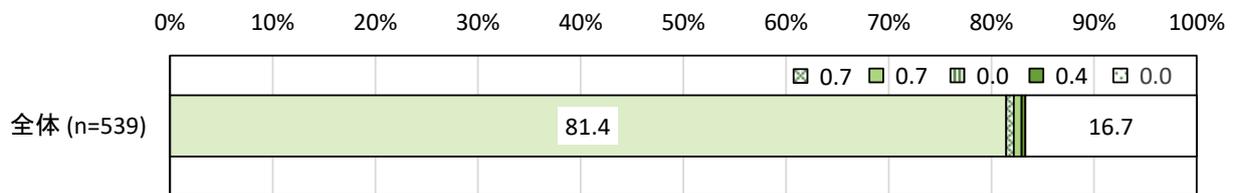
■帰宅時刻



(3) 父親の就労状況

問12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。
 (2) 父親の状況について（1つのみ）【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が81.4%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がともに0.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.4%となっています。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

(4) 就労している父親の就労日数・就労時間・家を出る時刻・帰宅時刻

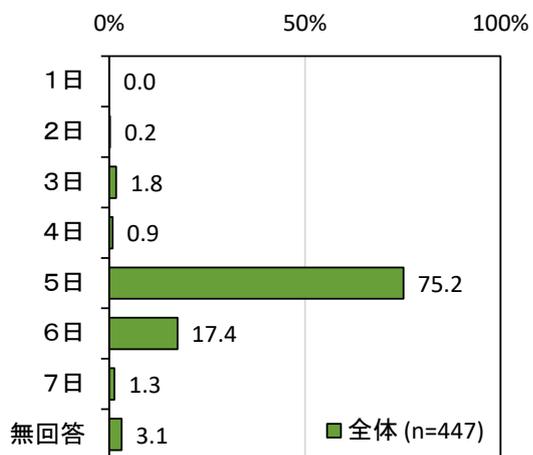
(2) 父親－①就労日数・就労時間、②家を出る時間・帰宅時間 問 12 (2) 父親の状況で“就労している”と回答した方のみ
 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 ※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

①就労日数・就労時間

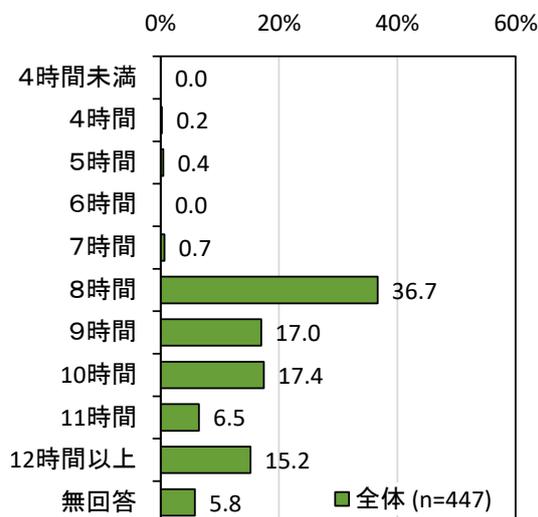
就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が75.2%で最も多く、次いで「6日」が17.4%、「3日」が1.8%、「7日」が1.3%、「4日」が0.9%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が36.7%で最も多く、次いで「10時間」が17.4%、「9時間」が17.0%、「12時間以上」が15.2%、「11時間」が6.5%となっています。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間

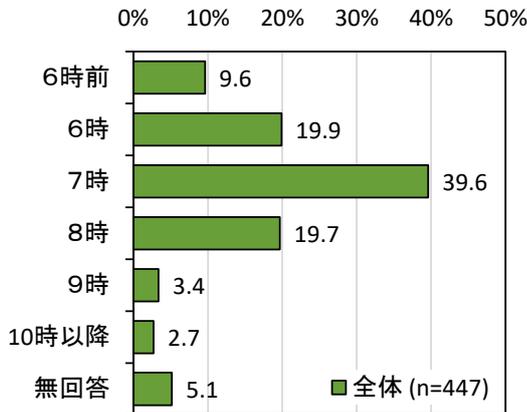


②家を出る時間・帰宅時間

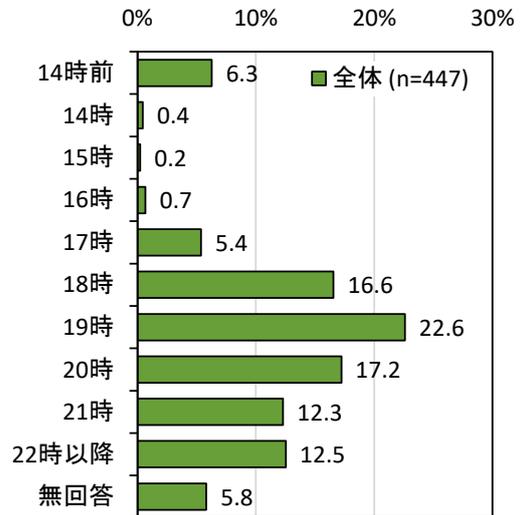
家を出る時刻は、「7時」が39.6%で最も多く、次いで「6時」が19.9%、「8時」が19.7%、「6時前」が9.6%、「9時」が3.4%となっています。

また、帰宅時刻は、「19時」が22.6%で最も多く、次いで「20時」が17.2%、「18時」が16.6%、「22時以降」が12.5%、「21時」が12.3%となっています。

■家を出る時刻



■帰宅時刻



(5) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問12-1 (1) 母親 問12の(1) 母親の状況で“パート・アルバイト等で就労している”と回答した方のみ
 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.1%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」がともに4.8%となっています。

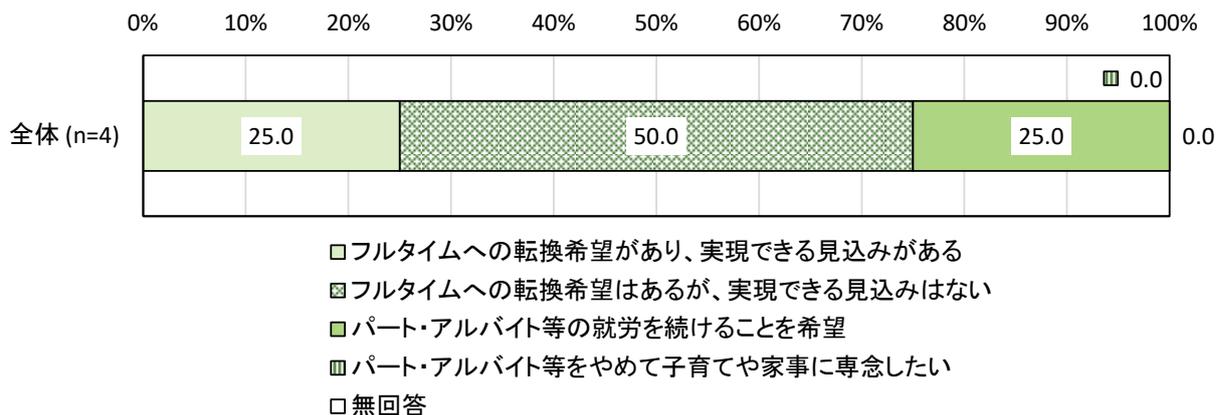


- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(6) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問12-1(2) 父親 問12の(2) 父親の状況で“パート・アルバイト等で就労している”と回答した方のみ
 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が50.0%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がともに25.0%となっています。



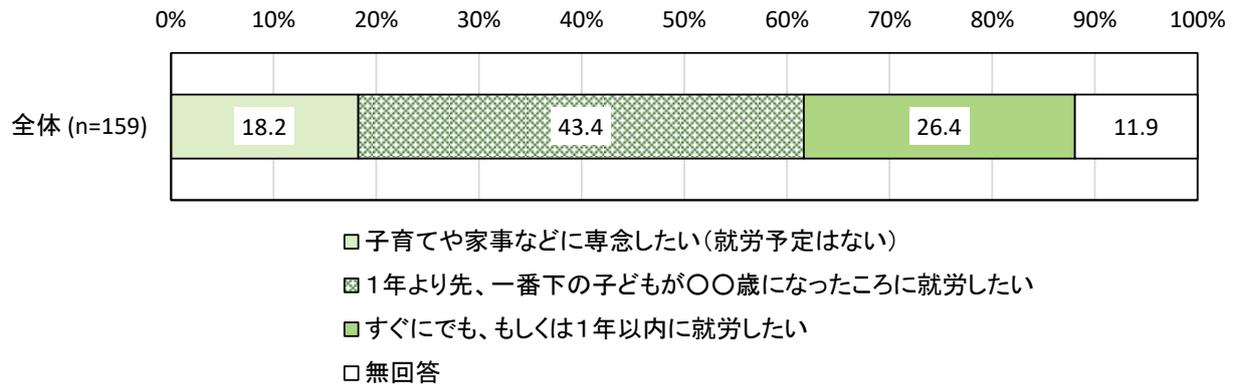
(7) 就労していない母親の就労希望

問12-2(1) 母親 問12の(1) 母親の状況で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方にお伺いします。

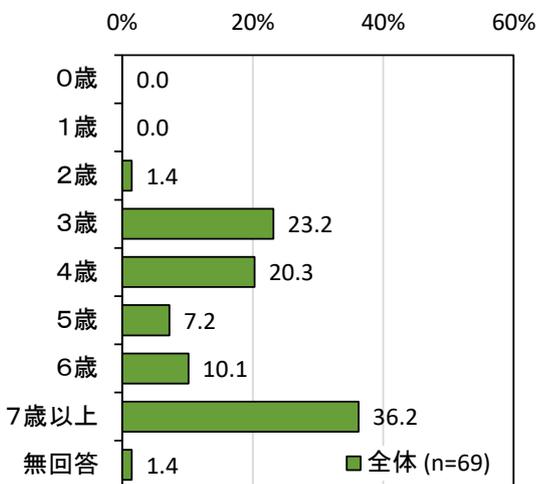
就労したいという希望はありますか。(1つのみ) また、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」と回答した方は、就労希望時の下の子どもの年齢もお答えください。

就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が43.4%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が26.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」が18.2%となっています。

なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「7歳以上」が36.2%で最も多く、次いで「3歳」が23.2%、「4歳」が20.3%、「6歳」が10.1%となっています。



■ 母親の就労希望時の下の子どもの年齢 (一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい)



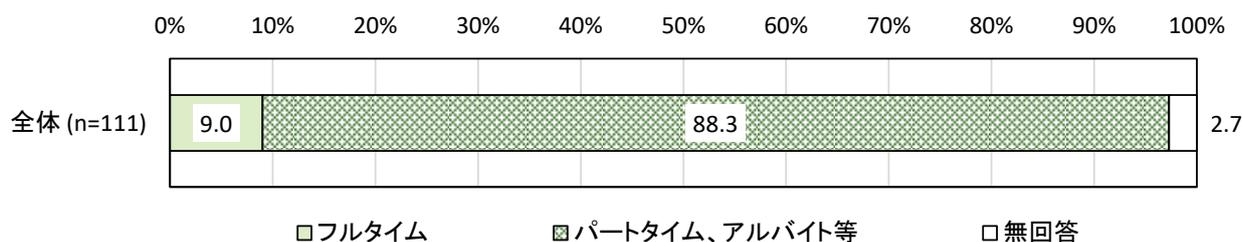
●問 12-2 (1) 母親で“就労希望がある”方は、希望する就労形態と就労日数・就労時間をお答えください。

就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が88.3%、「フルタイム」が9.0%となっています。

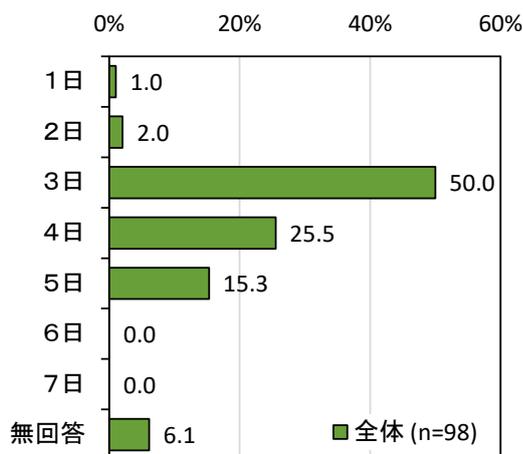
パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週あたりの就労日数は、「3日」が50.0%で最も多く、次いで「4日」が25.5%、「5日」が15.3%、「2日」が2.0%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「4時間」が43.9%で最も多く、次いで「5時間」が28.6%、「6時間」が11.2%、「4時間未満」が3.1%となっています。

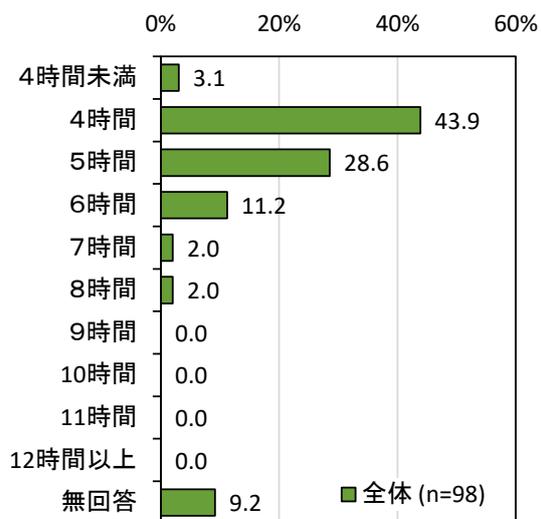
■希望する就労形態



■希望する1週あたりの就労日数



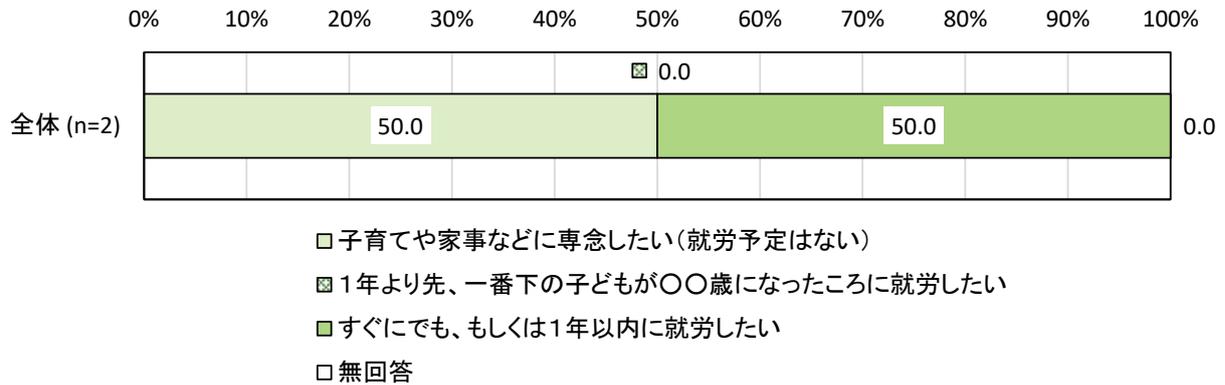
■希望する1日あたりの就労時間



(8) 就労していない父親の就労希望

問12-2(2) 父親 問12の(2) 父親の状況で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方にお伺いします。
就労したいという希望はありますか。(1つのみ)

就労していない父親の就労希望について対象者2名の回答は、「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに1名ずつとなっています。



●問12-2(2) 父親で“就労希望がある”方は、希望する就労形態と就労日数・就労時間をお答えください。

就労したい父親が希望する就労形態について対象者1名の回答は、「パートタイム、アルバイト等」となっています。

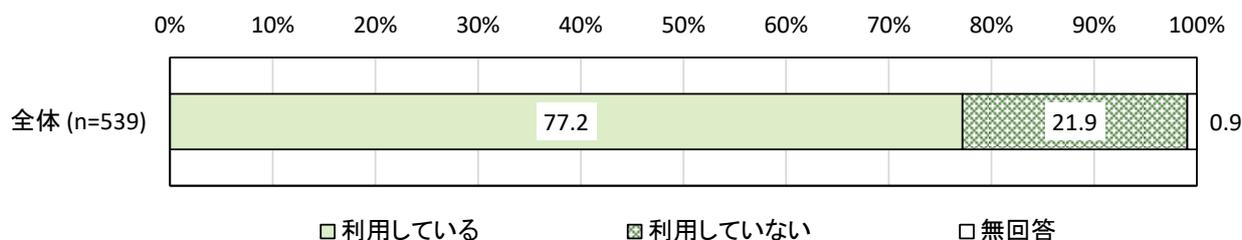
パートタイム、アルバイト等を希望する対象者1名の1週あたりの就労日数は「3日」、1日あたりの就労時間は無回答でした。

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

問 13 宛名のお子様は現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つのみ)

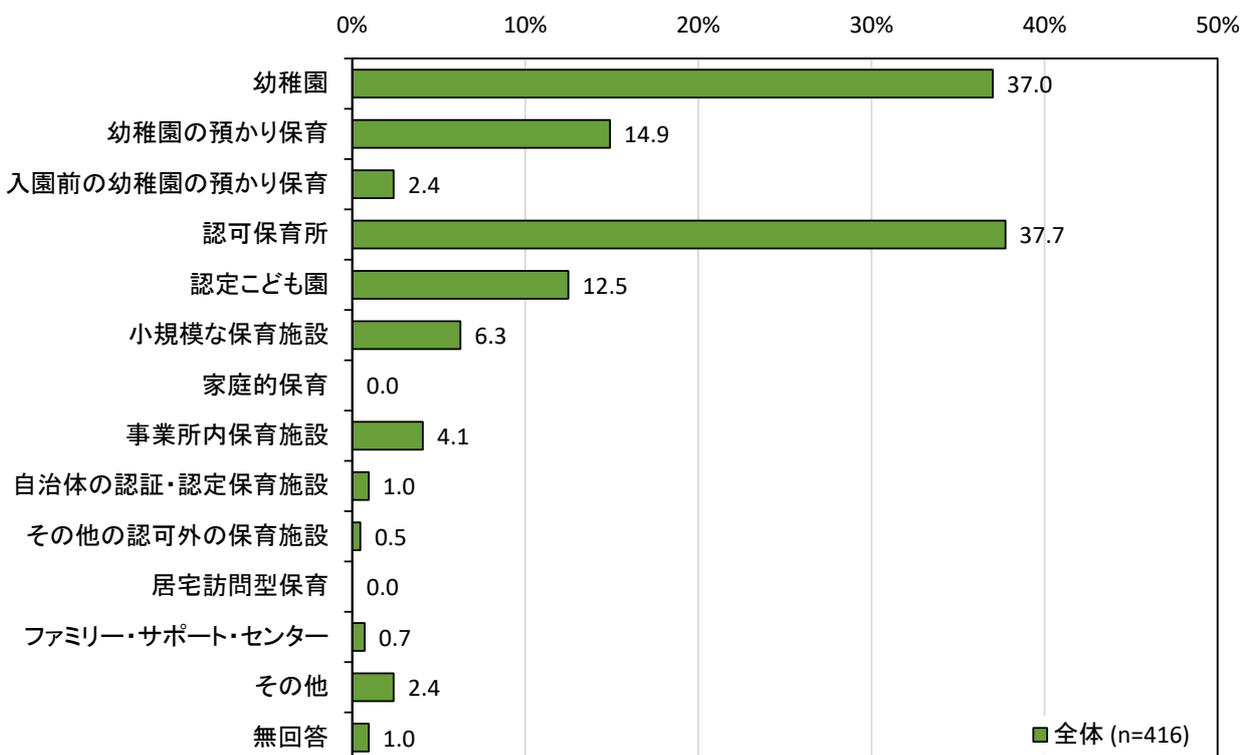
平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が77.2%、「利用していない」が21.9%となっています。



(2) 利用している平日の定期的な教育・保育の事業

問 13-1 問 13 で「利用している」と回答した方のみ
宛名のお子様は、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(いくつでも)

利用している平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育所」が37.7%で最も多く、次いで「幼稚園」が37.0%、「幼稚園の預かり保育」が14.9%、「認定こども園」が12.5%、「小規模な保育施設」が6.3%となっています。



(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望

問13-2 問13で「利用している」と回答した方のみ

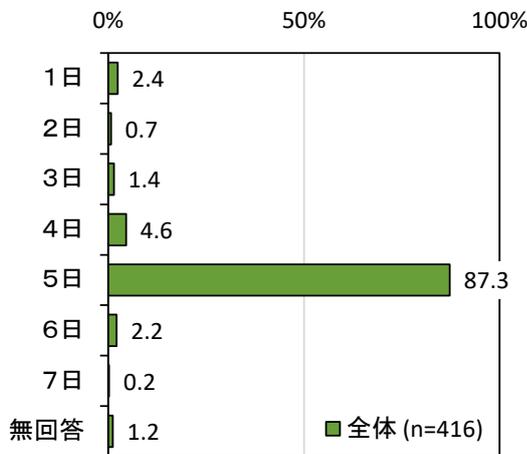
平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

平日の定期的な教育・保育の事業の1週あたりの現在の利用日数は、「5日」が87.3%で最も多く、希望の利用日数も「5日」が59.9%で最も多くなっています。

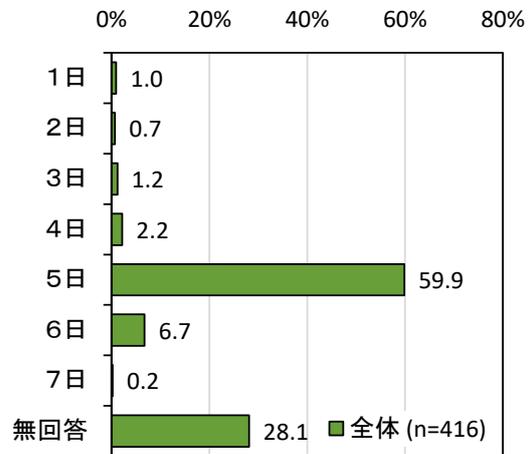
1日あたりの現在の利用時間は、「9時間」が18.0%で最も多く、次いで「5時間」が16.8%となっています。希望の利用時間は「8時間」が13.9%で最も多く、次いで「9時間」が13.0%となっています。

■ 1週あたりの利用日数

【現在】

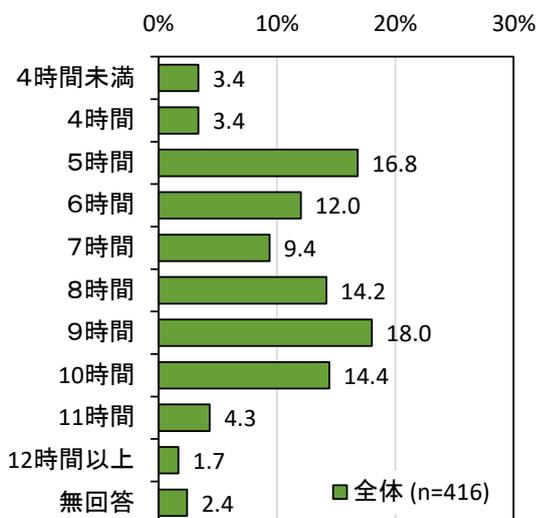


【希望】

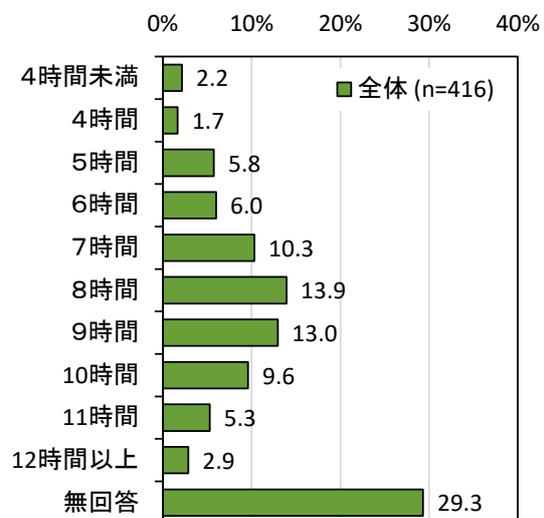


■ 1日あたりの利用時間

【現在】



【希望】



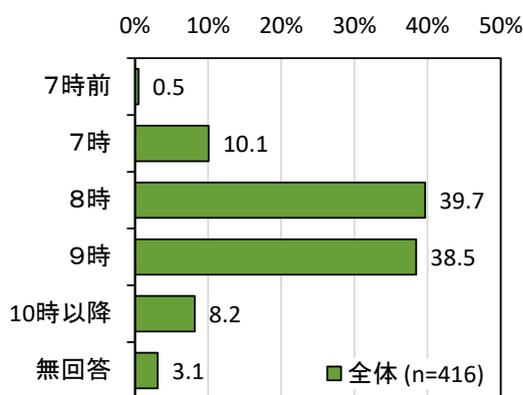
●平日に定期的に利用している教育・保育の事業の現在および希望の利用開始時刻・利用終了時刻をお答えください。

現在の利用開始時刻は、「8時」が39.7%で最も多く、次いで「9時」が38.5%となっており、希望の開始時刻も、「8時」が31.3%で最も多く、次いで「9時」が25.0%となっています。

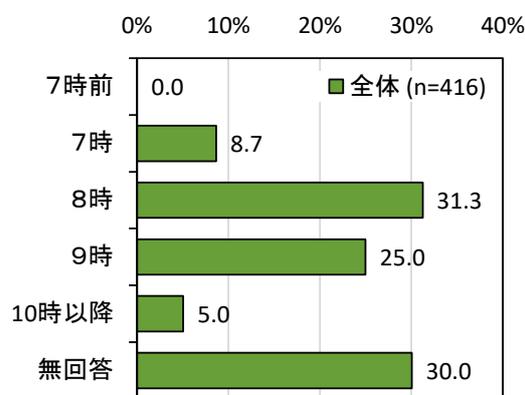
現在の利用終了時刻は、「14時」が24.0%で最も多く、次いで「18時」が23.1%となっていますが、希望の終了時刻は、「18時」が16.8%で最も多く、次いで「17時」が16.3%となっています。

■利用開始時刻

【現在】

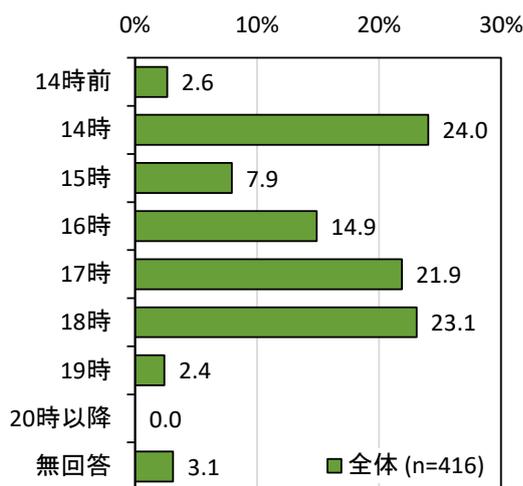


【希望】

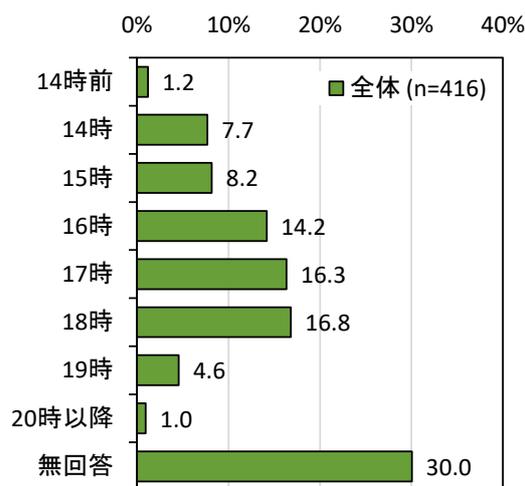


■利用終了時刻

【現在】



【希望】

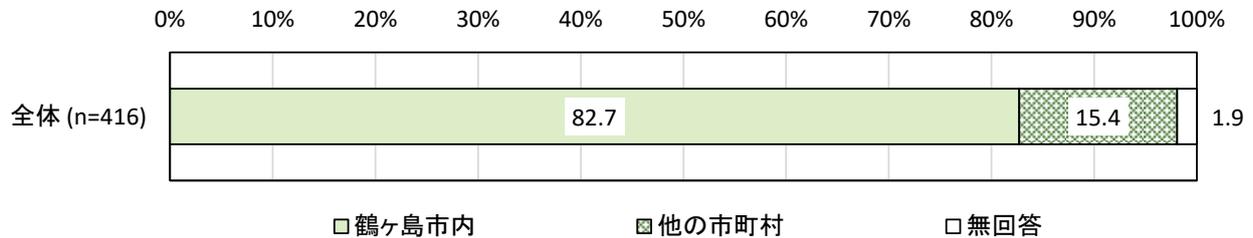


(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

問13-3 問13で「利用している」と回答した方のみ

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つのみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所は、「鶴ヶ島市内」が82.7%、「他の市町村」が15.4%となっています。

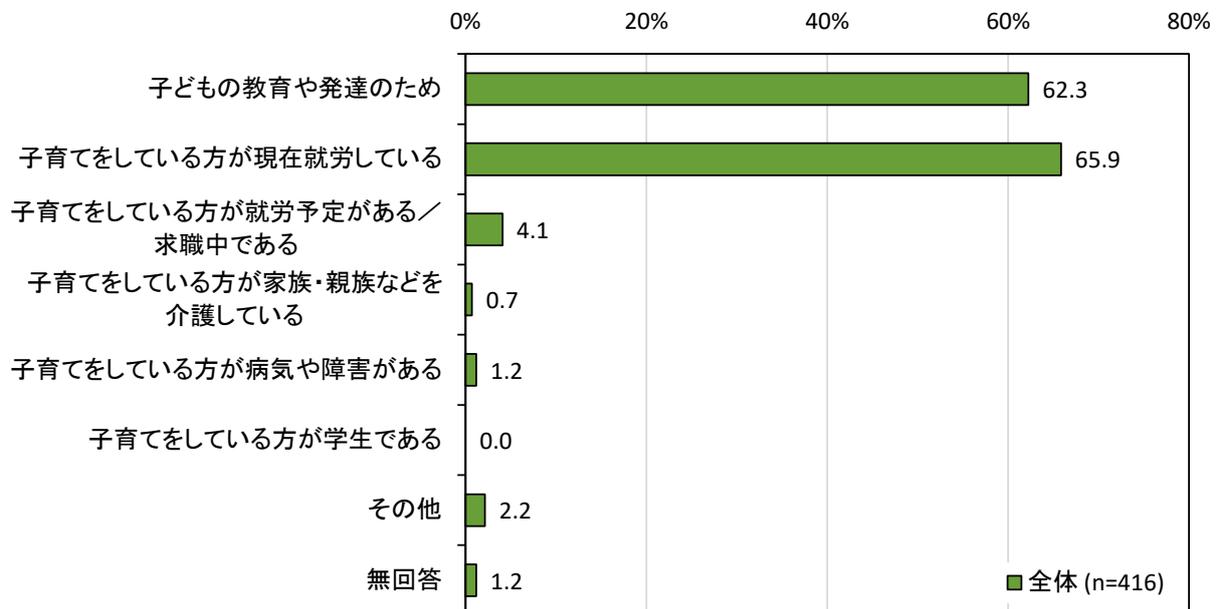


(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

問13-4 問13で「利用している」と回答した方のみ

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。(いくつでも)

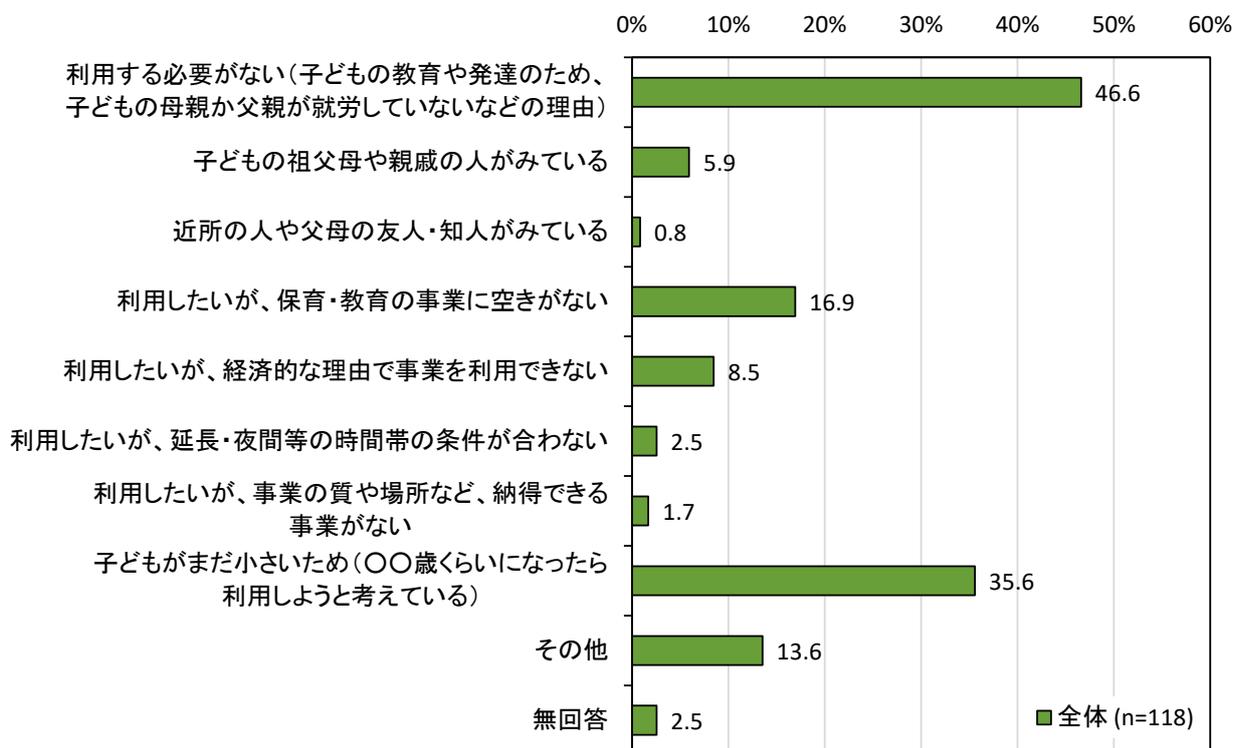
平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が65.9%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が62.3%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」が4.1%となっています。



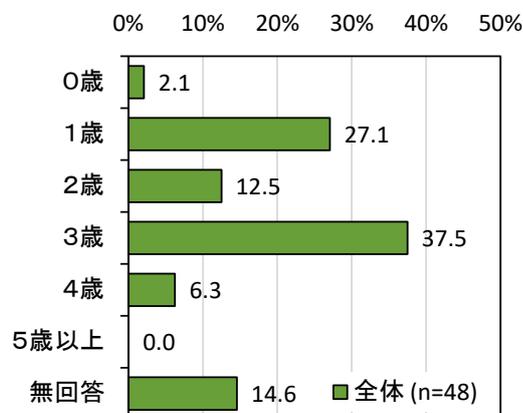
(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

問13-5 問13で「利用していない」と回答した方にお伺いします。
 利用していない理由としてあてはまるものをお答えください。(いくつでも) また、「子どもがまだ小さいため(〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した方は、事業の利用を予定している子どもの年齢もお答えください。

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由)」が46.6%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため(〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている)」が35.6%となっています。なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3歳」が37.5%で最も多くなっています。



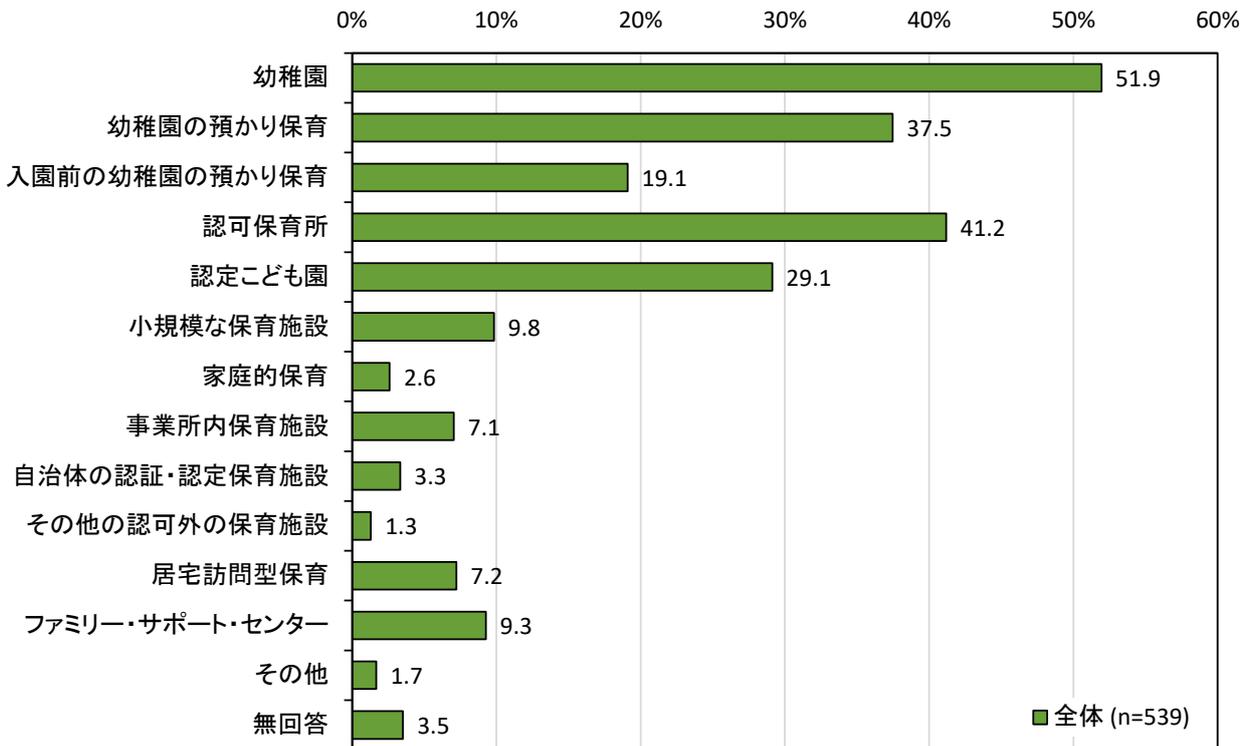
■事業の利用を予定している子どもの年齢 (〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている)



(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問 14 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子様の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(いくつでも)

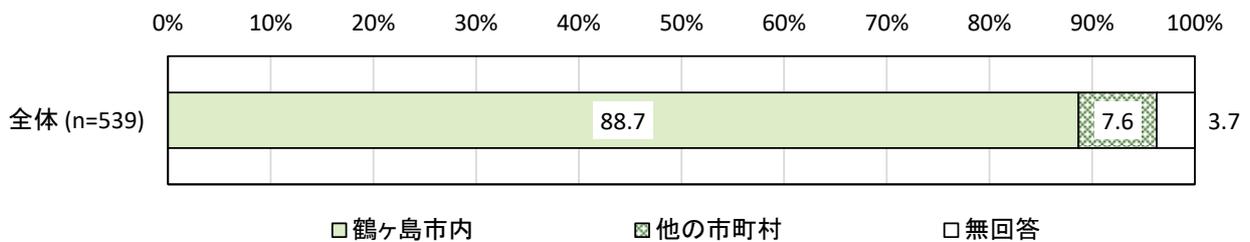
利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「幼稚園」が51.9%で最も多く、次いで「認可保育所」が41.2%、「幼稚園の預かり保育」が37.5%、「認定こども園」が29.1%、「入園前の幼稚園の預かり保育」が19.1%となっています。



(8) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(1つのみ)

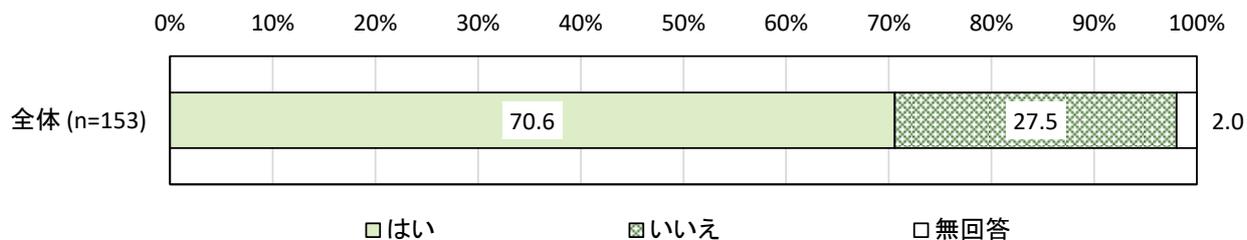
平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所は、「鶴ヶ島市内」が88.7%、「他の市町村」が7.6%となっています。



(9) 幼稚園の強い利用希望

問14-2 問14で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と回答し、かつ「認可保育所」から「その他」までのいずれかを回答した方のみ
 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つのみ）

幼稚園と幼稚園以外の事業の利用を希望する場合の幼稚園の強い利用希望は、「はい」が70.6%、「いいえ」が27.5%となっています。



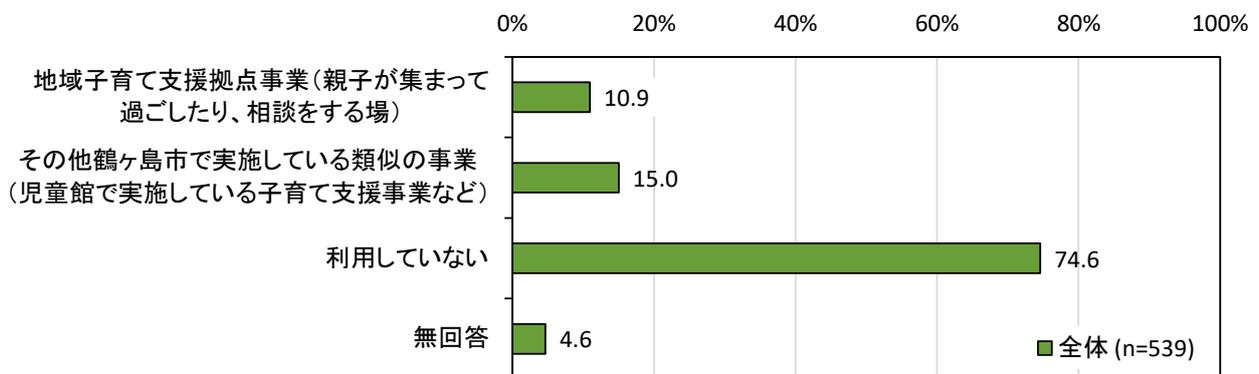
6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 15 宛名のお子様は、現在、地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」「子育てセンター」など）を利用していますか。（いくつでも）利用している場合は、おおよその利用回数もお答えください。

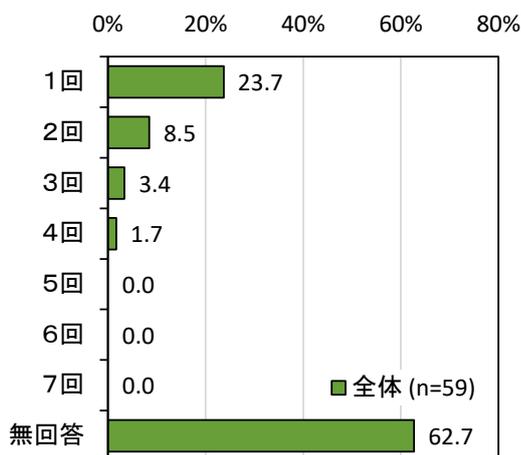
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「その他鶴ヶ島市で実施している類似の事業」が15.0%、「地域子育て支援拠点事業」が10.9%となっています。

それぞれ利用している人の利用回数は、地域子育て支援拠点事業、その他鶴ヶ島市で実施している類似の事業ともに、1週あたりでは「1回」、1か月あたりでも「1回」が最も多く、その他鶴ヶ島市で実施している類似の事業の1週あたりの利用回数は、「2回」も「1回」と同率で最も多くなっています。

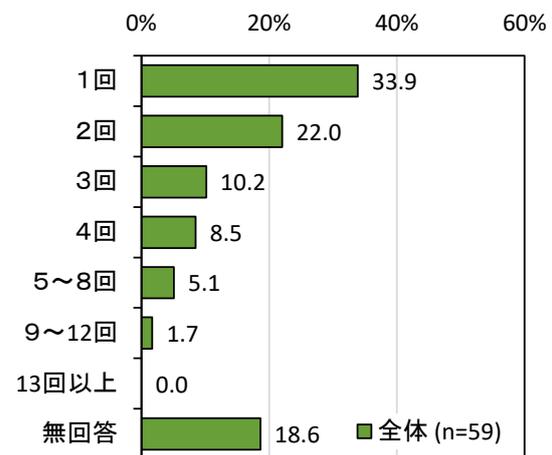


■ 「地域子育て支援拠点事業」の利用回数

【1週あたりの利用回数】

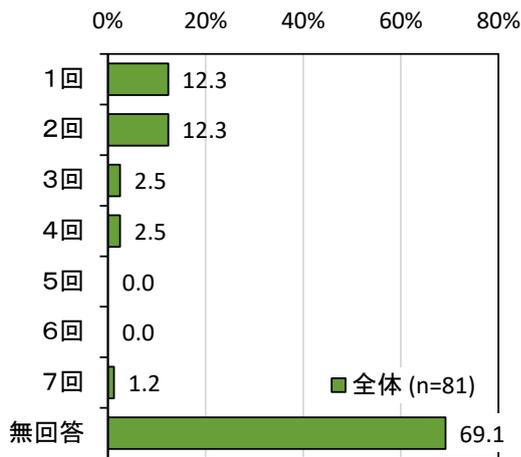


【1か月あたりの利用回数】

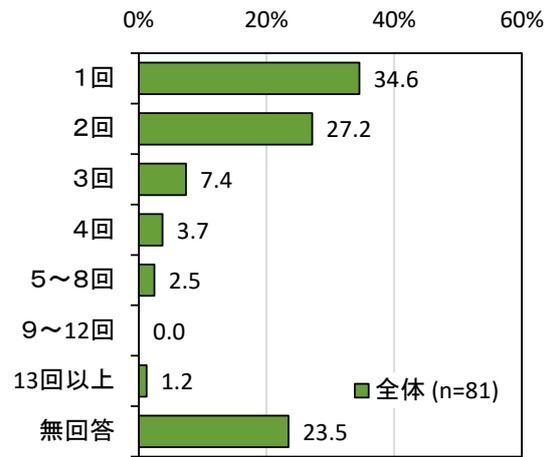


■「その他鶴ヶ島市で実施している類似の事業」の利用回数

【1週あたりの利用回数】



【1か月あたりの利用回数】



(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問16 問15のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(1つのみ) 利用希望がある場合は、おおよその利用回数もお答えください。

地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が64.2%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が20.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が8.9%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答した方の利用回数は、1週あたりでは「1回」、1か月あたりでは「1回」が最も多くなっています。

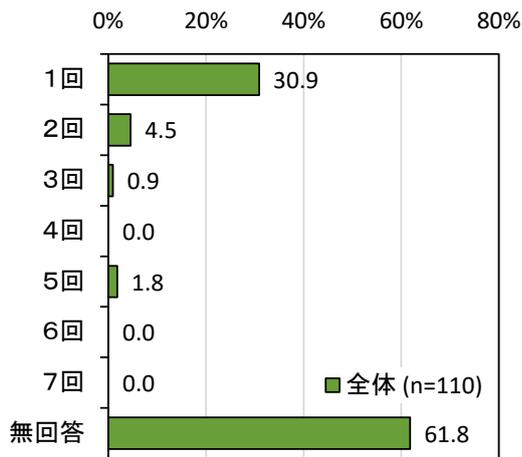
また、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した方の利用回数は、1週あたりでは「1回」、1か月あたりでは「2回」が最も多くなっています。



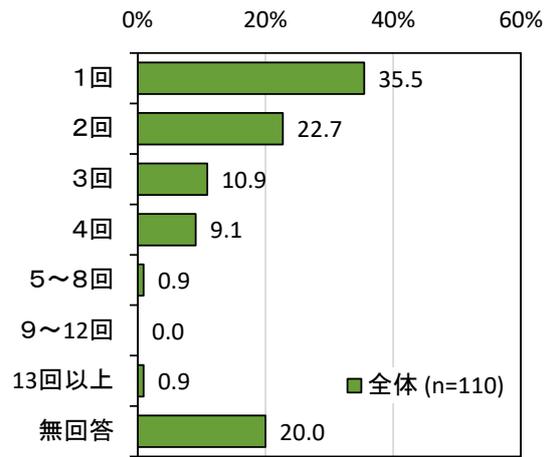
- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

■「利用していないが、今後利用したい」場合の利用回数

【1週あたりの利用回数】

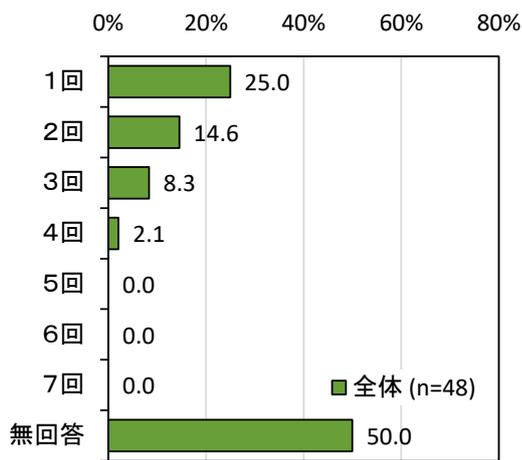


【1か月あたりの利用回数】

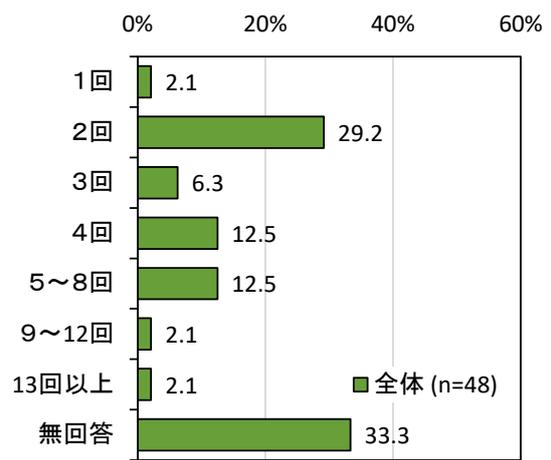


■「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」場合の利用増加回数

【1週あたりの利用増加回数】



【1か月あたりの利用増加回数】

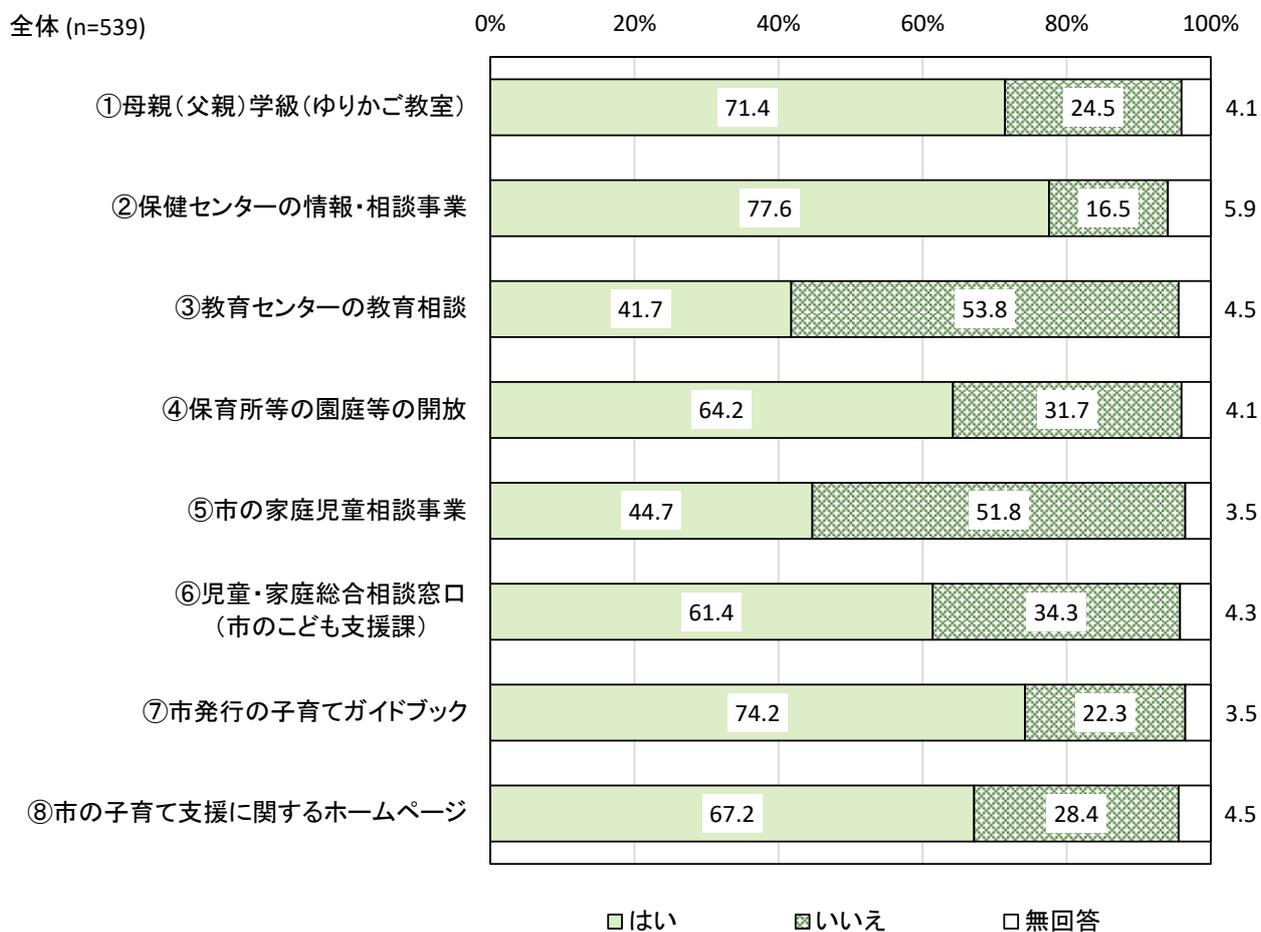


(3) 各種事業の認知度

問 17 次の市の事業やサービスについて、A 認知度について「はい」「いいえ」のどちらかに回答してください。(事業ごとに1つのみ)

各種事業の認知度(知っているもの)について、「はい」が多い順に、「②保健センターの情報・相談事業」(77.6%)、「⑦市発行の子育てガイドブック」(74.2%)、「①母親(父親)学級、(ゆりかご教室)」(71.4%)、「⑧市の子育て支援に関するホームページ」(67.2%)、「④保育所等の園庭等の開放」(64.2%)となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「③教育センターの教育相談」(53.8%)、「⑤市の家庭児童相談事業」(51.8%)、「⑥児童・家庭総合相談窓口(市のこども支援課)」(34.3%)、「④保育所等の園庭等の開放」(31.7%)、「⑧市の子育て支援に関するホームページ」(28.4%)となっています。

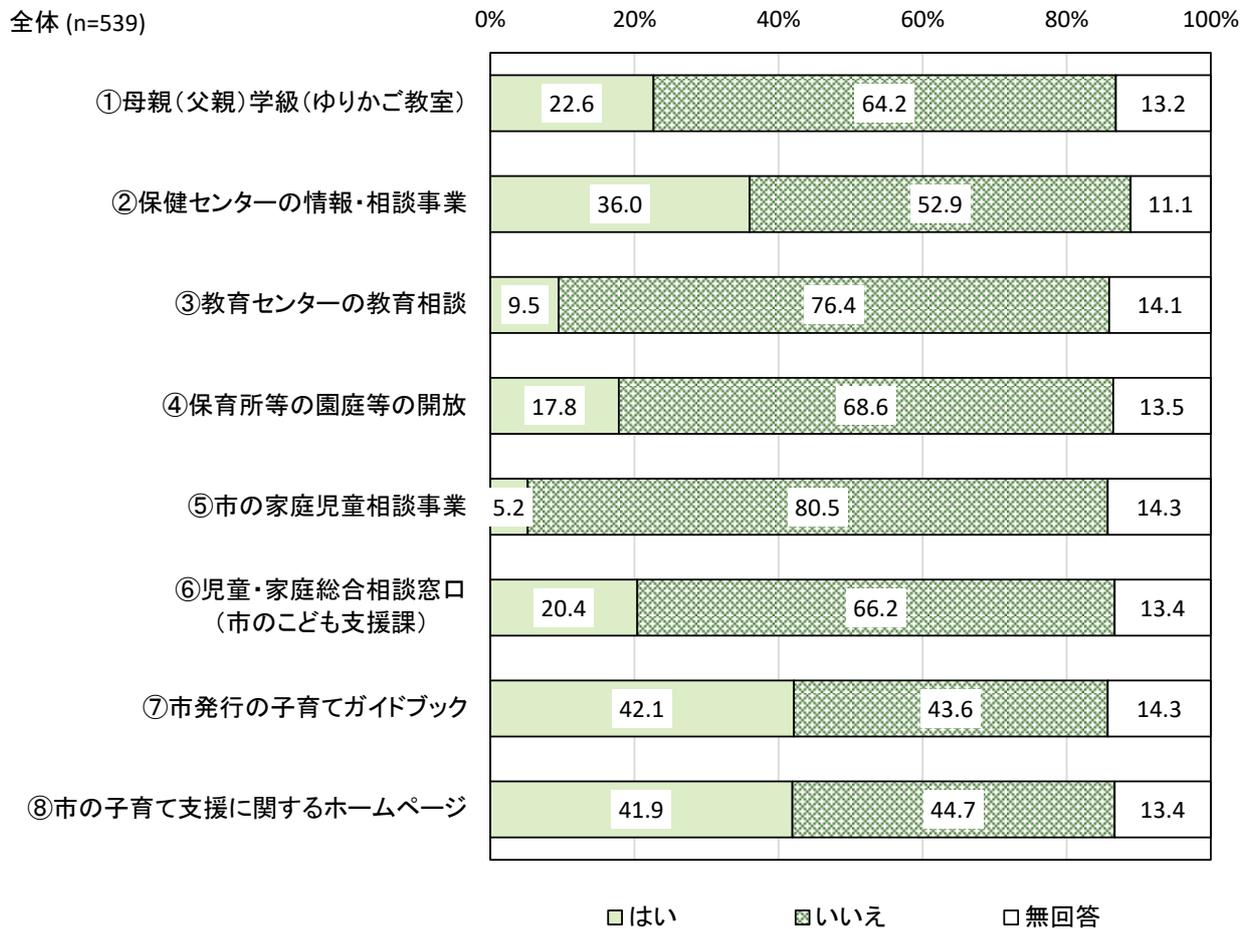


(4) 各種事業の利用状況

問 17 次の市の事業やサービスについて、B 利用状況について「はい」「いいえ」のどちらかに回答してください。(事業ごとに1つのみ)

各種事業の利用状況（これまでに利用したことがあるもの）について、「はい」が多い順に、「⑦市発行の子育てガイドブック」（42.1%）、「⑧市の子育て支援に関するホームページ」（41.9%）、「②保健センターの情報・相談事業」（36.0%）、「①母親（父親）学級、（ゆりかご教室）」（22.6%）、「⑥児童・家庭総合相談窓口（市のこども支援課）」（20.4%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「⑤市の家庭児童相談事業」（80.5%）、「③教育センターの教育相談」（76.4%）、「④保育所等の園庭等の開放」（68.6%）、「⑥児童・家庭総合相談窓口（市のこども支援課）」（66.2%）、「①母親（父親）学級、（ゆりかご教室）」（64.2%）となっています。

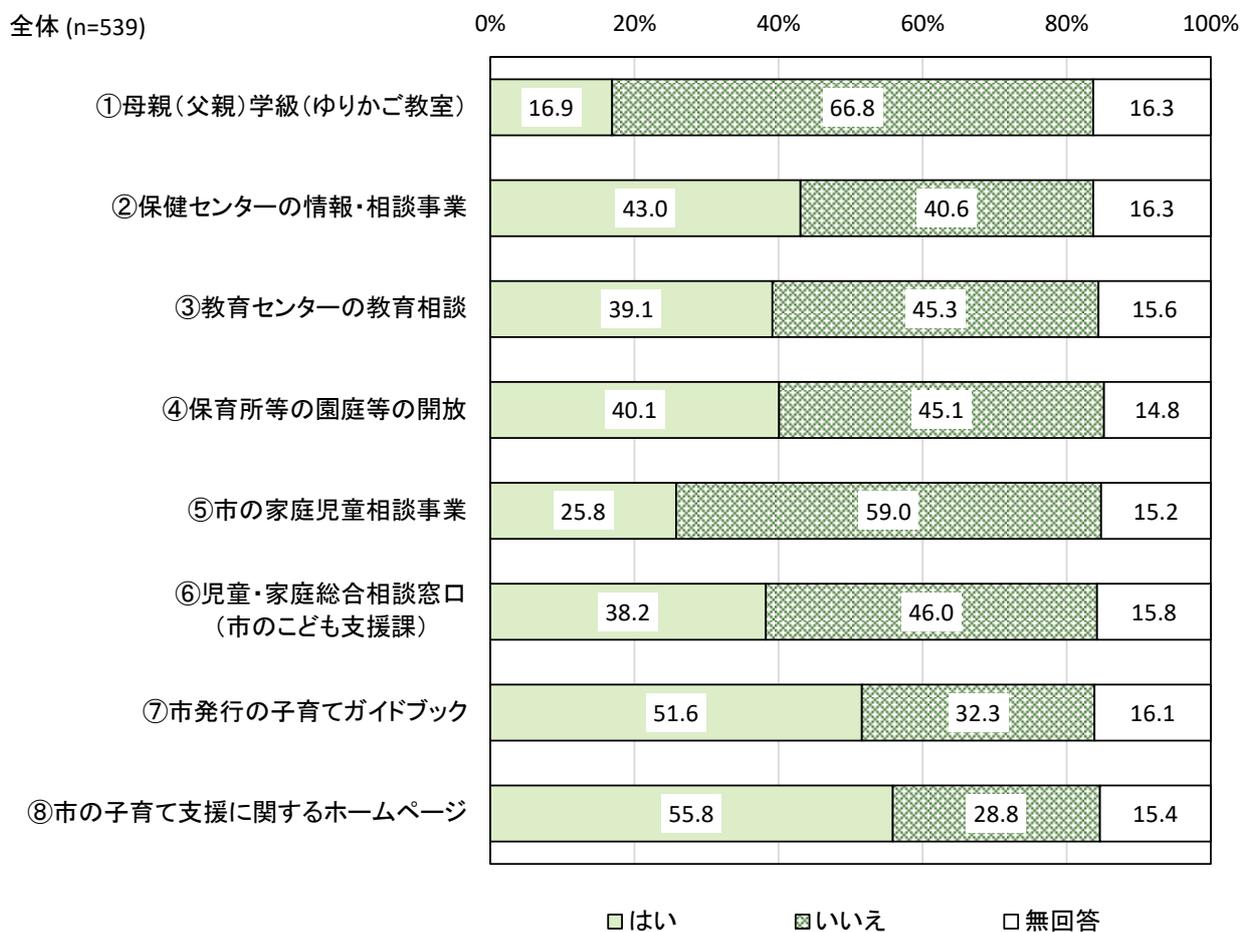


(5) 各種事業の利用意向

問 17 次の市の事業やサービスについて、C 利用意向について「はい」「いいえ」のどちらかに回答してください。(事業ごとに1つのみ)

各種事業の利用意向（今後、利用したいと思うものを）について、「はい」が多い順に、「⑧市の子育て支援に関するホームページ」(55.8%)、「⑦市発行の子育てガイドブック」(51.6%)、「②保健センターの情報・相談事業」(43.0%)、「④保育所等の園庭等の開放」(40.1%)、「③教育センターの教育相談」(39.1%)となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「①母親（父親）学級、(ゆりかご教室)」(66.8%)、「⑤市の家庭児童相談事業」(59.0%)、「⑥児童・家庭総合相談窓口（市のこども支援課）」(46.0%)、「③教育センターの教育相談」(45.3%)、「④保育所等の園庭等の開放」(45.1%)となっています。



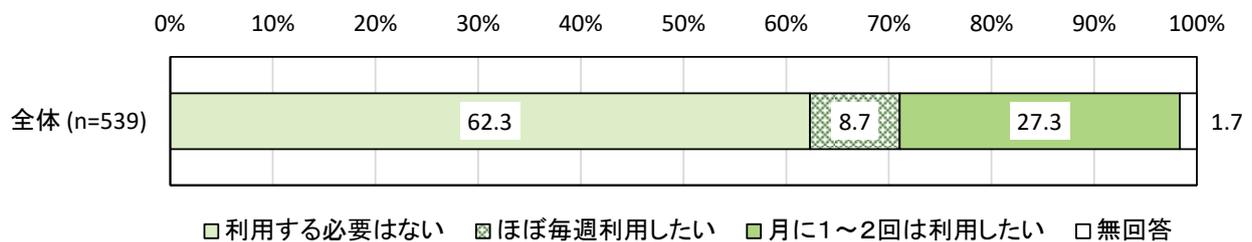
7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望

問 18 宛名のお子様について、土曜日に定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。（1つのみ）また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

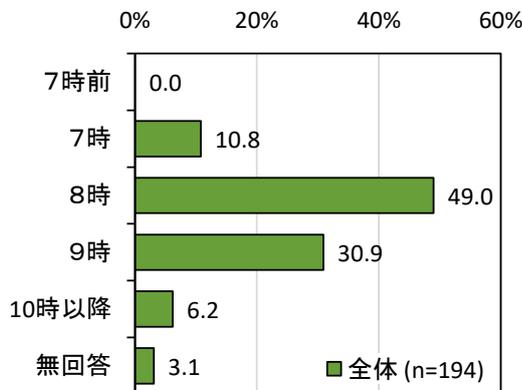
定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が62.3%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」が27.3%、「ほぼ毎週利用したい」が8.7%となっています。

希望する利用開始時刻は、「8時」が49.0%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18時」が30.9%で最も多くなっています。

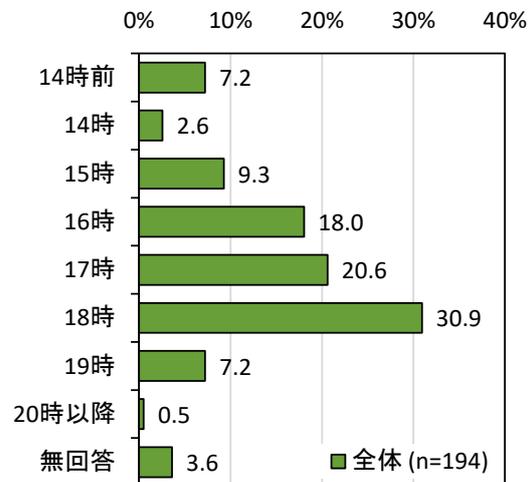


■利用したい時間帯

【利用開始時刻】



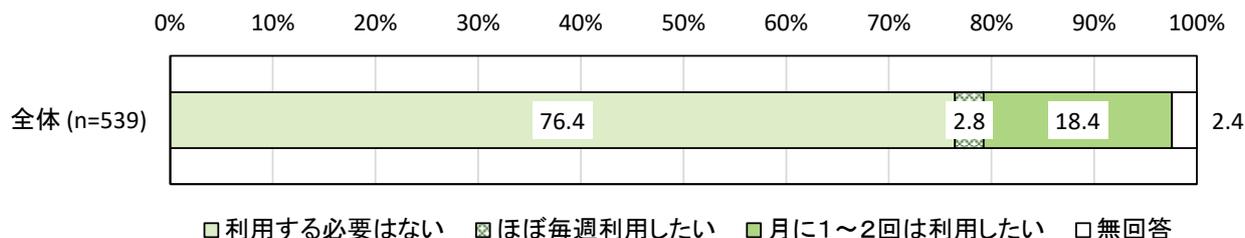
【利用終了時刻】



(2) 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望

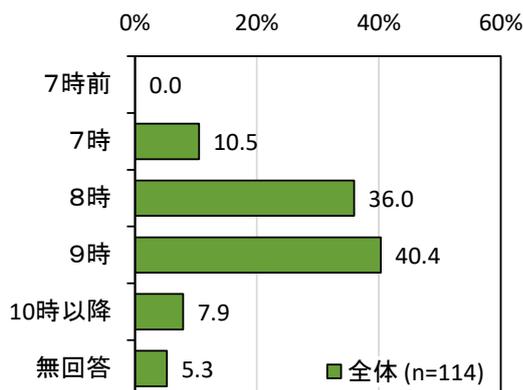
問 18 宛名のお子様について、日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。（1つのみ）また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が76.4%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」が18.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%となっています。希望する日曜・祝日の利用開始時刻は、「9時」が40.4%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18時」が29.8%で最も多くなっています。

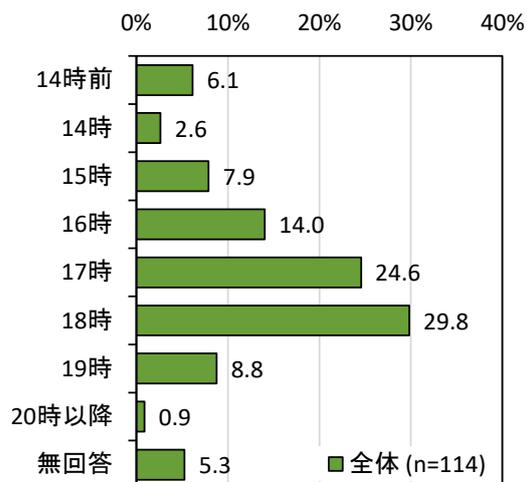


■利用したい時間帯

【利用開始時刻】



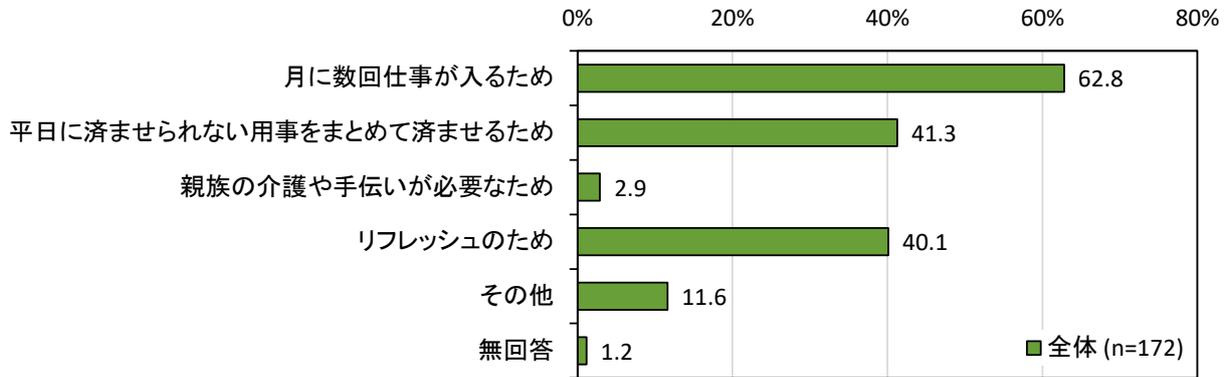
【利用終了時刻】



(3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由

問18-1 問18の(1)もしくは(2)で、「月に1~2回は利用したい」と回答した方のみ
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(いくつでも)

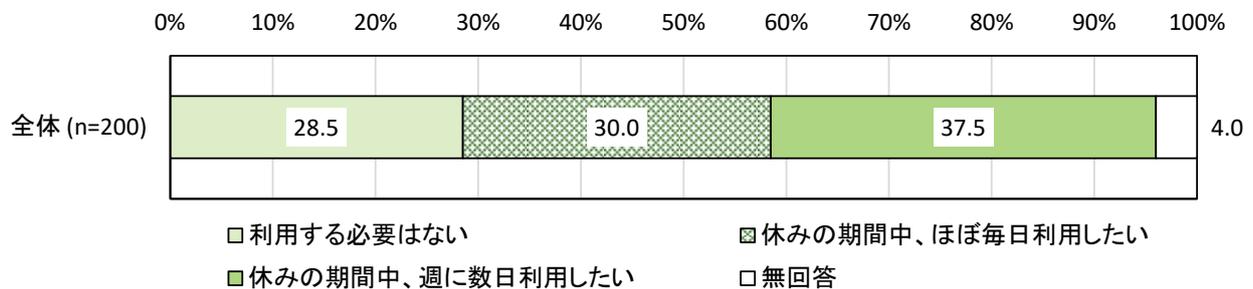
土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が62.8%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が41.3%、「リフレッシュのため」が40.1%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が2.9%となっています。



(4) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

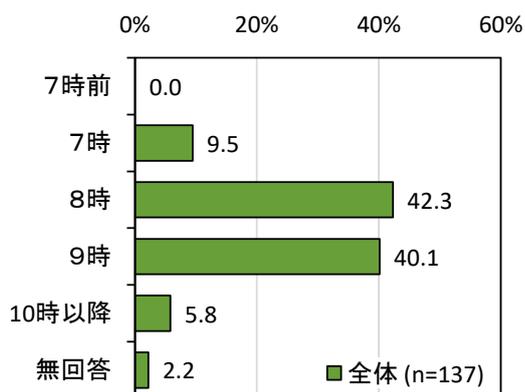
問19 「幼稚園」または「認定こども園(教育)」を利用されている方のみ
宛名のお子様について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つのみ) また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

幼稚園または認定こども園(教育)を利用している方の定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が37.5%で最も多く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が30.0%、「利用する必要はない」が28.5%となっています。希望する長期休暇期間の利用開始時刻は、「8時」(42.3%)、「9時」(40.1%)が多く、希望する利用終了時刻は、「17時」、「18時」(ともに22.6%)が多くなっています。

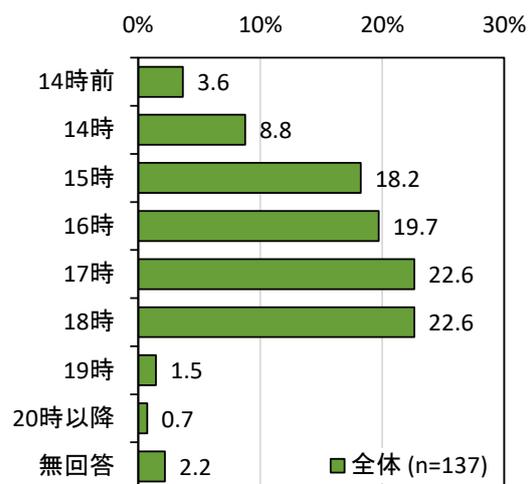


■利用したい時間帯

【利用開始時刻】



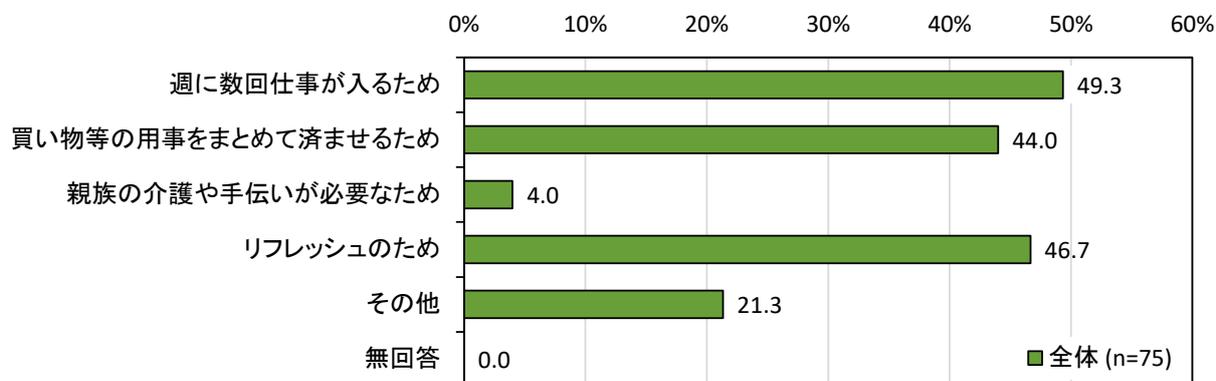
【利用終了時刻】



(5) 長期休暇期間中、たまに利用したい理由

問 19-1 問 19 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方のみ
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(いくつでも)

長期休暇期間に、毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が 49.3%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が 46.7%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 44.0%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が 5.8%となっています。

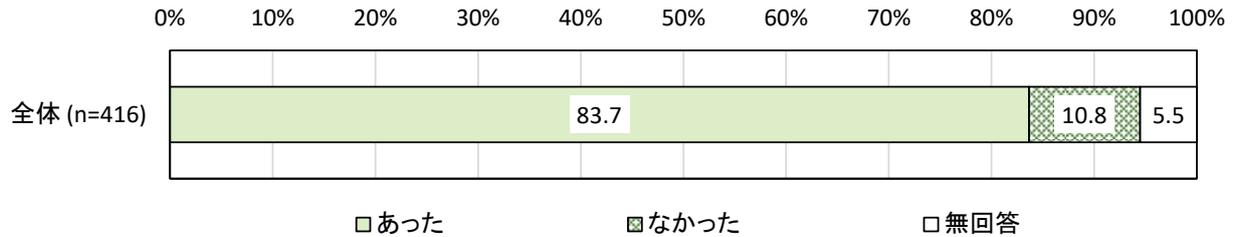


8 お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方のみ】

(1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問20 問13で平日の定期的な教育・保育の事業を「利用している」と回答した方にお伺いします。
この1年間に、宛名のお子様は病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(1つのみ)

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が83.7%、「なかった」が10.8%となっています。



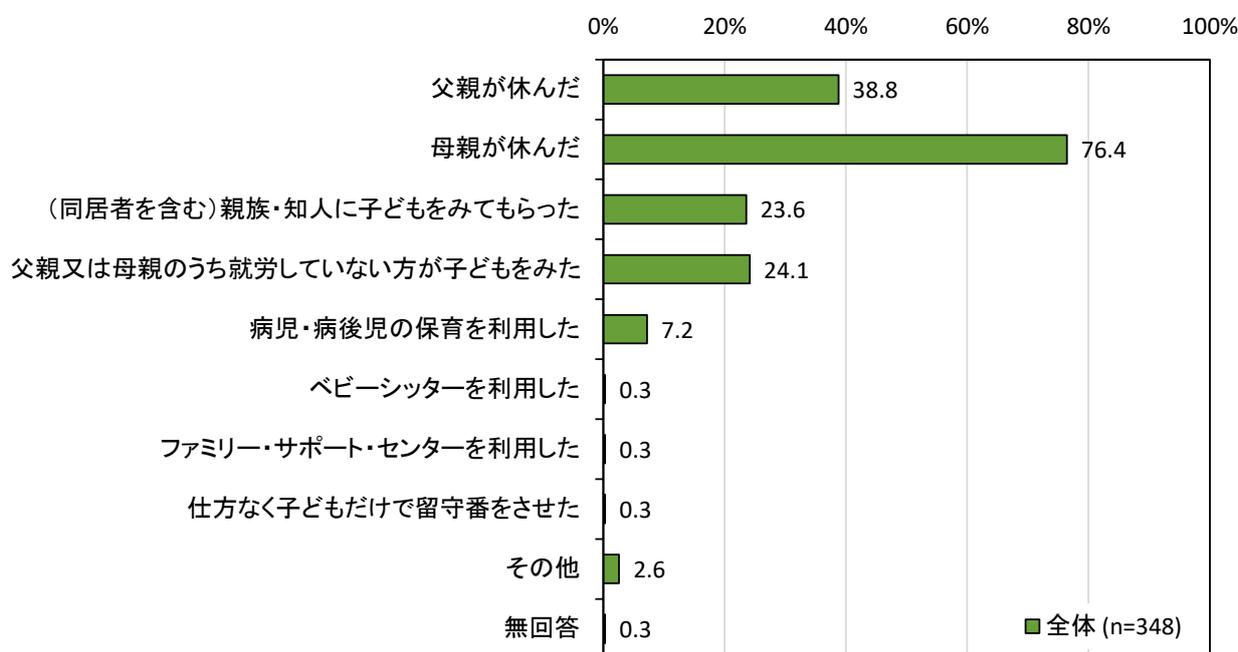
(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

問20-1 問20で「あった」と回答した方のみ

宛名のお子様が病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(いくつでも) また、それぞれの対処日数についてもお答えください。※半日程度の対応の場合は1日でカウント

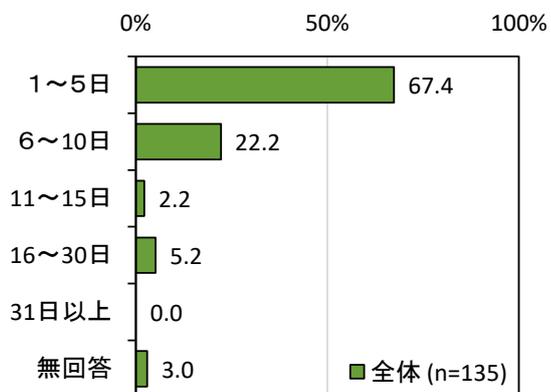
事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が76.4%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.8%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が24.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が23.6%、「病児・病後児の保育を利用した」が7.2%となっています。

1年間の対処日数は、上位4項目のうち、「母親が休んだ」、「父母のうち就労していない方が子どもをみた」は「6～10日」が、「父親が休んだ」、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は「1～5日」が最も多くなっています。

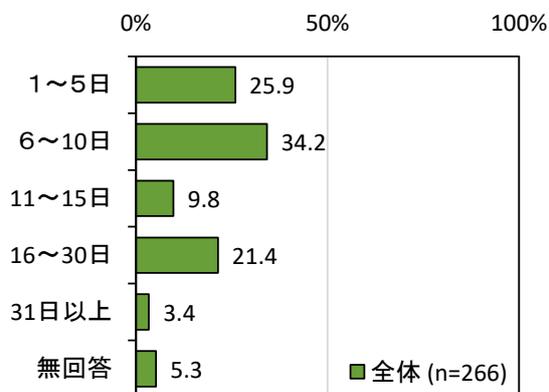


■ 1年間の対処日数

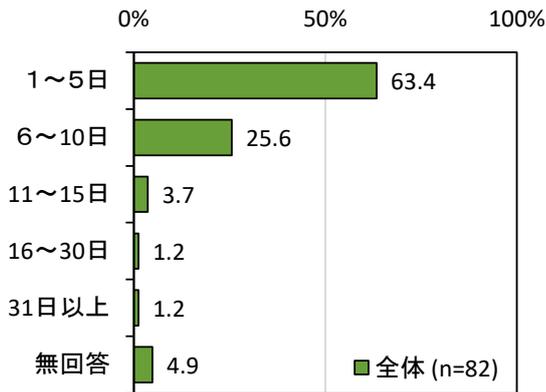
【父親が休んだ】



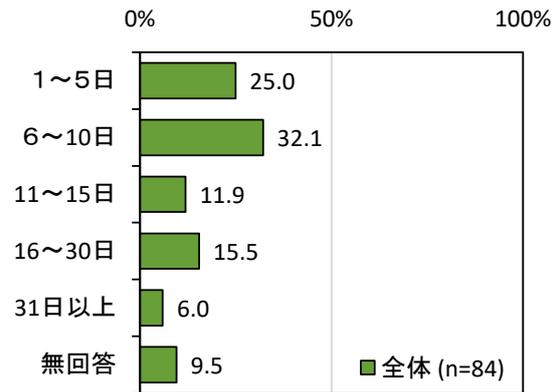
【母親が休んだ】



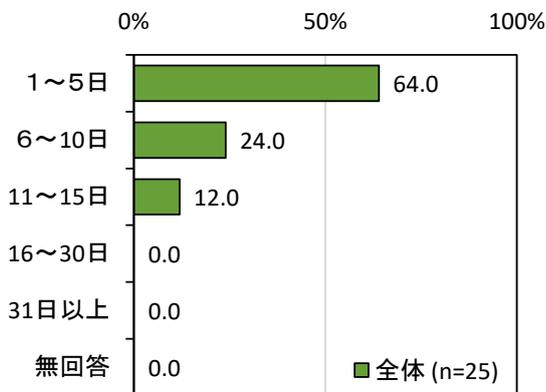
【親族・知人にみてもらった】



【父母のうち就労していない方が子どもをみた】



【病児・病後児の保育を利用した】



【ベビーシッターを利用した】

※回答者1人：「1~5日」1人

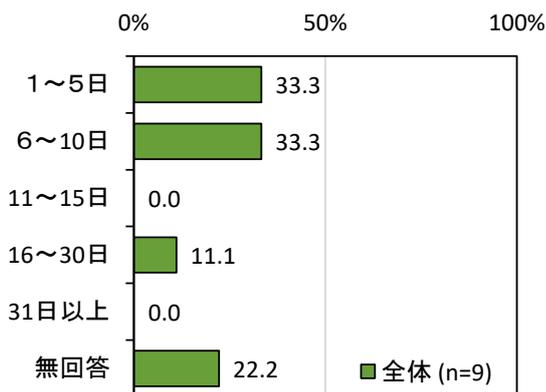
【ファミリー・サポート・センターを利用した】

※回答者1人：「1~5日」1人

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

※回答者1人：「無回答」1人

【その他】



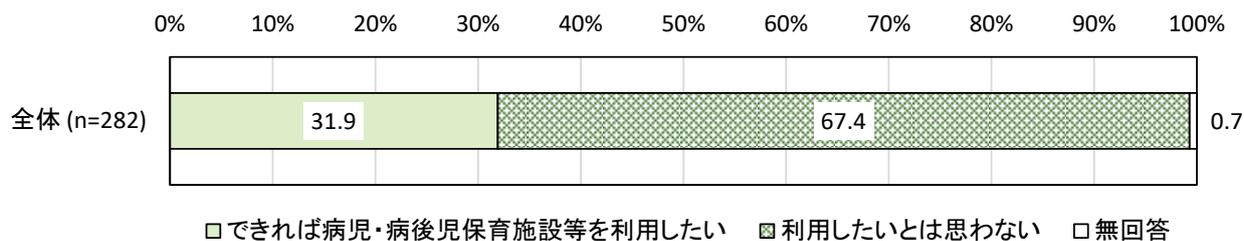
【その他】の内容

- ・ 在宅で仕事をしながらみた
- ・ 育休中の母親がみた 等

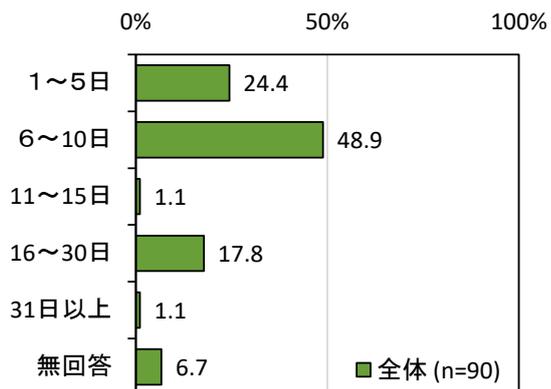
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 20-2 問 20-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方のみ
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(1つのみ) また、利用希望がある場合は、利用日数もお答えください。なお、病児・病後児のための保育事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が67.4%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が31.9%となっています。
 希望する病児・病後児保育施設等の1年間の利用日数は「6～10日」が48.9%で最も多くなっています。



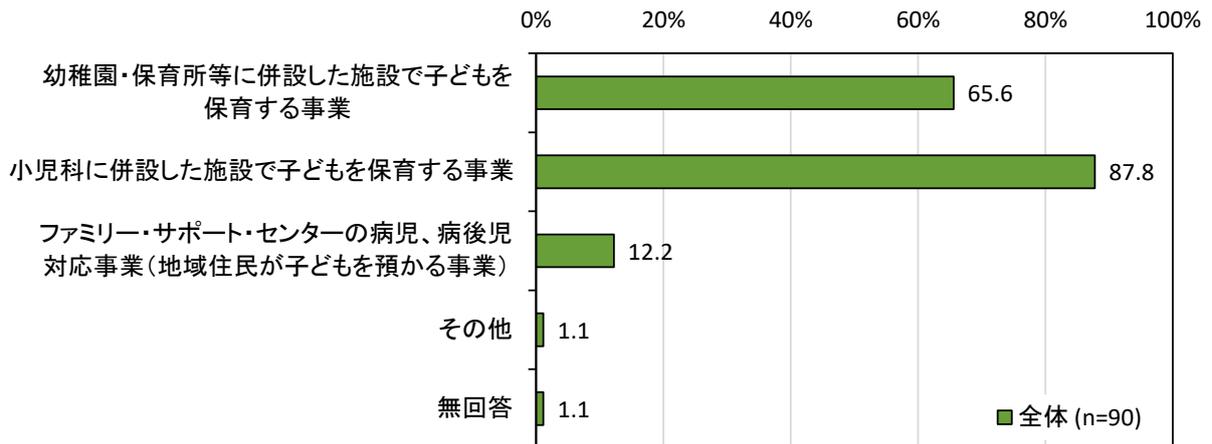
■ 1年間の利用希望日数



(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問 20-3 問 20-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方のみ
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(いくつでも)

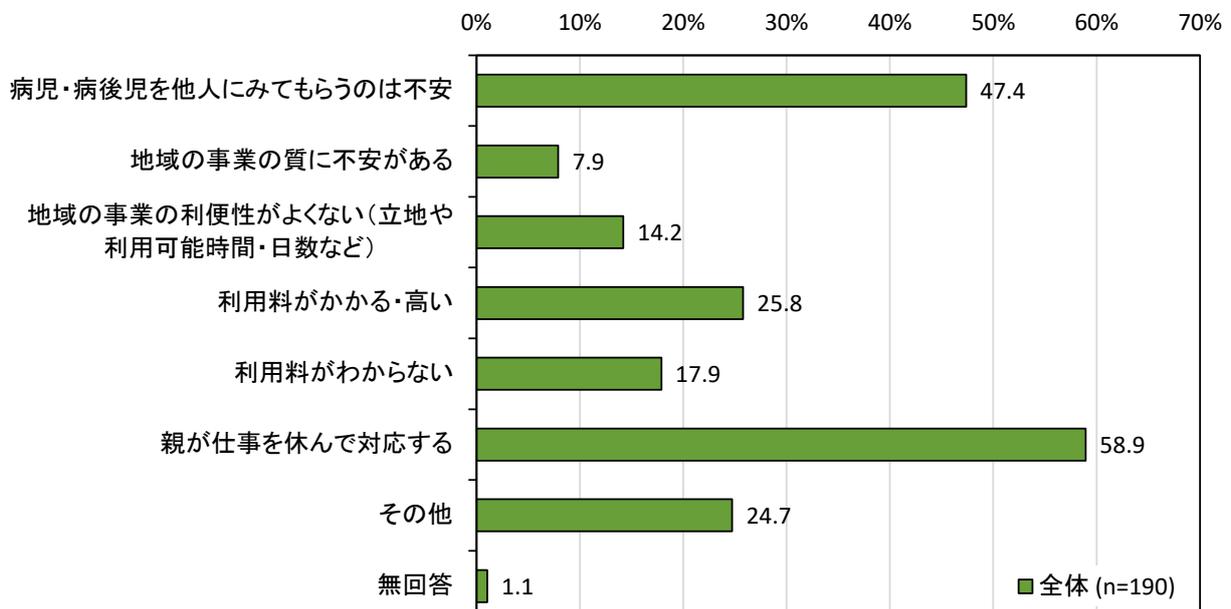
病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が87.8%で最も多く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.6%、「ファミリー・サポート・センターの病児、病後児対応事業（地域住民が子どもを預かる事業）」が12.2%となっています。



(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問 20-4 問 20-2で「利用したいとは思わない」と回答した方のみ
そう思われる理由をお答えください。(いくつでも)

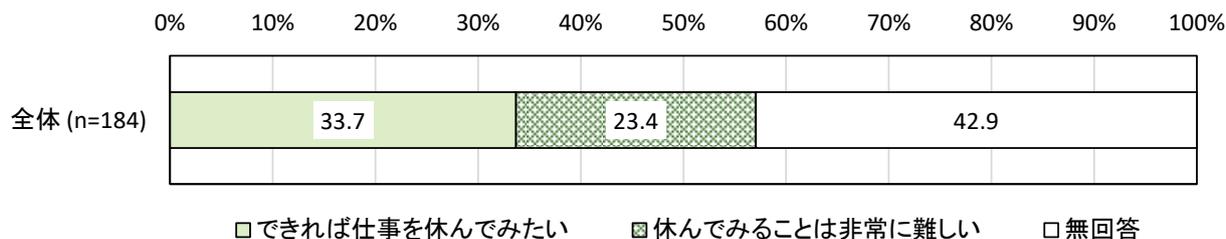
病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が58.9%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が47.4%、「利用料がかかる・高い」が25.8%、「利用料がわからない」が17.9%となっています。



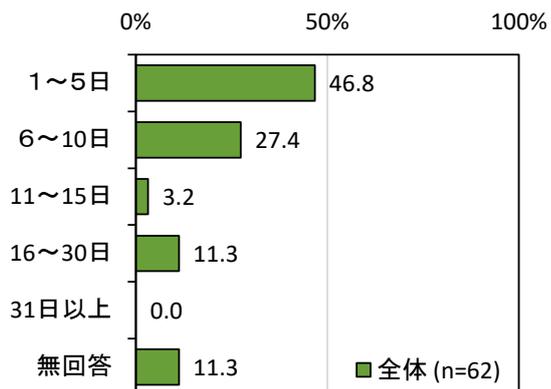
(6) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか

問 20-5 問 20-1 で「親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかを回答した方のみ
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。(1つのみ) また、休んでみたいという希望がある場合は、問 20-1 の1年間の対処方法の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数についてもお答えください。

父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったかどうかは、「できれば仕事を休んでみたい」が33.7%で最も多く、次いで「休んでみることは非常に難しい」が23.4%となっています。仕事を休んでみたい1年間の日数は、「1～5日」が46.8%で最も多くなっています。



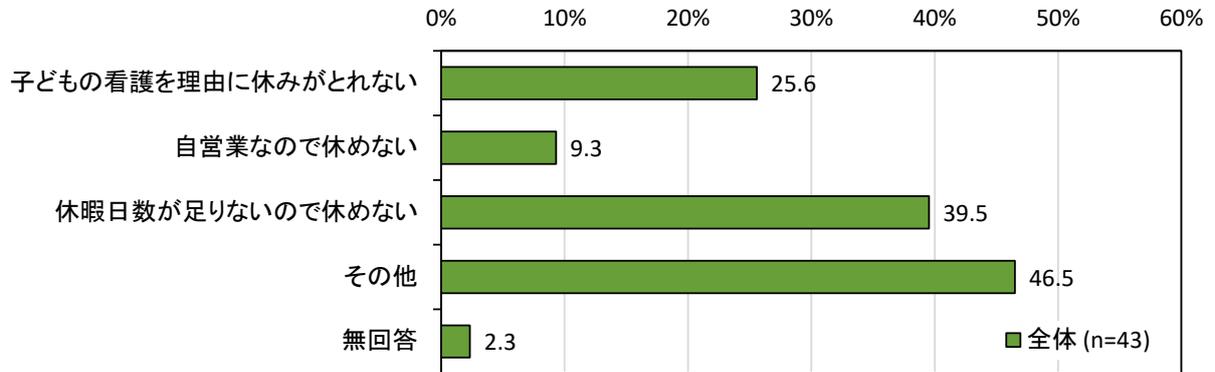
■ 1年間の対処方法の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数



(7) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由

問20-6 問20-5で「休んでみることは非常に難しい」と回答した方のみ
 そう思われる理由をお答えください。(いくつでも)

休んでみることは非常に難しいと思う理由は、「休暇日数が足りないので休めない」が39.5%で最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が25.6%、「自営業なので休めない」が9.3%となっています。



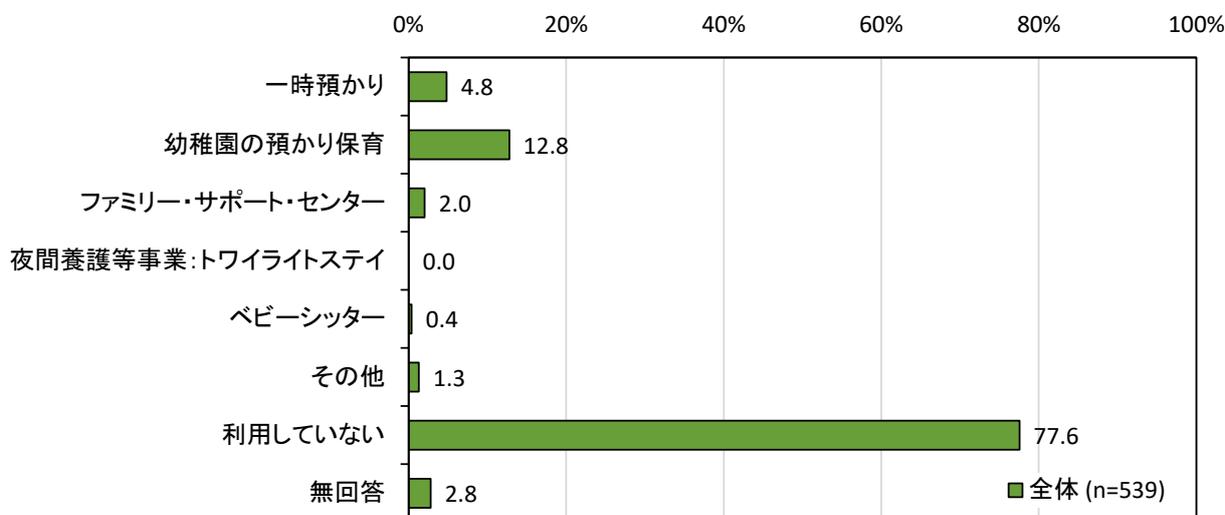
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 利用している不定期の教育・保育の事業

問 21 宛名のお子様について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(いくつでも) また、利用している事業がある場合は、利用日数もお答えください。

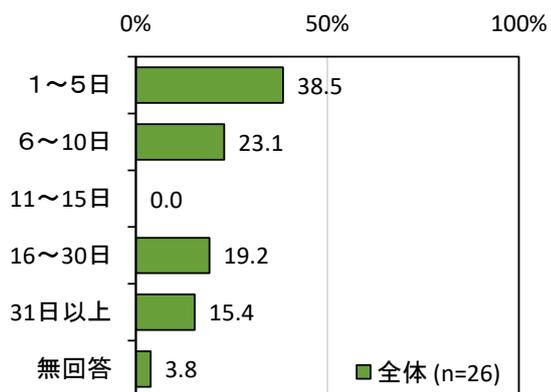
利用している不定期の教育・保育の事業は、「幼稚園の預かり保育」が12.8%、「一時預かり」が4.8%、「ファミリー・サポート・センター」が2.0%、「ベビーシッター」が0.4%となっています。なお、「利用していない」は77.6%となっています。

1年間の利用日数は、いずれも「1～5日」が最も多く、ベビーシッターは「6～10日」も多くなっています。

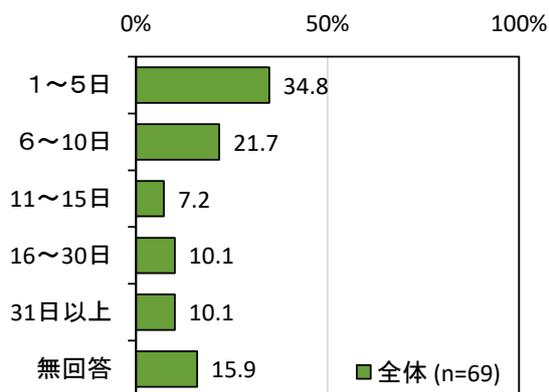


■ 1年間の利用日数

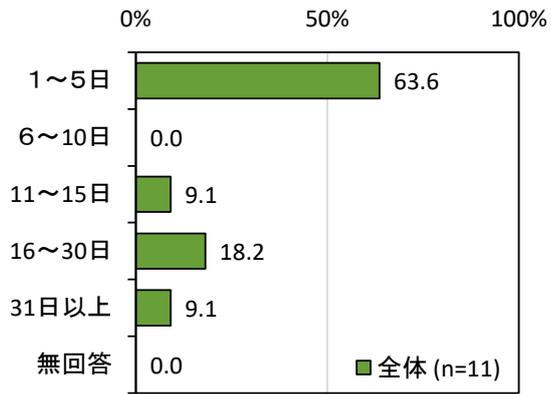
【一時預かり】



【幼稚園の預かり保育】



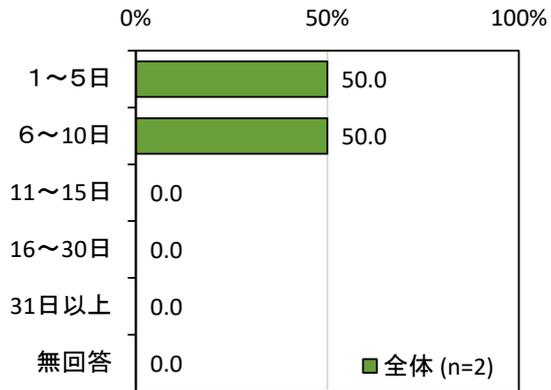
【ファミリー・サポート・センター】



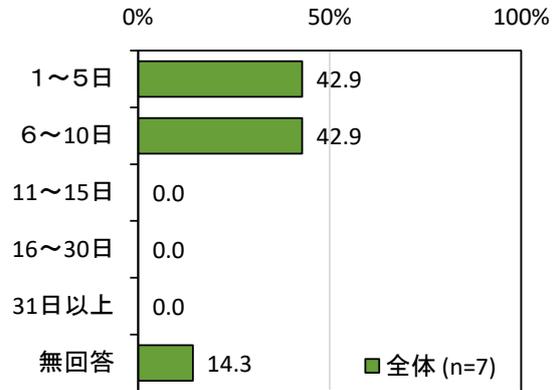
【夜間養護等事業：トワイライトステイ】

※回答者0人

【ベビーシッター】



【その他】



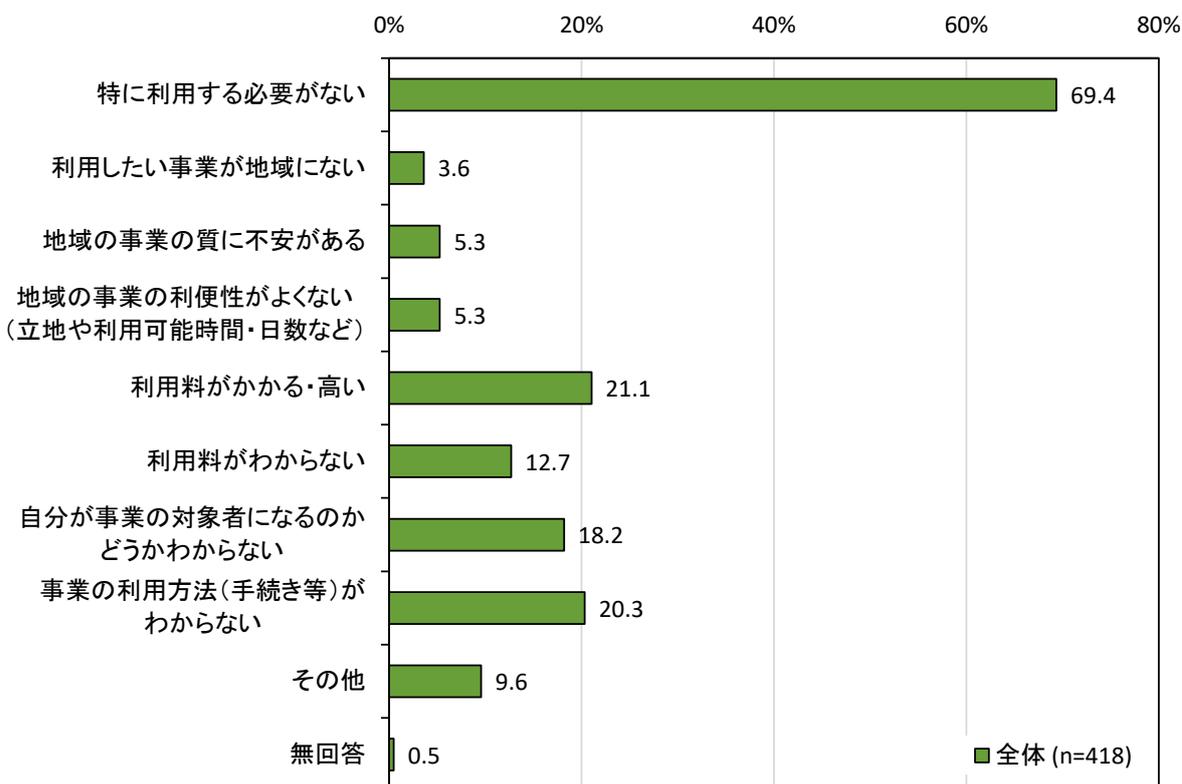
【その他】の内容

- ・事業所内保育施設
- ・通っている幼児教室 等

(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

問21-1 問21で「利用していない」と回答した方のみ
 現在利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が69.4%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が21.1%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が20.3%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が18.2%、「利用料がわからない」が12.7%となっています。



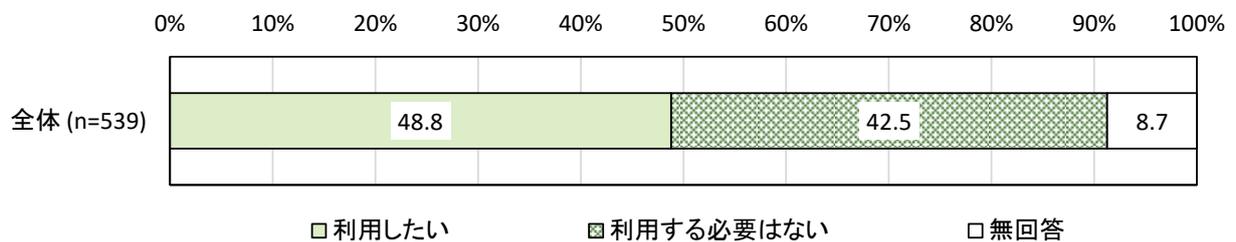
(3) 私用等の目的での事業の利用希望

問 22 宛名のお子様について、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(1つのみ) また、利用希望がある場合は、その利用目的と利用したい日数の合計および目的別の利用日数もお答えください。(利用の目的はいくつでも) なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

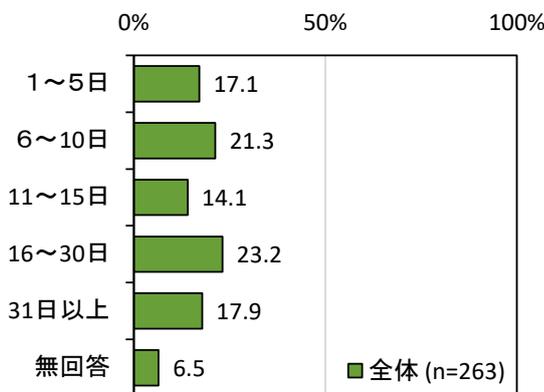
私用等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」が 48.8%、「利用する必要はない」が 42.5%となっています。

利用したい場合の1年間の合計日数は、「16～30日」が 23.2%で最も多くなっています。

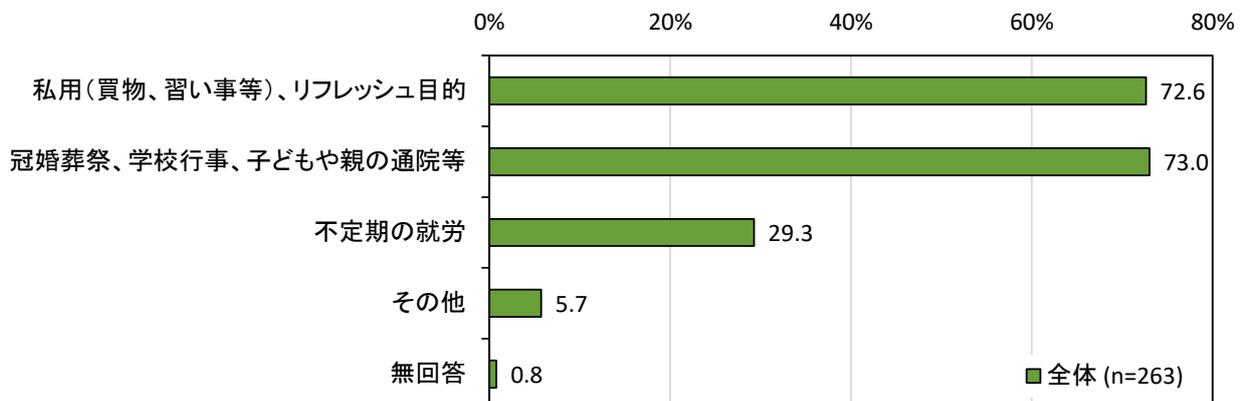
事業の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 73.0%で最も多く、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が 72.6%、「不特定の就労」が 29.3%となっています。また、それぞれ1年間に必要な日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。



■利用したい場合の1年間の合計日数

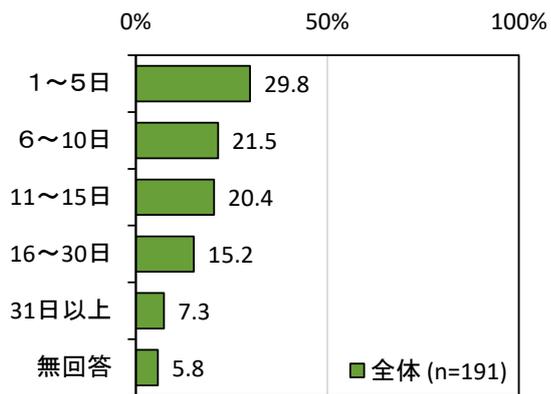


■事業の利用目的

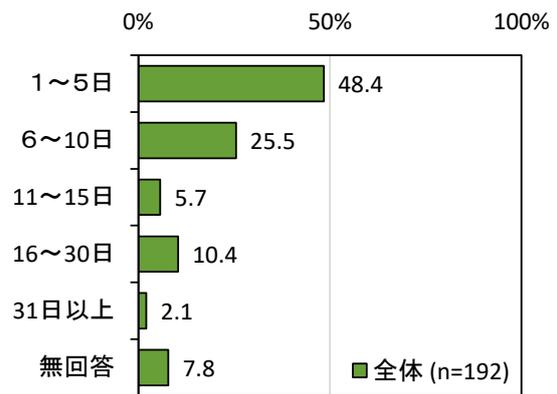


■目的別の1年間に必要な日数

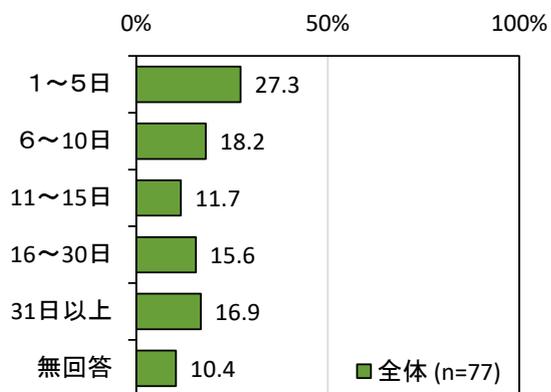
【私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的】



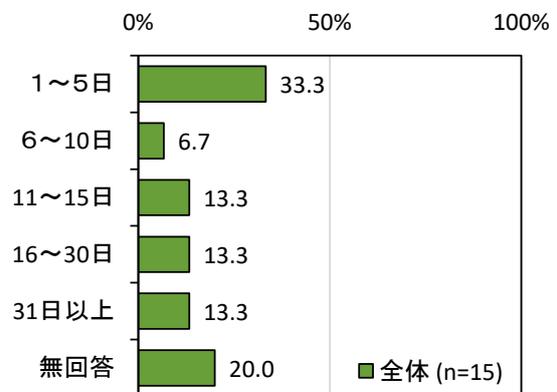
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



【不定期の就労】



【その他】



【その他】の内容

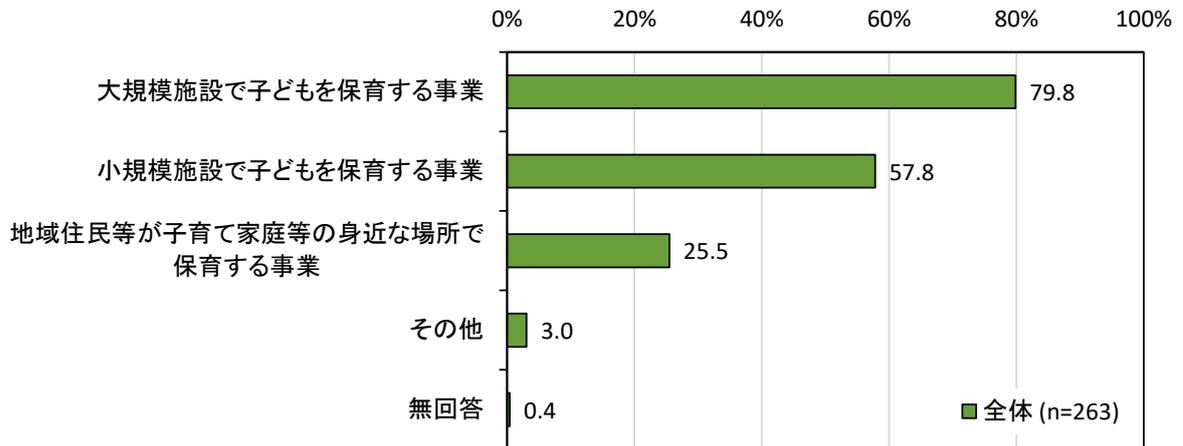
- ・きょうだいの通院、習い事など
- ・保護者の体調不良 等

(4) 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態

問22-1 問22で「利用したい」と回答した方のみ

問22の目的でお子様を預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(いくつでも)

私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が79.8%で最も多く、「小規模施設で子どもを保育する事業」が57.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が25.5%となっています。



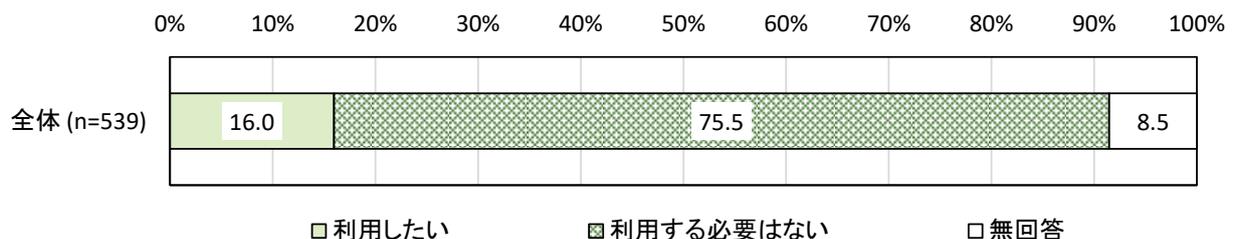
(5) 保護者の用事により短期入所生活援助事業の利用希望

問23 宛名のお子様について、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてお答えください。(1つのみ) また、利用希望がある場合は、その利用目的と利用したい日数の合計および目的別の利用日数もお答えください。(利用の目的はいくつでも) なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

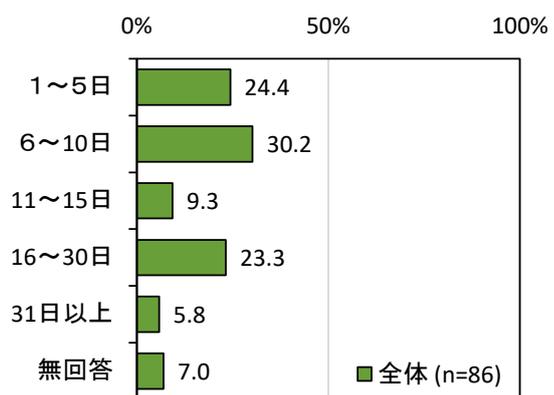
保護者の用事による短期入所生活援助事業の利用希望は、「利用する必要はない」が75.5%、「利用したい」が16.0%となっています。

利用したい場合の1年間の合計日数は、「6～10日」が30.2%で最も多くなっています。

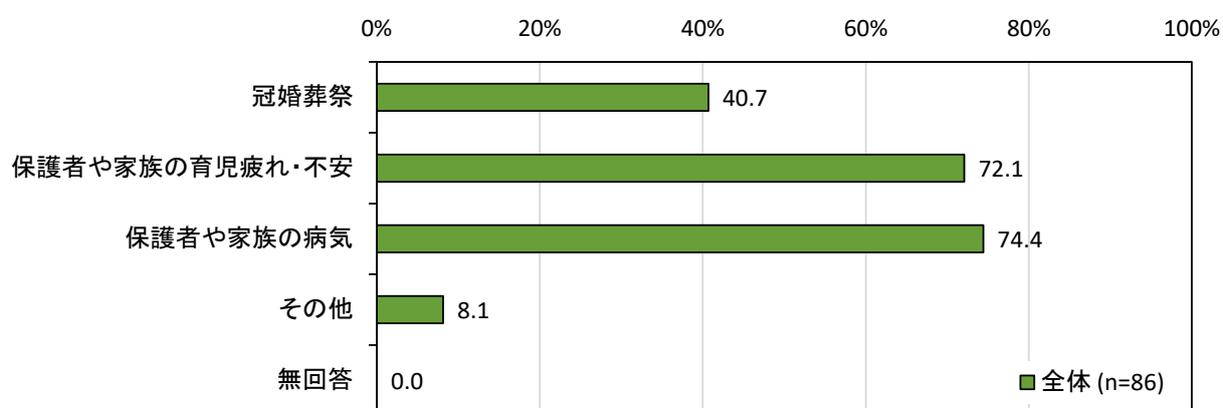
事業の利用目的は、「保護者や家族の病気」が74.4%で最も多く、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が72.1%、「冠婚葬祭」が40.7%となっています。また、それぞれ1年間に必要な日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。



■利用したい場合の1年間の合計日数

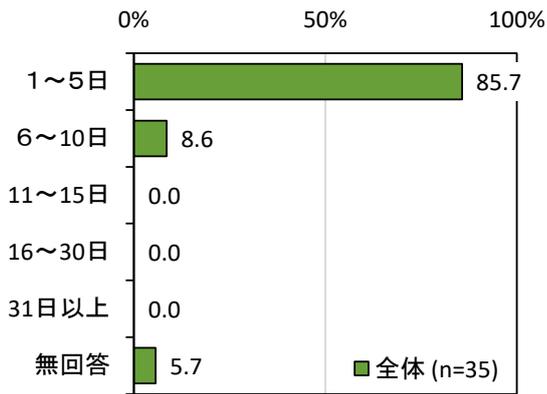


■事業の利用目的

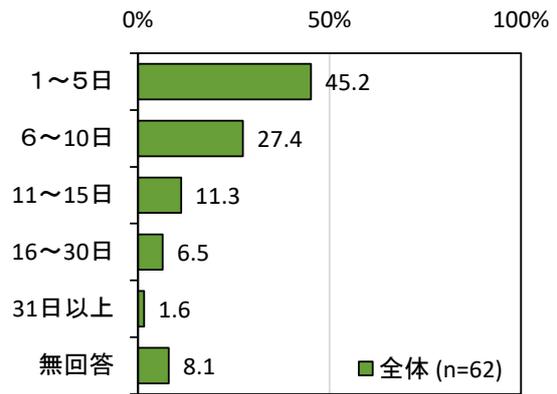


■目的別の1年間に必要な日数

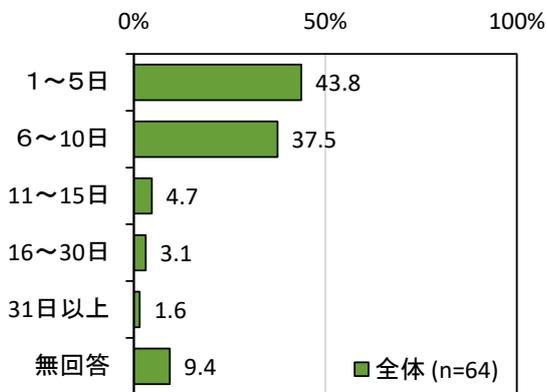
【冠婚葬祭】



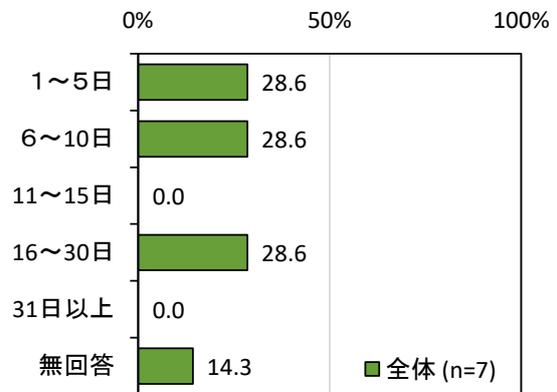
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



【その他】



【その他】の内容

- ・ 第2子出産時
- ・ 夜間の仕事をしたい時 等

10 小学校就学後の放課後の過ごし方について【お子様が5歳以上である方】

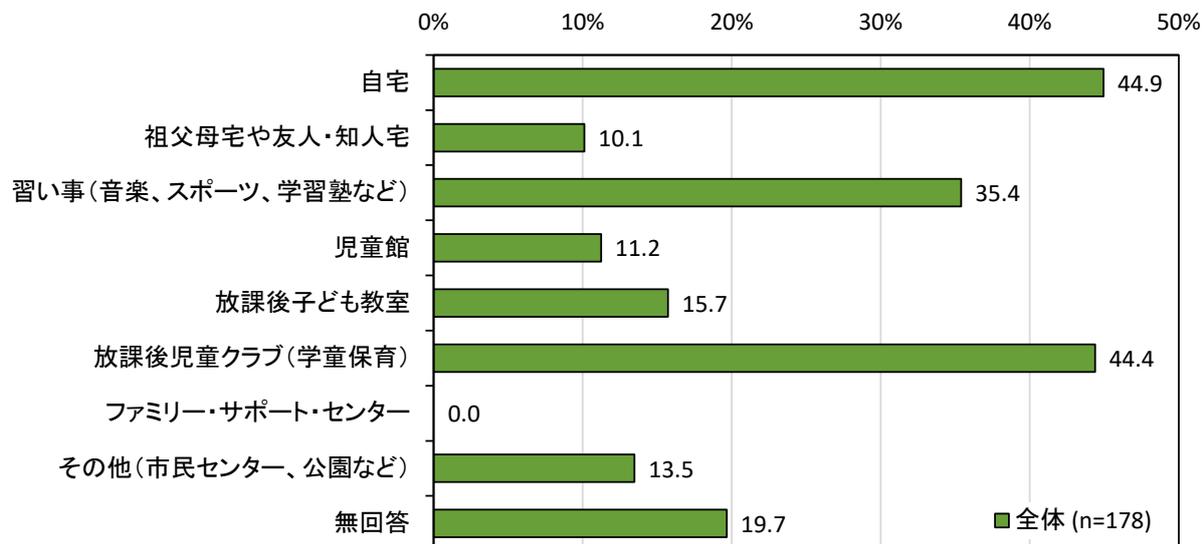
(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

問 24 宛名のお子様について、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（いくつでも）また、それぞれ希望する1週あたりの利用日数もお答えください。なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、希望する利用終了時刻もお答えください。

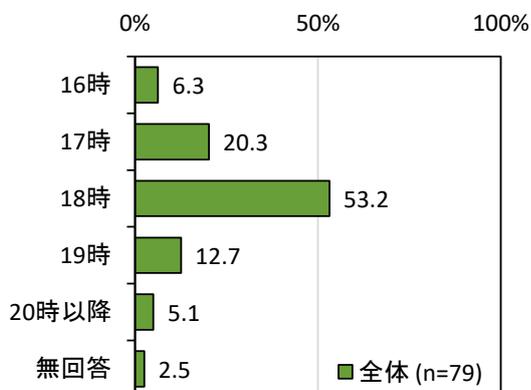
希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が44.9%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が44.4%、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が35.4%、「放課後子ども教室」が15.7%、「児童館」が11.2%となっています。

放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時」が53.2%で最も多くなっています。

なお、1週あたりの利用日数は、「自宅」、「放課後児童クラブ（学童保育）」では「5日」が多く、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事」、「児童館」、「放課後子ども教室」は「1日」～「2日」が多くなっています。

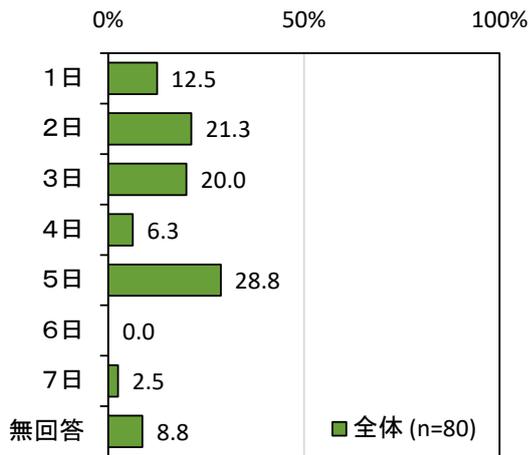


■放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

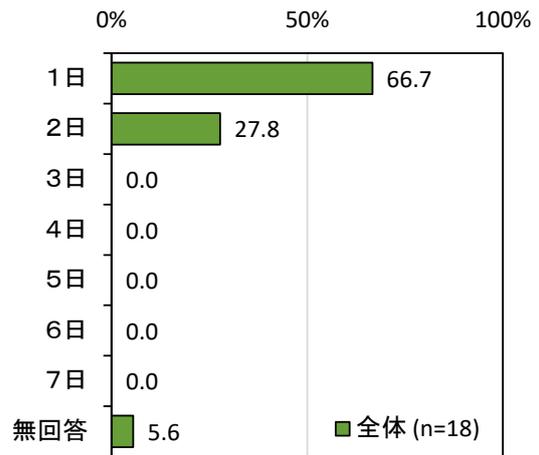


■ 1週あたりの利用日数

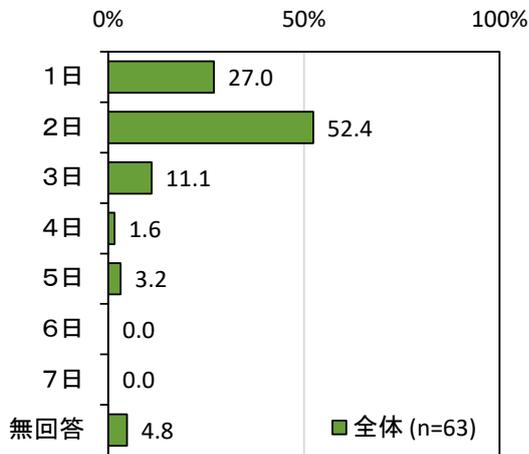
【自宅】



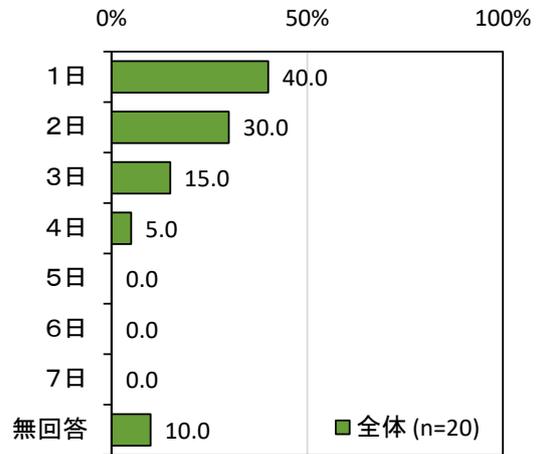
【祖父母宅や友人・知人宅】



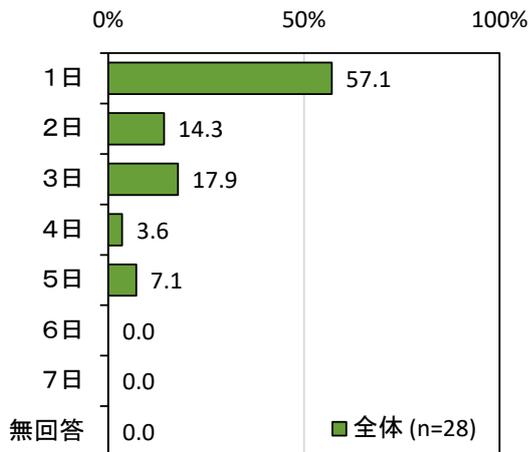
【習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）】



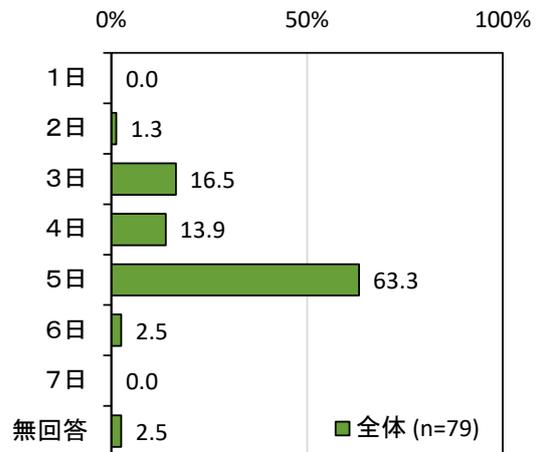
【児童館】



【放課後子ども教室】



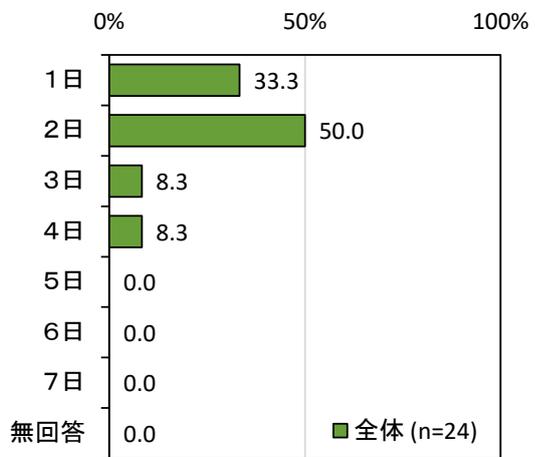
【放課後児童クラブ（学童保育）】



【ファミリー・サポート・センター】

※回答者0人

【その他】



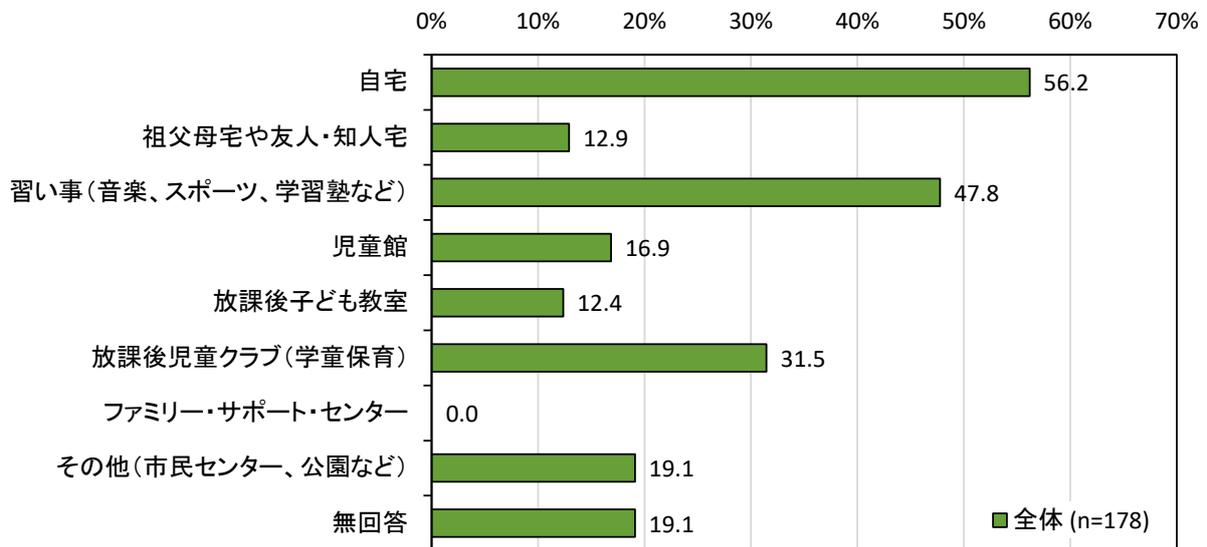
(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 25 宛名のお子様について、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（いくつでも）また、それぞれ希望する1週あたりの利用日数もお答えください。なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、希望する利用終了時刻もお答えください。先のことになる方も、現在お持ちのイメージでお答えください。

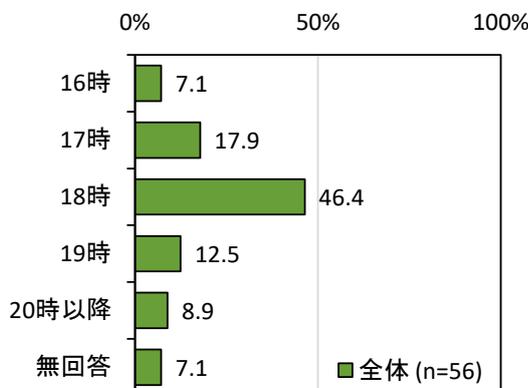
希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が56.2%で最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が47.8%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が31.5%、「児童館」が16.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が12.9%、「放課後子ども教室」が12.4%となっています。

放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時」が46.4%で最も多くなっています。

なお、1週あたりの利用日数は、「放課後児童クラブ（学童保育）」では「5日」が多く、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事」、「児童館」、「放課後子ども教室」は「1日」～「2日」が多くなっています。

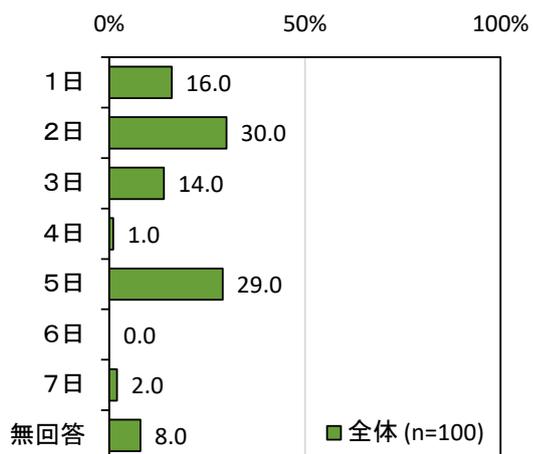


■放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

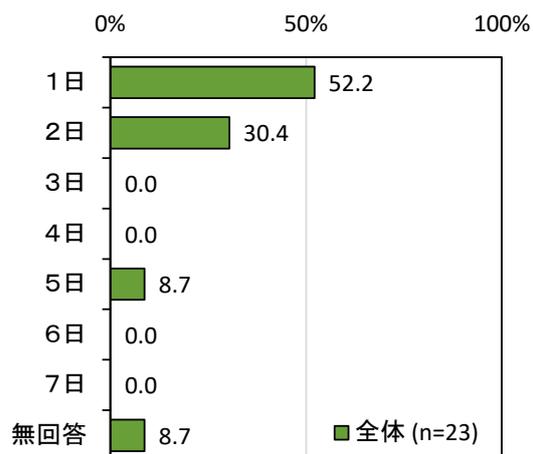


■ 1週あたりの利用日数

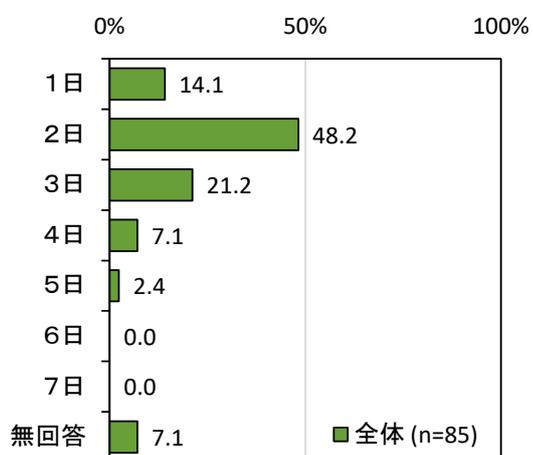
【自宅】



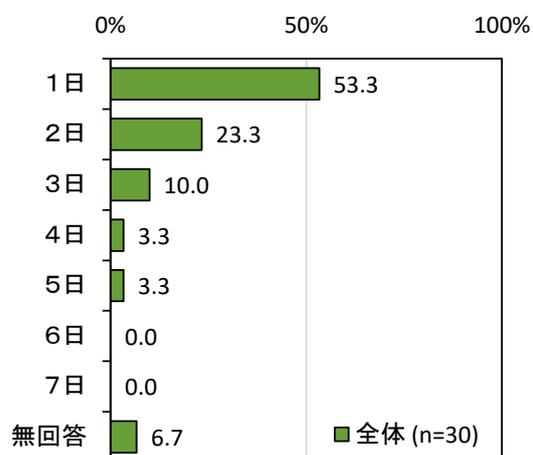
【祖父母宅や友人・知人宅】



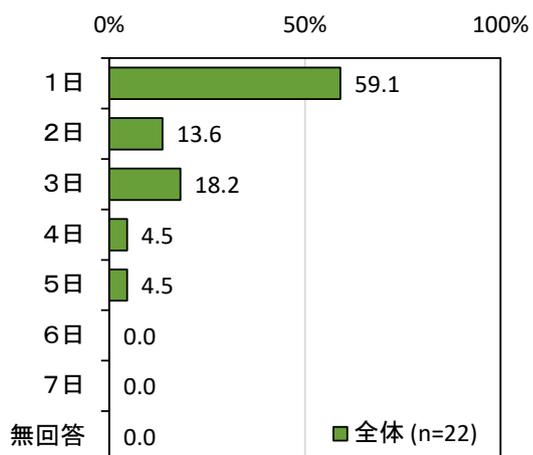
【習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）】



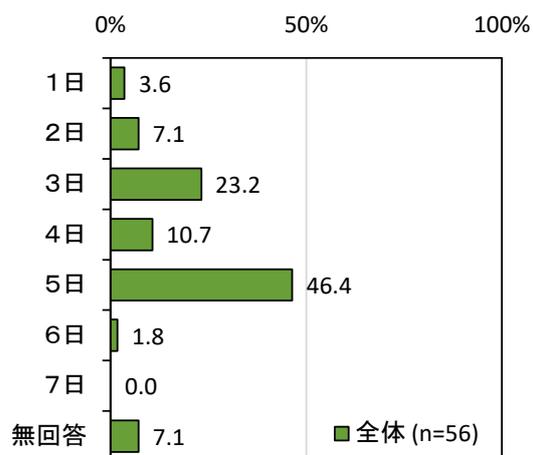
【児童館】



【放課後子ども教室】



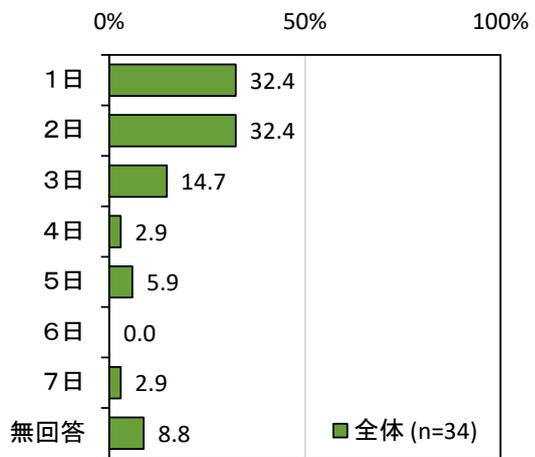
【放課後児童クラブ（学童保育）】



【ファミリー・サポート・センター】

※回答者0人

【その他】

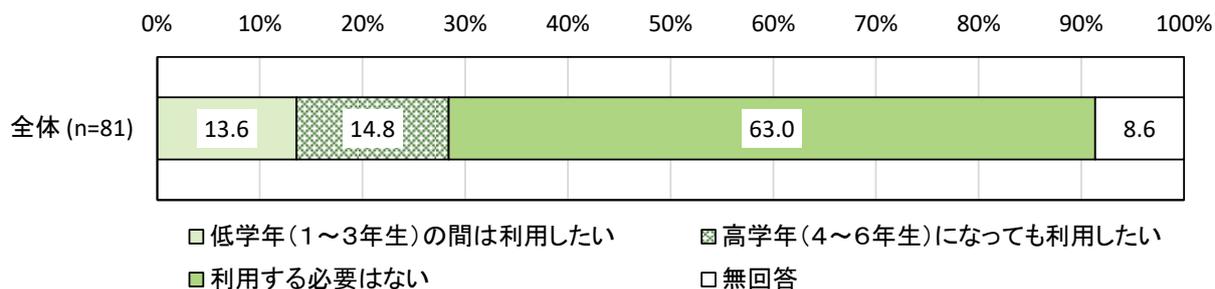


(3) 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

問26 問24または問25で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ
 宛名のお子様について、土曜日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1つのみ）利用希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

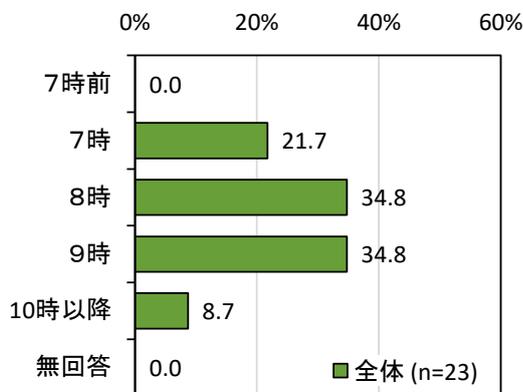
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」が63.0%で最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.8%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が13.6%となっています。

希望する利用開始時刻は、「8時」、「9時」がともに34.8%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が43.5%で最も多くなっています。

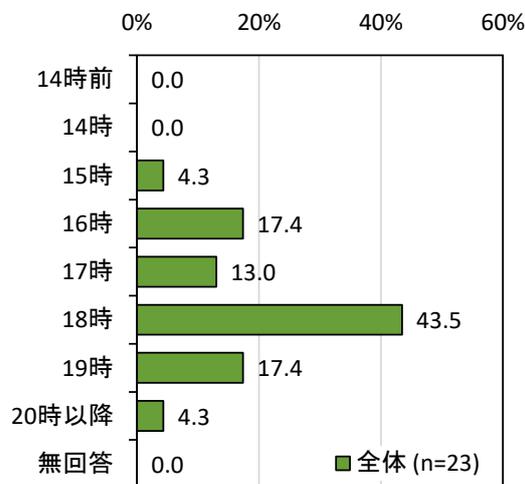


■利用したい時間帯

【利用開始時刻】



【利用終了時刻】



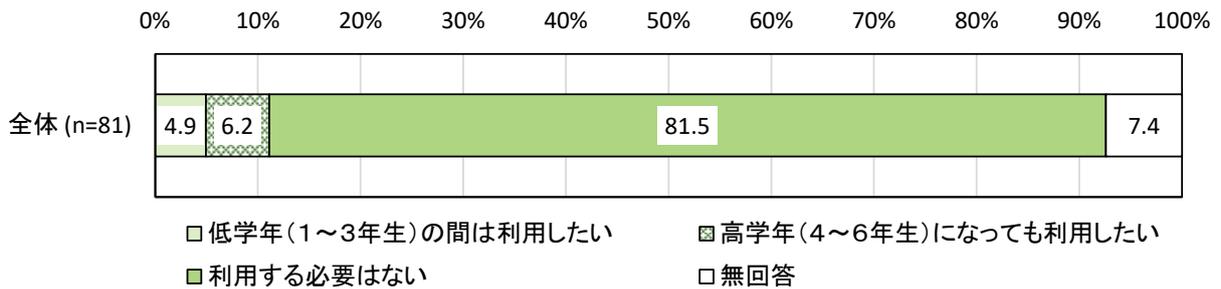
(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

問26 問24または問25で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

宛名のお子様について、日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つのみ) 利用希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

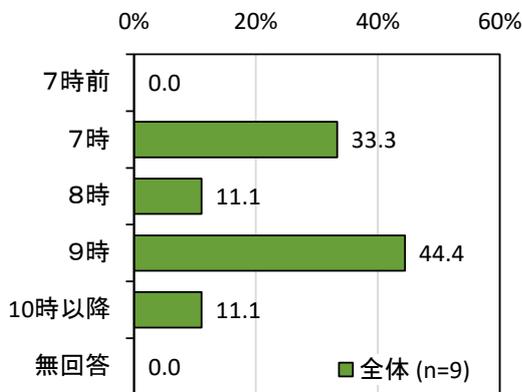
日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が81.5%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6.2%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が4.9%となっています。

希望する利用開始時刻は、「9時」が44.4%で最も多く、利用終了時刻は「17時」が33.3%で最も多くなっています。

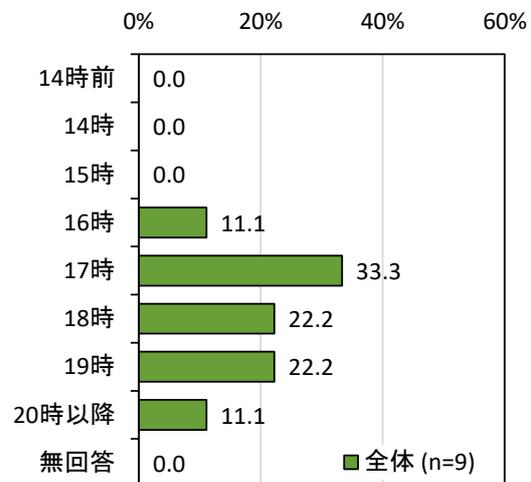


■利用したい時間帯

【利用開始時刻】



【利用終了時刻】

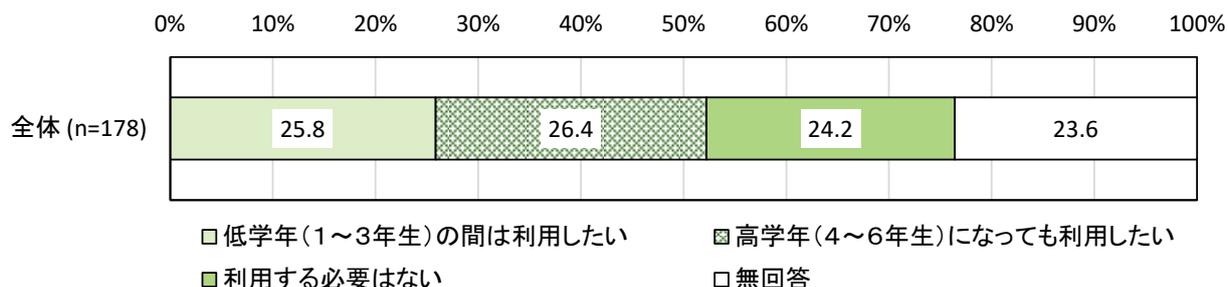


(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

問 27 宛名のお子様について、お子様の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1つのみ）利用希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

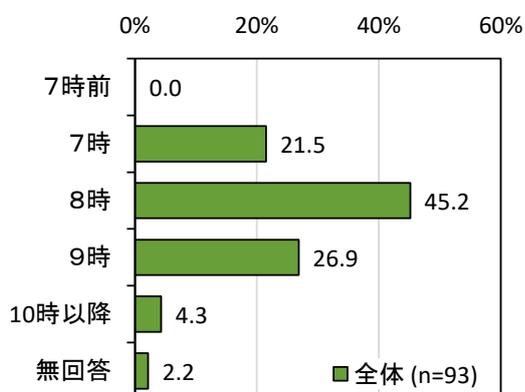
長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.4%で最も多く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.8%、「利用する必要はない」が24.2%となっています。

希望する利用開始時刻は「8時」が45.2%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が41.9%で最も多くなっています。

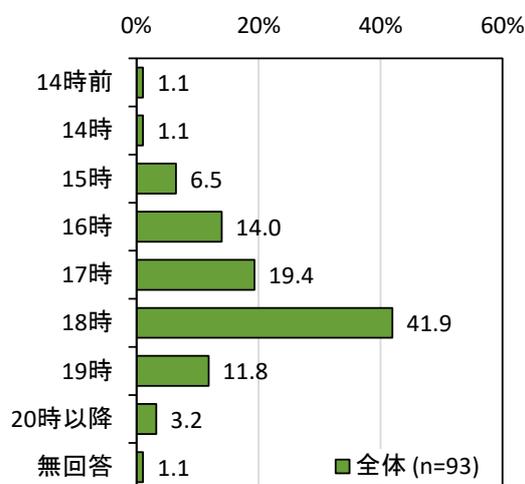


■利用したい時間帯

【利用開始時刻】



【利用終了時刻】



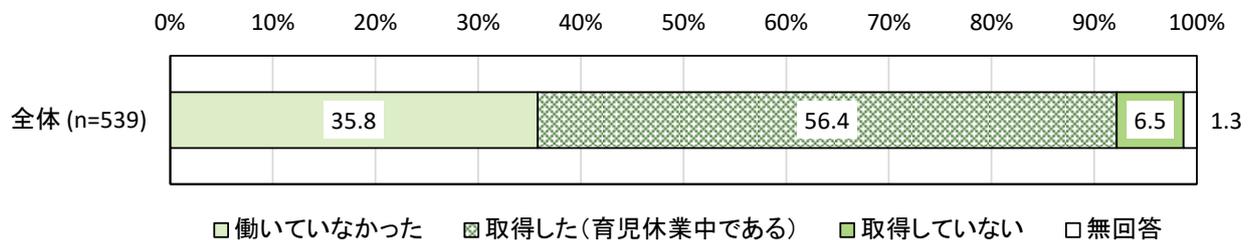
11 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

(1) 母親の育児休業の取得状況

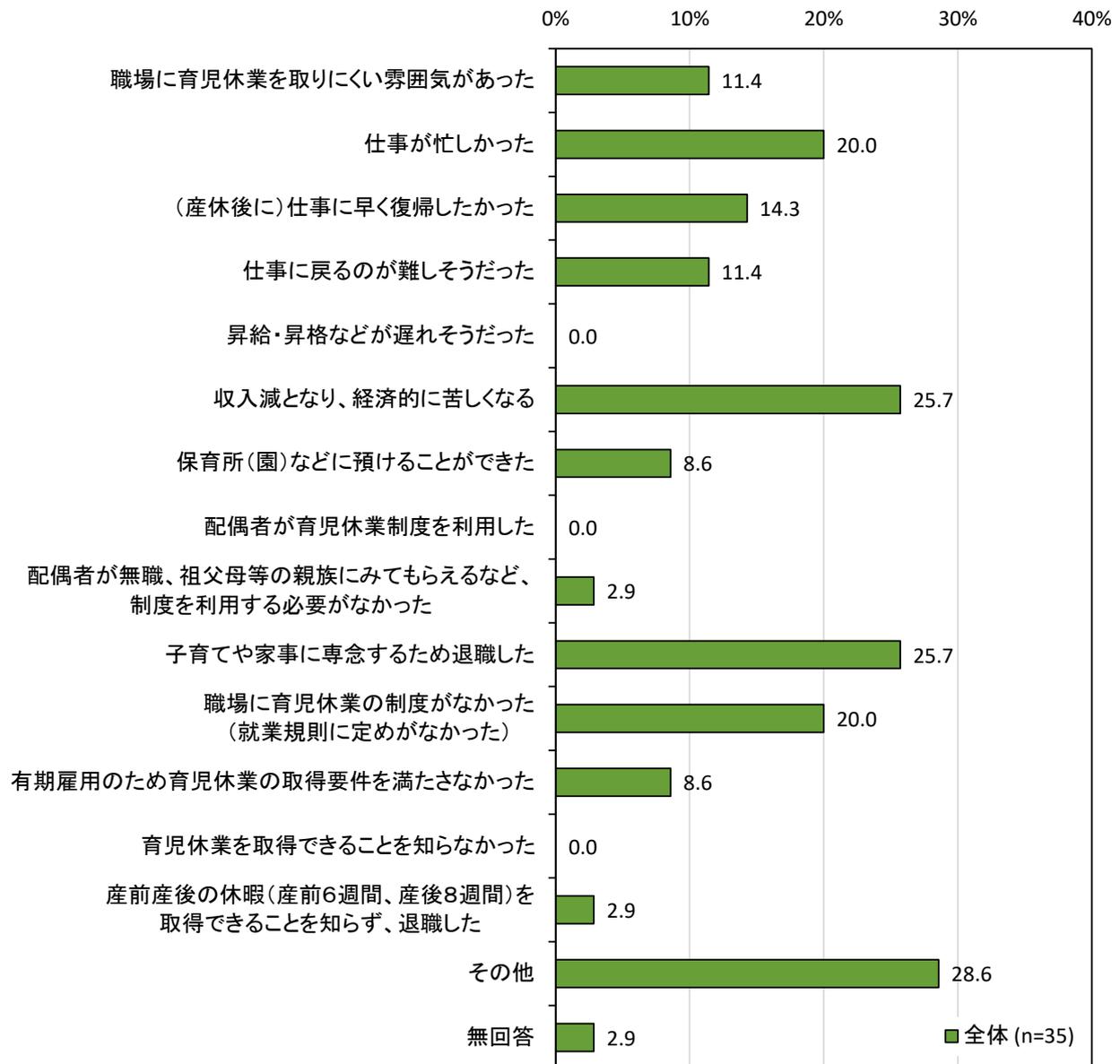
問 28 宛名のお子様が生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(1つのみ) また、取得していない方はその理由についてもお答えください。(いくつでも)

母親の育児休業の取得状況は、「取得した(育児休業中である)」が56.4%で最も多く、「働いていなかった」が35.8%、「取得していない」が6.5%となっています。

育児休業を取得していない理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「子育てや家事に専念するため退職した」がともに25.7%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がともに20.0%、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」が14.3%となっています。



■取得していない理由

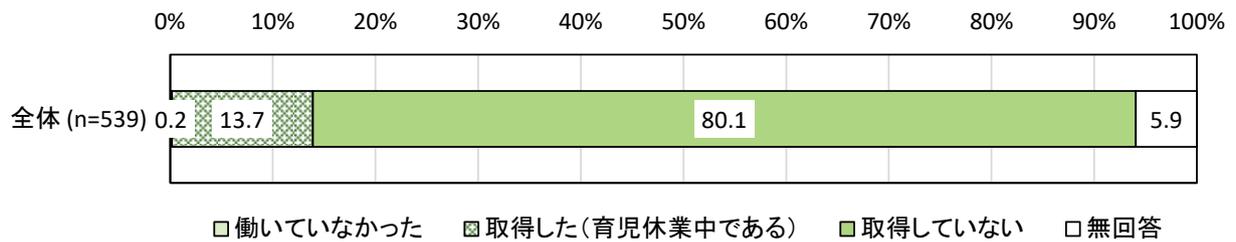


(2) 父親の育児休業の取得状況

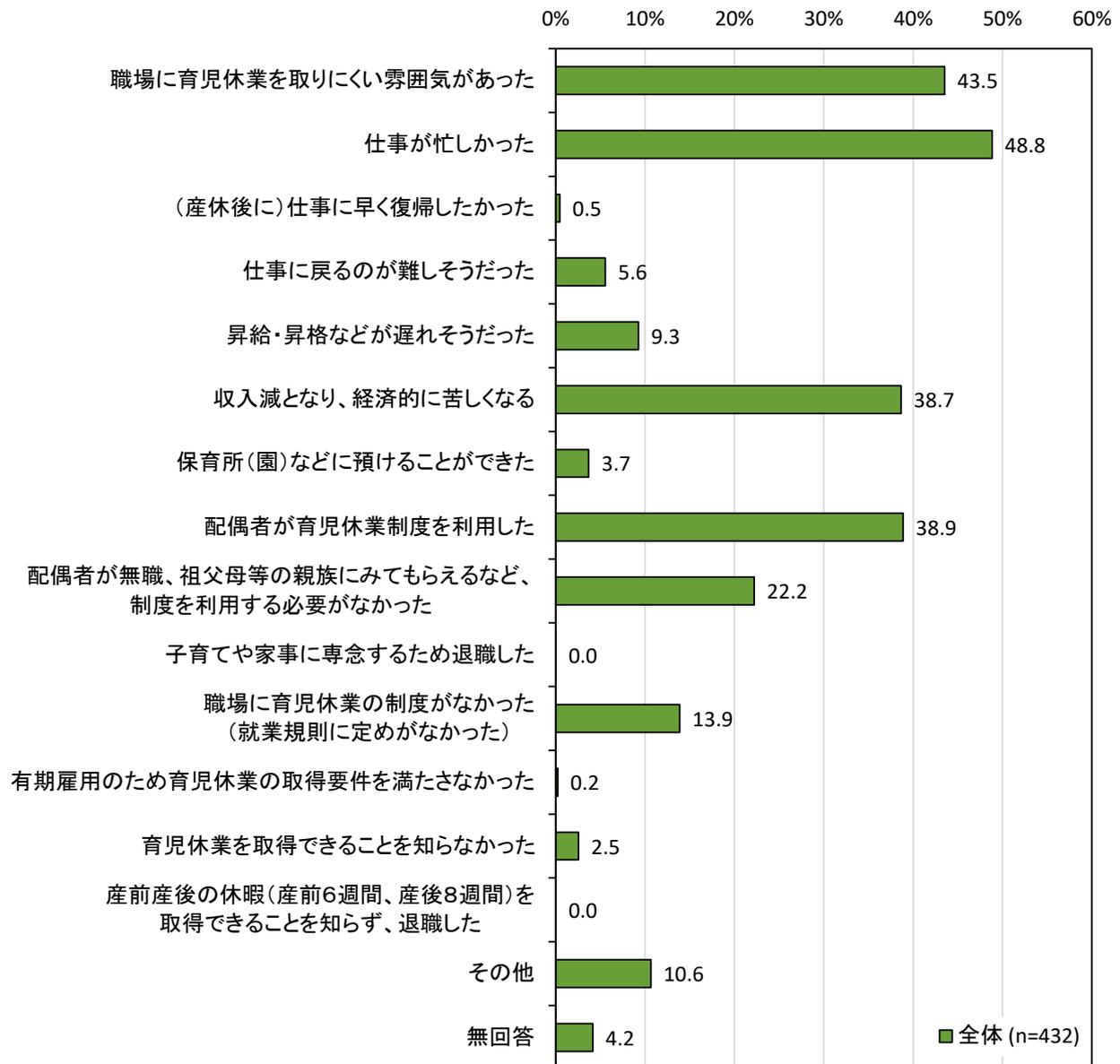
問 28 宛名のお子様が生れた時、父親は育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(1つのみ) また、取得していない方はその理由についてもお答えください。(いくつでも)

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が80.1%で最も多く、「取得した(育児休業中である)」が13.7%、「働いていなかった」が0.2%となっています。

育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が48.8%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が43.5%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が38.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が38.7%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が22.2%となっています。



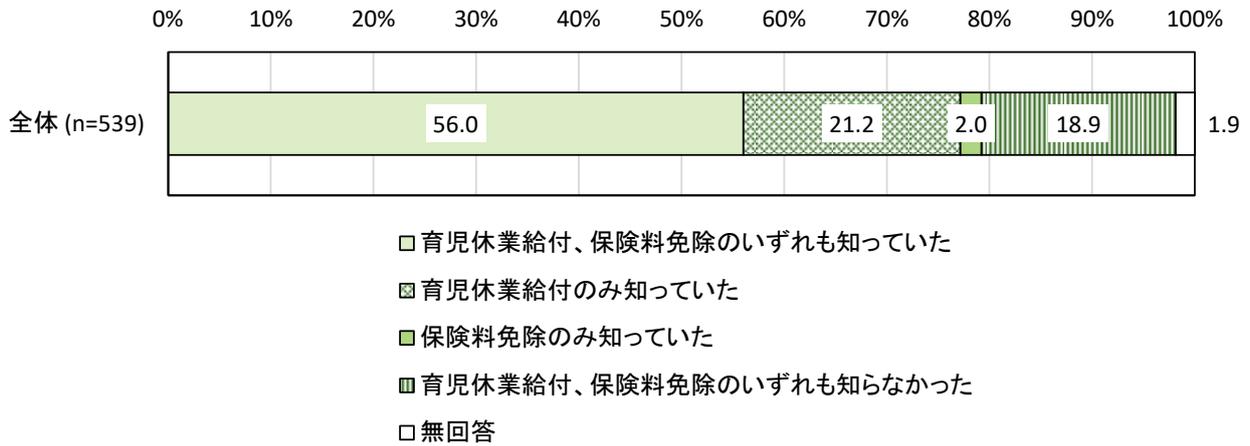
■取得していない理由



(3) 育児休業給付、保険料免除についての認知度

問 28-1 すべての方にお伺いします。
 「育児休業給付」、「保険料免除」の仕組みをご存知でしたか。(1つのみ)

育児休業給付、保険料免除についての認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が56.0%で最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が21.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が18.9%、「保険料免除のみ知っていた」が2.0%となっています。

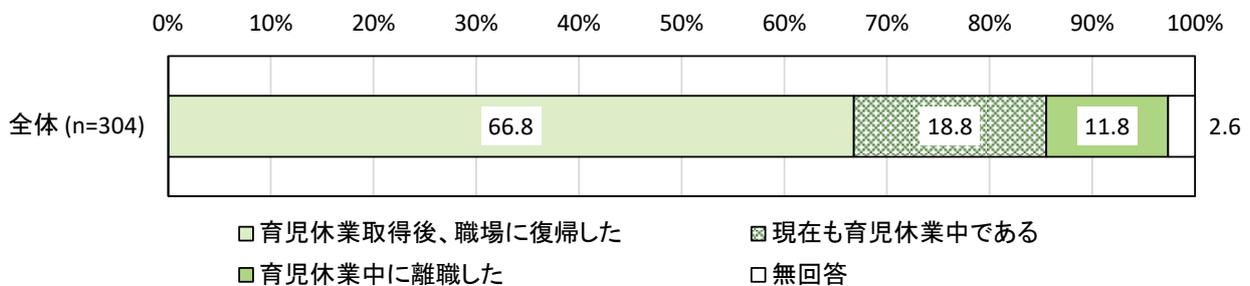


(4) 育児休業取得後の状況

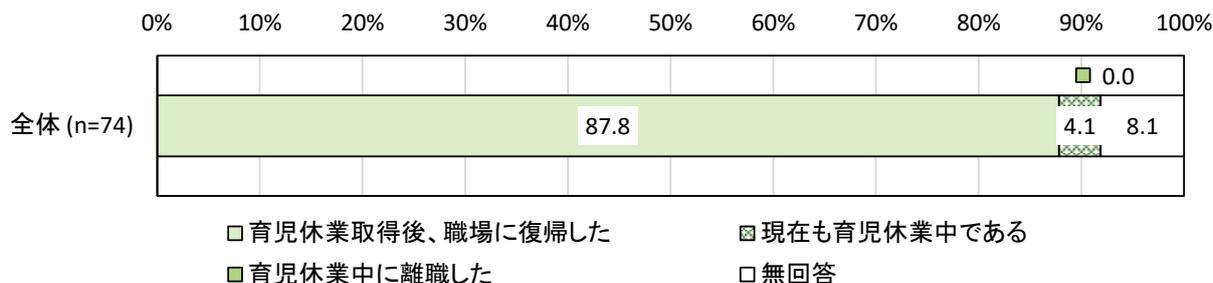
問 28-2 問 28 で「取得した（育児休業中である）」と回答した方のみ
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つのみ)

母親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が66.8%で最も多く、「現在も育児休業中である」が18.8%、「育児休業中に離職した」が11.8%となっています。
 また、父親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.8%となっています。

■母親の育児休業取得後の状況



■父親の育児休業取得後の状況



(5) 育児休業から職場に復帰したタイミング

問 28-3 問 28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
 (それぞれ1つのみ)
 ※年度初めでの認可保育所(園)入所を希望して、1月~2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育所に入所した場合は選択肢「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。
 ※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

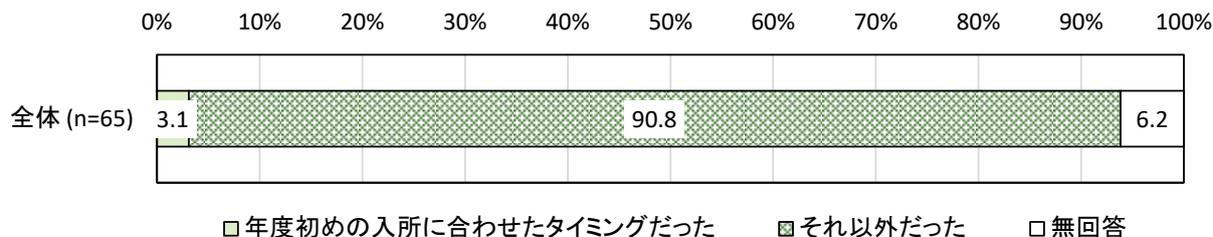
母親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が62.6%、「それ以外だった」が34.5%となっています。

一方、父親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、「それ以外だった」が90.8%となっています。

■母親の復帰時期



■父親の復帰時期



(6) 育児休業から職場に復帰する時期

問28-4 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

育児休業からは、「実際」にお子様は何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

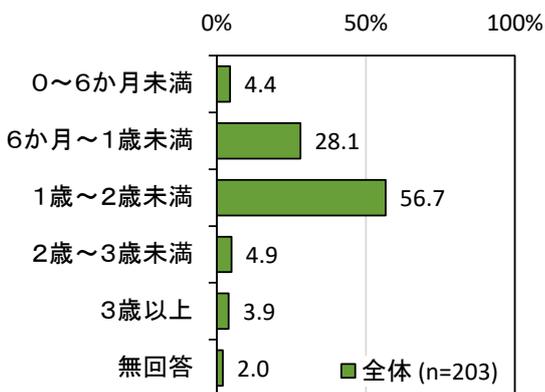
母親が職場に復帰した時期は、「1～2歳未満」が56.7%で最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が28.1%、「2～3歳未満」が4.9%「0～6か月未満」が4.4%となっています。

一方、母親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が46.3%で最も多く、次いで「2～3歳未満」が22.2%、「3歳以上」が13.3%、「6か月～1歳未満」が7.9%となっています。

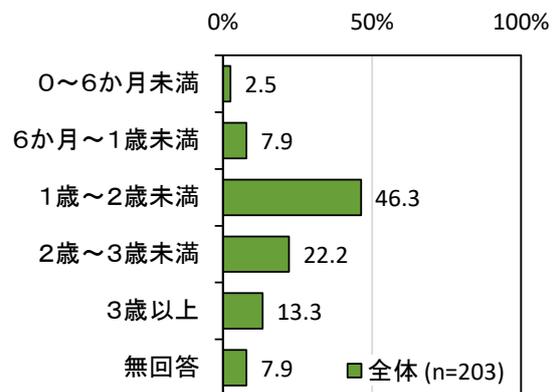
また、父親が職場に復帰した時期は、「0～6か月未満」が56.9%で最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が10.8%、「1～2歳未満」が4.6%となっています。

父親が希望する職場への復帰時期は、「0～6か月未満」が33.8%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が21.5%、「6か月～1歳未満」が7.7%となっています。

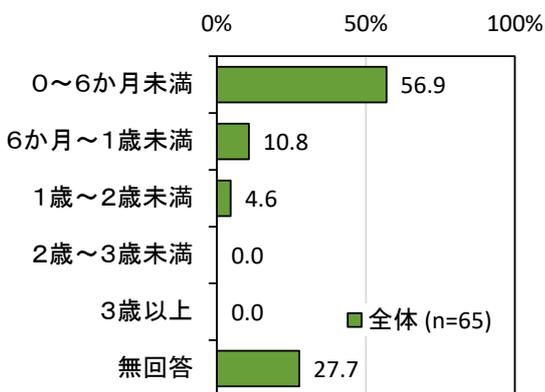
■母親の実際の復帰時期



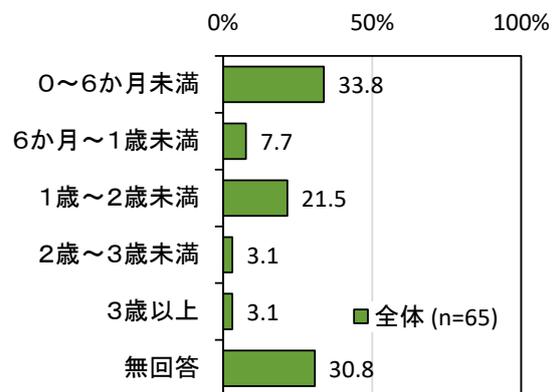
■母親の希望の復帰時期



■父親の実際の復帰時期



■父親の希望の復帰時期

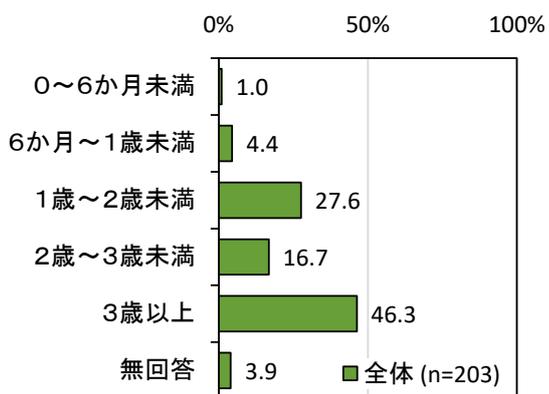


(7) 3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期

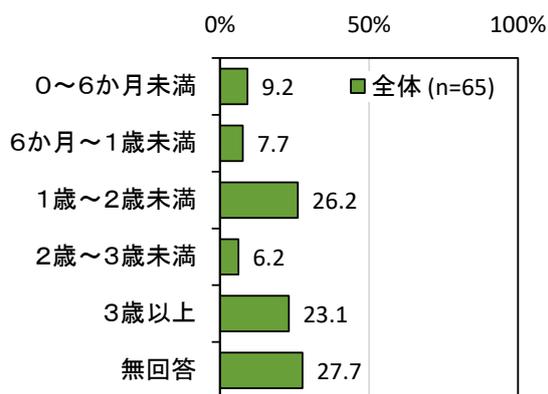
問 28-5 問 28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子様
 が何歳何か月のときまで取りたかったですか。

3歳まで休暇を取得できる場合、母親が希望する職場への復帰時期は、「3歳以上」が46.3%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が27.6%、「2～3歳未満」が16.7%となっています。
 一方、父親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が26.2%で最も多く、次いで「3歳以上」が23.1%となっています。

■母親の希望の復帰時期



■父親の希望の復帰時期



(8) 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由

問28-6 問28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ

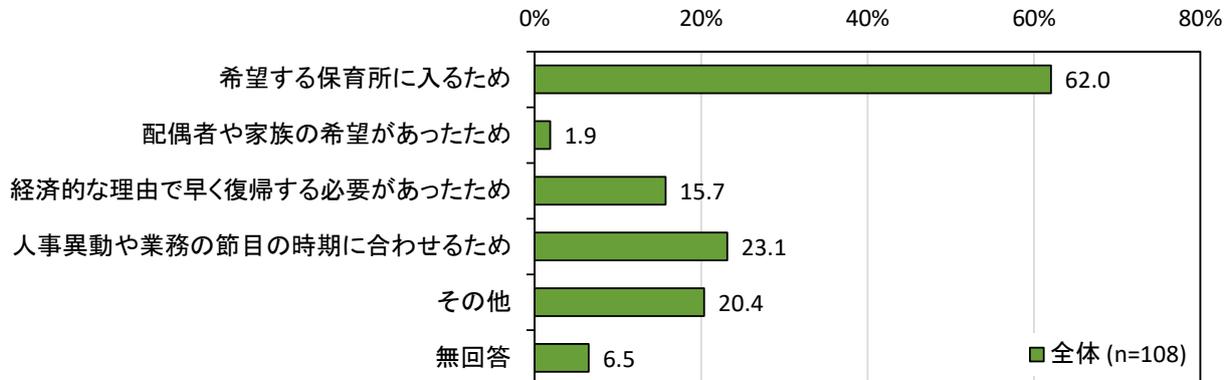
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方（それぞれいくつでも）

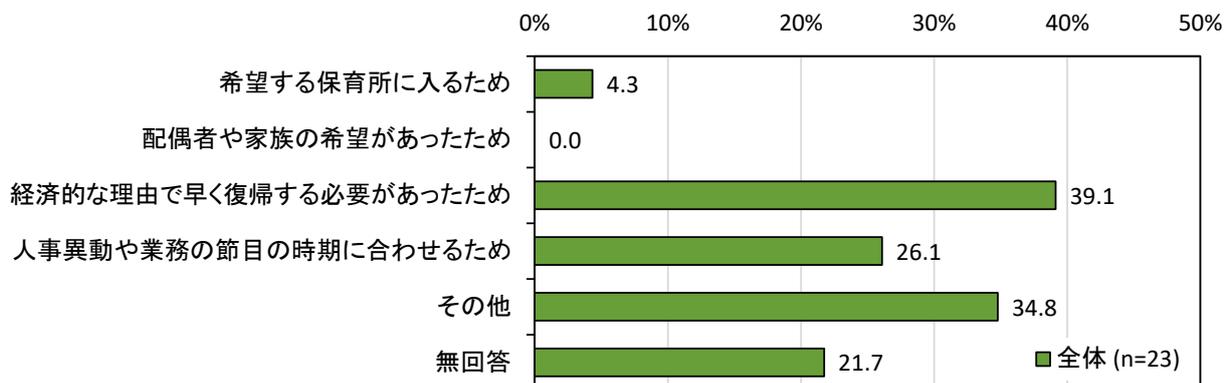
母親が希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が62.0%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が23.1%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が15.7%となっています。

一方、父親が希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が39.1%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.1%、「希望する保育所に入るため」が4.3%となっています。

■母親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）



■父親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）



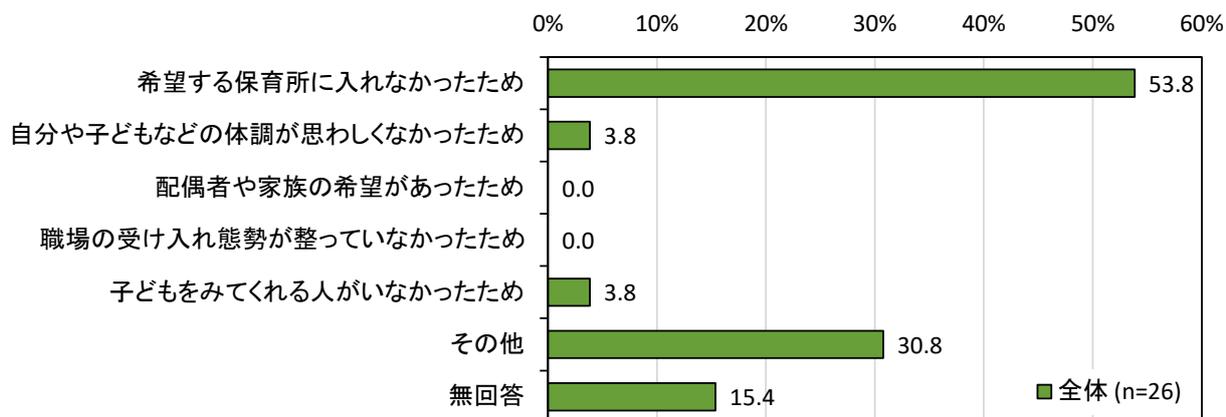
(9) 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由

問28-6 問28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。
 (2) 希望より遅く復帰した方(それぞれいくつでも)

母親が希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が53.8%で最も多く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに3.8%となっています。

父親が希望より遅く復帰した理由について、対象者2名の回答はいずれも無回答でした。

■母親が育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由(遅く復帰した家庭のみの集計)



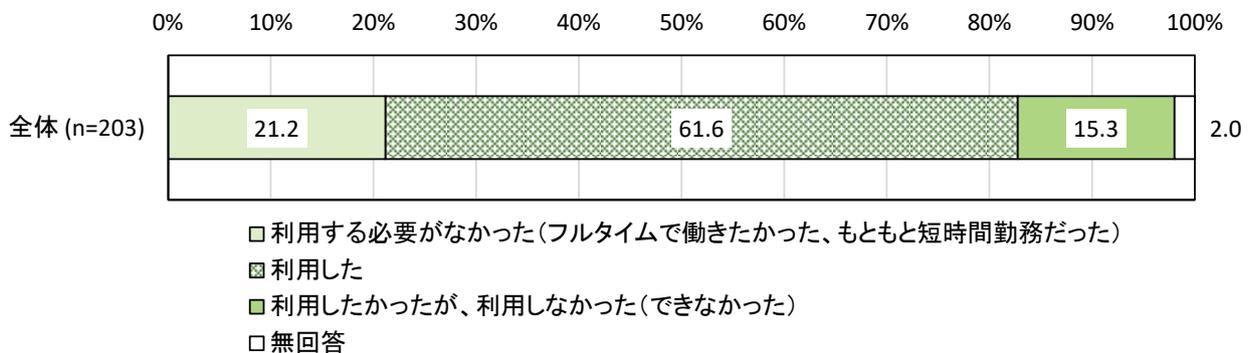
(10) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用

問28-7 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ1つのみ)

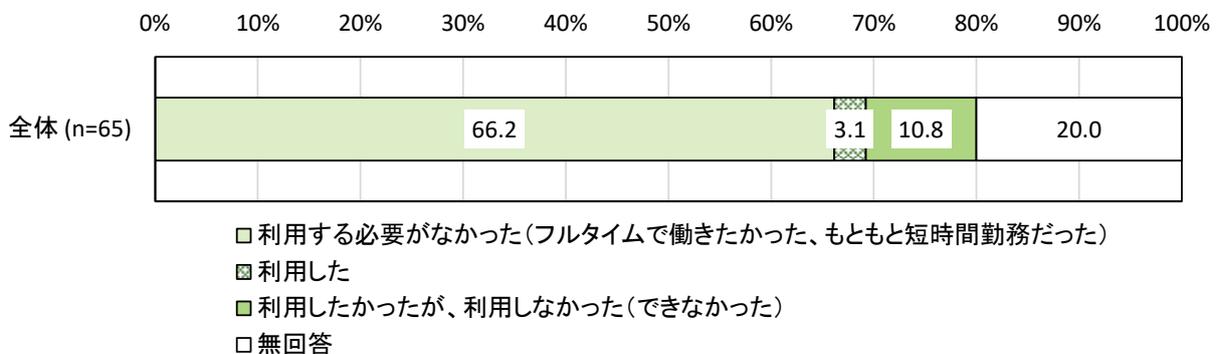
母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用は、「利用した」が61.6%で最も多く、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が21.2%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が15.3%となっています。

一方、父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用は、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が66.2%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が10.8%、「利用した」が3.1%となっています。

■母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況



■父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況



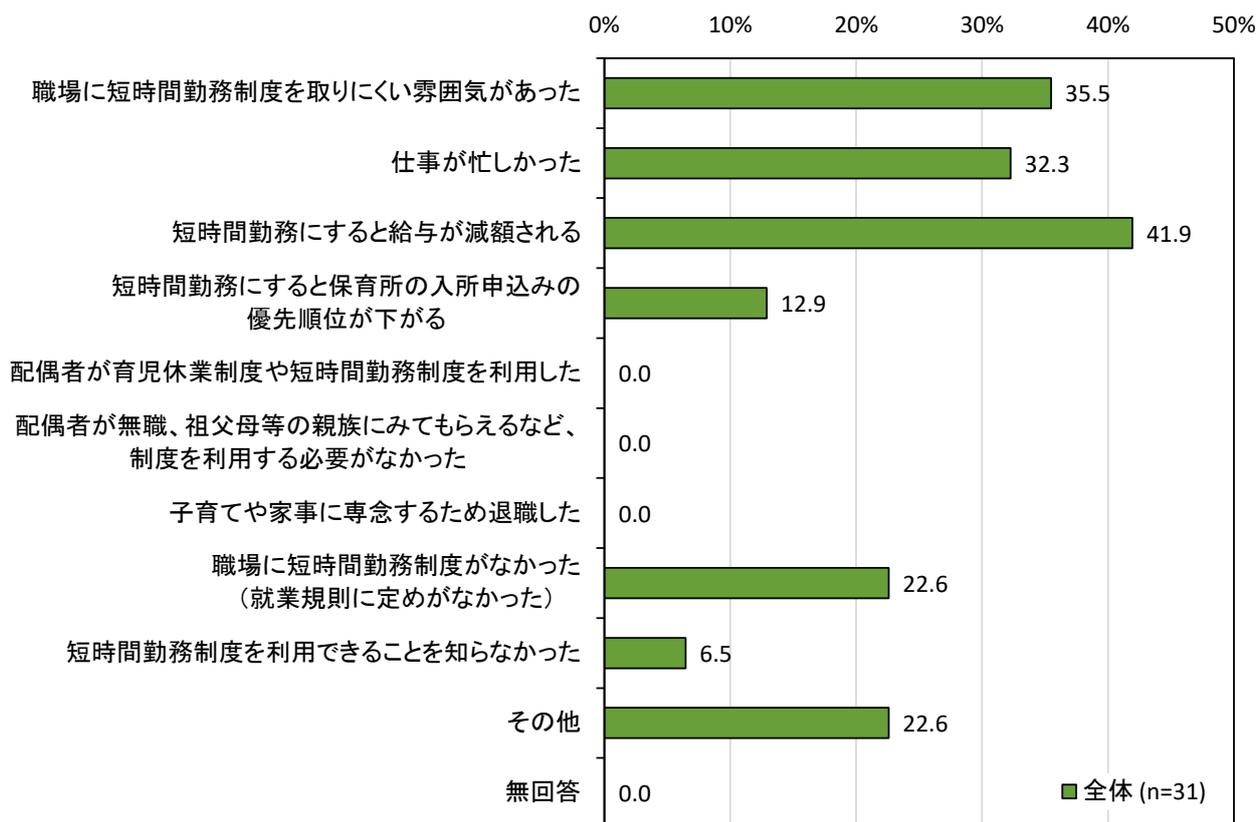
(11) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 28-8 問 28-7で「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方にお伺いします。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由をお答えください。
 （それぞれいくつでも）

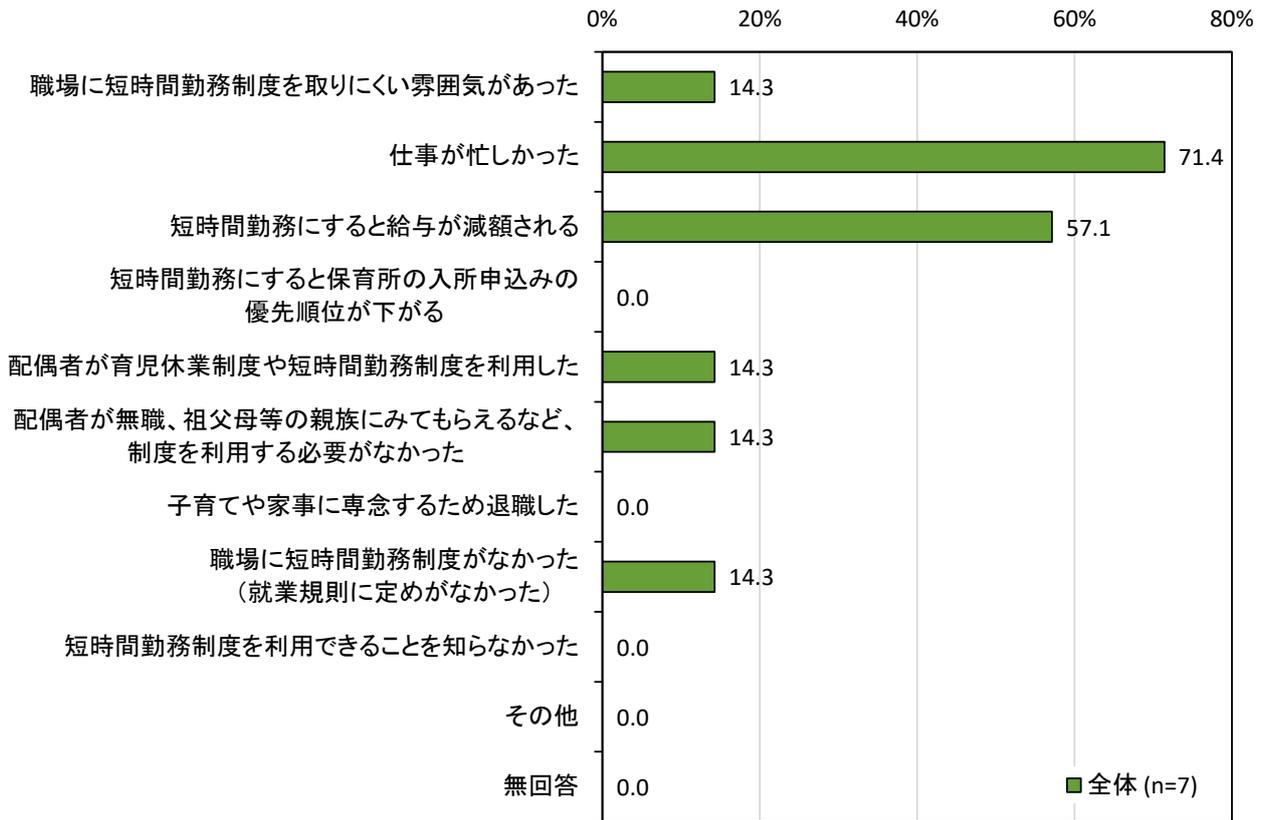
母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「短時間勤務にすると給与が減額される」が41.9%で最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が35.5%、「仕事が忙しかった」が32.3%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.6%となっています。

一方、父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が71.4%で最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が57.1%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がいずれも14.3%となっています。

■母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由



■父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

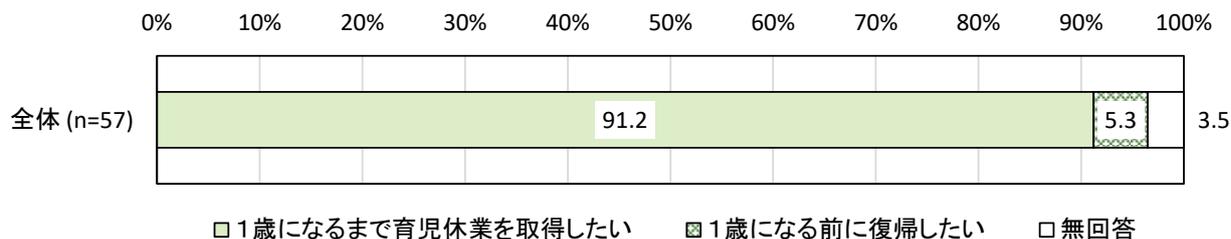


(12) 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向

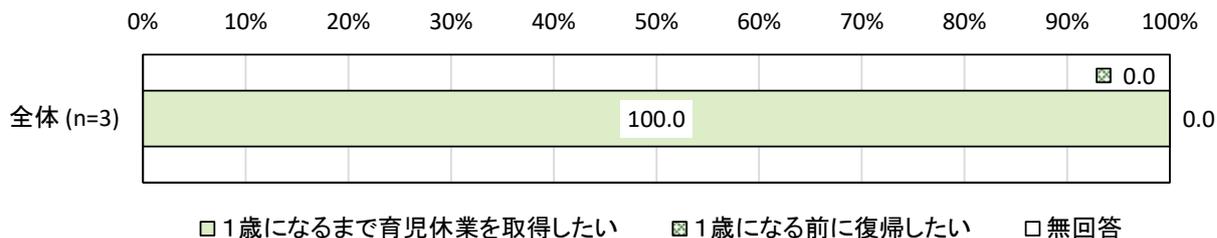
問 28-9 問 28-2で「現在も育児休業中である」と回答した方のみ
 宛名のお子様が1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
 (それぞれ1つのみ)

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.2%、「1歳になる前に復帰したい」が5.3%となっています。
 父親の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100.0%となっています。

■子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向



■子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の父親の意向

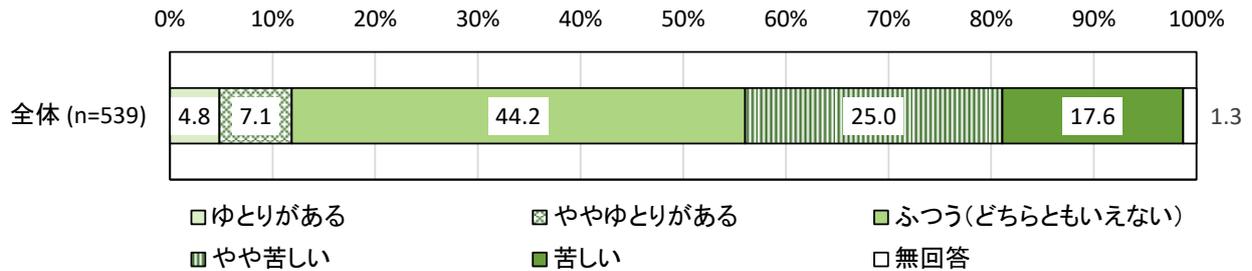


12 子どもを育てるための経済的な負担について

(1) 現在の経済状況（家計状況）について

問 29 お子様を養育して生活している現在の経済状況（家計状況）を、どのように感じているかお答えください。（1つのみ）

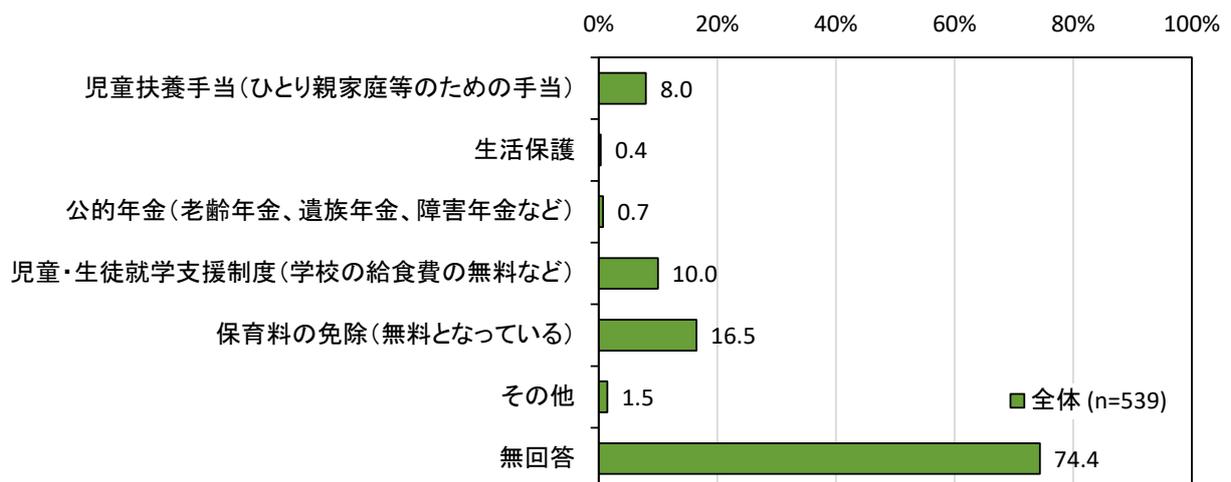
現在の経済状況（家計状況）については、「ふつう（どちらともいえない）」が44.2%で最も多く、次いで「やや苦しい」が25.0%、「苦しい」が17.6%、「ややゆとりがある」が7.1%、「ゆとりがある」が4.8%となっています。



(2) 公的支援の受給状況

問 30 現在、生活が苦しい場合に受けられる何らかの公的支援を受けていれば、受けているものをお答えください。（いくつでも）

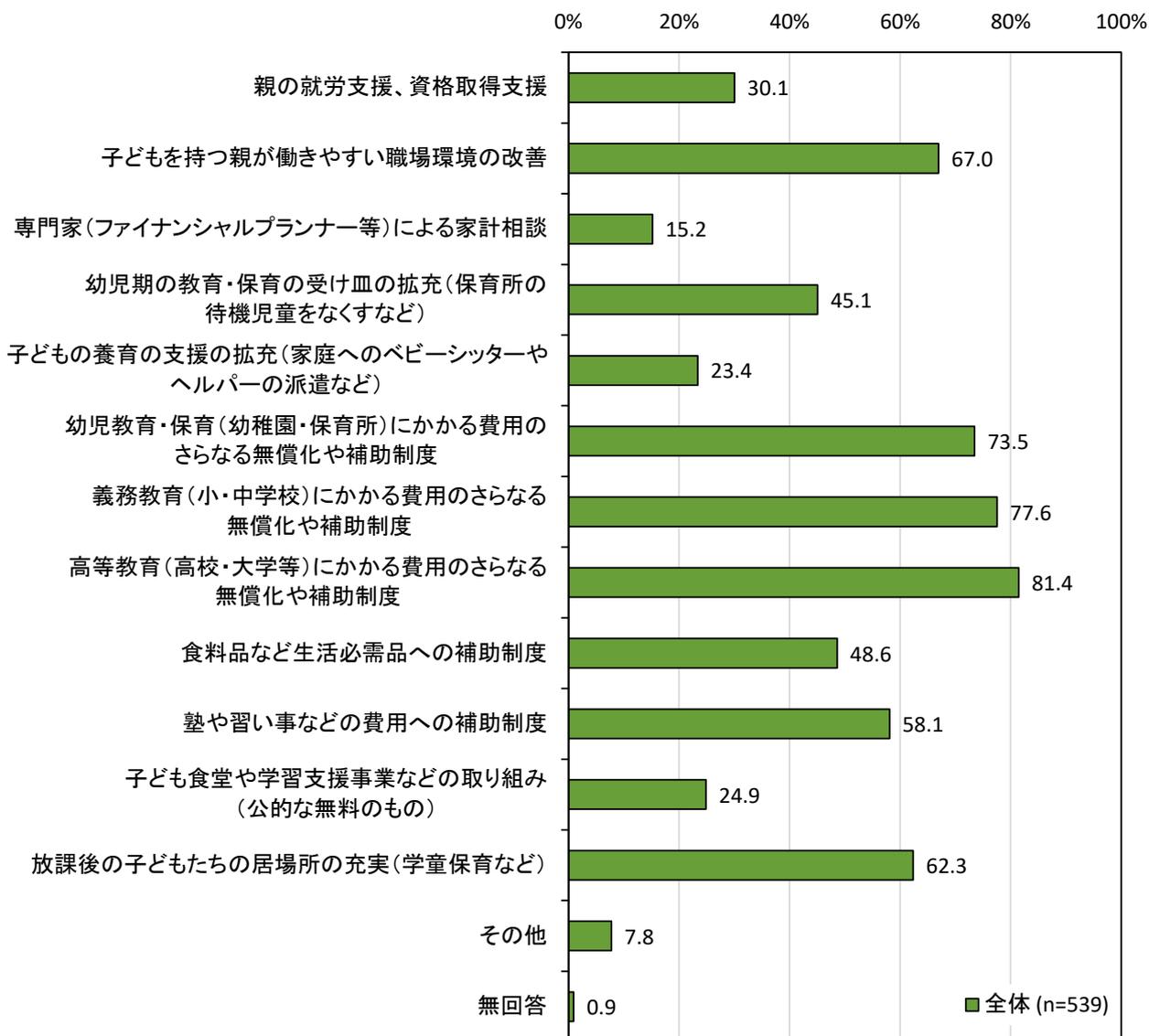
現在の公的資金の受給については、「保育料の免除（無料となっている）」が16.5%で最も多く、次いで「児童・生徒就学支援制度（学校の給食費の無料など）」が10.0%、「児童扶養手当（ひとり親家庭等のための手当）」が8.0%となっています。



(3) 子どもを育てていくための生活支援制度について

問31 安心して子どもを産み育てていくために、どのような生活支援制度があればよいとお考えですか。お答えください。(いくつでも)

安心して子どもを産み育てていくためにどのような生活支援制度があればよいかをたずねたところ、「高等教育（高校・大学等）にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」が81.4%で最も多く、次いで「義務教育（小・中学校）にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」が77.6%、「幼児教育・保育（幼稚園・保育所）にかかる費用のさらなる無償化や補助制度」が73.5%、「子どもを持つ親が働きやすい職場環境の改善」が67.0%、「放課後の子どもたちの居場所の充実（学童保育など）」が62.3%となっています。



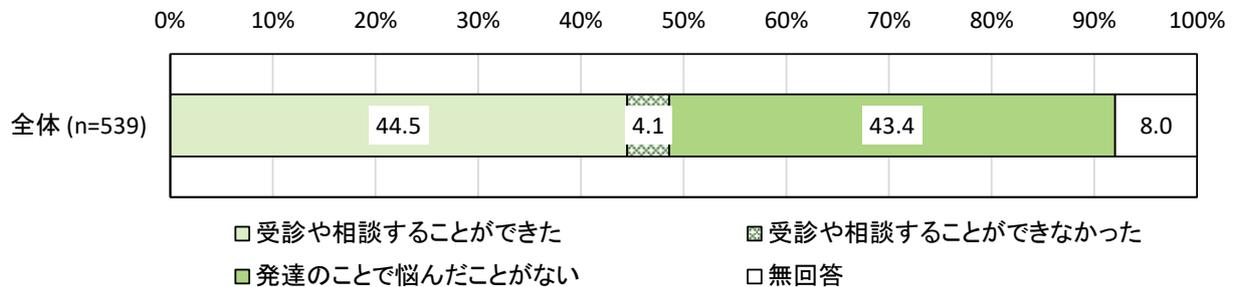
13 子育て支援施策全般について

(1) 発達の悩みについての相談

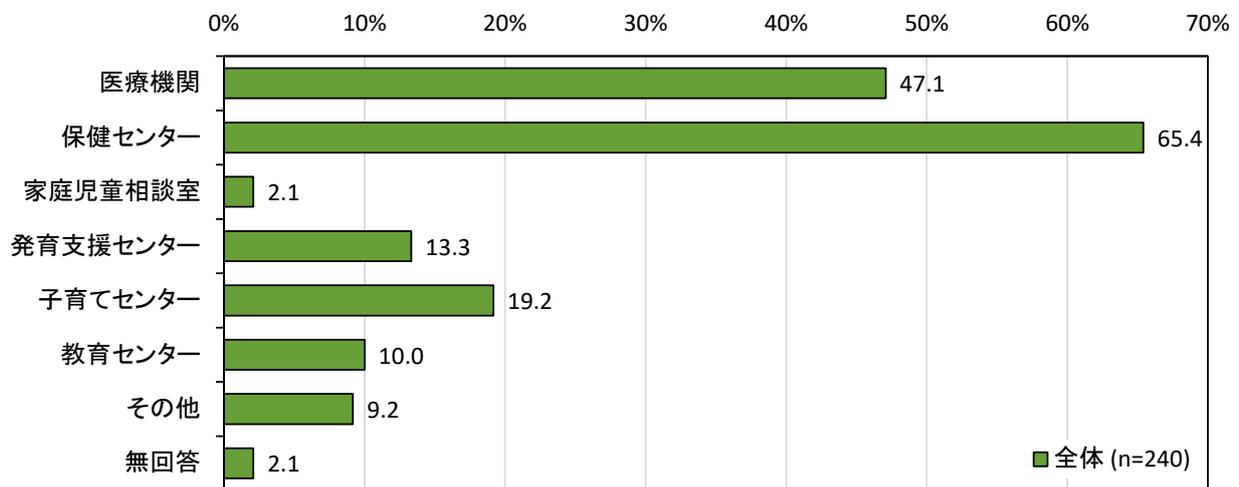
問 32 お子様に発達の心配があって悩んだとき、医療機関や公共機関（保健センター、家庭児童相談室、発育支援センター、子育てセンター、教育センターなど）に、受診したり相談したりすることができましたか。（1つのみ）また、受診や相談ができた場合の受診先・相談先もお答えください。（いくつでも）

お子さんに発達の悩みがあって悩んだとき、医療機関や公共機関に受診や相談をしたかについては、「受診や相談することができた」が44.5%で最も多く、「発達のことで悩んだことがない」が43.4%、「受診や相談することができなかった」が4.1%となっています。

また、受診や相談をした人の相談先では、「保健センター」が65.4%で最も多く、次いで「医療機関」が47.1%、「子育てセンター」が19.2%、「発育支援センター」が13.3%となっています。



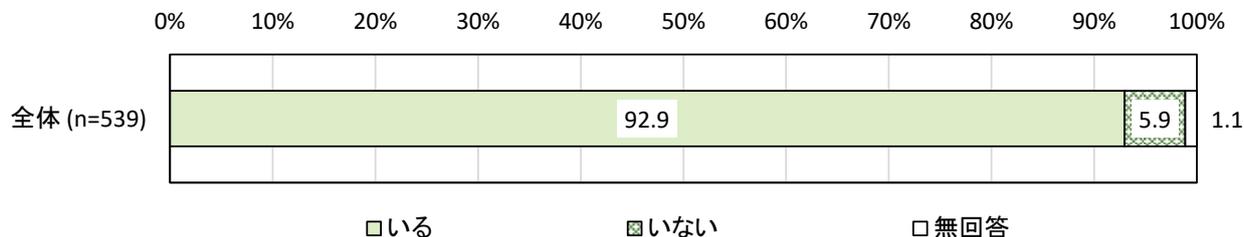
■受診先・相談先



(2) かかりつけ医の有無

問 33 お子様にかかりつけ医はいますか。(1つのみ)

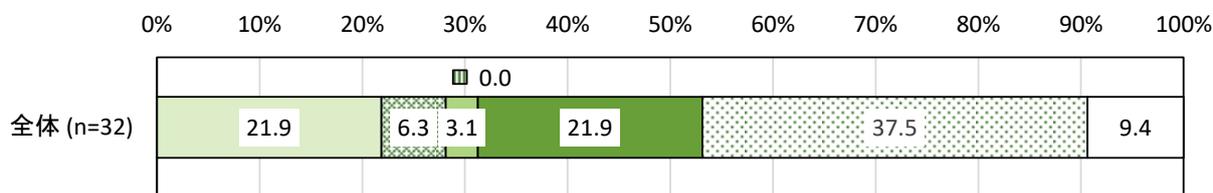
お子さんにかかりつけ医がいるかでは、「いる」が92.9%、「いない」が5.9%となっています。



(3) かかりつけ医がない理由

問 33-1 問 33で「いない」と回答した方のみ 現在いない理由はどのようなことですか。(1つのみ)

現在かかりつけ医がない理由は、「地域の医療機関(病院・医院・診療所)を知らない」、「かかりつけ医の必要性を感じない」がともに21.9%で最も多く、次いで「利用したい医療機関(病院・医院・診療所)が地域にない」が6.3%、「地域の医療サービスに不安がある」が3.1%となっています。

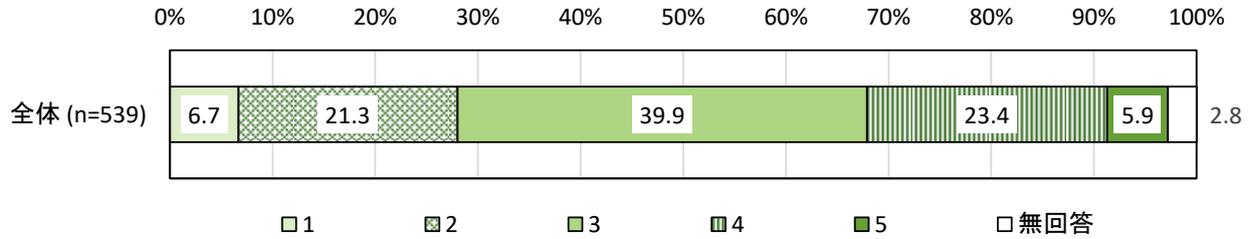


- 地域の医療機関(病院・医院・診療所)を知らない
- 利用したい医療機関(病院・医院・診療所)が地域にない
- 地域の医療サービスに不安がある
- 大病院の医療サービスを受けたい
- かかりつけ医の必要性を感じない
- その他
- 無回答

(4) 子育ての環境や支援への満足度

問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、総合的に判断してお答えください。(1つのみ)

地域における子育ての環境や支援への満足度は、「3 (どちらともいえない)」が39.9%で最も多く、次いで「4 (満足度がやや高い)」が23.4%、「2 (満足度がやや低い)」が21.3%、「1 (満足度が低い)」が6.7%、「5 (満足度が高い)」が5.9%となっています。



第4章 学童保育利用児童の保護者調査

第4章 学童保育利用児童の保護者調査

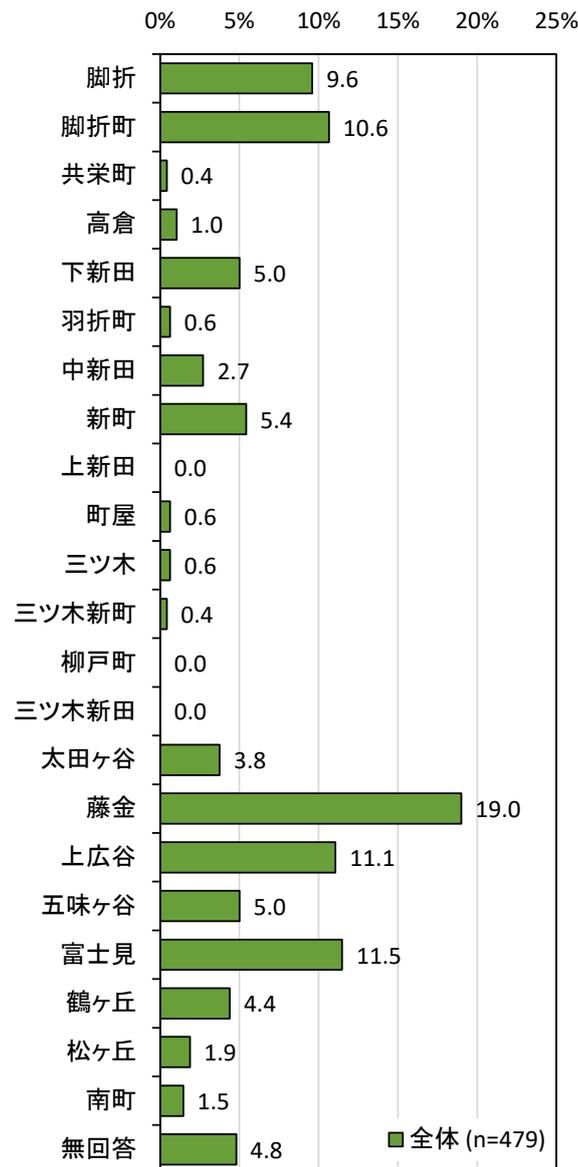
1 学童保育を利用しているお子さんとご家族の状況について

(1) 居住地区・小学校名・学年・学童保育室名

問1 お住まいの地区についてお答えください。(1つのみ)

また、お子様が通っている小学校・学年及び学童保育室名(クラブ名)をご記入ください。

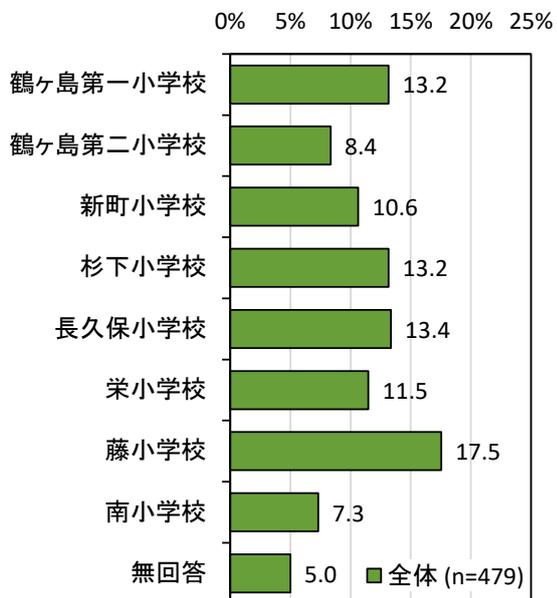
居住地区は、「藤金」が19.0%で最も多く、次いで「富士見」が11.5%、「上広谷」が11.1%、「脚折町」が10.6%、「脚折」が9.6%となっています。



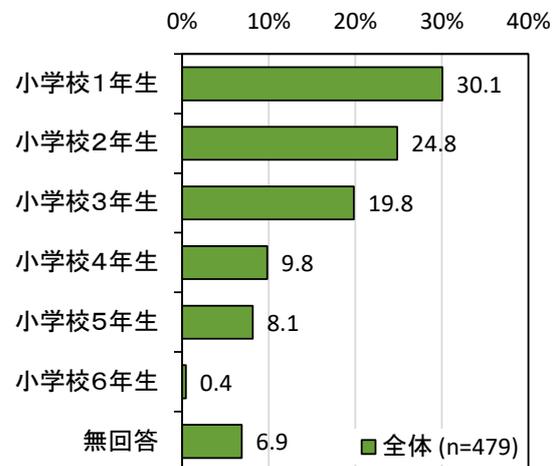
通っている小学校名は、「藤小学校」が17.5%、「長久保小学校」が13.4%、「鶴ヶ島第一小学校」、「杉下小学校」がそれぞれ13.2%「栄小学校」が11.5%となっています。

学年は、「小学校1年生」が30.1%で最も多く、次いで「小学校2年生」が24.8%、「小学校3年生」が19.8%、「小学校4年生」が9.8%、「小学校5年生」が8.1%となっています。

■小学校名

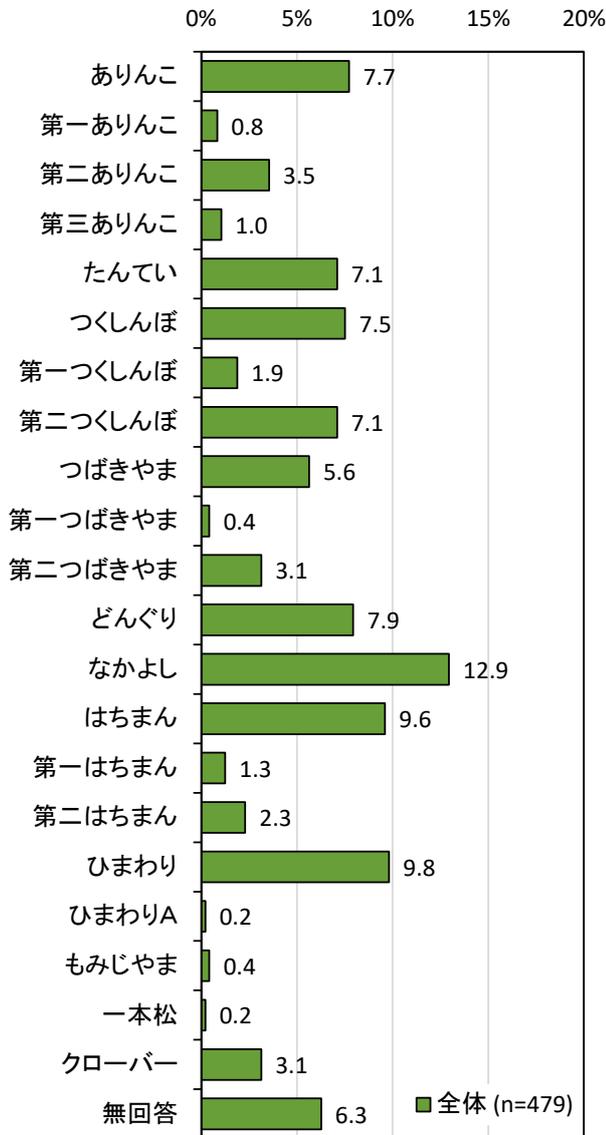


■学年



通っている学童保育室名は、「なかよし」が12.9%、「ひまわり」が9.8%、「はちまん」が9.6%「どんぐり」が7.9%、「ありんこ」が7.7%、「つくしんぼ」が7.5%となっています。

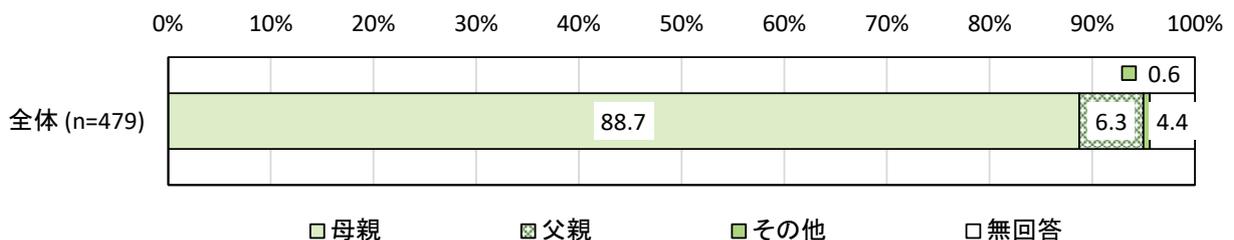
■学童保育室名



(2) 調査票回答者

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。

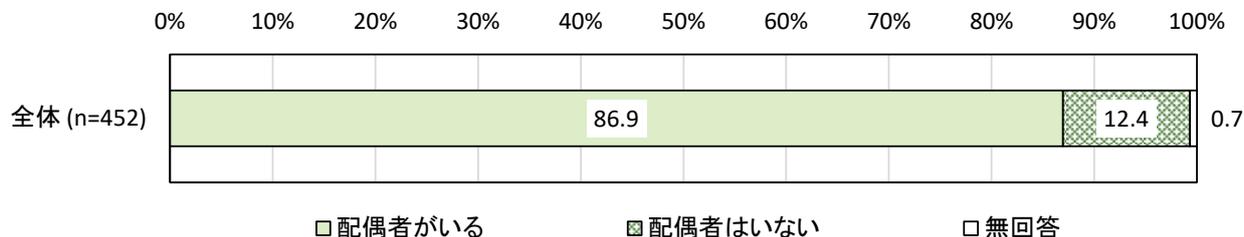
調査票回答者は、「母親」が88.7%、「父親」が6.3%となっています。



(3) 調査票回答者の配偶関係

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が86.9%、「配偶者はいない」が12.4%となっています。



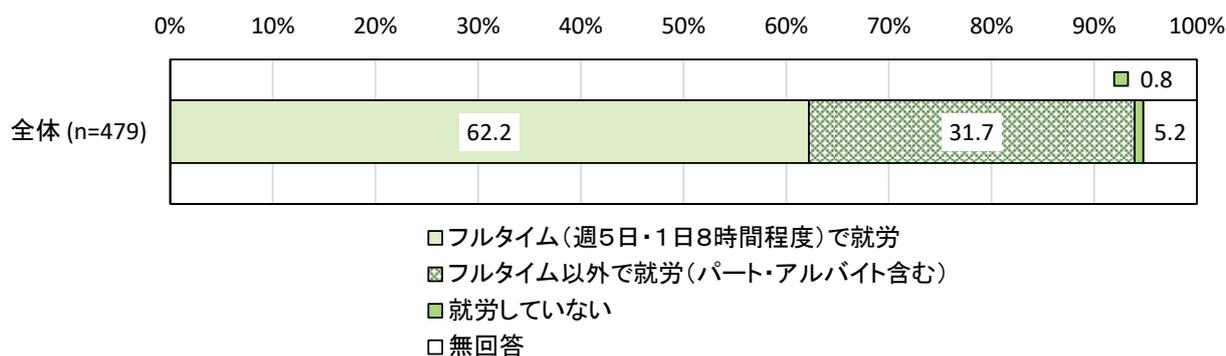
(4) 保護者の就労状況

問4 お子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

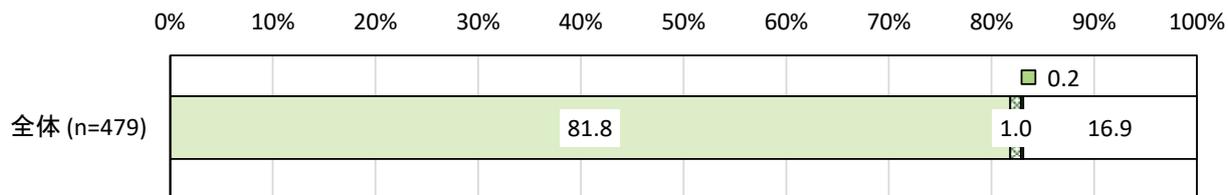
母親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労」が62.2%で最も多く、次いで「フルタイム以外で就労（パート・アルバイト含む）」が31.7%、「就労していない」が0.8%となっています。

父親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労」が81.8%で最も多く、次いで「フルタイム以外で就労（パート・アルバイト含む）」が1.0%、「就労していない」が0.2%となっています。

■母親（父子家庭の場合は記入は不要）



■父親（母子家庭の場合は記入は不要）



- フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労
- フルタイム以外で就労(パート・アルバイト含む)
- 就労していない
- 無回答

2 平日の定期的な学童保育の利用状況について

(1) 平日の学童保育の利用状況

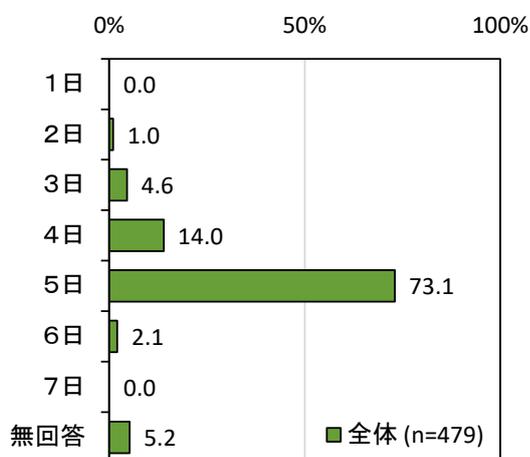
問5 平日（月曜日～金曜日）に定期的に利用している学童保育について、どのくらい利用していますか。また、本来の希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、下校時から何時までかについてご記入ください。

平日の学童保育の利用状況について、現在の利用日数は「5日」が73.1%で最も多く、希望の利用日数でも「5日」が69.5%で最も多くなっています。

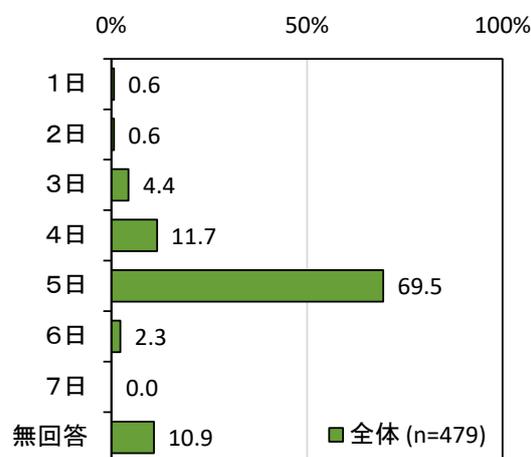
現在の利用時間（下校時から）は「18時」が52.0%で最も多く、希望の利用時間も「18時」が45.7%で最も多くなっています。

■ 1週あたりの利用日数

【現在】

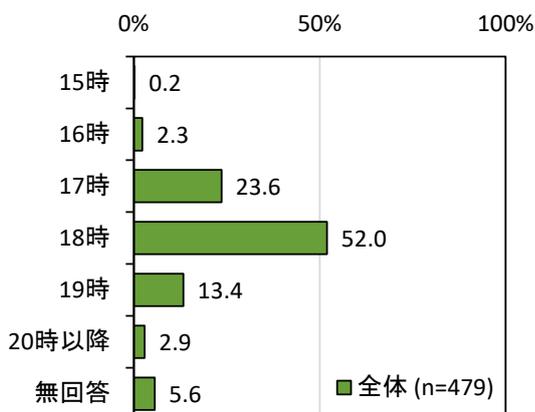


【希望】

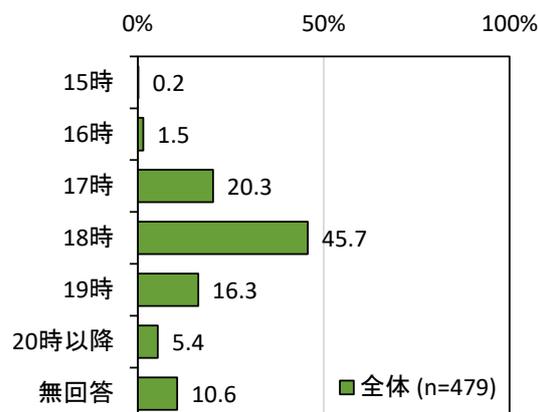


■ 利用時間（下校時から）

【現在】



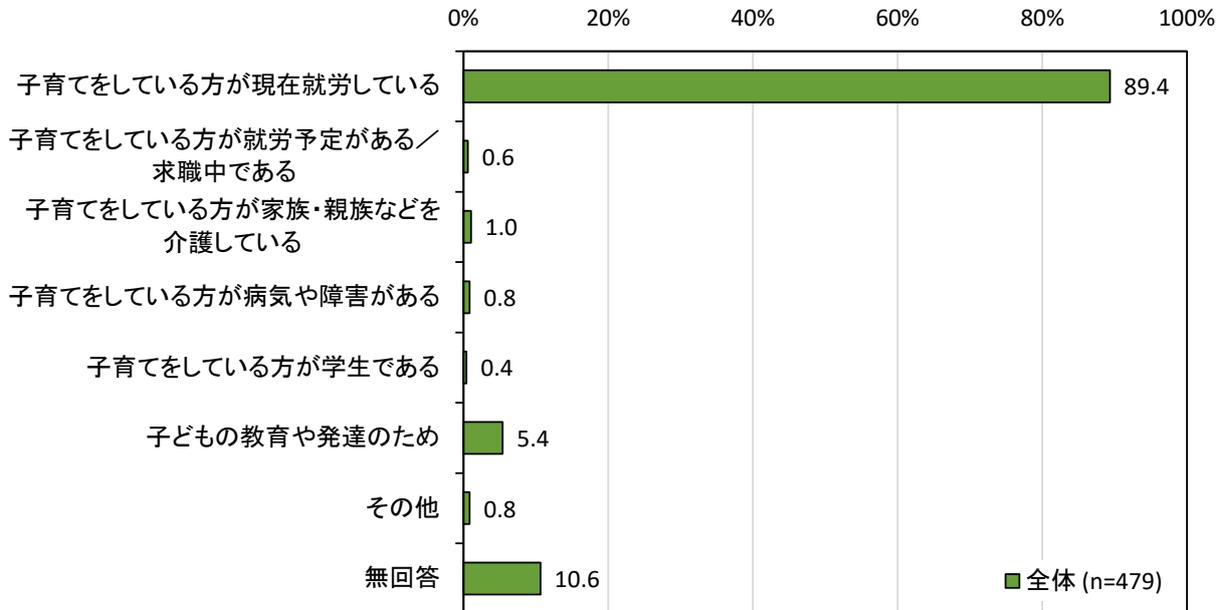
【希望】



(2) 平日に定期的に学童保育を利用している理由

問6 平日（月曜日～金曜日）に定期的に学童保育を利用されている理由についてお答えください。
（いくつでも）

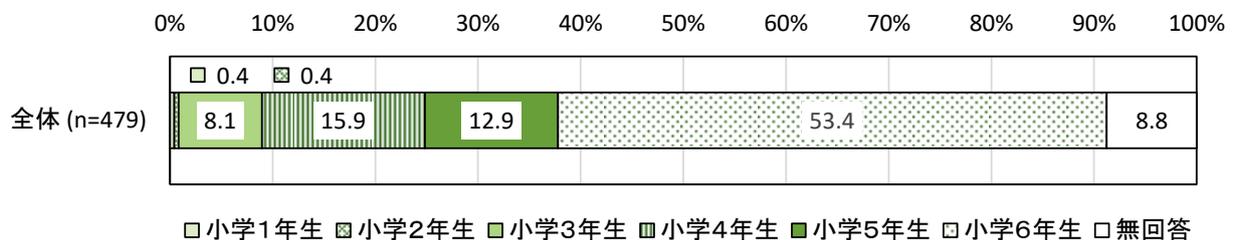
平日に定期的に学童保育を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が89.4%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が5.4%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」が1.0%となっています。



(3) 学童保育の利用希望学年

問7 お子様の学童保育の利用について、何年生まで利用させることを希望していますか。

学童保育を何年生まで利用させることを希望しているかでは、「小学6年生」が53.4%で最も多く、次いで「小学4年生」が15.9%、「小学5年生」が12.9%、「小学3年生」が8.1%となっています。

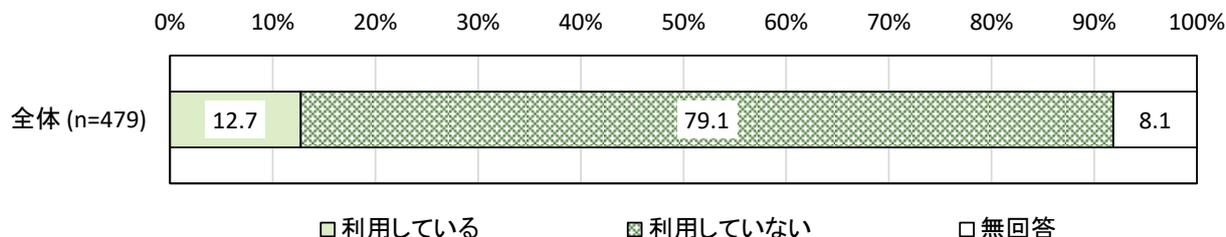


3 土曜・休日や長期休暇中の定期的な学童保育の利用希望について

(1) 土曜日の学童保育を利用しているか

問8 お子様は、現在、土曜日に学童保育を利用していますか。(1つのみ)

土曜日の学童保育を利用しているかでは、「利用していない」が79.1%、「利用している」が12.7%となっています。



(2) 土曜日の学童保育の利用状況・利用希望

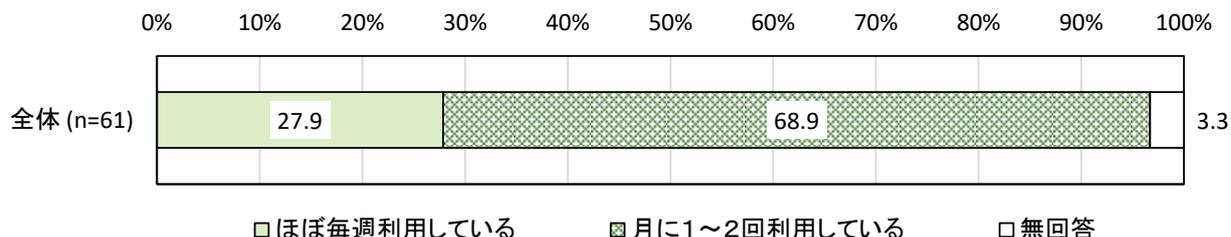
問8-1 問8で「利用している」と回答した方に伺います。

土曜日に利用している学童保育について、どのくらい利用していますか。(1つのみ) また、現在と希望の利用時間についてご記入ください。

土曜日の学童保育の利用状況は、「月に1~2回利用している」が68.9%、「ほぼ毎週利用している」が27.9%となっています。1日あたりの利用時間は、現在は「8時間」が23.0%で最も多く、希望も「8時間」が19.7%で最も多くなっています。

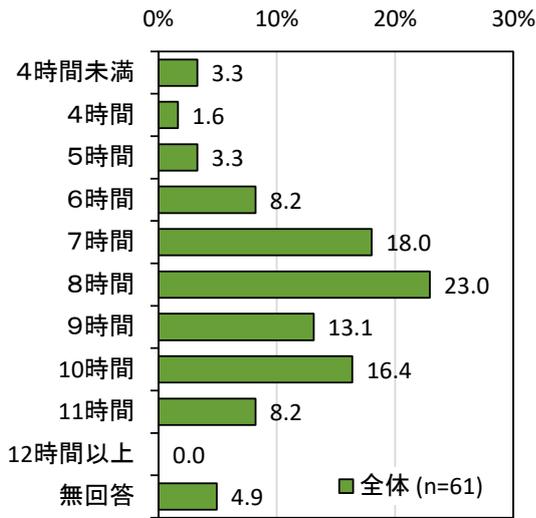
利用開始時刻については、現在は「8時」が52.5%で最も多く、希望も「8時」が44.3%で最も多くなっています。

利用終了時刻については、現在は「18時」が32.8%で最も多く、希望も「18時」が23.0%で最も多くなっています。

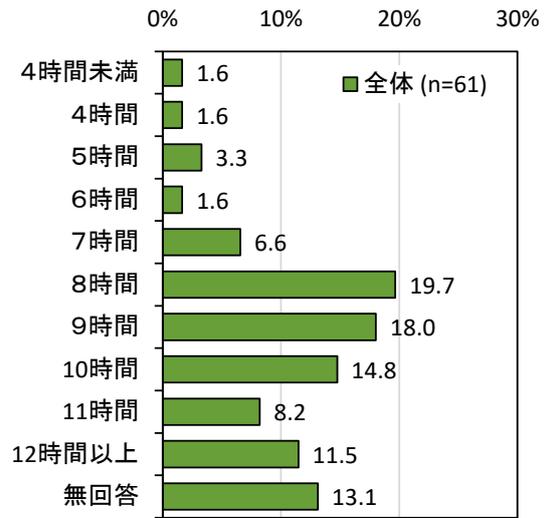


■ 1日あたりの利用時間

【現在】

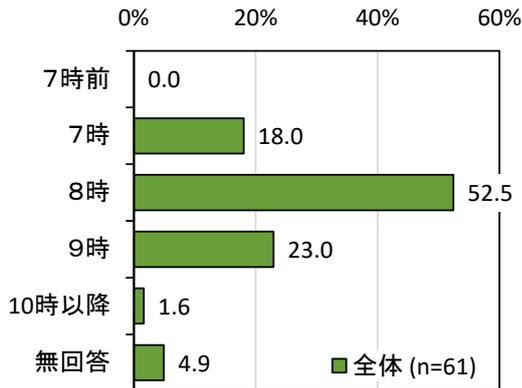


【希望】

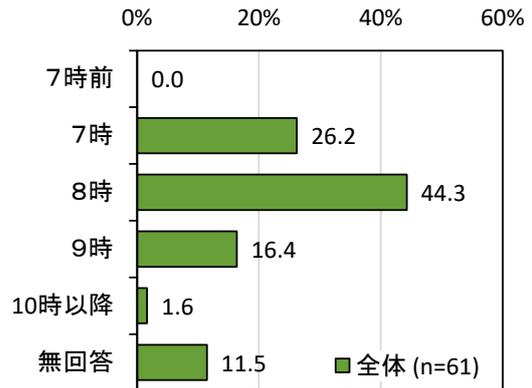


■ 利用開始時刻

【現在】

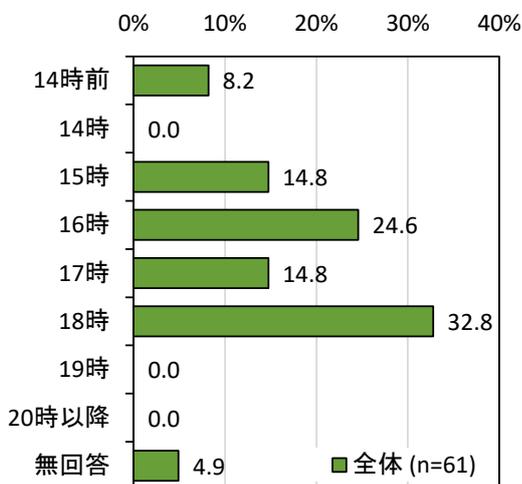


【希望】

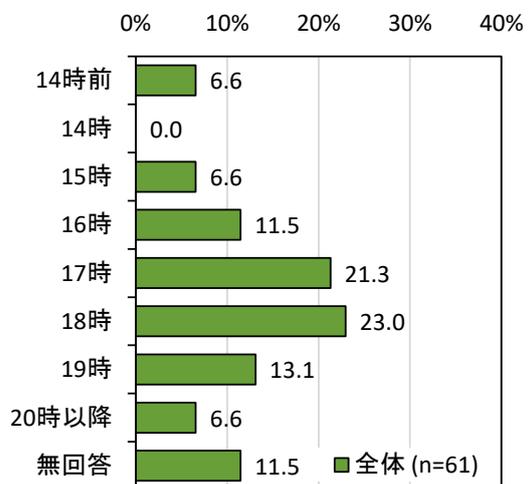


■ 利用終了時刻

【現在】



【希望】



(3) 日曜・祝日の学童保育の利用希望

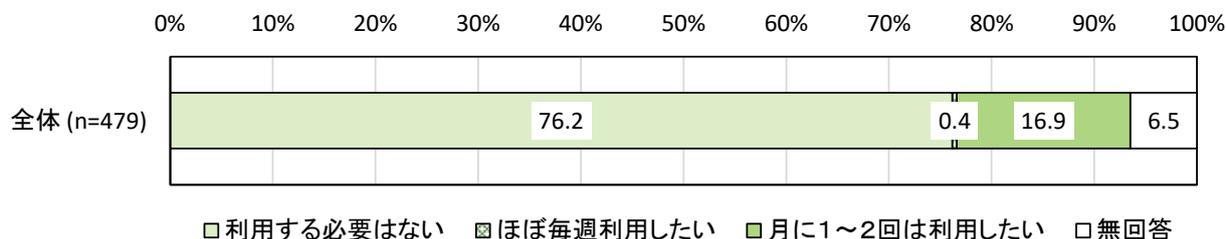
問9 お子様について、日曜・祝日に、定期的な学童保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、1日あたり何時間（何時から何時まで）かをご記入ください。

日曜・祝日の学童保育の利用希望は、「利用する必要はない」が76.2%、「月に1～2回は利用したい」が16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が0.4%となっています。

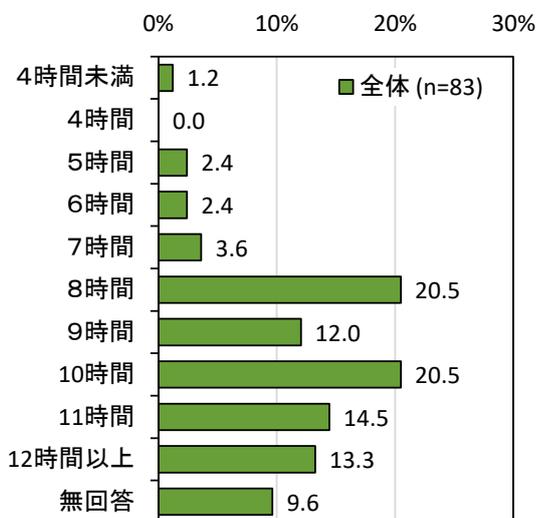
1日あたりの利用希望時間は、「8時間」、「10時間」がともに20.5%で最も多く、次いで「11時間」が14.5%、「12時間以上」が13.3%、「9時間」が12.0%となっています。

利用希望開始時刻は、「8時」が47.0%で最も多く、次いで「7時」が25.3%、「9時」が19.3%、「10時以降」が2.4%となっています。

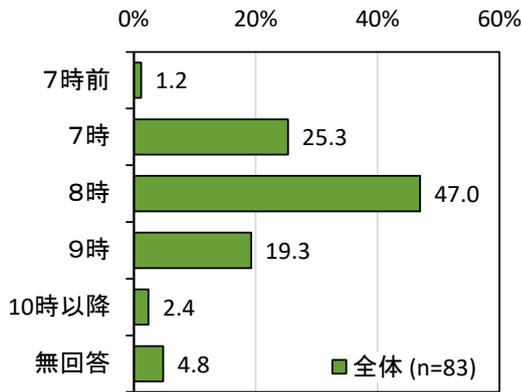
利用希望終了時刻は、「18時」が42.2%で最も多く、次いで「19時」が15.7%、「16時」が13.3%、「17時」が10.8%となっています。



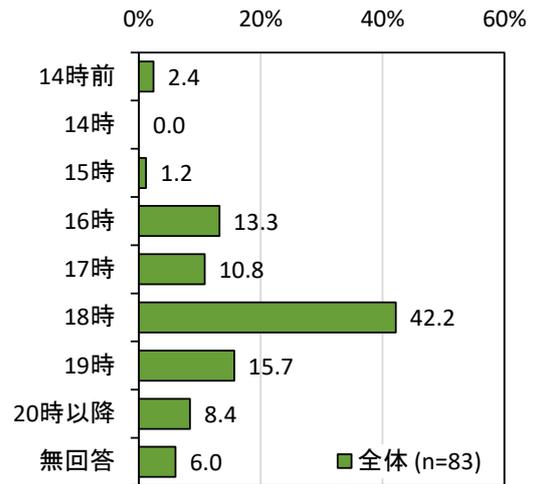
■ 1日あたりの利用希望時間



■利用希望開始時刻



■利用希望終了時刻

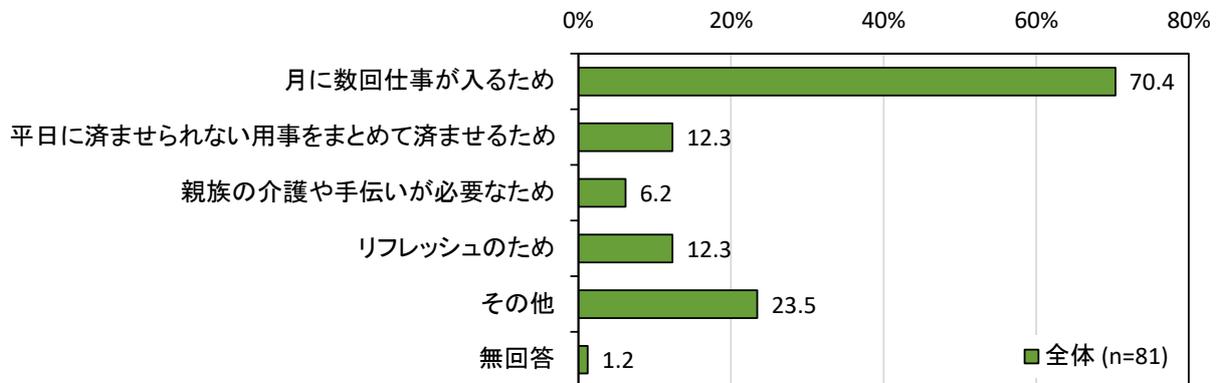


(4) 日曜・祝日の学童保育をたまに利用したい理由

問9-1 問9で、「月に1～2回は利用したい」と回答した方に伺います。

具体的な理由をお答えください。(いくつでも)

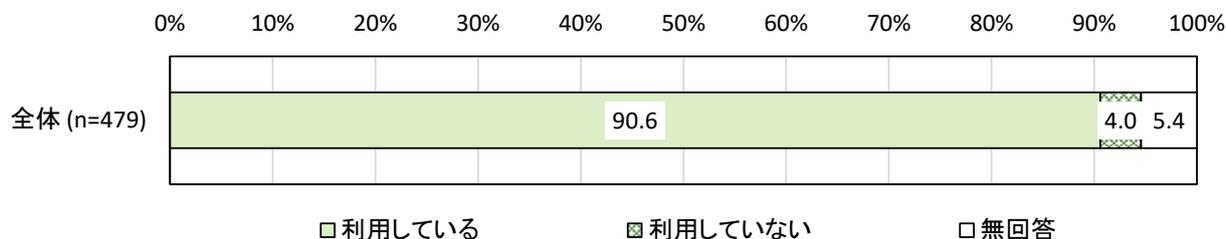
日曜・祝日の学童保育をたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が70.4%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」、「リフレッシュのため」がともに12.3%となっています。



(5) 長期休暇中の学童保育を利用しているか

問10 お子様は、現在、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童保育を利用していますか。
(1つのみ)

長期休暇中の学童保育の利用状況は、「利用している」が90.6%、「利用していない」が4.0%となっています。



(6) 長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望

問10-1 問10で「利用している」と回答した方に伺います。

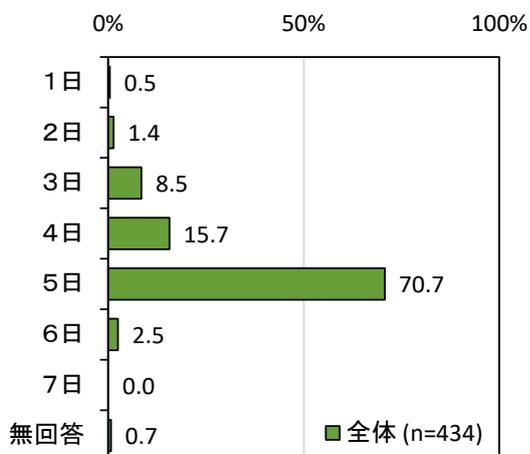
お子様について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かをご記入ください。

長期休暇中の学童保育の利用状況・利用希望は、1週あたりの利用日数では、現在は「5日」が70.7%で最も多く、希望でも「5日」が69.6%で最も多くなっています。

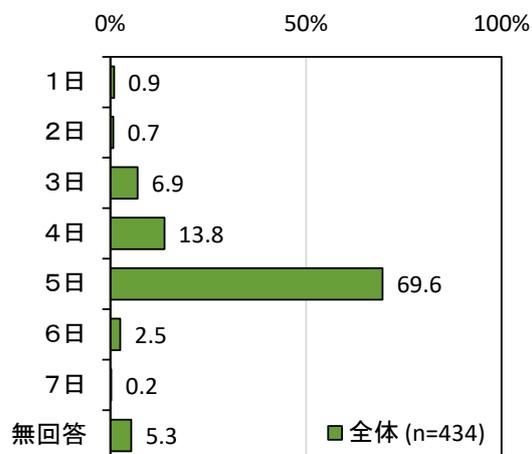
利用開始時刻では、現在は「8時」が53.5%で最も多く、希望でも「8時」が49.1%で最も多くなっています。利用終了時刻では、現在は「18時」が52.8%で最も多く、希望でも「18時」が47.2%で最も多くなっています。

■ 1週あたりの利用日数

【現在】

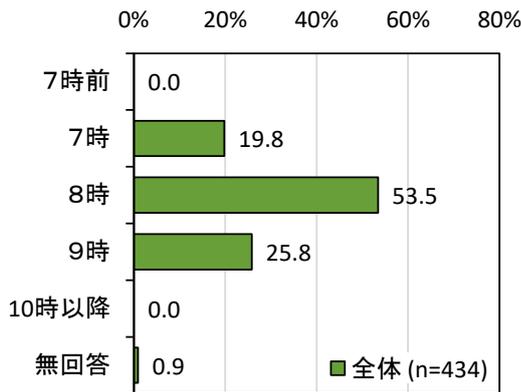


【希望】

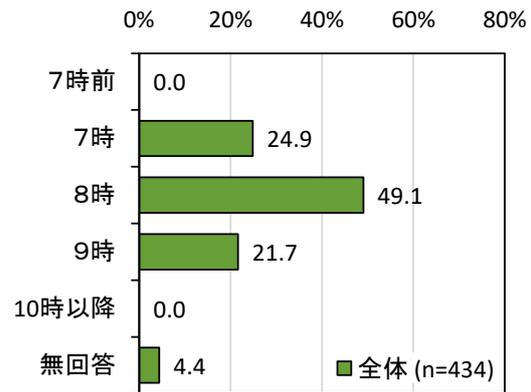


■利用開始時刻

【現在】

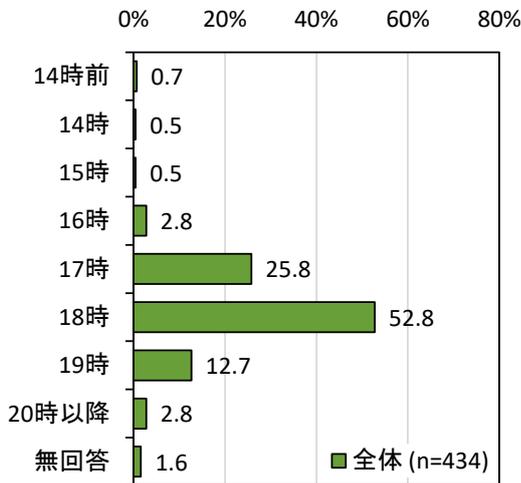


【希望】

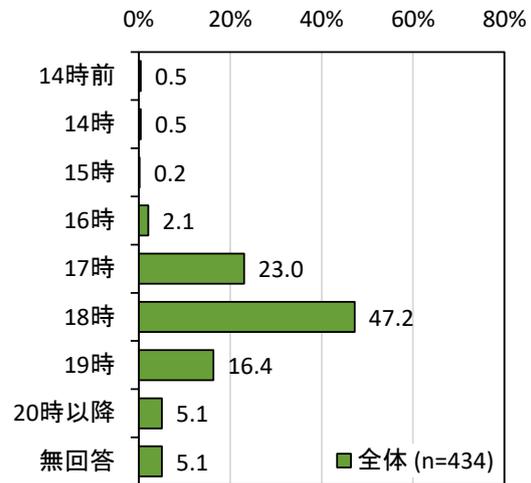


■利用終了時刻

【現在】



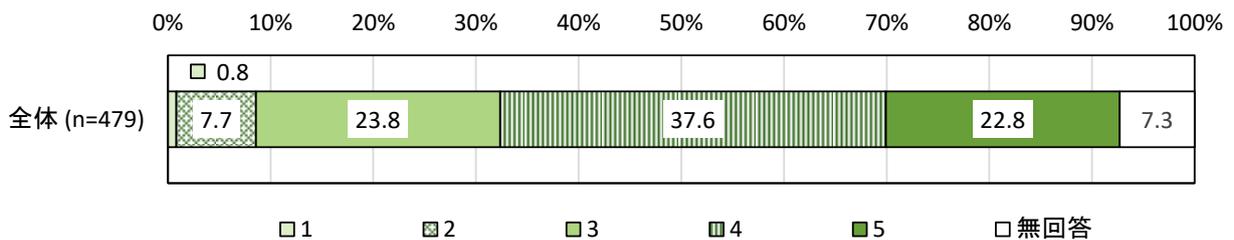
【希望】



(7) 学童保育の利用における満足度

問11 現在の学童保育の利用における満足度について、お答えください。(1つのみ)

現在の学童保育の利用における満足度は、「4 (満足度がやや高い)」が 37.6%で最も多く、次いで「3 (どちらともいえない)」が 23.8%、「5 (満足度が高い)」が 22.8%、「2 (満足度がやや低い)」が 7.7%、「1 (満足度が低い)」が 0.8%となっています。



第5章

私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査

第5章 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査

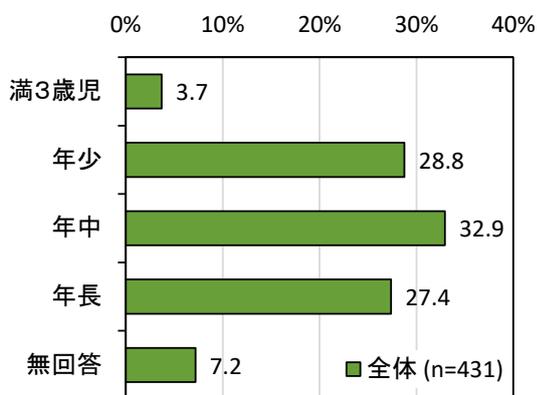
(1) 通っている幼稚園の在籍クラス・居住地域

●お子様が通っている在籍クラス・居住地域についてお答えください。

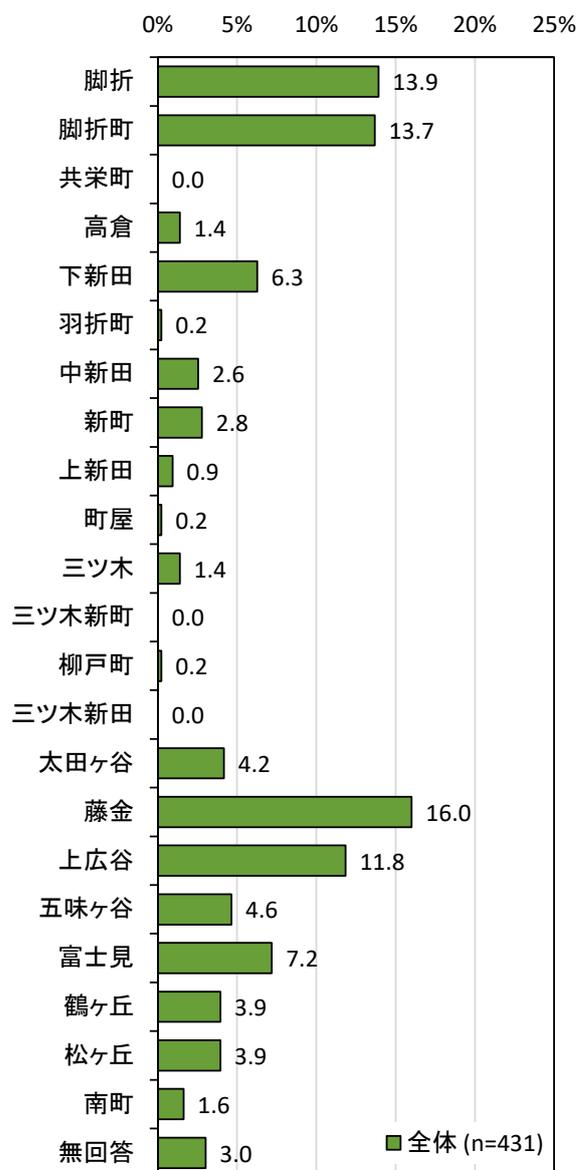
通っている幼稚園の在籍クラスは、「年中」が32.9%で最も多く、次いで「年少」が28.8%、「年長」が27.4%、「満3歳児」が3.7%となっています。

居住地域は、「藤金」が16.0%で最も多く、次いで「脚折」が13.9%、「脚折町」が13.7%、「上広谷」が11.8%、「富士見」が7.2%となっています。

■在籍クラス



■居住地域

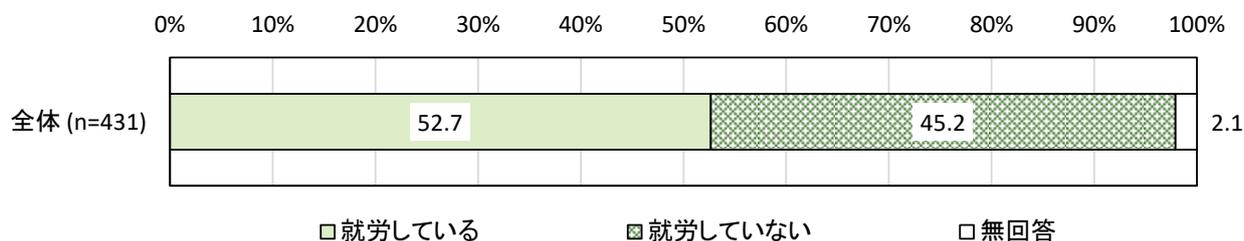


(2) 母親の就労状況

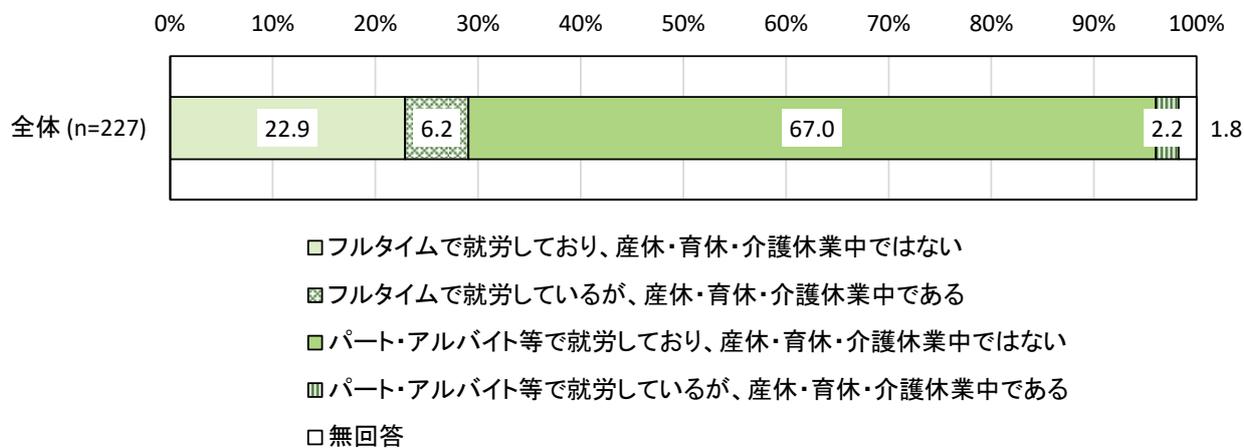
問1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。
 (1) 母親の就労状況についてお答えください。【父子家庭の場合は記入は不要です】また、就労している場合は、就労形態もお答えください。（それぞれ1つのみ）

母親の就労状況は、「就労している」が52.7%、「就労していない」が45.2%となっています。

就労している母親の就労形態は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が67.0%で最も多く、次いで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.9%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が6.2%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が2.2%となっています。



■就労形態



(3) 就労している母親の就労日数・就労時間

(1) 母親-1

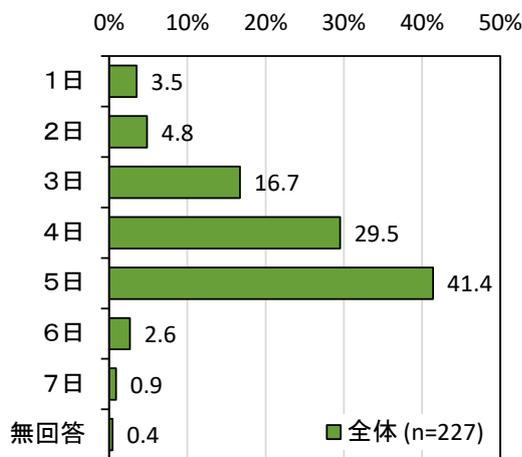
(1) 母親の就労状況で「就労している」と回答した方に伺います。

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

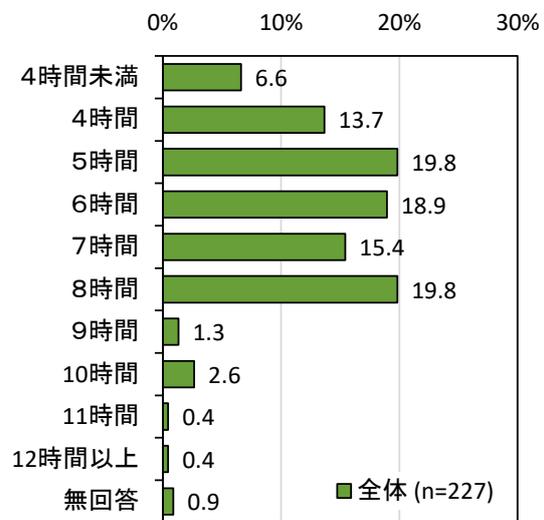
就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が41.4%で最も多く、次いで「4日」が29.5%、「3日」が16.7%、「2日」が4.8%、「1日」が3.5%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「5時間」、「8時間」がともに19.8%で最も多く、次いで「6時間」が18.9%、「7時間」が15.4%、「4時間」が13.7%となっています。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間



(4) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

(1) 母親-2

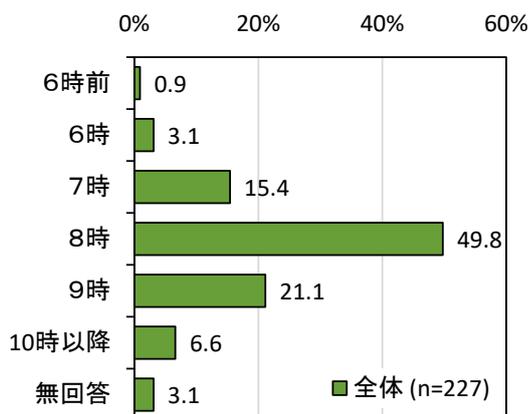
(1) 母親の就労状況で「就労している」と回答した方に伺います。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

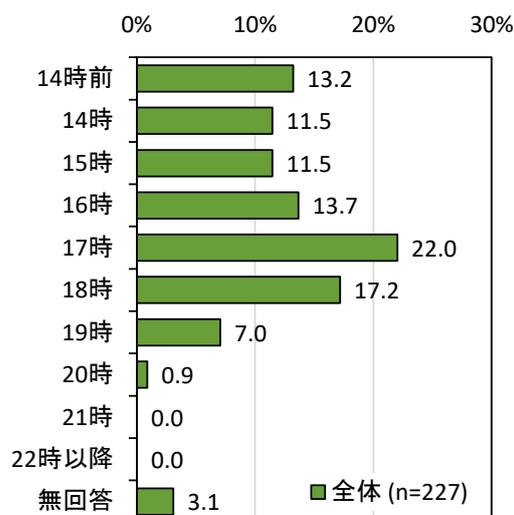
就労している母親の家を出る時刻は、「8時」が49.8%で最も多く、次いで「9時」が21.1%、「7時」が15.4%、「10時以降」が6.6%、「6時」が3.1%となっています。

また、帰宅時刻は、「17時」が22.0%で最も多く、次いで「18時」が17.2%、「16時」が13.7%、「14時前」が13.2%、「14時」、「15時」がともに11.5%となっています。

■家を出る時刻



■帰宅時刻

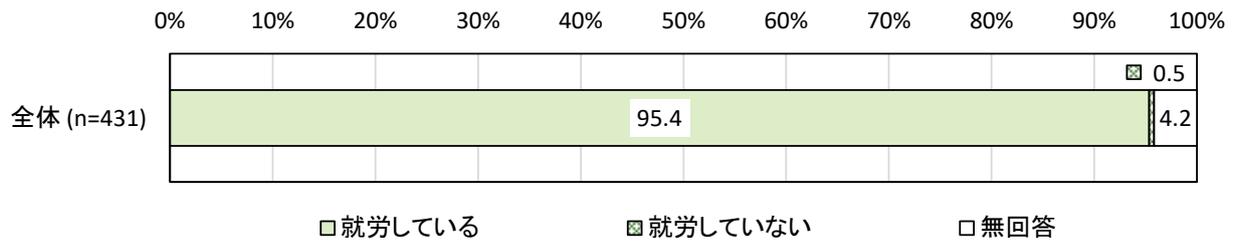


(5) 父親の就労状況

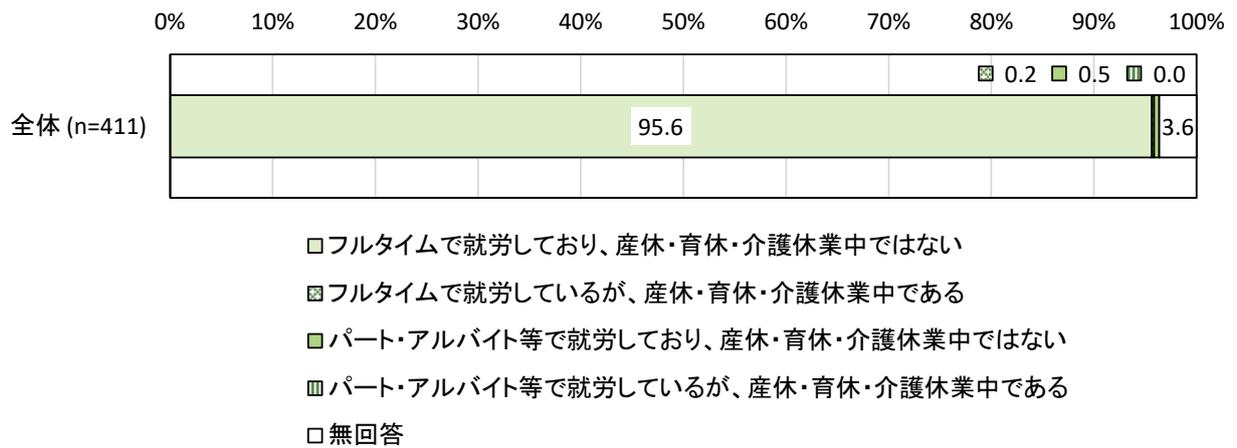
問1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。
 (2) 父親の就労状況についてお答えください。【母子家庭の場合は記入は不要です】また、就労している場合は、就労形態もお答えください。（それぞれ1つのみ）

父親の就労状況は、「就労している」が95.4%、「就労していない」が0.5%となっています。

就労している父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.5%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.2%となっています。



■ 就労形態



(6) 就労している父親の就労日数・就労時間

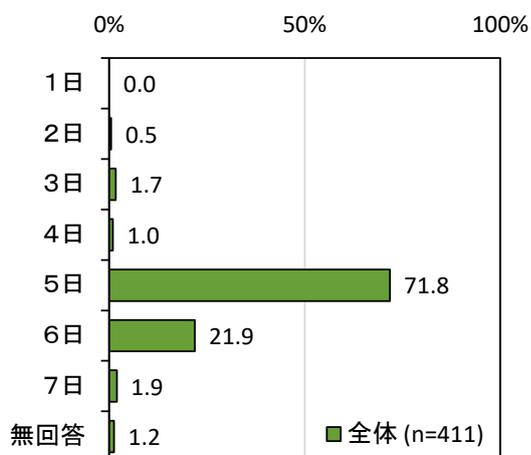
(2) 父親-1 (2) 父親の就労状況で「就労している」と回答した方に伺います。

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

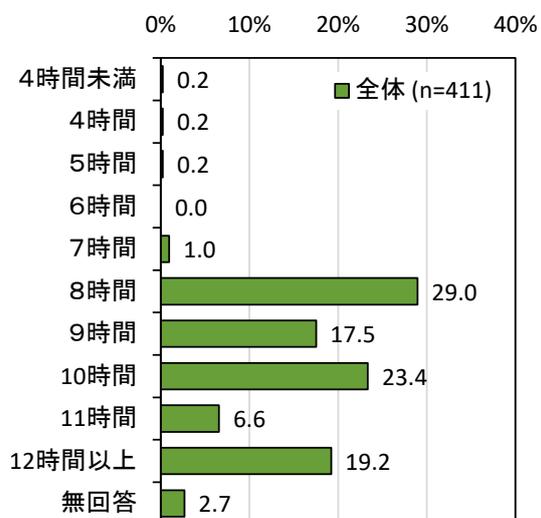
就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が71.8%で最も多く、次いで「6日」が21.9%、「7日」が1.9%、「3日」が1.7%、「4日」が1.0%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が29.0%で最も多く、次いで「10時間」が23.4%、「12時間以上」が19.2%、「9時間」が17.5%、「11時間」が6.6%となっています。

■ 1週あたりの就労日数



■ 1日あたりの就労時間



(7) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

(2) 父親-2

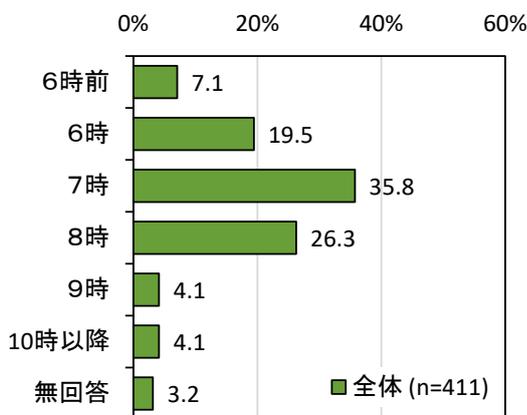
(2) 父親の就労状況で「就労している」と回答した方に伺います。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

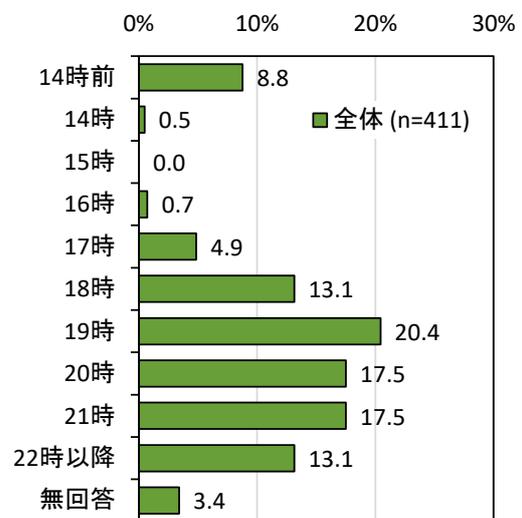
就労している父親の家を出る時刻は、「7時」が35.8%で最も多く、次いで「8時」が26.3%、「6時」が19.5%、「6時前」が7.1%、「9時」、「10時以降」がともに4.1%となっています。

また、帰宅時刻は、「19時」が20.4%で最も多く、次いで「20時」、「21時」がともに17.5%、「18時」、「22時以降」がともに13.1%、「14時前」が8.8%となっています。

■家を出る時刻



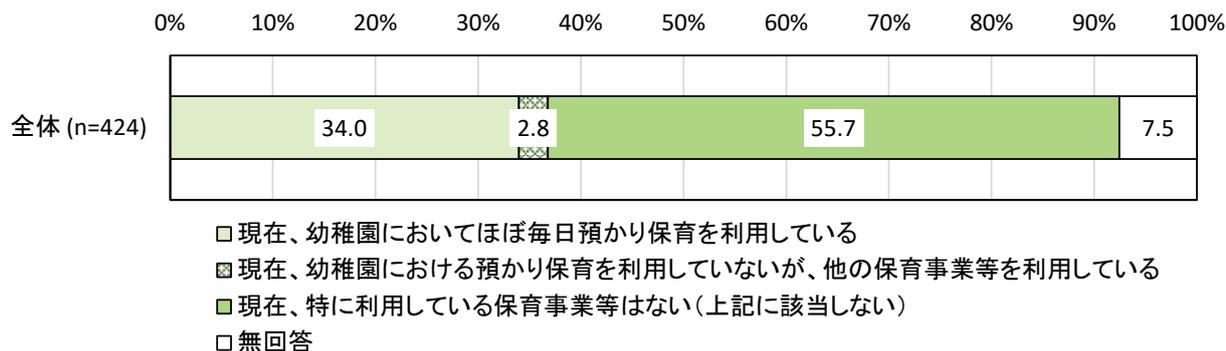
■帰宅時刻



(8) 幼稚園の預かり保育の利用状況

問2 問1の(1)母親及び(2)父親で「就労している」と回答した方に伺います。
 現在の幼稚園における預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業。以下同じ。)の利用状況等を伺います。
 (1)現在の利用状況について、あてはまる項目1つに✓をつけてください。

現在の幼稚園における預かり保育の利用状況は、「現在、特に利用している保育事業等はない」が55.7%で最も多く、次いで「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」が34.0%、「現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」が2.8%となっています。



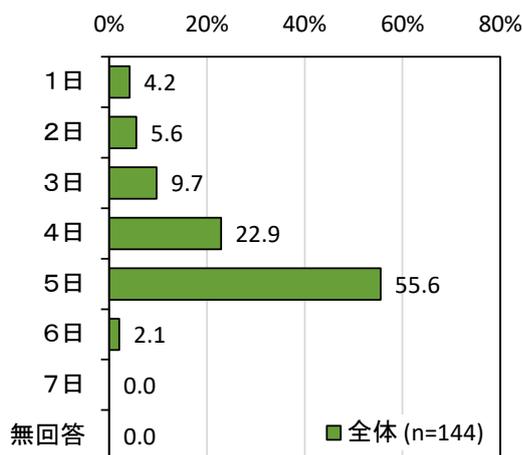
(9) 預かり保育の利用日数・利用時間

(1)-1 (1)で「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」と回答した方に伺います。
 1週あたりの「利用日数」、1日あたりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

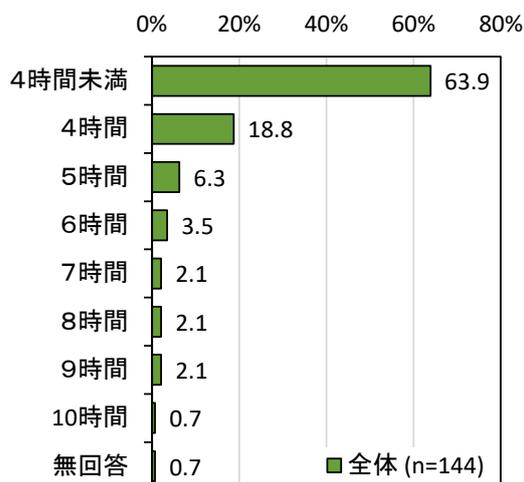
預かり保育を利用している人の1週あたりの利用日数は、「5日」が55.6%で最も多く、次いで「4日」が22.9%、「3日」が9.7%、「2日」が5.6%となっています。

また、1日あたりの利用時間は、「4時間未満」が63.9%で最も多く、次いで「4時間」が18.8%、「5時間」が6.3%、「6時間」が3.5%となっています。

■ 1週あたりの利用日数



■ 1日あたりの利用時間



(10) 保育事業の利用状況・利用日数・利用時間

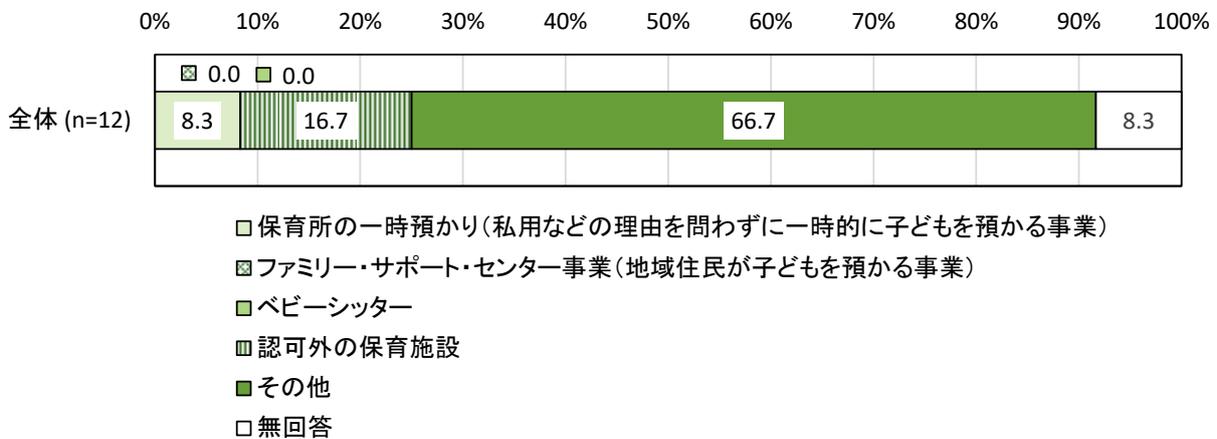
(1)-2 (1)で「現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」と回答した方に伺います。

どういった保育事業等を利用されているか、あてはまる項目1つに✓をつけて下さい。また、1週あたりの「利用日数」、1日あたりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

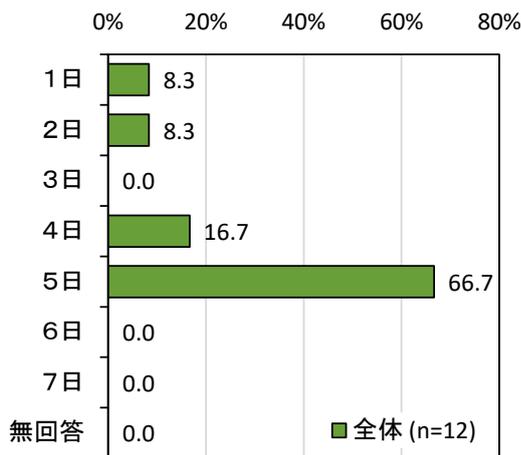
他の保育事業を利用している人の保育事業の利用状況は、「認可外の保育施設」が16.7%、「保育所の一時預かり」が8.3%となっています。

1週あたりの利用日数は、「5日」が66.7%で最も多く、次いで「4日」が16.7%となっています。

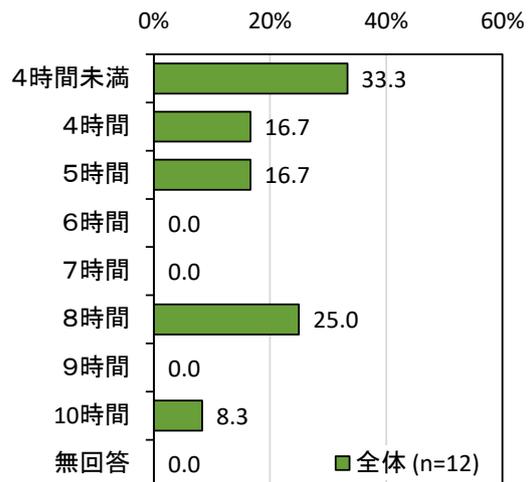
1日あたりの利用時間は、「4時間未満」が33.3%で最も多く、次いで「8時間」が25.0%、「4時間」、「5時間」がともに16.7%となっています。



■ 1週あたりの利用日数



■ 1日あたりの利用時間



(11) 今後の預かり保育の利用希望

(1)-3 (1)で「現在、特に利用している保育事業等はない」と回答した方に伺います。

今後の預かり保育の利用希望について、あてはまる項目1つに✓をつけてください。

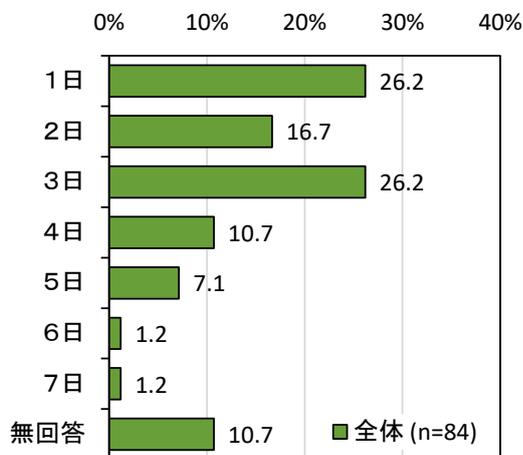
今後の預かり保育の利用希望は、「特に預かり保育や他の保育事業を利用したいとは思わない(必要がない)」が51.7%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育を利用したい」が35.6%、「他の保育事業を利用したい」が1.3%となっています。

また、預かり保育を希望した人の1週あたりの希望日数は、「1日」、「3日」がともに26.2%で最も多くなっています。



- 幼稚園の預かり保育を利用したい。
- 他の保育事業(上記(1)-2問の選択肢で示されているようなもの)を利用したい。
- 特に預かり保育や他の保育事業を利用したいとは思わない。(必要がない)
- その他
- 無回答

■預かり保育の1週あたりの希望日数



第6章 自由記述

第6章 自由記述

1 就学前児童の保護者調査 自由記述

問 37 教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

①相談

(本児→3人目の末っ子)保育園の入所の説明を市役所に聞きに伺った時、3人目というのは未就学児の子ども数で数えるので、我が家は1番上が小学生だったので3人目無償対象外と言われました(保育料)。坂戸や川越は3人目であれば未就学児という縛りがなく無償だよと聞いたので、そちらへの転居も検討中です。3人子どもがいて全員が未就学児でないといけないのは、とても厳しいと思います。3人子どもを産んだら働きに出る予定でしたが、上の子2人の学童費、下の子の保育料と出ていくお金が多く、3歳まで入所を待つか、転居することになりそうです。子育て支援の充実は、あまり感じられません。

働き口を探しに行くと「保育園は決まっているか」と聞かれ、市役所に行くと「働き口は決まっているか」と言われる。あの矛盾をどうにかしてほしい。

市への匿名での相談、通報窓口の設置をしてほしい。

②情報提供

子育てに関する情報をもっと欲しいです。特に転入してきた人とかは全くわかりません。

市内の認可外保育、託児所のある職場などの情報を聞きに行かなくても知れるように、広報など家のすきま時間に読めるものに載せてほしい。

自分も働きたいが、保育園の空きが無かったり、一時保育の利用も(下の子)もう少し市役所でそれぞれの保育園の特徴などを教えていただけると助かるなど感じた。

色々な子育てについてのイベントやサポートがもっと知られたらいいなと思います。

市の LINE アプリに登録後、さまざまな情報が入ってくるようになり活用している。児童館や保健センターなどのイベントで相談できたり、母の横のつながりができるものが増えると良い。

鶴ヶ島の広報を見て産後ケアがあることを知り、利用しようとしたが、受け入れて下さる助産師さんが多忙のため、なかなか予約が取れなかった。頼りにしたいと考えていたが無理だった。

鶴ヶ島の毎月発行されるパンフレットに子育てのことがたくさん記載しており、とてもありがたいです。現代はとても忙しい時代だと思います。ママやパパが忙しさの中でも、自分たちを見つめ直す時間を取れば、自然と仲良く笑顔になります。夫婦仲が良いことが子育てでは大切だと思います。ママとパパをサポートすることが一番大切だと思います。

転居してきたばかりで何もわかりません。予防接種の予約票も送られてきていないです。周りに知り合いもなく、親族誰にも頼りません。幼稚園に行っていない土日は疲れ果てて子どもと遊んであげることができません。夫は土日仕事です。どこに相談すればいいのでしょうか。誰も相談相手がいません。ずっと孤独です。何か情報を下さい。

保育園入園に関する情報が少なすぎる。市のホームページでの更新頻度を上げてほしい。保育園によってホームページが無いのは時代に合っていない。

③保育所(園)

入園したい保育園にスムーズに入園できず、仕事復帰の目途が立てられない。

保育園のおむつが持ち帰りで不衛生なのと、おむつへの名前記入の負担も大きいので、おむつをサブスク化してもらいたいです(おむつ処分含む)。

保育施設での集金を現金から口座引き落とし、もしくはクレジット決済のいずれかにしていただきたい。このキャッシュレスのご時世に不便であると強く感じるとともに、感染症の蔓延のリスクがあると考えます。

公立保育所での布団の持参や布団乾燥代、主食(ご飯)の持参などの手間と負担が大きい。布団による頭シラミ発生やご飯持参での衛生面が気になる。

坂戸市内の保育園で親のリフレッシュのために預けることができる園もあり、鶴ヶ島もそれができると良いと思う。

保育園の保育料が高い。幼稚園の預かり保育はお盆休みや年末年始は休みになり利用できないので、幼稚園に入れたくても仕事があり、長期休暇中に預け先がなくなるので保育園しか選択できない。

<p>保育園に入所中です。保育士さん達にはとてもお世話になっています。保育士さんの労働環境改善のため、給料UPや人員配置を1人あたりの見る児童を増やしてほしいです。</p>
<p>保育園にお世話になっています。本当に良くしていただいているので、先生方の待遇がより良くなることを願っています。</p>
<p>令和6年4月からの保育園に入所できませんでした。私の状況的に点数が低いことや急激に入所希望の方が増えているとことで仕方がないと思っています。現在は事業所内保育所に預けることができますが、通勤時間が長いので、市内の保育所に入れるように継続して応募するつもりです。子が3歳になったら幼稚園などの選択肢が私にはありますが、これから預けたい0～2歳のお子さんをお持ちの方は大変だと思います。今すぐは難しいと思いますが、保育施設が増えたらなと思います。</p>
<p>保育園の入園に際して、入所申請から入園までの期間で申請から面談、可否通知までの流れだけでなく「不合格後の対応などについて」「合格の時の入園説明会、入園までの流れ」などを大体でいいからわかるようにしてほしい。</p>
<p>希望の保育園に入ることができなかつた。小規模保育園へ行くが、3歳になり保育園へ入園できるか大変心配。その頃仕事を辞め、働き方をパート等に変更しなくてはいけないのか。また、保育園に入れなかつたことから、小学校入学の際も学童に入れないのではと心配している。</p>
<p>決まったタイミングや曜日で残業するわけではないので、突然のトラブルの残業では保育園の延長を利用できていない。(パートナーに無理を言って早く帰ってもらうなど)身内が近くにいるわけではないので、仕事と子育ての両立がより難しく感じる。どちらかの祖父母の近くに住めば良かったなと思うこともある。病児保育も定員が決まっているので、預けたくても預けられないこともよくあったので、そういった緊急の時に預けられる施設がもっとあれば嬉しいです。どちらが早く帰るか、どちらが休むかなどで、パートナーとケンカすることもある。しんどい。</p>
<p>現在、保育所入所に向けて動いていますが、駅近くに保育所が少ないため、就労しながら通いやすい保育所が増えると良いと思います。また、鶴ヶ島駅周辺は子育てに関する施設全般が無いように感じるので、開発や発展をしながら、子育て世帯が楽しく過ごせるような地域を作っていただきたいです。</p>
<p>保育所のおむつ持ち帰り、3歳クラス以上の主食(白米)持参が無くなり、完全給食になると嬉しい。</p>
<p>公立保育所利用中です。他市の保育サービスと比較して教材の質が劣るのは、鶴ヶ島市の子育て支援の予算が低いというのを肌で感じます。優秀な保育士さんばかりなので、施設・設備にもっとお金をかけてほしいと思う。例えばユニフォームを支給するとか、トイレのリフォームとか、環境を整えて過ごしやすい施設にしてください。紙媒体の情報をデジタル化するなど、保育士さんの負担軽減のために予算を増やしてください。</p>
<p>保育園にはとても満足しています。</p>
<p>公立保育園の融通がきかず使いにくい。なんで共働きなのに時短を取っている方に合わせて迎えにするのか。片方にしわ寄せがいくだけで使いにくい。子どもが複数いると父母が協力しないと子育ては無理なのに、それを保育園が阻害している感じです。いつも母に送りを任せていたら、母が送れない時は父が送りをすると遅刻の時間です。もっと柔軟に対応してほしい。公立の保育園が使いにくいから、坂戸市の認定子ども園に預けている。</p>
<p>同一世帯収入である場合、都内在住者と比べて保育料が高いため、保育料の引き下げを検討してほしい。鶴ヶ島駅から徒歩で通える保育園を増やしてほしい。(電車のみで通勤している保護者が送迎のためだけに車で自宅と保育園を往復し、通勤時間が長くなる)</p>
<p>保育所へ通っています。白いご飯を毎日持っていくのが大変です。お金は必要あればお支払いしますので、3歳児クラスより上の子にも、白いご飯を準備してもらいたいです。</p>
<p>保育園でおむつのサブスクがあるといいなと思っている。おむつも保育園で破棄してもらえるといいなと思った。</p>
<p>保育園にも入所できていますし、子育てしやすい環境だと思います。</p>
<p>保育園に入れず、専業主婦になりました。</p>
<p>保育園に入れるようになってほしい。今2歳なので間に合わないと思うが、3人目等これからのためにも。</p>
<p>保育園の充実についてお願いしたい。昨今、少子化と言われてきている中で待機児童問題も残っている。保育関係について働いている人も豊かにしていかないと、この問題は解決しないのではないかと。</p>
<p>保育園を利用する予定のため、入りたい時に入ると嬉しいです。</p>
<p>保育園入所もスムーズにでき、とても助かりました。</p>
<p>保育園入所保留通知等、2月の中旬(15日以降)ではなく、上旬でないと、復帰するにしても他園へ問い合わせや職場等に育休延長したりと大変だった知人もいた。</p>

<p>保育現場がとにかく人手不足。公立の保育園の人手はともあるが、クラスにより質に差がある。少し前まではコロナ禍だったからかもしれないけど、保育園に入れず1年待った。大変だった。今困っているのは土曜日の保育。幼稚園に入ると預ける場所がない。ただ数時間のみ必要なので、別で利用料がかかると悩む。あと、公立保育園で単発の延長利用できないのがとても不便。働き方によっては、たまに必要な人もいる。4人目も考えているけど、家、仕事、国保のことを考えると、考えてしまう。</p>
<p>保育士さんの給料を上げて離職を減らすことができれば、待機児童の解消、保育士さんの質の向上により預けている親も安心できますし、保育士さんにとってもプラスになるのではと思います。</p>
<p>保育所の拡充をしてほしい。長期休みの時だけ利用できる保育所がほしい。就労先を探している時でも保育所を利用したかった(2か月以内に就労しなければいけない制限があり利用できなかった)。保育所で全裸になって園庭を走り回っているのが気になる。プールに入る時も全裸かパンツ1枚だったりする。また、公園などでおむつを替える時なども下半身丸見えで心配になる。誰でも見える所なので性犯罪(写真を撮られたり、全裸を他人に見られるのが普通だと思ってしまう)に遭いそう。また遭っていても気付かなそう。</p>
<p>保育料が高く負担である。</p>
<p>保育料の3歳なった翌年の4月からという制度を、3歳になった月から無償化や月割計算で休んだ場合の返金(年末調整のように後追いシステムなど)があると助かるなど思いました。</p>
<p>④幼稚園</p>
<p>幼稚園(3歳～)無償化だとしても、その分、給食、副食費で絞り取られると感じるほど、内容と金額が合っていないので、もう少し考えた金額設定にしてほしい。</p>
<p>幼稚園から英語教育をやってほしい。</p>
<p>幼稚園の就園時間が短いため、親が働けない分収入が少ないため、子育ての経済面で苦労している。</p>
<p>幼稚園の預かり保育の利用料の補助がもっとあると助かります。</p>
<p>⑤認定こども園</p>
<p>認定こども園を増やしてほしいです。</p>
<p>⑥その他教育・保育施設</p>
<p>パートの人も含め、教育に関わる仕事をしている人の賃金を上げてほしい。保育園、幼稚園、小学校、中学校で働く人員を増やしてほしい(教育の質を上げるため)。子どもを通して地域がつながっていけるような政策をしてほしい。</p>
<p>一時預かりの利用のハードルが低くなると良いと思います。健康診断を受けたくて申し込みをしましたが、一時預かりの登録には、数日間の慣らし保育が必要で、指定された日程に子どもが合わず、預かるところまでたどりつかず、健康診断を諦めました。子どものことを考えて慎重に準備をして下さっているのはありがたいですが、もう少し気軽に預けられる場所があると嬉しいです。</p>
<p>どの園庭も広いのを希望します。</p>
<p>すべての幼稚園・保育園・こども園にて障害児の理解、保育・支援の仕方を学んでほしい。入園して数年たち、障害児に対応できないと言われても困る。0歳で入学の子もいるのに、成長してから普通じゃないからと言われても、今は発達がゆっくりしている子どもや障害児も増えていて、対応できないでは親が困るし、もっとプロ意識をもってアップデートして欲しいです。これからのためにも。</p>
<p>隠れ待機児童が近年増加しているようなので、保育のサポートが手厚くなってくると嬉しいです。求職活動をするのができず、家庭での保育を続けています。</p>
<p>幼稚園・保育園が少なく、狭い所ばかり、保育料が高い。</p>
<p>定期的に各教育・保育施設を抜き打ちチェックしてほしい(公園の遊具が劣化して危険な状態。保育園で夕方毎日テレビを見るなど名乗らず相談したい。相談する前に市が見つけて対処してほしい)。</p>
<p>出産を機に仕事を辞めると、子どもが1歳になって働こうと思っても預け先がない。働きたいのに残念。預け先があれば2人目もと考えるが、いつ仕事に復帰できるかわからないので躊躇してしまう。</p>
<p>日々、時間が無さすぎる上に、PTA、保護者会、役員など。親も疲弊しているけれど、休みの日に子どもを預ける罪悪感、職場に迷惑をかけてはいけない、良い親であれ、これが意外と保育関係者や子育て世帯に根強い価値観というのが苦しいです。</p>
<p>認定こども園が少ないです。昔ながらのアナログな方法で保育者の負担が多く、子どもと親へ情報還元が少ない。要は、行かせたい保育園が少なく、一番人気保育園以外との差がひどい。仕事と育児両立の上で、安心できるこども園や保育園には入れないストレス。将来不安。改革を進めていただきたい。</p>
<p>保育のことに关していつも親身に相談に乗って下さり、担当の方には感謝しております。</p>

<p>保育所・幼稚園のごはんが栄養的にも不安。量も少ないし、衛生的に不安のある弁当センターのものが出てくる。もっと食の安全や栄養に費用を割り当てられるような補助をしてほしいです。坂戸市のごはんは園での手作りです。おいしいそうです。鶴ヶ島も早く同じ土俵に立ってほしいです。さまざまな方面で坂戸の方が住みやすそうで失敗したと思うことがよくあります。</p>
<p>毎日の連絡帳の記入が負担です。連絡帳アプリなど導入してくれると嬉しいです。</p>
<p>⑦学童保育</p>
<p>夏休み等、長期休暇中の学童保育の昼食を弁当持参ではなく、栄養バランスの取れた給食または弁当の提供(費用は保護者負担)にしていきたいです。</p>
<p>学童保育料が他の地域に比べ高いと思う。</p>
<p>学童がとにかく高い。2人姉弟が入ると月3万円になる。片親で払っていくには苦しい。</p>
<p>学童が高い、小学校1年生の壁と言われていることをどうにかしてほしい。</p>
<p>学童クラブの料金が高い。また今年度より賛助会員(一口 3,000 円)に入会しなくてはいけないことになったようで、強制するのはいかがなものかと思う。</p>
<p>学童の月会費が高いです。子ども4人全員入れると大分お金がかかります。学童に入れば働ける、でも高いからもっとも働かなくては家計にゆとりがでない。くたくたになるしイライラするから悪循環。学童入れないで家にいるのでは生活は苦しくなるだけ。第3子4子保育料無料でも、今後のことを考えると不安です。</p>
<p>学童の費用を低くしてほしいのと、気軽に入れるようにしてほしい。兄弟いるとかなりの金額になってしまうので。</p>
<p>学童の利用料が近隣市に比べて高すぎる。幼稚園の預かり保育のように助成金(1日 450 円)の対象にしてほしい。利用料が高いため、学童に入ることをやめ、就労時間を変更せざるを得なくなった方が結構います。低学年の間だけでもいいのでぜひ検討をお願いいたします。</p>
<p>学童費用が他市と比べて高すぎる(現在 15,000 円)。何のために働いているのか分からない。使用しない日も多いため、日計算してほしい。</p>
<p>学童保育が高い。</p>
<p>学童保育が高すぎる。(NPO)</p>
<p>学童保育利用の際、夏や冬休みに給食が利用できるとありがたい。</p>
<p>学童料金が安い(他地域と比較して)のもっと安くしてほしい。</p>
<p>現在は近くに住む祖父母に預けられますが、今後、高齢のため難しくなると、学童保育を利用したいと思えます。学童保育は、利用人数が多く、大人の目が行き届くのか、など不安もあります。新たな施設を追加するなど検討をお願いしたいです。</p>
<p>児童保育も学校内にあるのもっと安心して利用できるのにと感じます。</p>
<p>学童保育を学校に一番近い施設を使うか、他校施設を利用しやすくするなど、安全・利便性を向上してほしい。</p>
<p>保育園は7～19 時まで利用可能なのですが、学童がその時間まで利用できるのか不安があります。その時には時短からフルに戻らなくてはいけないので、夜勤などの関係もあり就労が難しくなるかもしれません。学童の長時間の預かりができると良いと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>子どもが小学校へ行く頃、学童保育に入れるのか不安である(常にいっぱい聞いている)。</p>
<p>学童費の減額。</p>
<p>学童保育の拡充をしてほしい。</p>
<p>学童保育の充実・拡大、学校との併設を希望します。</p>
<p>学童保育を増設してほしいです。学童保育の一時利用(就労していなくても学童を利用できる制度)や、校内に学童がある等。ぜひよろしくお願いします。</p>
<p>⑧学校</p>
<p>(保育園から)小学校にあがった途端、親の負担(出番)が増えすぎる。市内でも学校により差が多く統一してほしい。通っている小学校では放課後(下校時)にも旗当番があり、回数も決して少なくはなく、働く親からすると負担でしかない。</p>
<p>高校入学時も学費一括納入と聞いたことがあります。高額を一括納入は大変です。小中高・学童・PTA 等、親の役員の負担が大きすぎます。コロナでできなかったこと、やらなくても良かったもの等積極的に廃止してほしいです。</p>

<p>小学校から我が家まで 2.5 km離れており、近隣に小学生もいないので通学班が組めない不安がある。通学班を組めても現在の通学班の集合場所まで 600m離れている。このような過疎地域に住んでいるので、子どもの通学には市で送迎バスを出してくれると非常に助かります。真夏には 40 度近い炎天下の中徒歩で帰宅することが安全だと思えない。</p>
<p>学校の校舎を改修などをもっときれいにしてほしい。PTA 役員の負担が大きいので廃止してほしい。他の自治体では外部に依頼することで廃止している所があるとニュースで見た。お迎え当番も共働きで祖父母と同居していない世帯には毎回休みを取らなければならない、時間を捻出するのが困難であることを考慮してほしい。</p>
<p>三ツ木新町周辺には、小学生の登下校を見守って下さるヘルパーさんのような方がおらず、小学生の登下校に不安がある。第一小学校は特に学区域が広いので、登下校に時間を多く費やすので(片道で約 50 分くらいかかります)、ヘルパーさんたちが多くいると地域の安全・安心につながると思っています。</p>
<p>小学校(夏の下校時の帽子の自由化。炎天下・熱中症予防のため)中学校(距離により自転車通学)の登下校の安全な道の選択。</p>
<p>小学校の学用品はすべて買うのではなく、貸し出し方式にしてほしい。</p>
<p>小学校の送り出しの時間が遅いので、現在の通勤状況だと朝が厳しい。</p>
<p>新町小学校の外壁工事をお願いします。</p>
<p>上の子が4月から小学校に入学するのですが、他の小学校のほうが断然近いのに、なぜ遠いほうの小学校の学区になっているのだらうと思いました。後から知ったので、子どもに悪いと思い相談ができませんでした。こちらで学区を選べるようにしてほしいです。</p>
<p>学校給食の充実。化学調味料の不使用。地産地消。×マーガリンなど。食が子どもの身体を作るので給食に力を入れてほしい(坂戸のように)。</p>
<p>⑨健診・予防接種</p>
<p>インフルエンザの予防接種の補助があったら嬉しい。</p>
<p>子どものインフルエンザ予防接種費用を補助してほしい(坂戸は補助が出ているのを知ってしまったので)。</p>
<p>乳幼児のインフルエンザ予防接種無料。</p>
<p>インフルエンザ、おたふくかぜワクチン予防接種の助成が少しでもあるとありがたいです。</p>
<p>インフルエンザの注射を無料にしてほしい。</p>
<p>インフルエンザは子ども間での流行が主なので、子どもに対するインフルエンザワクチンの助成をしたほうが良い。</p>
<p>インフルエンザワクチン無料にしてほしい。</p>
<p>子どもが2人いるのですが、インフルエンザのワクチン費用が 16,000 円かかりました。坂戸市は子どものインフルエンザワクチン接種の助成があるので、全額まではいなくても多少助成していただけるとありがたいです。</p>
<p>もうじき4歳になりますが、〇か月、1歳6か月、2歳、3歳と健康診査を受けさせていただいていますが、健診時間がちょうどお昼寝時間と重なっていました。きとお医者さまの都合等もあるかと思いますが、もし調整が可能でしたら午前中(10~11 時とか)に変更していただくと、親としてはとても助かります。特に言葉が話せない0~2歳は、いかにスムーズに受けられるか、初めての育児であったのでとても不安とストレスでした。相談やお話を聞きたくても子どもがぐずったりすれば落ち着いて聞けなかつたので、これからの新しいママさん達が、不安やストレスなく受けられるように、ご検討していただければ嬉しいです。</p>
<p>予防接種の通知も少ない。インフルエンザの料金が坂戸は無料なのにとってしまった。</p>
<p>インフルエンザワクチン無償化希望。</p>
<p>インフルエンザの予防接種の補助金等ある。</p>
<p>インフルエンザ予防接種の助成があるとありがたい(隣の市はあるので)。</p>
<p>近隣と比べてしまうと、ワクチン接種を無料にしてほしい。</p>
<p>近隣の市町村では行われているインフルエンザ予防接種の助成を鶴ヶ島市でも実施していただきたいです。</p>
<p>経済的な不安が大きいです。インフルエンザの予防接種の費用助成をしていただけると嬉しいです。</p>
<p>健診で来る医師の質が悪い(態度や言い方に問題がある人が多く、上の子も下の子も不快だった)。</p>
<p>インフルエンザ予防接種費用の一部補助など(坂戸市)。</p>
<p>細かいことですが、季節性インフルエンザの予防接種の補助は、毛呂や坂戸では行われているようなので、早めに取り入れてほしいです。</p>
<p>坂戸から引っ越しをしましたが、鶴ヶ島市にはインフルエンザワクチンの補助が無く、負担が大きい。</p>
<p>坂戸市が実施している「インフルエンザワクチンの接種代を無料」にしてほしい。</p>

<p>坂戸市ではインフルエンザワクチン助成があるのでお願いしたいです。近くの川越、坂戸と足並みが揃うと良いです。</p>
<p>坂戸市のインフルエンザワクチン無償化はとてもいい取組だと思います。ぜひ鶴ヶ島市でも導入してほしいです。</p>
<p>インフルエンザのワクチンを毎年子どもにも打たせているので、少しでも助成していただけると嬉しい(せめて3人目だけでも)。</p>
<p>子どもへのインフルエンザの予防接種への補助などあったらいいと思います。子ども的人数が多いほど予防接種の費用が高額になり、悩みます。近隣の市町村で補助が出ている所があるようなので、鶴ヶ島市も子どもにも補助を出してほしいです。</p>
<p>インフルエンザワクチンの費用を子ども補助してほしいです。</p>
<p>インフルエンザ予防接種無料化等、もっと子育てに力を入れてほしい。隣の坂戸市のほうが良いと感じてしまう。</p>
<p>市内で子育てをしていて環境について満足度は高いです。しかしインフルエンザワクチンの接種料金の還付など、まだ必要なことも多くあると思うので、市民の子育てする親たちの声をアンケートだけでなくヒアリングしに来てほしいです。</p>
<p>インフルエンザ予防接種の補助または無償化。</p>
<p>鶴ヶ島市は、隣の坂戸市と比べると、インフルエンザの予防接種の補助が無いので、同じ子育て中の親として不憫さを感じてしまう。</p>
<p>鶴ヶ島市も坂戸市みたいにインフルエンザの予防接種の助成金を出してほしい。</p>
<p>インフルエンザの予防接種(3人分×2回分)の負担が大きい。無料にしてほしい。隣の坂戸市はもう無料になっています。何とかしてほしいです。</p>
<p>坂戸市のように、インフルエンザ予防接種費用の助成があると嬉しい。</p>
<p>インフルエンザワクチンの補助金、坂戸市はかなり魅力的。</p>
<p>⑩医療・こども医療費</p>
<p>鶴ヶ島市に在院している小児科及びクリニックの新型コロナウイルスやインフルエンザ検査の充実(鶴ヶ島市に在院している全ての小児科やクリニックに即日検査が可能な機械の整備)。</p>
<p>信頼できる小児科が少なすぎる(かかりつけ以外で)。</p>
<p>子どもの高額医療がかかった時も市役所に申請に行かなければならないし、入院、通院に分けて同じ事を何度も書くのが面倒。</p>
<p>こども医療費助成制度の対象年齢を18歳までに引き上げてほしいです。</p>
<p>コロナ以降、発熱時にすぐ見てくれる病院が近隣にほとんどなく、発熱外来は1日数人で予約がなかなか取れず、子どもを病院に連れて行くのが本当に大変です。改善を強く望みます。</p>
<p>小児科が少ない。</p>
<p>18歳までの医療費無償化。</p>
<p>市内小児科が急患で受け入れが難しいほど、どこも混んでいるか完全予約制なので、特に発熱児の急患一次診療対応ができる場がほしいです。</p>
<p>高校生(16歳以上)の医療費補助がもっと充実すると嬉しいです。</p>
<p>高校生の医療費の無料化をお願いしたいです。</p>
<p>子どもが頻繁に熱を出していたので、近くに病児保育施設があるのは大変ありがたかった。施設の方の待遇は良くしていただきたいです。</p>
<p>支払った医療費の返金を市役所や若葉出張所で対応してほしい。</p>
<p>支援を受けているという実感が一番あるのは医療費の負担が無いことです。子どもの体調不良が続いた時は本当にありがたみを感じました。一方で小児科の混雑は避けられないものという印象です。医療機関へのサポートの有無はわかりませんが、改善策は無いものかと毎回思います。「通院は1日かかりが当たり前」だと仕事への影響も大きいので、どうにかなったら嬉しいです。</p>
<p>私自身が小さい頃から鶴ヶ島に住んでいるため、土地勘に慣れているので生活に困ることはないです。小児科が少ないので、予約が取れず当日診察が難しいのが大変かなと思っています。</p>
<p>小児科を増やしてほしいです。新町に皮膚科と耳鼻科を開院してほしいです。新町小学校の外壁工事をお願いします。</p>

小児科医院が少ないので、もう少し病院数を増やしていただきたいです。かかりつけの病院は、いつも予約開始1～2分で埋まってしまう、行きたい時に行けない状態です。車の免許も持っていないため、近くの病院が連日予約いっぱいに行けないと大変という意見です。
川崎病、急性肺炎で入院したことがあり、そういう長期のできごとの場合のフォローがあれば嬉しい(もう1人の子の預かり時間延長など)。
小児科・産婦人科の拡充。
18歳までの医療費無償化。
鶴ヶ島市も毛呂山町みたいに高校生まで医療費無料にしてほしい。
日・祝日に診てくれる小児科がもっとあると良い。急な熱などで診てもらいたいのに予約が必要では意味がない。
子どもの医療費助成金制度には大変助けられている。
子ども医療費の助成を18歳までに引き上げてほしいです。
幼稚園、小学校、医療施設等、子育て時に近くにあってほしい場所が行きやすい範囲にある地域に住んでいると思います。働いていて一番困ったのは、子どもが体調不良の時だったので、病児保育施設が増えると良いです。
①子どもの預かり・送迎
小学生をスポットで預かってもらえるとありがたいです。長期休みは普段学童に通っていない子は1人で留守番になってしまい、パートの日は心配です。パートを休むわけにはいかないのですが、やむなく過ごしていますが、低学年のうち学童でも長期休みを過ごせると嬉しいです(短期利用のようなシステム)。
仕事をしていなくても、その他の理由が無くても子どもを預かってくれる施設があると良い。土日開設だとよりありがたいです。土日3人の子どもを1人でみなければならず、正直辛いと思うことがあります。
放課後子ども教室を取り入れてほしい。よろしく願いいたします。
夏休み等長期休み中の預け先がもっと充実していると助かります。近所に親戚がいないと母親の負担が大きくて辛いです。よろしく願いします。いつもありがとうございます。
一時預かりの申込方法を分かりやすく施設ごとに一覧にしてほしい。
一時預かりを利用したいと思っているがなかなか利用するまでに至らない。それはまだ利用しづらさがあるのだと思う。もっと受け口を広くしてほしい。一時預かりの場所を増やしてほしい。
真ん中の子のために冬休みなど長期休みも利用したいと思っても、誰かが家にいると思うとお金もかかるし利用しなくてもいいかなど利用しないているが、精神的には色々限界はきている。
月曜～土曜までシフト制で働いていて、お迎えの時間が18時前後です。学童保育も上の子が利用していますが、保育所・学童ともに土曜日が18時までが多く、2人を別の所に預けていると、18時を過ぎてしまいます。そのため土曜日のお迎えに困って悩んでおります。(現在父親が海外赴任中で、祖父母もやや遠方のため)土曜日の利用時間が少し長い所があれば便利だなと思います。
埼玉県内でも学童を利用しなくても、学校の中でシルバー人材の方や子育てサポートなどで学校が終わった後でも17時まで預かってくれる制度がある市町村があります。短縮授業などの際はとてもありがたいと友人も言っていました。鶴ヶ島市もそういった制度を作っていただきたいです。
緊急時や冠婚葬祭時に一時預かりをしていただける施設が増えるとありがたいです。未就学児は登録できても就学児は登録できなかったりするので、小学校低学年だし家に1人しておくこともできず利用が難しいです。
今は働いていないのですが、働きに出た時に預け先があるのかの不安はあります。
車が無いと一時保育に預けに行くのがとても大変で断念。
小学生になると、学童に行かない限り預かってもらう場所が急に無くなるため、時間制とかでスポットで預かってもらえる場所があると嬉しいです。都内の小学校に通っている児童の保護者に聞くと、「ランドセル広場」という施設が学童に併設されていて、放課後にランドセルを背負ったまま少し遊んだり、宿題をする場所が月額500円くらいで利用できると聞いて、そのような場所があるとパートタイムで働きやすくなると思いました。
新座市の放課後に預かってくれるシステム(大学生が学校で勉強を見てくれる所があればぜひ活用してみたいが、限られた学校のみでの実施ですか。先輩ママに宿題量も多いと聞かため家での親の負担を地域コミュニティで減らしてもらえると嬉しい。)があると平日の仕事量を増やせる。そうすると休日も子どもとの時間をより多くとることができるので、金銭面でもプラスであるし、子どもとの時間も充実させられると思う。

<p>突然の発熱で急に保育所の預りができなくなり、仕事を休むことも難しく、職場に連れて行ったことがあった。辛い熱はあるものの、子どもは元気だったこと、職場のスタッフ、お客様の理解が得られたため。また、短時間だったため何とかあったが、そうでない場合はかなり困ったことになっていたと思う。また、熱でお迎えが間に合わず、近所の人に迎えに行ってもらったこともあったので、急な発熱に対応してくれる何かがあれば安心して仕事ができるのになあと思いました。</p>
<p>保育園・幼稚園など未就学児は、延長保育、預かり保育などそのまま園で過ごせるが、小学校に入ると学童など学校から出て場所を変えなければいけない。体も大きくなり、運動など動きも活発になるのに、規模・敷地の狭い所で過ごさなくてはならないのか。小学校、必要なら中学校も学校内で放課後クラブのような活動が行われると良いと思う。事業を利用したいが子どもの自由がなく不憫に思い、利用せず過ごせる方法を考えざるを得ない。</p>
<p>子どもが2人おり、父親1人で2人見ることが大変であるため、母の通院時等に1人でも預けることができると助かります(土・日)。</p>
<p>病児保育も1か所しかないためか、仕事を休むしかない人も多数いるみたいです。</p>
<p>一時保育やシッター制度の充実。一時保育施設が少ない。あったとしても普通保育と両立のため受け入れが少ない。専用の施設があると嬉しい(坂戸のように)。東京都は無料でシッターサービスがある。各自治体では難しいと思うが、子どもを1時間でも預けたい家庭は多いと思う。</p>
<p>無料で預けられる所がいる。</p>
<p>問 23 で、泊まりがけで預けるとありましたが、子どもを慣れない人や場所に泊らせるのは結構な負担をかけると思うし、その精神的不安が親に戻ってくると思うと、育児に疲れていても、預けるまではしないかなあと思います。預けるとしたらよっぽど。</p>
<p>夜間の預かり事業がほしいです。</p>
<p>預かり施設がもっと増えてほしい(土・日)。</p>
<p>預かり保育や一時預かりの事業も、仕事をしていない時はなんとなく利用しにくかったり、結局利用料がかかるのでやめてしまったり、子どもも頻繁に利用する所ではないと嫌がったりして、上手く活用することができないでいる。お試して数回は無料で利用できたり、誰でも年1回は無料で利用できるなど、気軽に利用できるようになったら嬉しい。</p>
<p>就労等の理由が無くても一時預かりが児童にも適用されると大変ありがたいです。</p>
<p>板橋区でやっているような「あいキッズ」事業があるとすごく親としては助かるなと思います。</p>
<p>隣の坂戸市のほうがかなり子育てに関して充実している。差が大きい。ここまで差が大きいと鶴ヶ島に住む子育て世帯は坂戸市へ流れてしまうと思う。子育てに関して自治体で差があるのは問題だと思えます。土曜保育をやっている所は、一時保育でも土曜預りを他園の園児も受けられるようにしてほしい。正直鶴ヶ島への引っ越しは失敗だったと思っている。坂戸に転居したい。子育てに関してメリットが鶴ヶ島に感じられない。</p>
<p>⑫子育て支援・助成金</p>
<p>制服や用品の購入代もあるのですが、進学タイミングで補助があったら助かる。</p>
<p>子どもが小さい頃は、おむつやミルク、お尻拭き、離乳食(レトルト)などに結構お金がかかるので、市内のドラッグストア等で毎月1回程、無料でもらえるクーポン等があると嬉しい。</p>
<p>産後ケアのための施術にかかる費用の補助がなぜ出ないのか。おむつ、ミルクの購入補助チケットを出すべき。</p>
<p>子育てにかかる金銭的な負担を減らすよう支援してほしい。</p>
<p>民間の学童クラブの誘致およびその保育料の一部補助(公立学童との併用も可)。</p>
<p>給食の無償化をぜひお願いしたいです(義務教育、保育園ともに)。延長保育、学童保育の延長の無償化をお願いしたいです。</p>
<p>小学校の給食を無償化してほしいです。</p>
<p>給食費の無償化、教科書等の学業にかかる費用の削減。</p>
<p>金銭面の支援をもっと充実してほしい。</p>
<p>坂戸市のように小学校給食費無料にしてもらえたら助かります。</p>
<p>子どものインフルエンザ予防接種の助成、給食費の無償化。私立幼稚園は結局お金がかかりました。特別保育料等でとられる。更なる補助をお願いしたいです。</p>
<p>子どもを産んだ時におむつ等がもらえたり、補助するサービスがあると良いと思う。ブランケットやバッグのプレゼントではなく、消耗品をもらえた方がありがたい。</p>

若葉駅東口の集会所でも子育て系のイベントをやってほしい。市役所方面ばかりで行きづらい。プレミアムチケットみたいな子育て支援もあると嬉しい。おむつ代等に使いたい。
坂戸市では給食費の無償化をしているので、鶴ヶ島でもぜひやってほしい。
小学校の給食費の無償化をお願いしたいです。学童利用料をもう少し安くしてほしいです。
3人以上の子どもがいる家庭の3人目の支援が、一番上が成人すると2人目にカウントされて無くなってしまうのが悲しい。
働き出して9か月保育所が決まらず(希望保育所に通える範囲があったため。それでも、ほぼ埋めて提出した)、一時預かりを利用していたのでとても苦しかった(高く)。保育所や一時利用の保育所にかかる費用も安くしてほしい(働いている人に関しては)。
スケールやベビー用品の貸し出し。0~2歳児の保育料の無償化。
非課税世帯だけではなく、課税世帯にも支援をしてほしい。
子どもを育てて行く上で、経済的負担が大きい。2人目、3人目が欲しいと思っても、やはりお金のことを考えてしまうのが現状。是非、支援に動いてほしいです。
3人目から大学の学費無償化と言われていますが、子どもの人数に関わらず無償にしてほしい。
おむつを持って帰らないよう市が補助してほしいです。また、第2子の保育料無償化や小中学校の給食無償化をお願いします。
いつもありがとうございます。子どもの発達支援について相談がしやすい環境だと思っています。子どもが発達に問題があり、今後のことを考えた時、小学校などの勉強のサポートがあると助かると思いました。
学校給食を無料にしてほしい。シングルマザーで実家住まいだと、母子手当でも結局もらえないため生活が苦しい。小学校の学童のお金も無償化してほしい。実家に住んでいようが、いない場合も同じように手当がほしい。誰もがみんな親が助けてくれるとは限らないから。結局は自分で全てやらないといけないため。親の医療費も無償化してくれるとありがたい。
おむつ、ミルク等への補助があると嬉しい。
お隣の坂戸市のような、学校給食費無償化、インフルエンザ予防接種費用の助成。この2点を取り入れていたただけで小~中学校までの9年間×兄弟人数分の費用負担差が大きいと思います。いずれはそうなると思うのですが、今必要としています。
多子世帯の給食費免除などあれば良いなと思います。
コロナや物価高で金銭面的に締めていることが多いです。あらゆる面で金銭面の補助をしてくれると非常に助かります。税金の使い道を改めていただきたい。
さまざまな相談対応はされていると思っています。保育所や学校給食費の無料化などしていただけると助かります。
もっと子どもに対する補助金を出してください。
もっと幼児教育、保育、義務教育にかかる費用を無償化に。せめて給食費を無償化に。子育て世代に手当を。
医療支援(予防接種の無償化)や色々かかる費用が少しでも減ってくると生活的にも楽になる。保育所にはいつもお世話になっているのと入れているのでわからないが、足りているのか。諸々の物価上昇で経済的に大変ではある。
育児支援制度が周知され、必要な人に適切に利用されることを望みます。
学校給食費無償にしてほしい。近隣の市では実施しているが、なぜ鶴ヶ島市はできないのか。0歳児のみでよいので、おむつクーポンなどで無償にしてほしい。子育てに関する直接的な支援がない。乳児に対する支援(おむつ、ミルク)がまったく無いことにショックでした。出産祝いの「つるごんバッグ」を作るなら、そのお金でもっと生活に直結した子育て支援の費用にしてほしい。
無償化と言っているが、費用がかかる。坂戸市は給食料が無料になっているし、収入に関しての保育料も鶴ヶ島市より安い。
坂戸市では小学校給食費が無いと聞きました。鶴ヶ島市では申請して通った方のみなのに。
第3子以降の保育園の給食費が幼稚園と保育園で免除基準が違うことに疑問を感じる。
給食の無償化をお願いしたいです。
給食費の無償化や英検代の負担をしてくれる坂戸市が羨ましいです。PayPayのキャンペーン対象店舗にもっと食品や子ども用品のお店を加えてほしい。
給食費や高校の無償化が進んでほしい。多子世帯への支援を手厚く、子育てしやすい環境になってほしい。
給付金が少し多くなると助かります。2人目以降金額が上がったりすると嬉しいです。

教育にかかる費用のさらなる無償化。
教育環境の無償化がもっと進んでほしい。好きな習い事もさせてあげられない。兄弟がいる分お金もかかる。児童手当は本当にありがたいですし、助かっていますが、全然足りません。フルタイムで働いていても税金で取られ、子どもとの時間も減ります。子育てしにくいです。
教育費の負担が非常に高くなっている。補助があると良い。
教育費の無償化。それがあれば家庭内におけるゆとりのある生活が送れるのではないかと。全てにおいて値上げしており、家庭にもものすごく負担がかかっている。
教育保育もそうですが、無償化、更なる補助金など親の負担が無くなれば教育しやすく、のびのびと子ども達が育つと思います。習い事などさせてあげられないのがかわいそう。
近隣の市町村では行われている給食費の無償化を鶴ヶ島市でも実施していただきたいです。
金銭面において余裕があるわけではありませんが、育休取得後復帰して間もないため、保育料も無料で大変ありがたく思っています。しかしながら、今後は収入的に公的な支援の対象からは外れていくと思います。非課税世帯等に対する支援が多く、ひとり親でも収入があると公的援助の対象外となります。自分で頑張る親へ向けた受け皿(病児保育や学童保育の充実等)の部分に対する充実を期待します。
高等教育にかかる費用がもっと少なくなれば、親の負担がかなり違います。ご検討よろしくをお願いします。
子育て支援は鶴ヶ島市は無さすぎる(坂戸は給食費無償、インフルエンザワクチン助成あり)。高齢者ばかり優遇されていて、子育てに力を入れていない印象。ひとり親や非課税世帯にしか給付金が無いため、そこまで所得は低くないが高くもない世帯に何も無さすぎる。ここでは3人産もうとは思えない。祝い金も少ない。満3歳児の受け入れ先が少ないため無償化の意味が無い。
現在、保育料は1人目全額、2人目半額、3人目無料となっているが、そのカウント方法を変えてほしい。1人目が小学生になったら、2人目全額、3人目半額となる。せめて上の子が小学生のうち、1人目のカウントをしてほしい。子どもが増えると食費やおむつ代などお金もかかるし、時短でないと家事が追いつかないので、収入も増えない。親も近くにいないので3人の子どもを夫婦2人で育てるには時間もお金も足りない。保育料減額のためのカウント方法を変えてくれるだけでもとても助かる。年少～無償化だが、0～3歳までの保育料が高い。働かないと子育てのためのお金が足りないが、働くと保育料が上がるから困る。育休から復帰後は時短で収入が減るのに、前年の収入が影響して保育料が高い。3人目はずっと無料にしてほしい。
不登校になってしまった時にサポート、フリースクールなどもいくつかあったら安心だと思います。
現時点でも病児保育室やファミリーサポートなど利用できるサービスをたくさんご用意いただいております。ただ、早朝や夜間、休日などに急にサポート(保育の代理)が必要になった際に、近くに親族や保育を依頼できる知人がいない親が相談・依頼し、対応いただけるようなサービスを有償、民間運営でもいいので作っていただきたいと感じています。また、市内小児科が急患で受け入れが難しいほど、どこも混んでいるか完全予約制なので、特に発熱児の急患一次診療対応ができる場がほしいです。
子ども用品(おむつやその他)も負担が大きいので、西松屋などの子ども用品店で使える補助券等があると助かるかなと思います。
子どものインフルエンザ予防接種無料だったり、給食費無料だったり、身近な支援に差があるのも疑問。新しい施設を作るのは難しいと分かっているので、せめて日常生活での負担軽減があると嬉しい。
小中学校給食費補助(多子世帯など)がもっと充実すると嬉しいです。
高齢者の助成は多々あるようだが子育ての支援は少ないように感じる。多子世帯への助成がもう少しあると嬉しい。
子育てしながら働く母親の身体のことを考えると、がん検診の補助等の年齢の引き下げをお願いしたいです。(私事ですが、卒乳してしばらく経ち、自費で乳がん検診をしたら要精密検査となり、パート代をほぼつぎ込む痛い出費となりました。子どもの習い事のために使いたかった。)
財源の関係もあるが、金銭的な支援(毎月の補助金、児童手当を市独自で増額)、出産後のギフト(渋谷区のような)があると良いなと思った。共働きが多いと思うので、幼・保の延長料金の補助がほしい。(3歳未満で)子育て世帯が使う家具、家電(学習机、ランドセル、冷蔵庫など)の補助がほしい。学童の充実(施設)。公園の遊具の充実。歩道の整備とガードレールを取り付ける。坂戸市並みの子育て支援の充実をしてほしい。英会話教室の充実。
小学校の給食費が値上げされたとも聞きました。他の市では無償等進んでいるようですが、子どもが1人増えたので、今後の出費が心配です。
坂戸市から鶴ヶ島市に転居してきましたが、子育て支援が充実してないと感じます。坂戸ならインフルエンザ予防接種代無料や小学校の給食が無料などの支援があります。鶴ヶ島市ももっと子育て支援が充実してないと転居したくなく感じます。

「小学校の給食費を無料」にしてほしい。
坂戸市では実施中の学校給食費無償化、物価高騰の現在においてはぜひ実施していただきたいです。
坂戸市の給食費無償化はとていい取組だと思います。ぜひ鶴ヶ島市でも導入してほしいです。
坂戸市のように給食費を無償化してほしい(せめて3人目だけでも)。3人子どもがいると、風邪をひいた時に休みを多くとることになり、パート代が減るので多子世帯への子育てのサポートの拡大を希望します。
坂戸市はインフルエンザの予防接種の補助や、学校給食の補助があるが、鶴ヶ島は子育て支援に消極的に感じる。
昨年10月に引っ越して参りました。第1子も今年から保育園の利用予定なので、本格的な子育てはこれからだと思っています。今はまだ自宅で一緒に過ごす時間が多い状態ですが、成長とともに市や近隣の資源に頼ることも多くなるとは思います。給付による経済的負担の軽減がシンプルに助かります。(無償化)
子どもへの補助金など優先的に出してほしい。
子どもが3歳になるまで保育料は無料にならないにもかかわらず、育休が1歳～2歳までしか取れないのは矛盾している。無料までいなくてももう少し安くしてほしい。また、育休は3歳まで取りたい人は取れる制度にしてほしい。小中学校の給食費は無料にしてあげてほしい。子育てにお金がかかるのは当然だと思っているが「お金がかかりすぎる」のは異常だと思うし、本当に少子化を対策したいなら、子育て支援にもっとお金をかけるべきだと思う。
子どもを育てるのに経済的負担がかなりある。就労しながらの子育てもかなり負担が大きいと感じる。共働きしていても保育料が結構かかるので、結局経済状況にゆとりを感じられない。子育て世代に経済的支援をもっとしてほしいし、身近に頼れる親族がいないところへの支援ももっとあると嬉しい。また、もっと利用しやすいようにしてほしい。
子ども手当を年収によってではなく、一律にしてほしい。子どもにかかるお金は同じなので。
子育て家庭への経済的支援が欲しいです。物価高等による手当をひとり親家庭等のみではなく、とにかく必要です。
給食費の無償化など進んでほしいです。
紙おむつなどの支援、子育て支援金の増額。ミルクや紙おむつなど、1か月に数回指定の販売店で引き換えなどできたら助かります。金銭だとそれに利用しない親もいると思うので。
児童手当の増額や、保育料の金額設定をもう少し下げただけだったら嬉しいです。無償化の幅をもっとさまざまな分野で広げてほしいです。
習い事への費用の補助制度があると助かります。また子ども手当に収入の上限があるのに少しモヤッとします。
給食の無償化(坂戸市はすでにやっている)。
他の市で給食の無償化をしているので、鶴ヶ島市もしてくれたら嬉しいです。
上の子が未就学児の場合は、下の子が保育料半額になるのでとても助かりますが、小学校に上がると全額に戻るので負担が大きいです。小学校に上がると、習い事や学童など、未就学児の時よりむしろ負担が増えてしまうと感じています。2人目以降は保育料半額(0～2歳児クラス)になるとありがたいです。
坂戸市では給食費が無料なのでうらやましいと思う。
全国の自治体で子育て支援をしている所が増えているが、鶴ヶ島市は無いですね。給食費無償化や第2子から保育料無料、医療費18歳まで無償など、周りに合わせて行ってほしい。また、たくさん働いてたくさん税金払っているのに恩恵があるのはいつも生活保護や低所得者の人達ばかり。子育てのお金については平等にほしい。物価高で苦しいのはどこも同じはずです。
2人目出産後が辛かったので、もう1人の子の預かり時間が延長されたり、買物の代行などフォローがあれば嬉しい。
大学までの教育費に不安がある。
第1子が卒園しても第3子以降の保育料を無償にしてほしい。東松山市は第1子から半額で利用でき、卒園しても家庭の子どもの数でカウントしてくれる。小中学校の給食費の無償化。他の市町村で導入している所が多い。全体的に子育てをしていて、補償や環境が少なく、多子世帯にとっても不便を感じています。市民税も高く、他の市町村に住めば良かったと思う時もあります。
第2子保育料無償化。給食費無償化。周りの市に少子化対策を合わせるのではなく、明石市のように周りの市を引っ張っていくくらいの対策を率先して行ってほしい。口だけに感じる。子育て支援のやる気が感じられない。結果を読んだ市長のコメントも載せてほしい。具体的対策も。
第3子からの給食費無償化でなく、第1子からにしてほしい(坂戸市はしている)。

<p>第3子以降出産した家庭への応援金が減額したり、県の第3子以降の3キューチケットが廃止されていたのがどうしてなのかと思いました。これだけ少子化と言われているのに、サービスを手厚くするのではなく手薄になり残念です。朝霞市は第3子以降出産した家庭に 30 万円支給されます。子育てに力を入れている市とそうではない市で分かれるのかなと思いました。</p>
<p>鶴ヶ島市に支援等が全然無い。金銭面や食料等でもう少し支援があればいい。もう少し住んでみて変わらなければ(前にも書いたけど何も変わらず)市外に引っ越す予定でいます。</p>
<p>低所得・ひとり親への手当てが手厚く感じる事が多く、理解はできるが、子育て世帯への手当てでもう少し考慮していただくと助かる。特に、おむつ・食費等の負担が多いので何か検討してほしい。</p>
<p>都内のように所得関係なく子育て支援を充実させてほしい。鶴ヶ島市は子育てに関して魅力がある街とは言えません。</p>
<p>働きたいと少しは思っていますが、0歳から保育園等に入れるのは抵抗がある。0歳からでも子育て支援がもっと広がれば来やすくなると思った(ママ同士のカフェで情報交換やリミックなどのイベントなど)。</p>
<p>給食費を無償化してほしいです。</p>
<p>給食費の無料化も必要だと思うが、食の安全性にもしっかりと配慮してほしい。学校給食、学童おやつ、昼食など、安全な食品を用意できる、作り方や仕入れ先の選定、金銭的な補助を市として取り組んでほしい。</p>
<p>泊まりで利用できる産後ケア事業があるといいと思った。特に1人目だと産院での入院期間だけでは分からないことだらけで不安だし、母親がゆっくり休める時間を作ったりすることが必要だと感じた。自営業でも育児休暇が取れて金銭的にも補償してくれる制度があるといい。</p>
<p>分け隔てない子どもへの援助をお願いします。親が働いている、働いていない、納税している、していないなど、子どもには関係ないと思います。どんな支援でも嬉しいです。みんな平等をお願いします。</p>
<p>保育などの時間の見直し。経済的負担があるため無償化や補助制度があると良い。</p>
<p>保育園無償化はとても助かっている。小学生になると習い事や学童で出費が増えて苦しい。習い事に通わせるため、仕事をセーブし収入も減る。学童から直接通える習い事の拡充(学校から直接もありがたい)。習い事費用の補助。</p>
<p>保育所・小・中・大学の無償化があれば、家庭での支出が抑えられ、子どもをもう1人育てられる余裕が生まれると思う。3人目(多子世帯)には負担軽減策がありますが、2人以下の家庭には何もないので、余裕が生まれません。</p>
<p>補助金など、子どもに関する金銭面の援助がほしい。</p>
<p>母1人、子2人、養育費無しの母子家庭です。児童扶養手当や就学支援等を受けれる収入の上限が低すぎると思います。習い事をさせるために仕事を増やしても、その分が丸々減額されたり、受給資格が無くなったりしてしまうため、一定の所得のままずっといます。物価高ということもあり、所得制限の幅をもっと広げていただきたいです。</p>
<p>未来ある子ども達に投資していただきたい。子育て世帯の負担が大きい。(収入が増えないのに、税金などの支出が多い)</p>
<p>無償化の拡大、金銭的支援。</p>
<p>無償化はしなくて良いと思う。財政負担が大きい。</p>
<p>国からの支援金ももっといる。生活が苦しい。</p>
<p>幼・小・中の給食の無償化。</p>
<p>幼稚園・学校給食の負担が大きい。無料にしてほしい。隣の坂戸市はもう無料になっています。何とかしてほしいです。</p>
<p>給食費免除の坂戸市はかなり魅力的。</p>
<p>⑬公共交通</p>
<p>つるワゴンの乗り継ぎが不便で本数が少ないので、近隣市のようにタクシー券が必要と感じる。</p>
<p>以前東松山市に住んでいて、デマンドタクシーを利用していたので、鶴ヶ島でも導入してほしい。</p>
<p>地域的に車を持っているのが(免許証含め)当たり前かもしれないが、そうでない場合もあるので、子どもの検診の際などシャトルバスのような形で、保健センターに連れて行ってくれる制度があると助かる(有料でも良いから)。</p>
<p>つるワゴン無料もありがたいです。</p>
<p>鉄道・道路など交通の安全を向上させてほしい。(東武東上線へのホームドア設置など無く、人身事故減少の働きかけ。交通量が多いのに歩道が狭い等の道路の改善。歩きたばこやポイ捨て等を減らすための対策など。)</p>
<p>子どもも市の図書館・児童館などを利用する時に安心して乗車できるバス(女性バス運転手など)。</p>

つるバス・つるワゴンに無料で乗れるのはすごく助かっているので、無料となる子どもの年齢も上げてほしいです。
つるワゴンはおむつ臭くて乗れません。
保健センターが遠いのでバスを利用して行くのですが、市役所までのバスしかないので、つるバスを運行してもらえると大変助かります。
つるバス・つるワゴンの本数を増やしてほしい。
不審者、事故の遭遇を考えると、児童のバス送迎があると安心です。
⑭遊び場・公園・児童館
駅の近くに公園があれば便利だと思った。
小さい子どもから小学生くらいまで遊べる遊具がもっとあるといいなと思います。
図書館や学童・保育所の充実。
子どもをのびのび遊ばせる場所が少ないので、もっと充実してほしい(大きな公園、アスレチックなど)。自転車を練習する場所を作ってほしい(公園で練習していたら注意されたので)。
公園にハチが多く、遊ばせるのが危険な時期、遊ぶ場所に困る。花火ができるのはとてもありがたい。
保育園に通う前までは児童館に大変お世話になりました。児童館によっておもちゃが少なかつたりしたので、その辺の環境も整えてもらえたら良いと思います。
三ツ木方面にも公園がほしい。
市外から引っ越してきたため、知り合いがいません。子どもを他の子と交流させてあげたいので色々な公園に行きましたが、子どもがたくさん集まるような遊具がある大きい公園が無いため、作ってほしいです。4月にできる関水金属の公園は車が通っていると聞いたため期待して待っています。
児童館で遊んだ後に、昼食をとって帰れるようにしたい。児童館に子連れで食事のできるカフェなどを併設してほしい。室内で体を思い切り動かせるアスレチックがあるような児童館を作してほしい。特に夏は気温が高く、室外の公園では遊べないので、室内でおもちゃ遊びをするのではなく、公園遊びのような動きができる施設があるといい。
0～3歳の子どもが遊べる場が少ない。公園の遊具が古く、対象年齢に合うものがない。子どもと一緒に気軽に遊びに行ける施設が少ない。
下新田辺りに公園が無い。徒歩圏内にあるといい。
つどいの広場等、赤ちゃんが遊べる施設を、土日でも利用できるようになると助かります。
ベビーカーの子も遊びやすい、行きやすい公園がほしい。荒れている公園も多く、残念。
もっと子育ての遊び場がほしい。他の県や市が羨ましくなります。
わかばハンカチノキ公園は高齢者のための公園ですか。それとも子どものための公園ですか。趣旨が理解できません。遊具が少なく子どものために作られた公園とは思えません。高齢者が散歩などをする公園のように感じなりません。近くの関間三丁目小公園の東側にブランコや広場がありますが、その場所を活用するということは考えなかったのですか。子どものためになっていると思いますか。高齢者のためだとしたら、必要あると思っていますのですか。子どものために作ったのであれば税金の無駄使いですね。他の公園に遊具を増やすべきだと思いました。高齢者のためだとしたら全く意味のない物を作りましたね。散歩などをするのであればあの公園である必要がありません。利用できる用途があまりにも乏しいです。とりあえず公園を作ろうと作った感じがしてなりません。市民の意見は聞いたのでしょうか。高齢者社会で高齢者のために社会づくりをすることは大事だとは思いますが、未来があるのは子ども達です。そのための社会作りができていないと思います。税金を無駄使いしないで下さい。もっと市民に寄り添って下さい。もっと子ども達に寄り添って下さい。客観的に物事を考えて下さい。それが足りないから、あのような無くてもいい公園を作ってしまうのです。最後に色々とお話をいただきましたが、ご心労お察します。いつもありがとうございます。
以前はさいたま市よりの都市に住んでいました。きれいで大きな公園がいくつもあり、行き場に困ることがありませんでした。鶴ヶ島に住んでからは公園の少なさにびっくりしています。あっても赤ちゃんが集まれるカゴのようなブランコが無かったり、小さいすべり台の昇り口が階段ではなくはしごだったり。整備はされているのかもしれませんが、清潔感皆無の公園ばかり。遊具も汚くて遊ばせる気にはなれません。
雨の日でも遊べる屋内施設が増えると嬉しい。ショッピングセンター等で買い物中、子どもを見てくれる所があると親達のリフレッシュになるので良いと思う。(モラージュのような)
雨の日などに利用できる屋内の遊び場が増えてほしい。
近くの公園が無くなったり、児童館も子ども達だけで行くには遠いので少し残念である。
大きな公園、遊具が楽しい場所が欲しい。

鶴ヶ島駅周辺は子育てに関する施設全般が無いように感じるので、開発や発展をしながら、子育て世帯が楽しく過ごせるような地域を作っていただきたいです。
現在育児休業中で、もともと人と常に話す仕事をしているので、子どもと2人きりになり大人と会話する機会が減り、会話力が下がる中ででのつどいの広場、児童館は、人とのつながりを保てる大切な場所になっています。これからもあり続けてほしいと思っています。
現在住んでいる下新田地域に公園が少ないような気がします。身近に公園があればもっと地域の子どもたちの交流が増えていくと思います。
公園が少ない。またはあっても遊具の設置が無いので、子どもの遊び場が充実すると嬉しいです。
公園の充実化(近所に若葉ハンカチノキ公園がやっとできとても嬉しいです)。
公園の遊具がしょぼい。
公園の遊具が少ない。雨の日など遊べる所が無い。
公園の遊具が少なく感じます。新しくできた公園にすべり台すら無いのはどうかと思います。
公園はたくさんあると感じるが、駐車場は無かったり、児童館はあるが、室内で体を動かせる広さや遊具が無かったり。市民プールはあるが、おむつを使用している子は利用できなかったり、施設はたくさんあるのに実際に活用できるのは限られた子に感じる。
公園をもう少し増やしてほしいです。特に遊具が少ない気がします。海洋センターや運動公園などに遊具が充実していれば、他の市に住んでいる方や家族など遊びに来られ、活性化されると思います。
公共の広場で自由に遊べる場があるのでありがたいが、遊具豊富な公園があると休日助かります。近くにキッチンカーや誰でも参加できるスポーツ教室などがあると嬉しいです。子どもがスポーツ教室などしてる間、親が休める場、リラックスできる場があればありがたいです。よろしくお願いします。
公園では遊具が少なく、他の市まで行くことが多い。児童館での子育て支援(赤ちゃんサロン等)に参加しましたが、とても嫌な思いをして残念でした。何か1つでも子育てをする上で強みになることができるのを願います。
山形県天童市公共施設「げんキッズ」のような遊び場がほしかったです。公園も少なく、きれいな遊具も少ないと思います。
子どもが安心して思いきり体を動かすことができる大きな公園、またカフェなど併設した親もくつろげる一体化した広場(複合広場的な)がほしい。(駐車場も設けてほしい)
子どもが安心して遊べる場が多くあると良いと思います。特に外でボールを使ったり声を気にせず自由に遊べる所がたくさんあると、親として安心できます。駐車場があつて広々とした公園が増えると嬉しいです。あとは子どもの体験活動を市の企画等であれば利用してみたいです。スポーツ芸術など、習い事のようなものではなく、色々な体験をさせてあげられる環境にあると良いと思います。
子どもが遊べる大型遊具のある公園がほしい。どこの公園も遊具が乏しく古くさくて他の市へ行って遊ばせている親御さんばかりです。
子どもと利用する施設について。公園は遊具が少なく市内に遊べる公園がなく、市外の公園へ行くしかない(幼児向け遊具がない)。児童館は職員の対応が悪い。事務所内にいるだけなら意味無い。以前奥の部屋で小学生がケンカをしていて、小さな子どもが巻き込まれそうになり怖い思いをした。
子どもの主な遊び場となる公園の清掃を強化してほしい。
子どもを遊ばせる公園等が少ない。
市の中に児童館などの施設がたくさんあり、子育ての環境は悪くないなと思っています。
市内で子育てをしていて環境について満足度は高いです。しかし上広谷児童館の駐車場問題(台数と狭さ)、運動公園の遊具の不充実、まだ必要なことも多くあると思うので、市民の子育てする親たちの声をアンケートだけでなくヒアリングしに来てほしいです。
児童館は充実していると思うが、その家庭開放みたいなのをやると良いと思う。児童館やつどいまで遠かったり、足が無い時近所に遊びに行ける家があるといいと思います。そのような家、高齢者など多いのではと思う。
児童館を増やしてほしいです(親も子どもも安心して遊べるため)。
歩いて行けない児童館で参加してみたい企画があつても行けず。つるワゴンに何度もお世話になりましたが、昼の時間に終わる検診ではタクシー代がかなりかかりました。大きくなったので子どもが自分で移動できる範囲に子育てサポート施設(児童館等)あるのはありがたく感じています。
近所に公園が無いのに困っています。
まだまだ夢中になって遊べるような公園が少ない。民間のレストランを公園内に設けるとかして、利益を得ながら大きな公園は作れないものか(アスレチックなど)。

大きな公園を作ってください。小さな公園がいくつもあっても、あまりメリットを感じません。広い場所にたくさんのアスレチックがあるような公園がほしいです。
大きな遊具のある子ども達がのびのび遊べる公園が少なすぎます(ありません)。運動公園ではお年寄りの方がゲートボールをし、占領していることがあり、全く遊ぶことができませんでした。大きなすべり台付きのみんなが楽しいと思えるような公園を作ってほしいです(アスレチック等)。
大型遊具のある公園が欲しいと思います。
室内遊び場や公園の充実(古すぎるのでリニューアルしてほしい。ポーネルドなど取り入れて)。子どもが楽しめる企画をしてほしい(水かけ祭り復活してほしい。田んぼでの泥んこ体験、自然体験できるもの)。
鶴ヶ島市の児童館の充実さが素晴らしいと思います。以前住んでいた他の市では、支援センターに行くために予約が必要でとても不便でした。土日祝も開館していて、先生方もとても親切で感謝しています。希望としては、市内の公園がもっと充実したものになると嬉しいです。市内の公園はどれも遊具が少なく古いです。
鶴ヶ島市は子どもが遊べる公園や広場が少ないように感じる。もう少し住宅街の中や近くにたくさん作ってほしい。
鶴ヶ島市下新田住みですが、公園がほとんどない。安心して通える公園が無い。遊具が無い。
鶴ヶ島市の公園の遊具は魅力的なものは少なく、車で川越市や東松山市の公園まで通っているのが、遊具の見直し、公園の増加を検討してほしい。昔ながらの遊具が多い。新しい遊具を取り入れてほしい。よろしくお願いします。
低年齢に合った公園などできると嬉しいです。
南市民センターに児童館があったら良かったと思います。小学校の下校時間が早い時など、子どもの南市民センター利用が無料になり、みんなで昼食を食べることができると便利だと思います。また、既存の児童館のイベントも、児童館まで行って申し込みではなく、Web 予約で時間になったら行くほうが親の手間も省けて良いです。
近くに公園ができると言って、いまだに建設されていない。早急に作ってほしい。
市内に大型遊具がある公園(児童館)があると嬉しい。
富士見地区に住んでいますが、子どもが少なく高齢化しています。子どもの遊び場を充実させてほしい。子ども向けより大人(高齢者)向けのサービスが多い気がします。地域活性化を求めます。
児童館の先生はいつも優しくありがたい存在です。
鶴ヶ島駅近くに公園があると良い。
大きな公園もいいが、子どもの足で歩ける範囲に小さくても良いので、公園があると良かった。
遊具のある広い公園がもっと市内にあったらいいなと思いました。市のイベントは充実していて、家族で楽しめるのでありがたいです。
遊具の充実した公園があれば良いです。
イベントや店や施設の利用など、子どもは無料など増やしてもらえると、親子で参加したり利用する場所が増えて嬉しいです。
幼稚園や学校の後、子ども達が遊ぶ所が少ない。学童に入れなくても、(毎日)学童のように集まって遊んだりできるような所があると良いと思う。
15 道路・歩道
ベビーカー利用時に道が狭くて危ない。歩道を作ってほしい。
居住の周辺の道路(歩道・信号・街灯)の整備。
道路等、歩行用が無いに等しい場所や、夜間街灯の無い道が多いと感じます。カラスが何羽もいて怖い場所もあります。子どもの体に良くないと思います。裏道のような所にゴミや女性の服が落ちているのを発見するたび怖いと感じます。子どもを外に出せません。
ベビーカーで移動しているので、段差などが多いのですぐにつまずいたり、道が狭い。図書館の遊歩道もベビーカーで通れなくて、暗くて木が邪魔で幅も狭く、図書館まで利用しにくいので改善してほしい。
子どもの通学路のルートの安全を確保してほしい。車の往来がある場所は、ガードレールの設置や、スクールゾーンを増やす、歩道と車道の白いラインを整備する、街灯を増やす等。
歩道も歩きやすく、ベビーカーや車いすがつまずかず、安全に安心して歩けると子ども達だけでも安心です。自転車も怖い。色々な意味で。
鶴ヶ島は車通りも多いから気軽に外で遊べない。

<p>保健センターが遠いのでバスを利用して行くのですが、市役所までのバスしかないので、その後の徒歩が辛いです。歩きやすい歩道ならまだしも、市役所から保健センターの道はガタガタでガードレールも無く、車もすれすれで走行していきます。ベビーカーで歩いて行くには危険な道のりでいつも怖い思いをしています。道路整備してもらえると大変助かります。</p>
<p>歩道が狭い。段差が多く、ベビーカーでの移動に苦労する。</p>
<p>⑩社会的理解</p>
<p>母子家庭に対する補助ももっと助けてほしい。収入が無く、カード会社などで借入するしかなく、ずっと余裕がなく学校の集金など支払えない。光熱費も支払えず、よく止められてしまう。たまっている税金の支払いまで回せない。もっと貧困の状態を調べてほしい。</p>
<p>⑪その他</p>
<p>出生時のお祝い品はオリジナルバッグではなく、より実用的な現金か商品券がいいと思います。</p>
<p>警察による防犯パトロールの強化。交番の増設。</p>
<p>赤ちゃん用品を買えるお店がなく、1時間ほどかけて遠くのショッピングモールへ買いに行きました。西松屋以外にもお店を出してほしいです。</p>
<p>不正に支援を受けている人と、真面目に働き支援を受けている人がいて、「真面目にしている私達が馬鹿にされている」と感じる保護者がたくさんいることを理解してほしいです。</p>
<p>アニメや漫画の影響から、一緒に遊んでいるお友達に対して「殺す」と言って斬りつける真似をしたり、銃を向けるようなポーズをし、「死ね」と言ったりするお子さんがおり、過激な描写がある漫画やアニメを避けている家庭であっても子ども達は影響を受けてしまっているのが現状です。また、坂戸駅隣のマルエツ駐車場入り口横にあるマッサージ店「華」では、以前から服のはだけた女児の絵の看板を路上に出しており、大変不快です。行政におかれましても、現在の子ども達を取り巻く環境について注視していただきたく、看板に関しましては不特定多数の目につかない範囲で使用をしていただけるよう望みます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>いつも気にかけてもらえていて嬉しい。ほっとする。さいたま市に住んでいた頃は、相談員さんが他人事のような感じで、次に会った時には顔を忘れられていたり切ない感じでした。鶴ヶ島市のあったかいところが良いです。</p>
<p>お疲れさまです。今3人子どもがいますが、今や4人目がいてもいいかなと思うほど、子育て環境の良さ感謝しています。子ども手当を増やす事＝少子化対策ではないのでは。国は色々言いますが、鶴ヶ島市の色を出していただけたらと思います。頑張ってください。こども対策課の皆様は残業なく帰れていることを切に願います。</p>
<p>子どもがいる人の税金を大幅に減らしてほしい。</p>
<p>こども支援課の職員さんには大変お世話になりました。とても感謝しています。</p>
<p>このようなアンケートを紙ベースで行うことは手間やコストがかかり集計するにも管理するのも大変だと思います。もっと他のことに時間やお金を使ってほしいです。</p>
<p>シングルマザーで働く必要があるのに、今、子どもの面倒を見られているからという考え方や、祖父母はまだ共働きなのに、〇歳だから、孫の面倒を見られるよねという考え方で保育園の点数付けをするのはやめてほしい。誰かが預かってくれないと働きようがない。50歳のジジババでも働いているので、孫の面倒を見る時間は無い。むしろ60歳や70歳越えて仕事をしていないほうが孫の面倒を見られると思う。</p>
<p>そもそもこの計画で何をを目指しているのか全く説明がないので、このアンケート(長い)は無意味。東京都が教育の無償化を進めているのに、まったく県・市は話も聞こえてこない。こども支援課の対応態度が非常に悪いので、そもそも子育てが良くなるわけがない。市長も何を指したいのか目的を明確にしないで、こども支援課が明確なマイルストーンを立てられず市が良くなるわけがない。本当に良くしたいのであれば、他市に追随するのではなく、中学までの費用を全て無償化等、具体策を早く実行すべきだ。アンケートを実施するくらいなら分析結果を知らせるべきだ。前回もやったが何もフィードバックがない。</p>
<p>鶴ヶ島に住んで良かったと思えるように、子どもが大きくなってまた鶴ヶ島に住んで子育てしたいと思える街にしてほしい。オンラインでのアンケートが良かったです。</p>
<p>アンケートを受けることには賛成しますが、ネットで回答できたらもっと楽でした。ぜひ次回の調査に導入してもらえたら嬉しいです。</p>
<p>以前、保育園入園、育休延長等の問い合わせで市役所に訪ねた際、親身になった話が無く、申込書類のみ渡され不安な気持ちのまま帰宅しました。後にその方(こども支援課の窓口の方)は業者の方で市役所の方ではないと聞きました。業者の方が悪いとは思いますが、私のように不安なまま進める方が減らせるよう適切な説明・親身な対応をしていただけると助かるかなと思いました。</p>
<p>以前の場合のほうが手厚い。結構野放しでどうしていいかわからない。ひとり親世帯には住みにくい町。</p>

夫が医療系の職に就いていますが、先日家族全員で急性胃腸炎になった時も、夫は休みが取れず地獄のようでした。こんな時家族全員でいさせてもらい、サポート受けられるような施設があったら良いのになと思いました。(医療者の方に完全防御してもらい、おむつ交換、吐物の処理、食事、水分の提供、子どもに必要なあれば点滴)
家事代行を頼める先があるととても助かります。
学習面について低い。
共働きが当たり前なのが不満。子どもが小さいうちは親が見たいが、金銭面で不安。昔のように母親が家で子育てをして子どもの成長を見守れたらいいのと思います。
共働き世帯が増える中、保育園・幼稚園での預かり保育があり、本当に助かっていますが、あと2年で小学校ということを見ると、出勤時間と登校時間の兼ね合いがどうしても心配です。部分休を使わざるを得ないのか、祖父母の家から登校させるのか、悩みが尽きません。小学校の先生の負担にならずに共働きの人が出勤しやすい仕組みを考えていただきたいです。
経済的に苦しいなど感じる事が多くなりました。自分のキャリアも諦めたくない、でも子どもと一緒にいたい。毎日悩み、不安を抱えて過ごしています。子どももう1人欲しいですが、国含め子育て世代への負担増を考えると難しいのではと思っています。将来への不安しかありません。
経済的不安は悩みがつきません。子が小学校に入るまでには住む場所を決めて家を建てるのが理想だが、なかなか踏み切れずにいます。
現在、下の子の発達を少し心配しているのですが、丁寧なフォローを保健センターや相談員の方にしてもらっていると感じます。いつもありがとうございます。鶴ヶ島で子育てができて良かったと思います。今後もよろしく願います。
公民連携事業として駅前や交通の便の良い所に、児童センターや市民プール、室内体育館や文化ホール等、健康増進や子育てサポート(発達支援や子ども園等)など利用者へ壁を低くした、誰でも集まって楽しめる施設ができると嬉しい(和光市の「わびあ」みたいなもの)。発達に心配があった時のサポートや受け入れがもっとオープンにわかりやすくなると良い。土曜も相談したい。市役所・保健センター等交通便が悪くそれぞれが離れすぎている。自分も育ち、自分の子どもを育てる大好きな鶴ヶ島がもっと住み良くなるように、市民目線の街づくりをどうぞよろしくお願いします。
好きな時期まで育休が取れるようになるといいと思う。実際には0歳児の4月入園しか枠が無く、早めに職場復帰するしかなかった。実際に仕事に戻ってみると、子どもは体調を崩しがち、主人は仕事を休めず、有休が全く足りなかった。通勤も1時間ほどかかる所だったため、現実的にフルタイムは難しいと感じた(フルタイムに戻りたいが)。祝日も全て仕事がある会社だったので、祖父母等の手がなければ、働きながら保育園はかなり厳しいと思った。
高齢者優先となっているように感じる。公園や道路の草刈り等の管理が行き届いておらず安心して過ごせない。
今よりももっと子育てがしやすくなるように願います。一時的なものではなく、持続的なものを望みます。
仕事が終わった後に、上の子(小学1年生)の学童のお迎え、下の子の保育所のお迎えを2か所行くのが大変なので、学校の近くに保育所があればいいなとよく思います。もしくは、職場まで電車通勤なので、駅に保育所や学童が併設されていれば、仕事帰りにすぐにお迎えに行けるので、私のような電車通勤の人は助かると思います。
仕事と家事・育児の両立ができていないと感じます。本当は家庭に入って家事・育児に専念したい気持ちがあるので、共働きでなくても生活ができるようにしてほしいです。
子どもが一番大変な時期に市のほうからサポーターさんを定期的に派遣してもらえてとても助かりました。特に資格を持っていたり、子育ての経験のある方から話を聞いてもらったことで、精神的な余裕が生まれ子どものことを愛おしいと心から思えました。今笑顔で子どもに接しているのは、サポーターさんをはじめ支えて下さった市の方々のおかげと考えています。
鶴ヶ島駅のエレベーターが古く汚い。ベビーカーを利用する時に使用するが、もう少しきれいだと嬉しい(西口)。
子育てセンターなど、土日の利用が可能であれば参加してみたかった(母親学級など)。雨の日など、屋内で遊べる施設が近くにあればいいと感じる(上記施設の解放など)。産後、子育てがあまりわからなかった時期に助産師さんの訪問指導があり、優しい雰囲気の方が来てくれて不安感が和らぎました。出産祝いでも市からいただいたブランケットは質が良く、通勤時子どもに使わせてもらっています。
子育ての相談について親身になってくれる保健センターの方や児童館の方、かかりつけ医にいつも助けられています。色々なサポートの会などもあって良いと思います。

<p>子育てをしている方々が仕事をしていなくても、もっと気軽にサポートをお願いできるシステムがあると心身ともに休むことができ、気持ちにゆとりを持って子どもと向き合えるのかなと思います。子どもを育てていたら我慢して当たり前ではなく、時間的にも金銭的にもゆとりが生まれるような環境作りができれば子どもを産んで育てたいと思うってくれる人も増えていくと思います。</p>
<p>子育てをする保護者をつなぐ機会が少ない。以前住んでいた市はハガキで同じ月齢の子で集まってベビーマッサージや相談ができる場を用意してくれた。</p>
<p>子育てを充実させるには、家庭環境、経済的安定が必要。そのためには子どもを産んだ後も安心して働ける環境、サポートが必要。祖父母に頼れない家は、両親どちらかが休んだり子育てに手をかけなければならず、結局働きに行けず経済的安定につながらない。さまざまな悪循環が生じて、子どもが欲しくても諦めることになる。市では子ども支援に関してはあまり積極的ではないのだろうと思う。</p>
<p>子育て支援センターから医大光の家までの受診へつながることはできたが、そこまでにごく時間がかかった。発達で心配や不安がある時に子育て支援センターの充実や医師に通院できるシステムにしてほしいと切に思う。また、発達の遅れなのか精神的障がいなのか、子育て不安の延長なのか相談をしたいけれど、一般論ばかりで医療機関へのルートが遠い。もっと身近に支援してほしい。</p>
<p>子育て支援に力を入れてくれる政治家が出てくるのか楽しみです。</p>
<p>子どもが4人いても何にも優遇が無い。保育所に優先的に入所できるなど、多子世帯をもっと優遇してほしい。我が家は今回落とされて大変困っています。母が学校に通学して免許取得を目指しています。何とかしてほしいです。待機児童が出ているのにどうして東部を無くしたのか疑問です。この状況で子どもが増えるのは厳しいと思う。</p>
<p>私は今、派遣社員で働いており、派遣先は正社員のテストを受けて合格すれば正社員になれるが、シフト勤務ができることが条件にあり、トライすることすらできない。理由としては、シングルで夜の子どもを面倒見ることができないから。もっと夜の時間のフォローをしてくれる体制がほしい。子どもの未来を考えると英語や外国語を習得できる環境がほしい。特に3歳までの言語を覚える時期に親の裕福さ等に左右されないシステムを作してほしい。</p>
<p>私は新生児死亡を経験したことがありました。子どもは病院で生まれてきて、NICUに通いました。大学病院まで当時は車が無く、バスと電車ではほぼ毎日会いに行きました。その時は仕事を勤めることができず、仕事を辞めていて収入は夫のだけでした。また亡くなった後も精神的に辛く、1人で耐え続けていました。そういう方の交通費や精神的サポートがあればいいなと思います。子どもを亡くした親にもサポートしてくれる何かがあればいいと思いました。</p>
<p>時短勤務が使えなくなると、物理的に働けなくなる(始業に間に合わないため)。子育てしながら働ける環境や支援が充実してほしい。駅にベビーカーを置ける場所がほしい(駐輪場的な)。</p>
<p>少子化が顕著に進んでいる地区だと感じます。子育て家庭が住みやすい街にしていくとともに、今この街で育っている子ども達の未来が明るくなる教育・保育環境にしてほしいと思います。</p>
<p>少子化で困っていると言っても、いざ子どもを産んでみると子どもに対して(子育て)事業などはまだまだ難しい所がたくさんあるなと感じました。面接で小さな子がいるだけで話を聞いてもらえない。確かに小さな子がいると急に休んだり早退したり会社側はとて迷惑なことはわかりますが、それで今までのキャリアや職種を選び直さなければいけないのも事実です。「子どもがいるから」ではなく「子どもがいても」と働きやすくなると良いなと思います。こちらこそありがとうございました。お話を見ていただけただけで嬉しく思います。</p>
<p>火災予防運動の取組で夜の子どもが眠っている時間に、カランカランと鳴らしてうるさく、また、放送で何を言っているのかわからない。そんなところに税金を使うくらいなら、こういう声に耳を傾けてほしい。こういう思いを、いつ誰に伝えたら良いのかわからないため、こういうアンケートは助かる。</p>
<p>先日、農村センターで子どものつどいに参加しました。普段できない体験(餅つき、太鼓たたき、豆まきなど)を地域の方々とできて、とても良い経験になりました。子どもたちもとても楽しい時間を過ごしました。産業祭やさくら祭りなど、子どもたちが参加できるイベントを楽しみにしています。</p>
<p>早めに集団生活に入れることができたので(こども園)発達の遅れに早く気付くことができ、早く療育につながったので良かったと思っている。</p>
<p>鶴ヶ島(上広谷)は高齢者ばかり。もっと育児のしやすい市にしてほしい。共働きが多いので、自治会の祭りなど手伝えないのだからやめてほしい。手伝ってとか強制募金とか信じられない。</p>
<p>鶴ヶ島にずっと住んでいて、これからも思っています。今回のことでやや思い悩んでいることがあります。私が我慢すれば良いのはわかっていますが、子どもは我慢ができないので、なるべく無視せずに親身になっていただければと思います。ご無理を意見して大変申し訳ございませんでした。</p>

<p>鶴ヶ島市の子育ての環境は特別良くもなく悪くもない、という感じがしますが、本当は「とても良い」環境だったら嬉しいのと思っています。</p>
<p>子ども用品店がもう少し近くにあると助かります。ワカバウォークにアカチャンホンポがあったのはとても便利でした。週末に子連れで楽しめるイベントがたくさんあるといいなと思います。</p>
<p>鶴ヶ島市内に、子育てに全振りした大型施設があったらなと思います。ボールプールや知育おもちゃ、木育などができる遊び学びスペースに、ゲームセンター、子どもの日用品が揃うお店に、一時預り事業や相談窓口、親も子どもも楽しめる、子どもができたなら連れて行きたいと思える施設があったら、子どもが増えても気軽に外出も楽しめるかなと思います(現在は、騒いだりするとやはり周りの目が気になってしまうため)。ぜひ検討お願いします。</p>
<p>働きたいのですが、小さいうちはすぐ風邪をひくため、休むことが多いと思うので、理解ある職場が増えてくれるとありがたいです。給食費を無償化してほしいです。</p>
<p>アンケートを取るのには良いですが、紙に書くのは子ども見つづ進めるのが大変なので、WEBでの回答だとありがたいかったです。</p>
<p>発達の心配があり保健センターに相談したが、利用できるサポートを紹介されず、ママ友から教えてもらったことがある。市役所職員はクセが強く優しさが無い。</p>
<p>発達の相談など気軽にできる場が少しあればと思います。例えば、園などに専門の方が来る日などを定期的に設けることができれば、親だけでなく保育士さんの目線からなど多角的に話ができると思います。また、保育士さんの意識、知識などの向上にもつながり質が上がるのではないかと考えます。</p>
<p>発達障害のある子どもでも、のびのびと楽しく生活できるような環境だと嬉しいなと思いました。</p>
<p>病児保育は兄(第1子)の時とても利用した。自分も若く、休みづらかったため。そういう場があることはとてもありがたい。今コロナもあり、運営が難しいことを聞き少し不安です。</p>
<p>夫婦2人で療育できる体制をもう少し検討していただきたい。</p>
<p>封筒の宛名の子が産まれて1か月の時に自宅訪問がありましたが、その時の助産師の方がとても威圧的で、お帰りになった後たくさん泣いたことをよく覚えています。1人目の時はとても優しい方がいらしてくれて、ある程度大きくなるまではよく保健センターに行ったりしていましたが、この子の時はそんなことがあり、怖くて必要最低限の訪問となりました(2歳半検診など)。3人目を産んだ後は怖くて訪問のハガキを出さずにいましたが、お電話をもらっていらっしやることになりとてもドキドキしましたが、とても優しい方がいらして下さって、また保健センターの印象が和らぎました。そういった所の方々は寄り添ってくれる人を配置して、気軽に相談できる所であってほしいです。</p>
<p>SNSで活躍している「かずまるさん」のような人が増えるといいですね。</p>
<p>上の子の発達に悩んだ際の保健センターの対応が今でもトラウマです。最後の医師相談からは、何も連絡いただけいていません。その後の対応もできていないと思います。子育てに悩むことは多いですが、上記のこともあり、なかなか行政に相談したいと思えません。</p>
<p>保健センターで成長を見てくれる時間が遅くて子どもがかわいそう。対応が遅かったり冷たい対応されたのがショックでした。子育て世代にもう少し優しくしてほしいです。</p>
<p>本アンケートにおける少人数意見に対して、除却や削減等はやめていただきたい。必要とする方もいらっしやいますので。</p>
<p>娘には障害があります。軽度なものですが、親として、してあげたいことがたくさんあります。でも時間が足りません。生活していくためのお金を得なければならないからです。家事にも追われています。もっと娘と一緒に過ごしたいと思っています。</p>
<p>問31に記載されているような取組を増やしてほしい。</p>
<p>教育に関する予算ももっと増えてほしい。保育を受けられる補助事業。</p>
<p>幼稚園、保育園ともに少ないし一時預りも全然空きがなく入れません。免許が無いので徒歩で行くしかないので困っています。小・中学校も通学路整備される前に合併がどんどん決定し、子どもが成長するにつれ不安は増すばかりです。経済的負担も多く、今の児童手当では到底まかなえません。市内に預け市内で働き生活をしていきたいと思っていますが、正直他市への移転も視野に入れ考えております。市長には現実をきちんと理解し知っていただきたいです。</p>
<p>坂戸市のように不要になったおもちゃや育児用品の引取りや、それを必要とする人への配布などの取組があるといいなと思います(子育て世帯を支援するリユース事業)。</p>

2 学童保育利用児童の保護者調査 自由記述

問 12 最後に、学童保育をはじめ教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

①満足
2011年からずっと利用させていただいております。子ども3人がお世話になり、安心して就労するためには絶対に必要な事業だと思います。学童保育で学ぶことも非常に多く、とても感謝しております。
いつもありがたく感じながら、利用しております。職員の皆様が今後も働きやすい環境にさせていただくことが、子どもたちにとっても良い環境になると思います。今後も継続して利用させていただきたいです。
いつもありがとうございます。今後もよろしく願います。
いつもお世話になっており、大変感謝しています。苦手な食事に配慮いただいたり、昔ながらの遊びにも積極的で色々な経験ができています。
いつもしっかりと見ていただき大変ありがたいです。
いつも学童の指導員さんにはお世話になっています。安全・安心して娘を預けられてとても感謝しています。これからもよろしく願います。
いつも学童保育では工作や読書、宿題を楽しく指導員さんやお友達としており、大変感謝しております。どうしても家に帰ると、スマホやタブレットを見てしまうので。
いつも楽しく学童へ通っています。おやつもとても楽しみだそうです。安全に気をつけて見ていただいて助かっています。ありがとうございます。
いつも子どもを預かっていただき感謝しています。学年関係無く、他のお子さんとも交流できるので、本人もとても楽しそうです。
いつも大変お世話になっております。学童に入りながら習い事にも通え、とてもありがたいです。
いつも大変お世話になっております。大変なお仕事だと思います。日々感謝しております。今後ともよろしく願います。
いつも大変良くしていただいております。4年生までしか預かってもらえない学童も多いと聞きますが、6年生まで預かっていただけるのは、今のご時世、大変安心できます。引き続きよろしく願います。
いつも保育していただきありがとうございます。学校と同様、長く利用させていただくため、末永くよろしく願います。
学童の先生方は、皆様子子どもに対して優しく、時に厳しく接して下さり、子どもを安心して預けられており、大変感謝しております。こちらの勝手なお願い事も迅速に対応して下さるのでとてもありがたく思っています。子どもが中学生になるまで預けられれば良いなと思っています。
子どもだけを家に残しておくのは色々心配なので、学童があり安心して働けています。子どもも、学校、家以外の居場所があり楽しんでます。ありがたいです。
子どもは学童保育をとっても楽しんでます。
子どもも楽しんで学童に行っています。
フルタイムで仕事をしていると、時には帰るのが遅くなってしまうため、現在のように20時までは時間外延長が可能な状況は助かっている。
良くしていただいておりますので十分です。
よく気にかけていただきお助かっています。
よく見ていただき、学童に感謝しています。季節イベントや、支援員さんの対応も良いと感じています。
学童が無いと就労が困難なので、とても助かっている。他学年との交流もできるので、ありがたいと思います。
いつも温かい目で子ども達を見守っていただきありがとうございます。
学童から習い事へ送り出していただきありがとうございます。習い事がある日は先におやつを食べさせてくれたりと大変助かっています。今後ともよろしく願います。
学童では、子ども同士のケンカ等もよく話を聞いてくれて、お互い仲直りできるまで対応してくれたり、学校ではそこまで手が回らないような事もしていただいている様子でありがたいです。お迎えに行く時「今日こんな事がありましたよ」と教えてくれたり、子どもの様子も聞く事ができ、いつも指導員の方達には感謝しかありません。
学童で行っている習い事も含め、とてもよく保育していただけていると思います。また、自宅ではなかなかさせられない遊び、一輪車、カードゲーム、あやとりなど、子どもらしい遊びを教えていただけるので日々感謝しております。

学童は就労かつ祖父母が近くにいない私たちにとって第2の家庭のような場です。春から下の子も利用するので今後もよろしくお願いします。
学童保育があるお陰で安心して働けています。今後も活用させていただきたいです。
学童保育のおかげで仕事を頑張れることができます。また、子どものこともよく見ていただいています。私たち親のことも気にかけて下さってありがたい場所です。
学童保育を6年間利用できる環境があること、とてもありがたく思います。学童保育を利用する事ができ、母娘共に助かっています。今後も温かく子どもたちを支援して下さる場の提供、環境を維持していただきたいです。
近くに頼れる人がいない中、安心して働けるのは、学童と学校のおかげです。とても感謝しております。特にたんでいくクラブは、親の役割分担が無く、高学年まで通うことができ、とても助かっています。
高学年まで預ける予定は今のところありませんが、預かってもらえる安心感があり助かっています。子どもも楽しく学童へ通えているので、今のまま続けていただきたいです。
今は下の子だけ利用していますが、2歳差の兄もおり、低学年の時はとても助かりました。学童が無ければフルタイム勤務を続けることはできなかつたと思います。友達と安心して過ごせる場所があります。季節ごとのイベントやTシャツの絵付けやサンドブラストなど色々な経験もさせていただきました。また、学童で習い事をしていただけなのが親子共々ありがたく嬉しかったです。普段送り迎えができないため、とても感動しました。
仕事をしているので預かっていただき感謝しています。児童数が多いので、いっぱい的人数の中で大変だと思いますが、おやつも出していただき感謝です。
仕事をするにあたり、どうしても長期休みは平日近所に身内がいるわけでもないので、学童が大切です。子ども同士や指導員さんを下の名前と呼ぶことも、とても親近感があり楽しそうです。
子どもが毎日楽しく過せているようで、大変助かっている。
子どもを安全に見守り、健康的な環境の下で預かってくださり、大変感謝しています。たくさんの遊びを経験させてもらい、子どもも楽しそうです。
指導員さんにサポートしていただいて、安心して利用させていただいています。放課後等デイサービスも利用したことがありますが、学童の方が手厚く、信頼でき、全て学童の利用にしました。20時まで預かってもらえるのも助かっています。学童での習い事、とても嬉しく利用させていただいています。
指導員の皆さまには長期休暇を含め、宿題をみていただいたり、「ただいま」と帰って来られるようにしていただき大変感謝しております。
指導員の方々には大変感謝しています。校内に併設されている点もとてもありがたく思っています。
子どもたちの安全のためにも。指導員の先生方はとても親身に子どもたちと接して下さっているのがありがたい。
自宅で留守番ができる年齢になってきましたが、やはり心配もあり今後も学童を利用したいと思っています。安全に預かっていただき、安心して働けていることに感謝しています。
初めは他の小学校区と法人や料金が違うことに驚きましたが、とても丁寧に見て下さる先生方ばかりなので今は納得しています。
他の学校のお友達ができただけで、毎日遊べて楽しんでいるので良かった。先生やお友達に教えてもらいながら宿題をしてくれているのでとても助かる。
指導員の方はとてもいい方なので、安心して預けられます。
学童保育には感謝の気持ちしかありません。いつも大変お世話になっています。
鶴ヶ島市在中で、ずっと子育て期間中多くの施設で育児をすることができます。児童館、保育所、学童と、子どもを安心して遊ばせられて、預けられる所があるので感謝しております。
本当によく子どもの世話をしてくださって感謝しかありません。これからもよろしくお願いします。
毎日楽しく通っています。行事ごとにパーティーをしてくれたり、子どもが楽しく過ごせるような設備や工夫をしてくださり大変ありがたく思っております。先生方の目も行き届いていると思います。フルタイム勤務のため、保護者の役員制度が無い所もありがたいです。
②保育料
もう少し利用料金が低いとありがたい。特に延長料金が高く感じられるのでなかなか利用しづらい(学童)。
保護者会費を毎月払っていて余っているようなので金額を減らすなどしていただきたい。早朝の時間外料金を7:30~8:30にいただきたい。ご検討よろしくお願いいたします。
いつも大変お世話になっております。利用料の値上げやチケットの値上げがあり、なるべく延長料金のかからない18時までには帰れるように仕事を調整しております。せめて、18:30頃まで延長料金無しにいただけたら、大変助かります。

学童費が高く、本当は6年生まで預けたいけど悩みどころです。子ども2人お願いしているので、なかなかの月謝です。
保育料を下げしてほしい。近隣の市町村より高い。
ひとり親で保育園へ預けていた時は割引などがあったが、学童に入ってから親と住んでいるというだけで何も金銭的にきつい。1人だから働かなくちゃいけないし、心配だから親と住んでいると助けてもらえない。足元を見られている気がする。ひとり親に優しくないと思う。
ほとんどが満足していますが、兄弟割がないのが辛いです。また課外授業込みの金額になっていますが、課外授業は無くても良いので安くしてほしい。
物価高騰の世の中ですが、利用料金は高いと感じます。一律ではなく、利用頻度やおやつの有無で(早迎え時)少しでも安くなれば良いと思います。
学校が無い時の朝、7時30分～8時30分に延長料金がかかることに疑問を感じている。元々の料金設定が高めなので、1時間で数百円(毎日)かかるのは困る。仕事に間に合わないので支払っているが、勤務時間に応じて、預かり時間を対応してほしい。
延長料金が大きくなければ利用する人も増えるのかもしれませんが。
学童の保育料が高いと感じています。近隣の市と比べても高く、保育の質など明確な違いが知れば納得できるのですが、学童2人分の保育料+保育園児の保育料というのが負担に感じてしまいます。
学童の利用料が高い。
学童の利用料が高すぎると感じる。おやつも豪華なものでなくても良いので、利用料が安くなる取組をしてほしい。
学童の利用料が高い。また、保護者会の保護者負担がかなり大きい。保護者会費を(1家庭年 12,000円もする)市からの補助を増やし、利用料を安くしてほしい。
学童費がとても高く感じます。
学童費を安くしてほしい。おやつが多すぎる。その分安くできるのでは。
学童費用が高すぎる。こんな高額な所はあまり聞かない。
学童保育の保育料が非常に高く負担です。
保育園は無料なのに、学童は保育料が有料で減額はしていただいているのですが、母子家庭は本当に厳しいです。
学童保育費が高く、早いうちに辞めさせたいが、子どもを家で留守番をさせるには低学年で不安があり、子どもの事を思うと継続させたい。学童費に給食費もあり負担が大きい。
学童利用料が預ける時間の割に高く、長期休みの際は弁当作りもある事は懸念材料である。
基本利用料が高い。周囲の学童利用者に聞いても、今通っている学童が一番高い。
費用面では少ない手取りの中から支払うと厳しいものがあります。他県から越してきましたが、前の学童の費用と比べると高く辛いです。
金額が高い(近市に比べると)。
金額が他所(他の市町村・県外)に比べて非常に高額で驚きました。
月謝を安くしてほしいです。辛いです。
公立にも関わらず利用金額が高く、利用が厳しい。
在宅勤務もあるため、出社の週2回のみ学童しか利用していないのだが、料金を1か月分支払っています。都度払いや回数払いがあると助かります。
平日、高学年は1・2時間の利用で毎月の費用が大きい負担でもあり、仕事していても意味があるのか考えてしまいます。
手厚い学童保育だと思っておりますが、学童費が高く、もう少し金額が抑えられると助かります。延長代込みで18,000円は月々の出費として痛手です。
他の県や東京都に比べて利用料金が安く、兄弟を通わせるのが困難です。先生方には子どもにも親にもとても親切に優しく接していただき感謝でいっぱいです。その分6年間通いたいので、とても困っています。
多くの学校で敷地内に学童がある中、今通っている学童は遠く、下校がとても心配です。料金が安い。生活のために働き預けているので、少しでも安いとありがたい。
鶴ヶ島の学童は他の市に比べて少し高額のように感じます。私はもうあと2年くらいで退室してしまいますが、今後のためにもご検討をお願いします。
鶴ヶ島市の学童は、川越などの学校にある学童と比べると利用料が高いと思う。

鶴ヶ島市内の学童の保育料は高いように思います。入間市は 7,000～8,000 円と聞きました。利用料金の見直し等はできませんか。
指導員が明らかに不足しており、良い保育が受けられていないのに保育料は高額。休室料も値上がり、保育料も値上がりしたが、良い環境とは言えません。対策をお願いします。
保育料がもう少し安くなると助かります。色々な学童についてママさんと話をし、自分の所より高いところに会ったことないです。すごく高いと言われびっくりされます。
保育料が高い。
保育料が高いため、退室を検討しています。
保育料が高いので、市などから支援してもらえないですか。他の市町村よりも高いと思います。
保育料の値上げをどうにかしてほしい。
放デイに行った場合(学童と併用)、学童の金額を減額してほしい。
料金が低い。
③保育時間
休暇中の朝の延長時間を登校時間くらいにしてほしい。学校閉鎖時にも預けられると良いと思う。
夏休み・冬休み等の長期休暇中の利用時間が7時半からですが、都内まで通勤しているため、時間がギリギリなのが現状です。下の子が未就学児で、職場で時間の調整をもらえるが、小学生になるとそれも難しくなるので困っています。あと 20 分早く利用時間を早めてもらえたら嬉しいです。
学童が遅い時間まで預かってくれたとしても、保育所がそれよりも早い閉館だとあまりメリットがありません(市の保育所は 19 時くらいで閉まると思います)。保育所がもう少し遅くまで預かれるとうれしいです。
時間外を朝 7:30 より前に、夕 19:00 以降にしてほしいです。
祝日出勤、残業で夜遅くになることがあるので、もっとフレキシブルに預けられると嬉しい。
夜 19 時までの迎えだと、転職等もできない。長期休みも朝もっと早く預けられるようになってほしい。送ってからでは仕事に間に合わないの。保育園は7時からだったのに、今7時半からしか預けられないので、時間の幅はほしいです。
遅くまで利用できる助かる。
朝の保育時間を7時からにもらえるとうちが調整しやすいので助かります。
都内勤務なので、利用時間がもう少し長いと助かる。
役員制度が無くてとても助かっている。学校の PTA 以外役員をすとなると大変な負担(時間的に)。職場との距離、保育園の迎えがあり、もう少し遅くまで開室して下さると焦らずに済むが、職員の負担とのバランスも保ちつつ、検討してほしい。
④施設・設備
親としては、児童の人数に対して施設が小さく、おやつタイムはグューグューになって食べているのが気になります。
第1～3までありますが、合同になり1か所になりました。新しく作っていただきましたが、狭すぎると思います。狭い空間での騒音を苦痛に思う子どもも多くいると思います。これから利用児童はさらに増えると思います。改善していただきたいと思っています。
プレハブなので暑さ・寒さに弱いため、環境が悪い。改善して下さい。
学童の子ども数に対してお部屋が狭いように感じました。子ども達のためにも広いスペースがあると良いと考えます。指導員さんのご指導に日々感謝しています。
学童を利用している人数が多いため学童が狭い(特に長期休暇の時)。そのため増築や他近隣に立て直す等考えてほしい。特に夏休みは暑い室内で過ごしたいが、エアコンがきく部屋となると全員入れないなどあります。
教育環境についてですが、教室の床がワックスも塗装もはげていて、滑りやすいので整備してほしいです。トイレを全て新しくしてほしいです(小中学校共に)。
学童保育を利用する家庭は年々増加傾向にあると思いますが、児童の数に対する施設の広さは十分と言えないように思います。季節によって外遊びができる時間も限られるため、施設の広さの確保が大切ではと思っています。指導員の方には良くしていただき、子どもは伸び伸び過ごしています。
現在、児童数も多く、過密状況である事等、増築等していただくとインフルエンザやコロナが流行る時や保育時に起こるケガ等も防げるのではないのでしょうか。
子どもの人数に対して教室が狭い。

<p>子どもの人数に対して建物が狭いと思います。感染症対策も十分にできていないというか、できない状態だったので、今後も心配だし、子ども達がのびのび遊べる環境設定を早急にお願いしたいです。</p>
<p>子どもの人数に対して部屋が狭い感じがする。</p>
<p>人数に対して学童が狭すぎだと思います。</p>
<p>施設が古く、壊れていても予算が少なく直せないと聞いたことがあるので、改善してあげてほしい。</p>
<p>施設の壊れている所を早めに直してほしい。</p>
<p>人数に対して部屋が狭いのではないかな。</p>
<p>昔は住所で場所を決めてあったが、現在は延長するかしないかで場所が決められる。不公平。すぐ家から遠くなっています。延長する人は学校で、広い校庭、一輪車も乗れているが、今通っている学童は外は狭いし、水はけが悪く、夏も水遊びできない(他の学童はホースで水をまいたりして遊ばせているらしい)。仕事柄、急に延長することもあるが、その時は職員と歩いて学校まで歩くことになるらしい(来年から)。18時過ぎに歩くとなると冬は暗いので危ない。車に乗せてほしい。そもそも学童が学校から遠いのも嫌だけど、近い人もいてすぐ不公平だと思う。場所をどうにかできないでしょうか。そのせいで役員も別々に選出になっています。</p>
<p>駐車できる台数が少ない。学童保育室の1つの人数を減らしてほしい。(人数が多すぎて、目が行き届いていないから)</p>
<p>長い間お世話になっており、日々温かい保育をしていただき大変感謝しております。1つ気になっていますのが、在籍数に対して、指導員の数、保育室の広さが足りないのではと感じています(4月には新入生も入ってきます)。色々な感染症やケガ、事故にも関わってくるのではと少し心配しております。子ども達がのびのびと過ごせる環境をご検討よろしくお願ひいたします。</p>
<p>電話、インターホンが聞こえない時があり非常に危険です。</p>
<p>学童施設の広さが不十分のため、施設が広くなると良いと思います。</p>
<p>学童を利用する児童に比べ施設が狭いので、広くしてもらえると良いです。</p>
<p>冬場、日が暮れてから小学校内の学童にお迎えに行きます。小学校の外灯がついていないためとても暗いです。校門の近くなので人の出入りも多いので、点灯してもらえるとありがたいです。</p>
<p>藤小学校周辺は家も増えていて子どもの数、学童利用の子ども数も年々増えています。現在2つの学童がありますが、子どもの数に合った広さを確保しにくくなっています。拡大、増設をお願いしたいです。よろしくお願ひします。</p>
<p>学童によって人数が多い日は電話が聞こえず、インターホンも聞こえない時があるそうです。防犯上非常に危険だと思います。不審者も簡単にに入れてしまう。</p>
<p>年々学童を希望する家庭が増え、施設の広さに対し、子どもが多過ぎる。保育時間が短い家庭は、学校の空き教室などを利用して分散させてもいいのではと考える。</p>
<p>病児・病後児の受け入れができる施設(小学生含む)の枠を増やしてほしい。</p>
<p>不審者情報や物騒な事件も多いので、学校や学童の防犯面にも力を入れていただきたいです。誰でも入れてしまうので心配です。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>⑤指導員</p>
<p>メールの確認が不足しており、すぐ連絡がくる。手作りおやつと言っていたが、ほとんど既製品。男性職員が立っているだけ、名前すら覚えてくれない。あきらかに問題あり。</p>
<p>もう少しスタッフと会話できる時間があるといい。スタッフユニフォームに名前があると分かりやすい。</p>
<p>迎えに来た時に、何かしら今日の様子を話してほしい。</p>
<p>送迎時にもう少しスタッフの方と会話ができると良いと思います。スタッフのユニフォームに名前が書いてあると嬉しいです。顔が分かっている名前が分からない方が多いので。</p>
<p>学童が無ければ私達は安心して働くことができません。しかし、待遇面から退職してしまう先生がいらっしゃる事が非常に残念です。もっと優遇すべき職業だと思います。</p>
<p>学童で宿題を終わらせてほしいが、できていない。周りの子がやらないとのことで、遊びに誘われてしまう。指導してくれる方に話しても改善しない。18時に迎えをして夕食後に宿題になるので寝る時間も遅くなり、困っている。</p>
<p>学童には何の不満もありません。ただ職員の方の入れ替わりが激しいです。もっとお給料をあげて安定した仕事にしてほしいです。ボランティアではありません。命がけで子ども達を守る仕事です。</p>
<p>学童には大変お世話になっています。各学童によって質が少し違うようにも思います(人数に対しての保育環境・広さなど)。また、指導員さんの入れ替わりがかなりあるように思いますので、子ども達の安心のためにも、指導員さん達も安心して働ける環境づくりをしていただけたらと思います。</p>

<p>学童の指導員さんは「第二の家庭」として息子を温かく育ててくださっています。人数も多い中大変だと保護者としても思います。人手を増やしたり、賃金を上げたりとされたほうが、より多くの方が指導員になり「安全・安心の学童」になるのではないかと思います。</p>
<p>迎えに来た時、誰の親か分からないと見て見ぬふりをする方がたまにいる。気付いたのなら聞いてほしい。</p>
<p>基本的にはどの方も笑顔で出迎えて下さいますし、とても感謝しております。ただ夕方にお迎えに行くと、指導員と保護者が話していて(日常会話)気が付かない、中に入っても指導員同士が話していて気が付かない、こちらが何度も声をかけても子ども達の声でかき消されて気が付かれない、ということがあります。気が付けないのであればベルを置く等の処置をしていただきたいです。</p>
<p>学生の指導員さんもいるようですが、言葉使いに気を付けてほしいです。(例:うまい、めっちゃ、めちゃくちゃ等使わないでほしいです)</p>
<p>先生方にはよく子ども達を見ていただき本当に感謝しております。先生方の待遇改善を強く望みます。</p>
<p>責任者の方の対応が悪く、預け続ける事に不安があります。具体的には、支払った物をまだもらっていないと言われ、確認してもらってもその後の連絡が無い。数か月前の事を報告される。悪口を言っているのがもれ聞こえてくる等です。</p>
<p>指導員の質を上げてほしい。指導員の言うことを聞かないと厳しく怒ったり、ペナルティーを与えるのはどうかと思う。</p>
<p>指導員の人数が少ないので、対応が不満な部分もある。</p>
<p>指導員不足のため、夏季休暇及びその後も第一との合同保育があった。指導員が長く働きたいと思える環境設定をお願いしたい。</p>
<p>指導員(正規)が頻繁に変わってしまうので、そういうことがあまり無いようにしてほしい。指導員の方はよく子どもたちのことを見てくれるので、長くいてほしいと思っています。</p>
<p>児童の人数に対して、指導員の人数が少なすぎると思う。人数の多いクラブでは児童に目が届かないことが多いため、トラブルやいじめに気付けないことがあると思う。</p>
<p>宿題を全て終了させてほしい。遊びに誘われて終了していないのに遊び、18時家に帰ってからやることになる。指導員に言っても改善されない。言葉が強い(「私は言いましたよ」など)、言ってやらないのは本人次第だから私は関係ないというような感じ。言えばOKって訳ではない。</p>
<p>人手不足を感じる。子どもに目が行き届いていないと感じることが多い。(学童について)</p>
<p>正規職員が大勢退職したと聞いている。各クラブの正規職員は1~2名。2クラブ以上ある所は非正規職員(パート、学生アルバイト)で保育をしている所もあり、責任の所在がはっきりしていない。また、長期休暇の時は1日保育であり、職員が少ないことで現場が疲弊しているように見える。本部ではなく現場職員の声を聞かないと存続が厳しくなると思う。</p>
<p>全ての指導員さんではないですが、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「失礼します」等の当たり前の挨拶をしない人がいるので、子どもがその大人を見てどう思うのか心配です。また、子どもが間違えて家に下校してしまった時、当時の指導員さんが誰もそのことに気が付かずにいたことが恐ろしかったです(子どもは近所のママに保護されていました)。「挨拶」や「子どもの人数確認」は保育の仕事では一番大切だと思うのですが、もう少ししっかりした人が欲しいのが本音です。</p>
<p>他に頼れる所もなく学童を利用していますが、指導員さんのスキルや対応に個人差が大きく、とても安心して預けられているとは言えません。特に近年は人員も少ないようで、本やボードゲーム等で室内で静かに過ごすことが多く、何かあれば全て禁止となる傾向で、子どもの保育環境として疑問に思っています。安心して預けられる環境の整備に力を入れてほしいです。</p>
<p>土曜日に利用したくても拠点なので迎えに行くのも厳しいので利用できていない。今の指導員に対しては満足しているが、今までの指導員には不満しかない(子どもがいなくなったのを謝罪もせず保護者の育て方のせいと言われた)。基本、指導員の正規が1人しかいない事もどうかと思う。保育料と保育の質が合っていないので考えてほしい。他地域に比べても遅れていると思う。</p>
<p>指導員の人数や質の向上(障害のある子どもも対応できるように研修等を行うなど)すると良いと思います。</p>
<p>指導員の数を増やしたり、指導員の質(障害のある児童への対応)の向上をしてもらえると良いです。子どもは学童利用を希望していても学童が対応できない(毎日の利用不可)ため、他の施設を利用せざるを得ないので、金銭的にも負担が大きいです。</p>
<p>通っている学童の指導員が明らかに不足していること、他の市町村に比べて保育料が高額なのに、サービスが良いとは言えません。対策をお願いします。</p>
<p>学童保育事業への公金を増やし、指導員さんが余裕をもって保育に当たれるような仕組みにしてほしいです。</p>

<p>毎日指導員の方々には、人数が不足していたり忙しい中でも変わらず見ていただき感謝しています。指導員の方含め、人員が揃ってゆとりを持ってやっていただけると、子どもを見る時間もより増えると思いますので、待遇など良くなっていくといいなと思います。</p>
<p>⑥昼食・おやつ</p>
<p>いつもありがとうございます。学童の費用は上がっているのに、おやつを食べられなかった時に持ち帰れるのもダメになったのはお金を払っている側としては不服です。(※食べられない＝習い事(スイミング)や学校で食べる時間がとれない時)これはまた別ですが、ゆうちよは手間が多くやめてほしい。</p>
<p>楽しく通えて感謝しています。手作りおやつの日、衛生的に心配な時もありますが、気を付けながらこれからも出してくれると嬉しいです。</p>
<p>おやつ時間が17時前には終わっていたらいいなと思います。</p>
<p>学童が利用できる事は大変ありがたいのですが、毎日16時台におやつを食べて帰宅するため、日によって夕食に影響する。内容も市販の菓子が多く、できれば与えたくないものが多い。仕事があり学童を利用しない訳にはいかず、周りが食べている時に1人だけ食べるなどとも言えない。</p>
<p>おやつも一斉にするのではなく、そと個人の自由なタイミングで食べられたら嬉しい。</p>
<p>カレーや焼きそば、スパゲティなど夕飯のようなものが出る必要性を感じない。</p>
<p>おやつを持ち帰れないのが難点。</p>
<p>去年までおやつお持ち帰りがあったようだが、今年から無くなったようですが、お持ち帰りができるようにしてほしいです。</p>
<p>仕出し弁当が高い割に子ども向けのメニューでは無いため、弁当持参していますが、弁当持参の回数が減るようにしてほしいです。</p>
<p>延長保育の際に軽食を提供してもらえると助かります。</p>
<p>夕方のおやつが少なく、帰るとお腹がすいてしまっています。以前はお腹いっぱい食べれていたのですが、何か物価上昇の影響なのでしょうか。保育料1,000円UPでもお腹を満たせたらいいなと、個人的には思っています。</p>
<p>⑦行事・習い事</p>
<p>イベントは3年生以上というものが多く、1年生の親としては寂しい時があります。娘は学童に大変満足しているようです。ありがとうございます。</p>
<p>コロナ以降イベントが無くなってしまったのは残念です。高学年のお泊り会やキャンプ等をまたできるようになったら、子ども達も楽しみが増えて学童に行きたがるのではと思う。</p>
<p>コロナ禍前のイベント(キャンプや遠足)が復活できたらいいな。体験させたい。</p>
<p>休室時に学童の習い事をやれないのが不満です。</p>
<p>学童主催の行事はとてもありがたいのですが、保護者が準備、係、参加をしなければならぬ行事は減らして良いと思います。その時間を学童とは離れ、親子で過ごす時間に充てたいと個人的に思います。</p>
<p>学童利用中での習い事の人数の枠や種類が増えると助かります。親がフルタイムで仕事をしていると、学力や体力の向上のために通わせたいと思っても難しいので。(学童で行っている習い事のことです)</p>
<p>学童での習い事は常にいっぱいとのことで、他での習い事との時間もあり、やらせてみたいものもあるが、できていないのが残念。</p>
<p>子の教育を優先したいが、仕事を辞めることはできません。学童利用中に、学習環境の向上や習い事(有料でも構いません)が行えたら大変助かります。</p>
<p>手作り(おかし・うどん)イベントなど、早く再開してほしいと願っています。</p>
<p>習い事ですが、学童外での質の高いレッスンを希望しております。送迎の問題があり限界があります。ファミリーサポート以外で送迎していただける(送迎付)習い事がありましたら紹介していただきたいです。</p>
<p>子ども達に色々な行事等でたくさん体験できる環境を整えてほしいと思う。</p>
<p>習い事(学童から行けるもの)が定員いっぱいに入れない。1年生は直接習い事に行けない。</p>
<p>⑧土日保育</p>
<p>学童内で習い事やイベントが色々ありとても助かっています。土曜日か日曜日のどちらか週に1度勤務しているので、土曜日の利用時間が平日と同じくらいあるとありがたいです。</p>
<p>延長申請していない家庭は、土曜日16:30までで間に合わない。土曜日でも平日と同様に保育をしていただきたい(勤務時間は平日も土曜日と同じのため)。また、土曜日の延長18時までも早すぎる。平日と同じように20時までで保育していただきたい。共働きフルタイム世帯には厳しい。</p>

以前は土曜日や長期のお休みの際にも利用していましたが、土曜日利用者が少なく、合同保育のため場所が変更になったり、お弁当の用意など不便だったり大変だったり(市販のお弁当も頼めますが、お休みもあり)、もっと楽に利用できると思うと助かるなあと感じておりました。
今は事務の仕事をしていますが、土日に学童の利用ができれば仕事の幅が広がるのと思います。
祝日も開室して欲しい(仕事のため)。
祝日が仕事のため、学童があれば助かります。
祝日は保育園も学童もどの保育施設も開室していないが、パート労働者はサービス業で働く母親も多いと思うので開室していると助かると思う。
祝日や日曜に仕事が入ることが月に1~2回、年に10回程度あるので、支援を受けられると助かる。
土曜・祝日も利用したい。4年生から利用できるのか心配。夕飯もあつたらありがたい。
土曜日の学童保育も、通っている学童を利用できると助かります(別の学童で集合保育となる週があるため)。
土曜日の学童保育場所がもう少し早く分かったら嬉しいです。2か月先くらい。土曜保育の登録はしているが、普段と違う学童には行きたくないと言っている。仕事があるが、結局預けられないシフト制の仕事のため、あらかじめわかっていたら預けられる(調整できる)。
土曜日の利用時間が短すぎて仕事に行けません。困っています。多くの学童とは運営が違い交流が無く寂しいので、まとめてほしいです。
土曜日の利用時間が短すぎるため、フルタイム(常勤)で働けません。せめて平日と同じ時間利用させてほしいです。他の学童と対応が違うようなので不便、不公平です。
土曜日は平日と同じく仕事ですが、18時までと開室時間が平日よりも短いため、迎えが間に合わず利用できずにいます。子どもだけでの留守に不安がありますが、1人で留守番させています。土曜も延長20時までにしてほしいです。それ以外、現在の学童については、おおむね満足しております。
土曜日利用の際、他の学童を利用しないといけない週がありますが、指導員も変わってしまうため、子どもが嫌がり利用できない事もあるので、いつも通っている学童を利用できると良いです。
土曜保育についてですが、毎週預ける学童が変わるのはとても困ります。慣れない場所と指導員さん、子どもはストレスを感じるのではと思います。現状は、いつも登室している学童が開室している第3土曜日をお願いしていますが、他の出勤日は子どもだけで留守番させています。人員不足な事も理解しておりますが、再度検討していただけないでしょうか。よろしく申し上げます。
土曜保育をできれば合同ではなく、本来の場所で開催してほしい。せめて19時まで。18時まででは送り迎えが間に合わないため、仕方なく祖父母に子どもを預けている。祖父母も高齢であり、子どもを預けることで体調を崩さないか(祖父母が感染症を子どもからもらわないか)心配なため。
日曜・祝日(別料金でも可)対応してもらえると嬉しい。
⑨夏休み等の保育
とても騒がしいと落ち着いて過ごすことができないということから、長期休みのみ利用。連帯責任というルールがあり、真面目にしている子も同じように罰則がある。長期休み期間、映画やテレビ時間が多い。以前はイベントのように映画の日というのを作ってくれて特別なものだったが、ここ2年くらい毎日のように、多いと1日2本も観てくる。内容のある保育をしてほしい。
夏休みなどの長期休暇中に給食を出してもらえるとありがたい。
夏休み等の長期休みに利用する場合、親の送迎無しで本人のみでの登降室を認めてほしい。出勤にあたり、毎日、登室のために休みを取得しなければならないし、極端な話「開室時間内に送迎ができないから学童には行かず1日家にいて」と言う事になり、何のための学童か分からなくなる。私が子どもの頃利用していた学童(県外)は子どもだけで自由に登降室していた(平日も)。
学童を、夏休みと冬休みのみ利用できると助かります。
学童保育に関しては、2年目以降は夏休みのみ利用できると非常に良いと思います。普段も友達と体を使って遊んだりするので助かります。家ではゲームやYouTubeなどで遊ぶ事が多く困っているので。
子どもが学校に行っている時だけ働きたいと思っていましたが、長期休暇の時にどうしても預ける所が必要なので学童に入りました。ただ子どもは、みんなが通常通っていて友達の輪ができていいる中に、夏休みだけ入り生活するのは厳しいと思います。通常の学童とは別に、長期休暇だけ入室できる団体があるといいと思います。
夏休みは近年猛暑のため、連日外遊びができない日々が続いているので、体育館や図書室など利用できたら良いなと思います。
長期休みに仕出しのサービスがあるが、無くさないでほしい。夏休みだけでなく、冬・春休みもやってほしいです。

長期休みの際、学習用のタブレットが使用できるといいなと思います。
長期休暇期間中の受け入れを7時30分頃よりお願いしたい。
長期休暇中はもう少し早くから(7:00～)開室してほしい(今は7:30)。送迎を考えると通常の登校より早くなるため。
⑩緊急時の対応
学級閉鎖時も預けられると良い。
学級閉鎖になった際、感染していなくても学童を利用できないのは不便です。
⑪役員・保護者会
就労しているので、役員、保護者会等の負担が無くなれば良いなと思います。
2月の懇談会は、1月の公開日と同じ日にしてもらるか、2月の土曜日を公開日にして、その日に懇談会をしてほしいです。働く親にとってPTAはとても辛いです。会費が高くなってもいいので外注してほしいです。もしくは参加してもいい人は会費を安く、参加したくない家庭は会費を高く払えば良い等、意見を取り入れてほしい。ボランティアとしては負担が大きすぎだと思います。
学童の保護者役員を無くしてほしい。仕事と子育てで手いっぱいなので、役回りを考えると負担でしかない。
学童の役員を無くしてもらいたいです。仕事後に19:00から集まって21:00過ぎまでの話し合いや、イベントのために休日にお手伝いなど、働く親にとっては大変負担になります。正直、イベントはやらなくてもいいので、預かってもらえるだけで十分です。役員が嫌でやめる家庭もけっこういるようです。
保護者会費も有効な使い道がなければ見直しても良いと思う。
学童保育の役員活動が重く負担である。PTA同様、仕事をしている親の負担を配慮していただきたい。学童で、土日・祝日まで役員活動で縛られるのは見直してほしい。
共働きで、父親(子どもからみた)は、学童の役員には参加できません。私も役員などを任された場合、土・祝日も出勤があるため、しっかりできるかが不安です。できればお時間に余裕のある方をお願いしたいです。
役員や行事係については少し負担に感じます。忙しい故に子どもを預けているので、行事が減っても良いので、親の参加義務を無くしていただきたいです。
働いているから学童を利用しているのに、保護者会、役員、行事等負担に感じる人が多い。もう少し負担を減らしてもらいたい。
役員の集まりが平日の夜18:30～21:30過ぎまでかかると聞きました。子どもを預けられるからOKではないと思います。早く寝かせたいですし、忙しいから預けているのに負担が増えてはどうかと思います。これでは絶対やりたくないです。各クラブへ無駄を無くすよう指導してほしいです。他クラブの事は知りませんし、今後もこの状態であればやるつもりはありません。改善すべきではと思います。
⑫その他
保育園のおむつの持ち帰りが無くなるとありがたいです。
低所得世帯や障害児についての補助、支援はたくさんあるが、健常児、中間層への支援をしてほしい。給食費の補助をしてほしい(全額もしくは半額)。
1年間の予定(特に学校休校日(平日)の運営日)があらかじめ分かっていると、仕事の予定を入れやすいです。
もしできたら、保護者と習い事先、もしくは保護者と習い事先と学童の連絡をもう少しスムーズにしていけると嬉しいです。
子ども達の関係性を自由にさせているのかなと感じる。仕事上預けざるを得ないが、本人はずっとやめたがっている。理由は1人である時は辛いようです。
タブレットで動画(YouTube)を見るにあたり、見られる対象の動画に制限をかけているのかが分からないので、状況を知りたいです(低学年には見せられないものもあるのかどうか)。漫画も置いてありますが、全学年読んでOKなもの、高学年じゃないとダメなものなどの分けがされていると良いと思います。有名な作品だと、例えば「鬼滅の刃」などは、せめて高学年じゃないと刺激がありすぎて良くないと思います。いい作品でも、子ども(各学年)にとって適切かを判断することが必要かと。
下校時、学校から学童に向かう最中は大人の見守りが必要だと思います。1年生・2年生はケガをしても自分で対処できない等、遊びながら向かうので、現在週に2～3日できる限り見守りをしていますが、問題ありだと思いました。改善を希望します。大人が目が必要です。
汚れることは仕方ないことだと分かっていますが、靴下が毎日汚れて帰ってくるので大変。上靴などあればいいのですが。学童の駐車場にポコポコ穴が開いていて駐車するのが嫌です。
何か所かある中から学童を選べたらいいと思います。(保育所のように、自分に合うところを選びたい)

インフルエンザの予防接種の補助もあると助かります。
学校附属の学童保育に入室できるようになったら嬉しいです。(通っている学童は自宅に下校するより遠いため)
学習環境にも力を入れてほしいです。
学童でいじめがあった場合(集団でのいやがらせ、叩く等の暴力が数か月にわたり悪質でした)、いじめた側を登室停止にする等のルールを作してほしい。実際、いじめがあったがそういうルールが無いため、話し合いが長期化する等、大きな負担になりました。いじめた子がいる中通わせるのは子どもの安全を考えるとできません。いじめた子を別室にする、別の学童にする等具体的なルールが欲しいです。解決すれば元通りにできるかもしれませんが、それまでが負担です。
他市のように給食費の減額無償化等、子育て世代への還元があっても良いと思います。税、保険料、年金全て高い(世代的に)上に、自分達への時代の還元率は低い。せめて忙しい時の負担軽減策、何かあってもよい良いのではと思っています。
高学年になると単発利用したい時もあるので、日割りで利用できるとありがたいです。
学童保育を利用していると、放課後子どもが校庭で遊べず、狭い場所に密集していてストレスになっているようです。市内の他の学校は学童も校庭で遊べるのに、なぜ今通っている学童は遊べないのか理由を知りたいです。
忙しくて正直日々の生活が大変ですが、学童役員が2年間、学校PTAの役員も強制、子育て頑張っていますが、くじけそうになる時があります。(子ども応援サイトはいつも助けていただいております)どうか子ども達のための手厚いご支援よろしく願います。子ども1人で留守番も難しく、金銭面でゆとりのある方は習い事等を与えられるでしょうが、学童を利用させていただきしか手段が無い。
鶴ヶ島市は、子どもへの手当や免除などが足りないと感じています。育てづらい環境だと思います。
学童からも自分で帰宅できるようになるとありがたい(時間にもよりますが)。
学童登園メールも去年導入されましたが、他の学童ではもっと前からあったと聞きました。同じグループだと思うので、良い事はもっと取り入れて統一して保育していただきたいです。色々書いてしまい申し訳ありません。
支援とは別ですが、通っている学童の駐車場はシルバー支援の人が夏休み等の時期に停められていて保護者が送迎できない事が多々あります。共同で使用しているのかわかりませんが、なんとかありませんか。
現在の学童利用可能年齢ですが、小学3年生で終了することに不安があります。
支援員さんも高齢の方が多く、心配な点がある。兄に発達障害があり利用していたが、トラブルが多く退室した。手厚くフォローしてもらえる状況なら、また違っていたと思う。親の働きかけ不足があったかもしれないが、とても残念だった。
高学年になると友達との遊びの約束をできたり、学童保育に行っても同じ歳の児童がほとんど来ていなくて遊べなかったりして、漫画を読んで時間を潰しているだけになっている事がありそうな雰囲気です。高学年はその日の児童の有無によっては、1人での帰宅も親が許可を出していればOKとしてくれたら、働く親としては自宅と学童の使い分けがその日の状況に合わせてできるのでありがたいです。
学童の代わりに塾等を考えたくても、送迎の問題で通える所は決まってしまう。何か支援があるといいかなと思います。ただ鶴ヶ島市は学童利用時間が長いので、とても助かっています。
昨年の夏は暑かったので、学童でも部屋の中で過ごす事が多く、夏休みは子どもが学童に飽きてしまったようでした。小学校の体育館が利用できれば運動になるしいいのかと思いました(体育館も暑くて無理かもしれませんが)。子育ての環境で、はちの巣保育園の近くの新しい公園は遊具が年齢の高い子も楽しめるのでいいと思います。公園の遊具は3~6歳対象が多いと思いますが、今後公園を作るなら小学校高学年の子でも楽しめる遊具があると良いです。
通っている学童は場所が移動され、お迎えが不便になったり、習い事(学童内)の日は別の場所へ登室する必要があったりする点は少々不満です。
子育て中は精神的に余裕がなくなることも多い。リフレッシュ目的で気軽に一時預かりができれば助かる人も多いと思う。そういう場所があるというだけでも気持ちに余裕ができる。リフレッシュ目的でも可とあっても、実際は受け入れてない事が多かった。
希望があったら、学習サポート、たとえば補習塾みたいなものや、学童の時間帯にリモートで家庭教師や塾を利用できると嬉しいです。
学童内でいじめがあり対処してもらえず退室した子がいると聞きました。こういった時の相談先が複数あってほしいと願います。
坂戸市ではすでに給食費の無償化が始まっているが、センターの鶴ヶ島が無償化にならないのはなぜか。子どもを育てたいと思える魅力的な市になってほしいと思う。

<p>指導員不足の中、よくシフト調整してやっていただいていると思います。日・祝の開室は無理には思いませんが、現状、日・祝も働いているご家族もたくさんいらっしゃると思います。今回のアンケートで実状に応じて環境整備がされるように願います。</p>
<p>支援員同士の伝達を徹底してほしいです。</p>
<p>自分達の給料が上がらない中、子どもの教育費、小・中・高・大学まで(授業料、給食費等)の事が心配。将来、子どもがどんな道を選ぶか現状は不明(小1のため)。やりたいことをやらせてあげたいが、お金が無いという未来は寂しいと思う。低所得の人へお金を支給し、手を差し伸べているが、子どもの未来や可能性を奪わないように考えているのか不安。先が見えない事で、子どもが増やせない方もいると思う。</p>
<p>就学前の環境、支援は充実していると思いますが、小学生になるとそれらがとても悪く感じます。狭い場所にたくさんの人数の利用、料金など環境支援状態に対し不満に感じます。安心して預けることができるようになれば、子どもも働くママも増えるのではと思います。国も市も予算のかけどころを実情に合わせられるように、何に困っているのか何が必要なのか、勉強してほしいと思います。今のままでは、子どもに申し訳ないと思いながら毎日を過ごしています。</p>
<p>宿題を強制的にやらせてほしい。(宿題が終わった人からおやつとか)</p>
<p>宿題を終わらせてから遊びなどをやってほしい。仕事から帰って来てから見るのは大変で、寝るのが遅くなってしまう。</p>
<p>小3以上であれば学童下室可能としてほしい。例えばアプリで時間認定し、その時刻になれば下校と同じように帰宅する規定で帰宅時確認を保護者が自宅でアプリで応答する等を行うなど。</p>
<p>少ない人員でいつもありがとうございます。遅くまでお願いする日が多く、学力が心配なので、音読などお勉強の声掛けをしていただけたら嬉しいです。</p>
<p>親の送迎無しで本人のみでの登降室を認めてほしい。</p>
<p>他クラブの人員減の影響で、かなりの人数まとめて合同保育が行われた(今は解消)。かなり危険で、子どもが行き渋った。人員確保のための給料増などの支援が必要です。学校から学外学童への通学路の整備が不十分。最低限、歩道とガードレールは整備しないと、いつ事故が起きてもおかしくない。</p>
<p>抽象的な話になりますが、男性女性問わず、すべての親が子育て、家事、仕事に当たり前に参加できる社会になってほしいです。特に意識の面で、いつも女性が子育てすべきという固定概念を無くしてほしいです。</p>
<p>通い始めた時と比べ、時間の使い方(下校後、何時まで勉強など)が、あやふやになってきている気がしました。先日、指導員さんへお伝えしましたので大丈夫だと思いますが、再度子ども達に時間の使い方を伝えてほしい。</p>
<p>提出書類などについて学童からの説明が無く、提出期限が過ぎてから急かされたりすることがある。ひとり親でフルで働かなければならず、お迎えを高齢の祖父に行ってもらわないと18時に間に合わないため、別途メールか他の用紙でどういった書類なのか、提出期限などを知らせていただきたい。記入例なども無く、他の保護者に聞いて記入することもよくあります。</p>
<p>登下校時間帯に見守りをしていただけるサービスがあると安心です。国道 407 号や周りの道はトラックや飛ばす車が多いので、通学路が不安。</p>
<p>不登校の子ども達の居場所の1つとして、日中昼間に預かってくれる学童保育があるといいなと思います。現在中学生の子が小学生の時不登校となり、学童保育が「安心できる場所」として通う事ができ、また子ども同士の交流が途切れなかった事で学校に戻るきっかけができました。また、不登校の親同士の交流で「子どもが低学年で不登校なので仕事を辞めざるを得なかった」と話をされる保護者もいます。子ども達が「遊び」を通じて学ぶことがたくさんあります。子どもが学校に通う、通わないに関係なく安心していられる場所の選択肢を増やしてほしいと思います。小学校に入ると平日に(つどいの広場のような)遊びに行ける場所が無くなるので、ご検討お願いします。</p>
<p>父母ともにフルタイム勤務のため、学童の存在はありがたいです。平日に習い事をさせる余裕がないのですが、学童内でクラブ活動のようなものがあると、子どもは喜ぶのかなと思います(もちろん別料金で)。HP には将棋クラブと書いてあって楽しみに入所したのに、先生がいないため、無くなってしまったと聞いて残念です。また、室内遊びが中心のようなので、外遊びを充実させてもらえると子どもの発達にも良いし、ありがたいと感じています。</p>
<p>放課後など1人で過ごす時間の場所(安心して預かっていただける)があることは本当にありがたいと思っています。ただ今の学童に不満が多く、この調査だけでは不十分だと思います。これで何がわかるのでしょうか。時間や土日の利用、いつまで学年の利用などニーズも大事ですが、内容の調査も必要かと思います。市として1つの法人に任せ過ぎではないかと思います。職員不足、子ども、親に影響が出ています。その事についてももしっかり調査していただきたいです。</p>

毎日お世話になりありがとうございます。しかし、職員同士の連絡がなっていないため、こちらに何度も同じことを聞いたり、こちらもまた一から話さないといけない時がありました。
学童に入っていると学童休みの日も下校班が無く、親が学校まで迎えに行く必要があるのが不便。
学校において和式トイレが多いようなので、可能であれば洋式トイレへの改修をお願いしたい。
学校給食の無料化を希望します。
土曜参観日の回数を減らしてください(子どもの生活リズムが崩れるため)。
高学年になれば留守番できますが、長期休暇中は1日となるので心配です。そういう短期間お世話になる施設を西中校舎に入れてくれるといいと思います。
学童には大変お世話になっています。学校にも大変お世話になっておりますが、まだまだ働く親としては両立が難しいと思います。土曜公開日は午前中に授業を終わるようにするか、市で統一して給食を出していただけたら助かります。

資料編 調査票

資料編 調査票

1 就学前児童の保護者調査票

鶴ヶ島市子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ～ ご協力をお願いします ～

皆さまには、日頃から福祉行政に関するご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

鶴ヶ島市では、子どもを産み育てることに喜びを実感できるまちづくりを目標とするとともに、計画の普及な実行により、子育て支援のまちづくりを推進するため、令和7年度から11年度までを計画期間とする「第3期鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」の策定作業を進めています。

この計画を策定するにあたり、市民の皆さまの子育てに関するニーズなどを把握するため、就学前のお子様を無作為に抽出させていただき、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、できるだけ多くの保護者様のご意見を聞き、計画に反映させるため、ご回答についてのご協力をお願いいたします。

調査結果につきましては、ホームページで公表するとともに、「第3期鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」の策定を所掌する「鶴ヶ島市児童福祉審議会」へ報告し協議を行い、計画に反映させていただきます。

なお、アンケート調査は無記名で実施され、統計的に処理いたします。自由記述につきましても、個人が特定されないよう配慮し、プライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

<ご記入にあたってのお願い～必ず読んでからご回答ください～>

1. ご記入は、**宛名のみなさまの保護者の方**にお願いいたします。
2. ご記入にあたっては、鉛筆またはボールペンをご使用ください。
3. ご回答は、**該当する選択肢に☑(し点)**をつけていただくと、**数字をご記入**いただく場合がございます。また、「その他」を選択した場合には、() 内に具体的な内容を記入してください。
4. 数字の記入については、**1枠につき1字、時間は24時間制(例:09時～18時)**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。ご回答の書き方や失印に従ってご回答ください。特にことわり書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**2月5日(月)**までに**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付やお前の記入は**必要ありません**。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

鶴ヶ島市 福祉部 子ども支援課 子育て支援担当

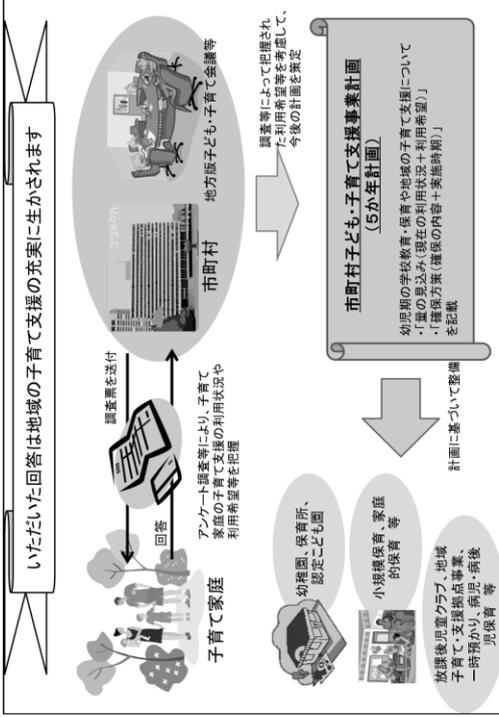
電話:049-271-1111(内線 157)

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するため、住民の皆さまの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。この調査の回答(施設や事業の利用希望等)により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。

子ども・子育て支援新制度の趣旨

子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持つて育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。



【用語の定義】この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

用語	定義
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもへの健やかな成長のために行われる支援
教育	問12までは家庭での教育を含めた広い意味、問13以降は幼児期の学校における教育の意味で用いています。

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区及び小学校区についてお聞きます。

(1) お住まいの地区について、お答えください。(1つのみ)

- | | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 脚折 | <input type="checkbox"/> 脚折町 | <input type="checkbox"/> 共栄町 | <input type="checkbox"/> 高倉 | <input type="checkbox"/> 下新田 |
| <input type="checkbox"/> 羽折町 | <input type="checkbox"/> 中新田 | <input type="checkbox"/> 新町 | <input type="checkbox"/> 上新田 | <input type="checkbox"/> 町屋 |
| <input type="checkbox"/> 三ツ木 | <input type="checkbox"/> 三ツ木新町 | <input type="checkbox"/> 柳戸町 | <input type="checkbox"/> 三ツ木新田 | <input type="checkbox"/> 太田ヶ谷 |
| <input type="checkbox"/> 藤金 | <input type="checkbox"/> 上広谷 | <input type="checkbox"/> 五味ヶ谷 | <input type="checkbox"/> 富士見 | <input type="checkbox"/> 鶴ヶ丘 |
| <input type="checkbox"/> 松ヶ丘 | <input type="checkbox"/> 南町 | | | |

(2) お住まいの地区の小学校区が分かれれば、お答えください。(1つのみ)

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 鶴ヶ島第一小学校 | <input type="checkbox"/> 鶴ヶ島第二小学校 | <input type="checkbox"/> 新町小学校 | <input type="checkbox"/> 杉下小学校 |
| <input type="checkbox"/> 長久保小学校 | <input type="checkbox"/> 栄小学校 | <input type="checkbox"/> 藤八小学校 | <input type="checkbox"/> 南小学校 |
| <input type="checkbox"/> わからない | | | |

2. 封筒の宛名のお子様とご家族のことについて

問2 宛名のお子様の生年月月をご記入ください。(数字を記入)

西暦 20 年 月 生まれ

問3 宛名のお子様のきょうだいは(宛名のお子様を含め)何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子様がいっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(数字を記入)

きょうだい数 人 / 末子の生年月 西暦 20 年 月 生まれ

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子様からみた関係でお答えください。(1つのみ)

- 母親 父親 その他 ()

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つのみ)

- 配偶者がいる 配偶者はいない

問6 宛名のお子様の子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。(1つのみ)

- 父母ともに 主に母親 主に父親
- 主に祖父母 その他 ()

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子様の子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子様からみた関係でお答えください。(いくつでも)

- 父母ともに 母親 父親
- 祖父母 幼稚園 保育所
- 認定こども園 その他 ()

問8 宛名のお子様の子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。(いくつでも)

- 家庭 地域 幼稚園
- 保育所 認定こども園 その他 ()

問9 日頃、宛名のお子様をみてもらえる親族・知人はいませんか。(いくつでも)

- 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる] ⇒ 問9-1へ
- 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる] ⇒ 問9-2へ
- 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる]
- いずれもない] ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方のみ

問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方のみ

- 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 身体的負担が大きく心配である
- 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもへの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他 ()

問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方のみ

- 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 身体的負担が大きく心配である
- 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもへの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他 ()

問10 宛名のお子様の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（1つのみ）

いる/ある ⇒ 問10-1へ いない/ない ⇒ 問11へ

問10-1 問10で「いる/ある」と回答した方のみ

お子様の子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（いくつでも）

- 祖父母等の親族
- 近所の人
- 保健所・保健センター
- 幼稚園教諭（幼稚園）
- かかりつけの医師
- その他（ ）
- 友人や知人
- 子育て支援施設（地或子育て支援拠点、児童館等）・NPO
- 保育士（保育所・園）
- 民生委員・児童委員
- 市役所の子ども支援課窓口

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4. 宛名のお子様の保護者の就労状況について

問12 宛名のお子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

(1) 母親の状況について（1つのみ）【父子家庭の場合は記入不要です】

- フルタイム*で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

* フルタイム：週5日・1日8時間程度の就労
 ※ パートタイム・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(1) ①・② (1)で「就労している」と回答した方のみ

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（就業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（数字を記入）

※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 就労日数・就労時間	1週あたり	日 / 1日あたり	時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	時 / 分	時 / 分

(2) 父親の状況について（1つのみ）【母子家庭の場合は記入不要です】

- フルタイム*で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

* フルタイム：週5日・1日8時間程度の就労
 ※ パートタイム・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(2) ①・② (2)で「就労している」と回答した方のみ

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（就業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（数字を記入）

※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 就労日数・就労時間	1週あたり	日 / 1日あたり	時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	時 / 分	時 / 分

問12-1 問12の(1)または(2)で“パート・アルバイト等で就労している”と回答した方のみ
 フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つのみ）

- | | |
|--------|---|
| (1) 母親 | <input type="checkbox"/> フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
<input type="checkbox"/> フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |
| (2) 父親 | <input type="checkbox"/> フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
<input type="checkbox"/> フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |

問12-2 問12の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方にお伺いします。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つのみ、数字を記入)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない) <input type="checkbox"/> 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったら(就労したい) <input type="checkbox"/> すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	<input type="checkbox"/> 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない) <input type="checkbox"/> 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったら(就労したい) <input type="checkbox"/> すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
	※希望する就労形態※ <input type="checkbox"/> フルタイム(週5日・1日8時間程度) <input type="checkbox"/> パートタイム、アルバイト等(1週あたり <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 1日あたり <input type="text"/> 時間)	※希望する就労形態※ <input type="checkbox"/> フルタイム(週5日・1日8時間程度) <input type="checkbox"/> パートタイム、アルバイト等(1週あたり <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 1日あたり <input type="text"/> 時間)

5. 宛名のお子様の平日の定期的な教育・保育事業[※]の利用状況について

※定期的な教育・保育事業:月単位で定期的に利用している事業(問13-1)を指します。

問13 宛名のお子様は現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

(1つのみ)

利用している ⇒ 問13-1~4へ 利用していない ⇒ 問13-5へ

問13-1 問13で「利用している」と回答した方のみ
宛名のお子様は、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(いくつでも)

- 幼稚園(通常の就園時間を利用)
- 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 入園前の幼稚園の預かり保育(幼稚園の未就園児クラスの利用等)
- 認可保育所(都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
- 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 小規模な保育施設(市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)
- 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どものみを保育する事業)
- 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
- その他の認可外の保育施設(無認可の託児所など)
- 居宅訪問型保育(パピーシッターのような保育者が子どもを預かる事業)
- ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
- その他()

問13-2 問13で「利用している」と回答した方のみ
平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(それぞれ数字を記入)

(1) 現在	1週あたり <input type="text"/> 日 / 1日あたり <input type="text"/> 時間(<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時)
(2) 希望	1週あたり <input type="text"/> 日 / 1日あたり <input type="text"/> 時間(<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時)

問13-3 問13で「利用している」と回答した方のみ
現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(1つのみ)

鶴ヶ島市内 他の市町村(市町村名:)

問13-4 問13で「利用している」と回答した方のみ
平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。(いくつでも)

- 子どもの教育や発達のため
- 子育てをしている方が現在就労している
- 子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
- 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
- 子育てをしている方が病気や障害がある
- 子育てをしている方が学生である
- その他()

6. 宛名のお子様地域の地域の子育て支援事業の利用状況について

問15 宛名のお子様は、現在、地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」「子育てセンター」「子育て」など）を利用していますか。（いくつでも、口内に数字を記入）

地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
 1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度

その他鶴ヶ島市で実施している類似の事業（児童館で実施している子育て支援事業など）
 1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度

利用していない

問16 問15のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（1つのみ、口内に数字を記入）

利用していないが、今後利用したい
 1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度

新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問17 次の市の事業やサービスについて、A、B、Cそれぞれ「はい」「いいえ」のどちらかに回答してください。（事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、1つのみ）

事業・サービス種別	A			B			C		
	知っている			利用したことがある			今後利用したい		
	はい	いいえ		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①母親（父親）学級、（ゆりかご教室）	<input type="checkbox"/>								
②保健センターの情報・相談事業	<input type="checkbox"/>								
③教育センターの教育相談	<input type="checkbox"/>								
④保育所等の園庭等の開放	<input type="checkbox"/>								
⑤市の家庭児童相談事業	<input type="checkbox"/>								
⑥児童・家庭総合相談窓口（市のこども支援課）	<input type="checkbox"/>								
⑦市発行の子育てガイドブック	<input type="checkbox"/>								
⑧市の子育て支援に関するホームページ	<input type="checkbox"/>								

問13-5 問13で「利用していない」と回答した方にお困りします。

利用していない理由としてあてはまるものをお答えください。（いくつでも、口内に数字を記入）

利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親が就労していないなどの理由）

子どもの祖父や親戚の人がみている

近所の人や父母の友人・知人がみている

利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

利用したいが、事業の費や場所など、納得できる事業がない

子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）

その他（ ）

問14 **すべての方にお困りします。**
 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子様の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（いくつでも）

幼稚園（通常の就園時間の利用）

幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）

入園前の幼稚園の預かり保育（幼稚園の未就園児クラスの利用等）

認可保育所（都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）

認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）

小規模な保育施設（市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人ものもの）

家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）

事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）

自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）

その他の認可外の保育施設（無認可の託児所など）

居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）

ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）

その他（ ）

問14-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（1つのみ）

鶴ヶ島市内 他の市町村（市町村名：）

問14-2 問14で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と回答し、かつ「認可保育所」から「その他」までのいずれかを回答した方のみ

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つのみ）

はい いいえ

**9. 宛名のお子様への定期的な教育・保育事業や
宿泊を伴う一時預かり等の利用について**

問 21 宛名のお子様について、日中の定期的な教育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(いくつでも、口内に数字を記入)

利用している事業	日数 (年間)
<input type="checkbox"/> 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
<input type="checkbox"/> 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
<input type="checkbox"/> ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
<input type="checkbox"/> 夜間看護等事業・トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
<input type="checkbox"/> ベビーシッター	□ □ 日
<input type="checkbox"/> その他 ()	□ □ 日
<input type="checkbox"/> 利用していない	⇒ 問 21-1へ

問 21-1 問 21 で「利用していない」と回答した方のみ

現在利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

- 特に利用する必要がない
- 利用したい事業が地理にない
- 地域の事業の質に不安がある
- 地域の事業の利便性がよくない (立地や利用可能時間・日数など)
- 利用料がかかる・高い
- 利用料がわからない
- 自分が事業の対象者になるかどうかかわからない
- 事業の利用方法 (手続き等) がわからない
- その他 ()

問 20-3 問 20-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方のみ

上記の子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(いくつでも)

- 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
- 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- ファミリー・サポート・センターの病児、病後児対応事業 (地域住民が子どもを預かる事業)
- その他 ()

問 20-4 問 20-2 で「利用したいとは思わない」と回答した方のみ

そう思われる理由をお答えください。(いくつでも)

- 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
- 地域の事業の質に不安がある
- 地域の事業の利便性がよくない (立地や利用可能時間・日数など)
- 利用料がかかる・高い
- 利用料がわからない
- 親が仕事を休んで対応する
- その他 ()

問 20-5 問 20-1 で「親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかを回答した方のみ

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。

問 20-1 の 1 年間の対処方法の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数についてもご記入ください。(1つのみ、口内に数字を記入)

できれば仕事を休んでみたい ⇒ 年間 □ □ 日 ⇒ 問 21 へ

休んでみることは非常に難しい ⇒ 問 20-6 へ

問 20-6 問 20-5 で「休んでみることは非常に難しい」と回答した方のみ

そう思われる理由をお答えください。(いくつでも)

- 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 自営業なので休めない
- 休曜日数が定まらないので休めない
- その他 ()

1.1. 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

問 28 宛名のお子様が生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、また、取得していない方はその理由をお答えください。
(それぞれ1つのみ、取得していない方はその理由について、いくつでも)

(1) 母親 (1つのみ)		(2) 父親 (1つのみ)
<input type="checkbox"/> 働いていなかった		<input type="checkbox"/> 働いていなかった
<input type="checkbox"/> 取得した(育児休業中である)		<input type="checkbox"/> 取得した(育児休業中である)
<input type="checkbox"/> 取得していない		<input type="checkbox"/> 取得していない

(1) 母親	(2) 父親	取得していない理由 (いくつでも)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕事が忙しかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕事に戻るのが難しそうだった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昇給・昇格などが遅れそうだった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収入減となり、経済的に苦しくなる
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保育所(園)などに預けることができた
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配偶者が育児休業制度を利用した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育てや家事に専念するため退職した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	育児休業を取得できなことを知らなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他【母親】()
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他【父親】()

問 28-1 **すべての方にお伺いします。**
「育児休業給付*1」、「保険料免除*2」の仕組みをご存知でしたか。(1つのみ)

育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた

育児休業給付のみ知っていた

保険料免除のみ知っていた

育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※1 「育児休業給付」とは、子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み。保育所(園)における保育の実施が行われないと一定の要件を満たす場合は最高まで給付されます。
※2 「保険料免除」とは、子どもが3歳になるまでの育児休業期間中に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み。法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間取付けた育児休業に準ずる措置となります。

問 24 または問 25 で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

宛名のお子様について、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。それぞれ1つのみ、口内に数字を記入)

(1) 土曜日

低学年(1~3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4~6年生)になっても利用したい] 時から] 時まで

利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日

低学年(1~3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4~6年生)になっても利用したい] 時から] 時まで

利用する必要はない

問 27 宛名のお子様について、お子様の夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つのみ、口内に数字を記入)

低学年(1~3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4~6年生)になっても利用したい] 時から] 時まで

利用する必要はない

問28-2 問28で「取得した(育児休業中である)」と回答した方のみ ※該当しない方は問29へ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問28-3~7へ <input type="checkbox"/> 現在も育児休業中である ⇒ 問28-9へ <input type="checkbox"/> 育児休業中に離職した ⇒ 問29へ
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問28-3~7へ <input type="checkbox"/> 現在も育児休業中である ⇒ 問28-9へ <input type="checkbox"/> 育児休業中に離職した ⇒ 問29へ

問28-3 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
(それぞれ1つのみ)

※年度初めでの認可保育所(園)入所を希望して、1月~2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育所に入所した場合は選択肢「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 年度初めの入所に合わせたタイミングだった <input type="checkbox"/> それ以外だった
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 年度初めの入所に合わせたタイミングだった <input type="checkbox"/> それ以外だった

問28-4 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

育児休業からは、「実際」にお子様は何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。(それぞれ数字を記入)

(1) 母親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月
(2) 父親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月

問28-5 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子様は何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。(それぞれ数字を記入)

(1) 母親	歳	か月
(2) 父親	歳	か月

問28-6 問28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何か。

(1) 希望より早く復帰した方(それぞれいくつでも)

①母親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所に入るため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 経済的な理由で早く復帰する必要があったため <input type="checkbox"/> 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため <input type="checkbox"/> その他()
②父親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所に入るため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 経済的な理由で早く復帰する必要があったため <input type="checkbox"/> 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため <input type="checkbox"/> その他()

(2) 希望より遅く復帰した方(それぞれいくつでも)

①母親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所に入らなかったため <input type="checkbox"/> 自分や子どもなどの体調が悪わしくなかったため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため <input type="checkbox"/> 子どもをみてくれる人がいなかったため <input type="checkbox"/> その他()
②父親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所に入らなかったため <input type="checkbox"/> 自分や子どもなどの体調が悪わしくなかったため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため <input type="checkbox"/> 子どもをみてくれる人がいなかったため <input type="checkbox"/> その他()

問28-7 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった <input type="checkbox"/> (フルタイムで働き続けた、もともと短時間勤務だった) <input type="checkbox"/> 利用した <input type="checkbox"/> 利用したが、利用しなかった(できなかった) <input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった ⇒ 問29へ ⇒ 問28-8へ
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった <input type="checkbox"/> (フルタイムで働き続けた、もともと短時間勤務だった) <input type="checkbox"/> 利用した <input type="checkbox"/> 利用したが、利用しなかった(できなかった) <input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった ⇒ 問29へ ⇒ 問28-8へ

1.2. 子どもを育てるための経済的な負担について

国の調査で、子どもを育てるうえでの経済的な負担が、少子化の1つの要因であるという分析結果が出ています。市においても、子育て家庭の生活の自立と安定のため、支援の方針を検討したいと考えており、皆さまの生活実態と必要な支援についてお答えいただければと思います。

問29 お子様を養育して生活している現在の経済状況（家計状況）を、どのように感じているかお答えください。（1つのみ）

- ゆとりがある ややゆとりがある
- ふつう（どちらともいえない） やや苦しい
- 苦しい

問30 現在、生活が苦しい場合に受けられる何らかの公的支援を受けていれば、受けているものをお答えください。（いくつでも）

- 児童扶養手当（ひとり親家庭等のための手当）
- 生活保護
- 公的年金（老齢年金、遺族年金、障害年金など）
- 児童・生徒就学支援制度（学校の給食費の無料など）
- 保育料の免除（無料となっている）
- その他（ ）

問31 安心して子どもを産み育てていくために、どのような生活支援制度があればよいとお考えですか。お答えください。（いくつでも）

- 親の就労支援、資格取得支援
- 子どもを持つ親が働きやすい職場環境の改善
- 専門家（ファイナンシャルプランナー等）による家計相談
- 幼児期の教育・保育の受け皿の拡充（保育所の待機児童をなくすなど）
- 子どもの躾育の支援の拡充（家庭へのベビーシッターやヘルパーの派遣など）
- 幼児教育・保育（幼稚園・保育所）にかかる費用のさらなる無償化や補助制度
- 義務教育（小・中学校）にかかる費用のさらなる無償化や補助制度
- 高等教育（高校・大学等）にかかる費用のさらなる無償化や補助制度
- 食料品など生活必需品への補助制度
- 塾や習い事などの費用への補助制度
- 子ども食堂や学習支援事業などの取り組み（公的な無料のもの）
- 放課後の子どもたちの居場所の充実（学童保育など）
- その他（ ）

問28-8 問28-7で「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方にお伺いします。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由をお答えください。（それぞれいくつでも）

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	
	<input type="checkbox"/> 仕事が忙しかった	
	<input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると給与が減額される	
	<input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると保育所の入所申込みの優先順位が下がる	
	<input type="checkbox"/> 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	
	<input type="checkbox"/> 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった	
	<input type="checkbox"/> 子育てや家事に専念するため退職した	
	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めなかった）	
	<input type="checkbox"/> 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
	(2) 父親	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
		<input type="checkbox"/> 仕事が忙しかった
<input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると給与が減額される		
<input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると保育所の入所申込みの優先順位が下がる		
<input type="checkbox"/> 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した		
<input type="checkbox"/> 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった		
<input type="checkbox"/> 子育てや家事に専念するため退職した		
<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めなかった）		
<input type="checkbox"/> 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった		
<input type="checkbox"/> その他（ ）		

問28-9 問28-2で「現在も育児休業中である」と回答した方のみ
宛名のお子様は1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ1つのみ）

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 1歳になるまで育児休業を取得したい
	<input type="checkbox"/> 1歳になる前に復帰したい
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 1歳になるまで育児休業を取得したい
	<input type="checkbox"/> 1歳になる前に復帰したい

13. 子育て支援施策全般について

問 32 お子様が発達の心配があつて悩んだとき、医療機関や公共機関（保健センター、家庭児童相談室、発達支援センター、子育てセンター、教育センターなど）に、受診したり相談したりすることができましたか。（1つのみ）

受診や相談することができた
 ⇒相談先 医療機関 保健センター 家庭児童相談室 発達支援センター
 (いくつでも) 子育てセンター 教育センター その他 ()
 受診や相談することができなかった
 ⇒その理由 []
 発達のことで悩んだことがない

問 33 お子様にかかりつけ医はいますか。（1つのみ）

いる いない

問 33-1 問 33 で「いない」と回答した方のみ

現在いない理由はどのようなことですか。（1つのみ）

地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない
 利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない
 地域の医療サービスに不安がある
 大病院の医療サービスを受けたい
 かかりつけ医の必要性を感じない
 その他 ()

問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、総合的に判断してお答えください。（1つのみ）

満足度が低い ← → 満足度高い
 1 2 3 4 5

問 35 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
 切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ポストにご投函ください。

2 学童保育利用児童の保護者調査票

《1年生～5年生のお子様が入室している場合は、お子様ごとに調査票の回答をお願いします》

学童保育を利用しているお子様とご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地区についてお答えください。(1つのみ)

また、お子様に通っている小学校・学年及び学童保育室名(クラブ名)をご記入ください。

<input type="checkbox"/> 脚折	<input type="checkbox"/> 脚折町	<input type="checkbox"/> 丹波町	<input type="checkbox"/> 高倉	<input type="checkbox"/> 下新田
<input type="checkbox"/> 羽折	<input type="checkbox"/> 中新田	<input type="checkbox"/> 新田	<input type="checkbox"/> 上新田	<input type="checkbox"/> 即屋
<input type="checkbox"/> 三ツ木	<input type="checkbox"/> 三ツ木新田	<input type="checkbox"/> 柳戸町	<input type="checkbox"/> 三ツ木新田	<input type="checkbox"/> 太田ヶ谷
<input type="checkbox"/> 藤金	<input type="checkbox"/> 上広谷	<input type="checkbox"/> 五味ヶ谷	<input type="checkbox"/> 富士見	<input type="checkbox"/> 鶴ヶ丘
<input type="checkbox"/> 松ヶ丘	<input type="checkbox"/> 南町			

A 小学校名 _____ 小学校 _____ 年 _____ 学童保育室名 _____ クラブ _____

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。

母親 父親 その他 (_____)

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(問2で「その他」と回答した方は回答不要です)

配偶者がいる 配偶者がいない

問4 お子様の保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労
 フルタイム以外で就労(パート・アルバイト含む)
 就労していない

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労
 フルタイム以外で就労(パート・アルバイト含む)
 就労していない

お子様の平日(月曜日～金曜日)の定期的な学童保育の利用状況についてうかがいます。

問5 平日(月曜日～金曜日)に定期的に利用している学童保育について、どのくらい利用していますか。また、本来の希望としてどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、下校時から何時までかについて、□内に具体的な数字をご記入ください(数字は一律に一字)。時間は、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

《現在の利用状況》	1週あたり <input type="checkbox"/> 日	利用時間	下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
《本来の利用希望》	1週あたり <input type="checkbox"/> 日	希望利用時間	下校時から <input type="checkbox"/> 時まで

※現在の利用状況と本来の利用希望が同じ場合は、同じ日数、時間を記入ください。

学童保育に関するニーズ調査

ご協力をお願い

《 学童保育を利用されている保護者の方へ 》

市民の皆様には、日頃から市政運営にご理解とご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。鶴ヶ島市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、「第2期鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

この度、「第3期鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民の皆様様の学童保育に関するニーズなどを把握するため、現在、学童保育を利用しているお子様を対象に「学童保育に関するニーズ調査」を実施することとなりました。調査内容は、学童保育に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握するためのもので、保護者の皆様には、ぜひともご記入のご協力をお願いいたします。

なお、調査は無記名で実施することにも、お寄せいただきありがとうございます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年1月

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

《 ご記入に際してのお願い 》

- 本調査は、学童保育室に入室している1年生から5年生のお子様ごとに1調査としてします。
- 2人以上のお子様が入室している場合は、お手数ですが入室児童ごとの回答をお願いします。
- 本調査とは別に、就学前のお子様がいいらっしゃる方の中から無作為に選んだ世帯に、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施しております。両方の調査の対象となる場合もございますが、ご協力くださいますようお願いいたします。
- 特に注意書きがある場合以外は、調査対象の学童保育室に入室しているお子様についてご記入ください。
- 調査には、お子様の保護者の方がご記入ください。
- 回答に選択肢がある場合は、☑(レ点)をつけてください。
- (1つのみ)などの説明がある場合には、その説明にしたがってください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、☑(レ点)をつけ、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、24時間制でご記入ください。
- ご記入が済みましたら、三つ折りのうえ同封の封筒に入れて令和6年2月5日(月)までに入室している学童保育室へ提出してください。
- この調査用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。
- 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

鶴ヶ島市役所 福祉部 子ども支援課 子育て支援担当

TEL : 049-271-1111 (内線 157)

問6 平日（月曜日～金曜日）に定期的に学童保育を利用されている理由についてお答えください。（いくつでも）

- 子育てをしている方が現在就労している
- 子育てをしている方が別府予定がある／求職中である
- 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
- 子育てをしている方が病気や障害がある
- 子育てをしている方が学生である
- 子どもの教育や発達のため
- その他（ ）

問7 お子様の学童保育の利用について、何年生まで利用させたいかを希望していますか。□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

利用希望学年 年生まで

※現在の学年で退塾する予定の場合は、現在の学年をご記入ください。

お子様の土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な学童保育の利用希望についてうかがいます。

問8 お子様は、現在、土曜日に学童保育を利用していますか。（1つのみ）
 利用している ⇒ 問8-1へ 利用していない ⇒ 問9へ

問8-1 問8で「利用している」と回答した方にうかがいます。土曜日に利用している学童保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。

・土曜日の利用

《現在の利用状況》
 ほほ毎週利用している [利用している時間帯]
 月に1～2回利用している ⇒ [] 日あたり [] 時間（ [] 時～ [] 時）

《本来の利用希望》
 [利用したい時間帯]
 1日あたり [] 時間（ [] 時～ [] 時）
 ※現在の利用状況と本来の利用希望が同じ場合は、同じ時間帯にご記入ください。

問9 お子様について、日曜・祝日に、定期的な学童保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、1日あたり何時間（何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一律に一字）。期間は、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

・日曜・祝日の利用希望 ※現在、日曜・祝日は開塾していません。

利用する必要はない
 ほほ毎週利用したい [利用したい時間帯]
 月に1～2回は利用したい ⇒ 1日あたり [] 時間（ [] 時～ [] 時）

問9-1 問9で、「月に1～2回は利用したい」と回答した方にうかがいます。具体的な理由をお答えください。（いくつでも）

- 月に数回仕事が入るため 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 親族の介護や手伝いが必要なため リフレッシュのため
- その他（ ）

問10 お子様は、現在、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童保育を利用していますか。（1つのみ）
 利用している ⇒ 問10-1へ 利用していない ⇒ 問11へ

問10-1 問10で「利用している」と回答した方にうかがいます。お子様について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一律に一字）。期間は、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

《現在の利用状況》 1週あたり [] 日 利用時間 [] 時～ [] 時
 《本来の利用希望》 1週あたり [] 日 希望利用時間 [] 時～ [] 時
 ※現在の利用状況と本来の利用希望が同じ場合は、同じ日数、時間を記入ください。

問11 現在の学童保育の利用における満足度について、お答えください。（1つのみ）

満足度が低い ← 満足度が高い

1 2 3 4 5

問12 最後に、学童保育をはじめ教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、2月5日（月）までに、入室している学童保育にご提出ください。

3 私立幼稚園・認定こども園通園児童の保護者調査票

私立幼稚園預かり保育に対するアンケート調査票

お子様が通園中の幼稚園名				
お子様の生年月日	<input type="checkbox"/> 満3歳児	<input type="checkbox"/> 年少	<input type="checkbox"/> 年中	<input type="checkbox"/> 年長
住所	<input type="checkbox"/> 脚折	<input type="checkbox"/> 脚折町	<input type="checkbox"/> 高倉	<input type="checkbox"/> 羽折町
	<input type="checkbox"/> 中野田	<input type="checkbox"/> 中野田	<input type="checkbox"/> 中野田	<input type="checkbox"/> 上新田
	<input type="checkbox"/> 三ツ木	<input type="checkbox"/> 三ツ木新町	<input type="checkbox"/> 柳戸町	<input type="checkbox"/> 木田ヶ谷
	<input type="checkbox"/> 上広谷	<input type="checkbox"/> 上広谷	<input type="checkbox"/> 藤原	<input type="checkbox"/> 藤原

※就園前にノをつけてください。2人以上のお子様が同時に就園している場合は、併せて1枚にご記載ください。

問1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる項目1つにノをつけてください。

<input type="checkbox"/> フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1)-1へ
<input type="checkbox"/> フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	

(1)-1 (1)で「就労している」と回答した方にうかがいます。週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は、一般に一文字。時間は、必ず2.4時間制でお答えください。（例：0.8時～1.8時））

1週あたり	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 時間
(1)-2 (1)で「就労していない」と回答した方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は、必ず2.4時間制でお答えください。（例：0.8時～1.8時））	家を出る時間	<input type="checkbox"/> 時
	帰宅時間	<input type="checkbox"/> 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる項目1つにノをつけてください。

<input type="checkbox"/> フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
<input type="checkbox"/> フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
<input type="checkbox"/> パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	

(2)-1 (2)で「就労している」と回答した方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は、一般に一文字。時間は、必ず2.4時間制でお答えください。（例：0.8時～1.8時））

1週あたり	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 時間
(2)-2 (2)で「就労していない」と回答した方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は、必ず2.4時間制でお答えください。（例：0.8時～1.8時））	家を出る時間	<input type="checkbox"/> 時
	帰宅時間	<input type="checkbox"/> 時

裏面に続きます	
---------	--

問2 問1の(1)及び(2)で「就労している」と回答した方にうかがいます。現在の幼稚園における預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業。以下同じ。）の利用状況をうかがいます。

(1) あてはまる項目1つにノをつけてください。	
<input type="checkbox"/> ア 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している。	⇒ (1)-1へ
<input type="checkbox"/> イ 現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している。	⇒ (1)-2へ
<input type="checkbox"/> ウ 現在、特に利用している保育事業等はない（上記ア、イに該当しない）	⇒ (1)-3へ

※親族、知人、友人等による預かりはウとしてお答えください。また、親族等による預かりが中心で、時おり（例えば週1日程度）、幼稚園の預かり保育を利用するような方もウとしてお答えください。

(1)-1 (1)で「ア」と回答した方にうかがいます。週あたりの「利用日数」、1日あたりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は、一般に一文字。）

1週あたり	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 時間
-------	----------------------------	-----------------------------

(1)-2 (1)で「イ」と回答した方にうかがいます。どういった保育事業等を利用されているか、あてはまる項目1つにノをつけてください。また、週あたりの「利用日数」、1日あたりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。（□内に数字をご記入ください。数字は、一般に一文字。）

利用している保育事業	
<input type="checkbox"/> ア 保育所の一時預かり（私用などの理由を問わずに一時的に子どもを預かる事業）)
<input type="checkbox"/> イ ファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもを預かる事業）	
<input type="checkbox"/> ウ ベビーシッター	
<input type="checkbox"/> エ 認可外の保育施設	
<input type="checkbox"/> オ その他 →（具体的な事業名等）	

1週あたり	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 時間
-------	----------------------------	-----------------------------

(1)-3 (1)で「ウ」と回答した方にうかがいます。今後の預かり保育の利用希望について、あてはまる項目1つにノをつけてください。

<input type="checkbox"/> 幼稚園の預かり保育を利用したい。（1週あたり <input type="checkbox"/> 日程度）)
<input type="checkbox"/> 他の保育事業（上記(1)-(2)間の選択肢で示されているようなもの）を利用したい。	
<input type="checkbox"/> 特に預かり保育や他の保育事業を利用したいとは思わない。（必要がない）	
<input type="checkbox"/> その他	

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。
別添の回収封筒に入れて2月5日（月）までに幼稚園にご提出ください。
なお、調査結果につきましては、令和6年度に策定する「第3期鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」の参考とさせていただきます。それ以外には使用いたしません。

担当：鶴ヶ島市役所 福祉部 子ども支援課 子育て支援担当 連絡先：049-271-1111（内線157）
--

鶴ヶ島市子育て支援に関する調査結果報告書

発行 令和6年3月

編集 鶴ヶ島市健康福祉部こども支援課

〒350-2292 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木 16 番地 1

TEL : 049-271-1111 (代) / Fax : 049-271-1190

URL : <https://www.city.tsurugashima.lg.jp/>